

令和2年度
人権に関する市民の意識調査
報告書

高 知 市

2020（令和2）年11月

目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	回収状況	1
4	注意事項	2
II	回答者の属性	3
1	年代別構成	3
2	性別構成	3
III	調査結果	4
1	人権全般	4
(1)	問1 人権が尊重されているまちだと思うか	4
(2)	問2 人権意識の変化	6
(3)	問3 関心のある人権問題	8
(4)	問4 人権侵害の経験	10
(5)	問4-1 人権が侵害されたと思った内容	11
(6)	問4-2 人権侵害を受けた時の対処	13
(7)	問4-3 人権侵害を受けた時の相談先	14
(8)	問4-4 相談しなかった理由	16
2	同和問題	18
(1)	問5 同和問題(部落差別)を知っているか	18
(2)	問5-1 同和地区(部落差別)を知ったきっかけ	20
(3)	問5-2 同和地区(部落差別)についての学習経験	22
(4)	問5-3 同和地区や同和地区出身者に対する偏見や差別が存在すると思うか	24
(5)	問5-4 同和地区や同和地区出身者ということを気にしたり、意識する場合	26
(6)	問5-5 実際に部落差別について見聞きしたことがあるか	28
(7)	問5-6 実際に部落差別について見聞きした内容	30
(8)	問5-7 同和問題の解決のために必要だと思うこと	32
3	女性	34
(1)	問6 女性に関する事柄で、人権上問題があると思われること	34
(2)	問7 女性の人権を守るために必要だと思うこと	37
4	子ども	39
(1)	問8 子どもに関する事柄で、人権上問題があると思われること	39
(2)	問9 子どもの人権を守るために必要だと思うこと	41

5	高齢者	43
	(1) 問10 高齢者に関する事柄で、人権上問題があると思われること	43
	(2) 問11 高齢者の人権を守るために必要だと思われること	45
6	障がいのある人	47
	(1) 問12 障がいのある人に関する事柄で、人権上問題があると思われること	47
	(2) 問13 障がいのある人の人権を守るために必要だと思われること	49
7	外国人	51
	(1) 問14 外国人に関する事柄で、人権上問題があると思われること	51
	(2) 問15 外国人の人権を守るために必要だと思われること	53
8	感染症患者等	55
	(1) 問16 感染症患者等に関する事柄で、人権上問題があると思われること	55
	(2) 問17 感染症患者等の人権を守るために必要だと思われること	57
9	性的指向・性自認	59
	(1) 問18 LGBT等の性的少数者に関する事柄で、人権上問題があると思われること	59
	(2) 問19 LGBT等の性的少数者について、どのような考えを持っているか	62
	(3) 問20 LGBT等の性的少数者の人権を守るために必要だと思われること	68
10	インターネットにおける人権侵害	70
	(1) 問21 インターネットにおける人権侵害に関する事柄で、問題があると思われること	70
	(2) 問22 インターネットにおける人権侵害について、どのような考えを持っているか	72
11	職場の人権	80
	(1) 問23 職場の人権に関する事柄で、人権上問題があると思われること	80
	(2) 問24 職場の人権を守るために必要だと思われること	82
12	犯罪被害者等	84
	(1) 問25 犯罪被害者等の人権に関する事柄で、人権上問題があると思われること	84
	(2) 問26 犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思われること	86
13	災害と人権	88
	(1) 問27 災害に関する事柄で、人権上問題があると思われること	88
	(2) 問28 災害時に人権を守るために必要だと思われること	90
14	今後の人権教育・啓発のあり方に関する意識等	92
	(1) 問29 人権尊重の考え方に強い影響を受けたもの	92
	(2) 問29-1 人権尊重の考え方に強い影響を受けたものの内容	94
	(3) 問30 人権尊重の社会実現のために必要なこと	96
	(4) 問31 人権に関する宣言等や取組について知っているか	98
15	人権に関する意見・感想	114
IV	設問間クロス集計分析	119
	1 問1×問29	119

2	問1×問30.....	120
3	問2×問29.....	121
4	問2×問30.....	122
5	問4-1×問4-3	123
6	問4-1×問4-4	124
7	問4-1×問30.....	125
8	問5-1×問5-4	126
9	問5-2×問5-4	127
10	問5-3×問5-4	128
11	問5-3×問5-5	129
12	問5-4×問5-5	130
13	問5-4×問5-2×問5-1.....	131
V	調査票	134

I 調査概要

I 調査概要

1 調査の目的

高知市民の人権に関する意識の現状把握を行い、今後の人権施策を推進していくための基礎資料とすることを目的に、「人権に関する市民の意識調査」を実施しました。

2 調査の方法

- ・調査地域 高知市内全域
- ・調査対象 高知市在住の満20歳から79歳までの男女3,000人
(女性1,564人、男性1,436人)
- ・抽出方法 住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出
- ・抽出日 令和2年6月18日

<年代別性別抽出状況>

年代	総数	女性	男性
20歳代	354人	174人	180人
30歳代	435人	223人	212人
40歳代	606人	309人	297人
50歳代	528人	274人	254人
60歳代	532人	282人	250人
70歳代	545人	302人	243人
合計	3,000人	1,564人	1,436人

- ・調査方法 郵送調査法
- ・調査期間 令和2年6月30日～令和2年7月20日

3 回収状況

- ・有効回収数 1,143人(女性688人、男性419人、性別無回答36人)
- ・有効回収率 38.1%(女性44.0%、男性29.2%)
※年齢・性別不明を含めた回収率

<年代別性別回収状況>

年代	女性			男性			無回答・その他 回答数
	抽出数	回答数	回答率	抽出数	回答数	回答率	
20歳代	174	43	24.7	180	32	17.8	6
30歳代	223	84	37.7	212	43	20.3	1
40歳代	309	136	44.0	297	73	24.6	6
50歳代	274	119	43.4	254	76	29.9	7
60歳代	282	157	55.7	250	93	37.2	5
70歳代	302	148	49.0	243	102	42.0	4
無回答・その他	-	1	-	-	-	-	7
合計	1,564	688	44.0	1,436	419	29.2	36

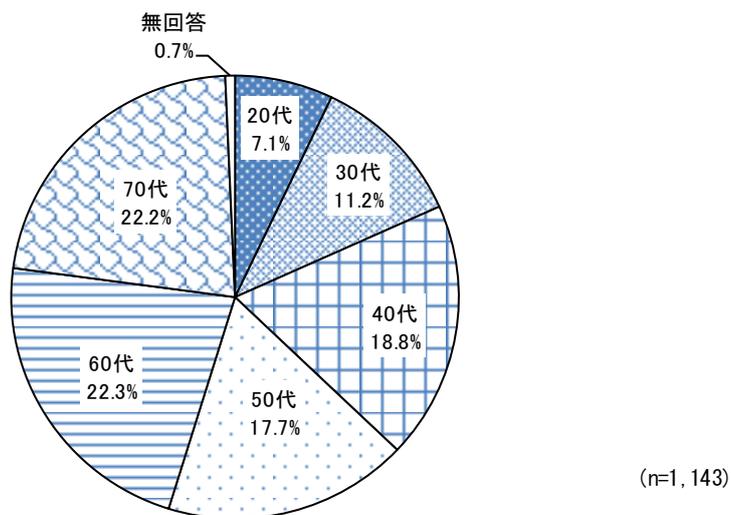
4 注意事項

- 図表中の「n」(Number of samples の略)は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数です。
- 図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しています。
- 複数回答の設問は、回答が2つ以上ありうるので、合計は100%を超えることもあります。
- 各設問の集計は、無回答を含めて集計しています。

II 回答者の属性

II 回答者の属性

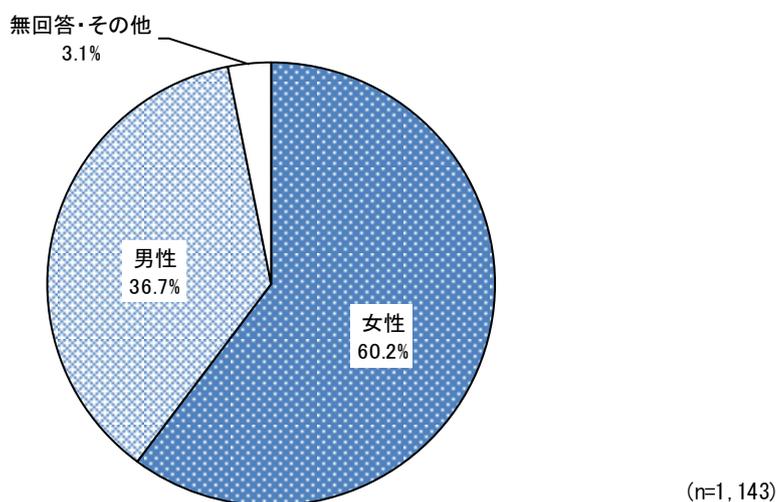
1 年代別構成



年代別構成は、「60代」が22.3%と最も高く、次いで「70代」が22.2%、「40代」が18.8%となっており、60代以上が44.5%を占めている。

一方、「20代」は7.1%、「30代」は11.2%と30代以下の若年者は18.3%となっている。

2 性別構成



性別構成では、「女性」60.2%、「男性」が36.7%となっている。

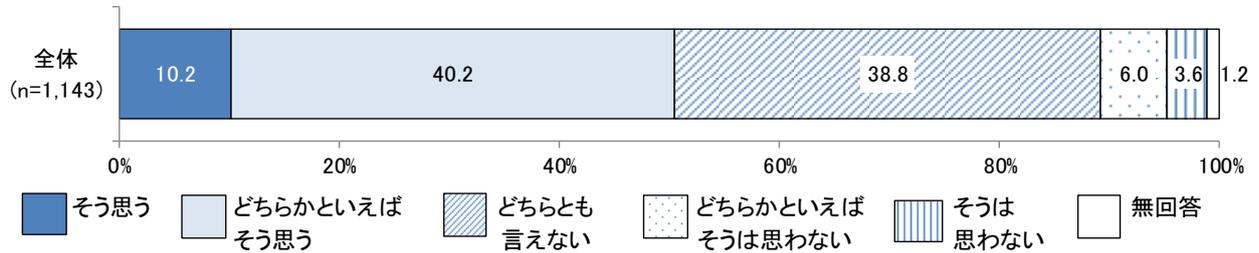
Ⅲ 調査結果

Ⅲ 調査結果

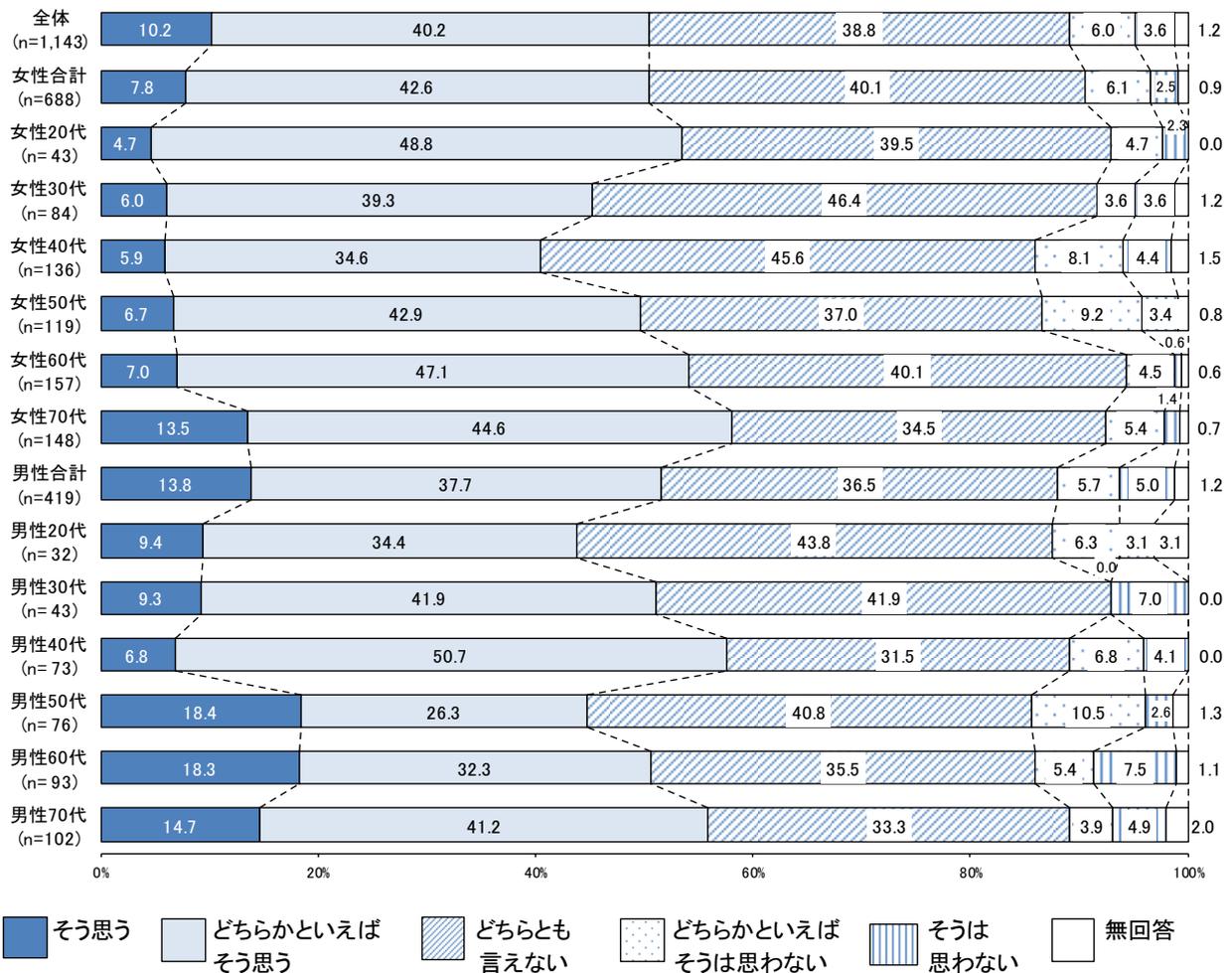
1 人権全般

(1) 問1 人権が尊重されているまちだと思うか

問1 あなたは、「今の高知市は、市民一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と思いますか。
(○は1つ)



今の高知市は、市民一人ひとりの人権が尊重されているまちであるかをみると、「どちらかといえばそう思う」の割合が40.2%で最も高く、次いで「どちらとも言えない」が38.8%、「そう思う」10.2%となっている。



性別でみると、「思う（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた）」の割合は、女性50.4%、男性51.5%と、性別による大きな差はみられないが、「そう思う」は女性(7.8%)より男性(13.8%)が6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、全ての年代で「そう思う」の割合は、女性より男性が高くなっている。

(数値:%)

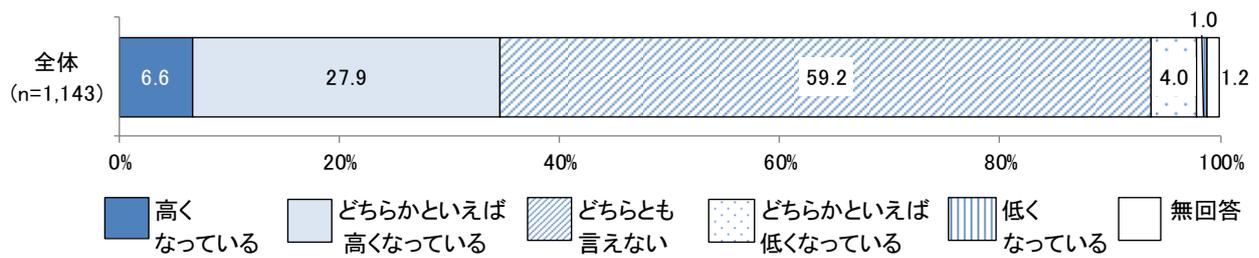
	調査数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらとも言えない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答	
全体	1,143	10.2	40.2	38.8	6.0	3.6	1.2	
性・年代別	女性計	688	7.8	42.6	40.1	6.1	2.5	0.9
	20代	43	4.7	48.8	39.5	4.7	2.3	0.0
	30代	84	6.0	39.3	46.4	3.6	3.6	1.2
	40代	136	5.9	34.6	45.6	8.1	4.4	1.5
	50代	119	6.7	42.9	37.0	9.2	3.4	0.8
	60代	157	7.0	47.1	40.1	4.5	0.6	0.6
	70代	148	13.5	44.6	34.5	5.4	1.4	0.7
	男性計	419	13.8	37.7	36.5	5.7	5.0	1.2
	20代	32	9.4	34.4	43.8	6.3	3.1	3.1
	30代	43	9.3	41.9	41.9	0.0	7.0	0.0
	40代	73	6.8	●50.7	31.5	6.8	4.1	0.0
	50代	76	18.4	26.3	40.8	10.5	2.6	1.3
	60代	93	18.3	32.3	35.5	5.4	7.5	1.1
	70代	102	14.7	41.2	33.3	3.9	4.9	2.0

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

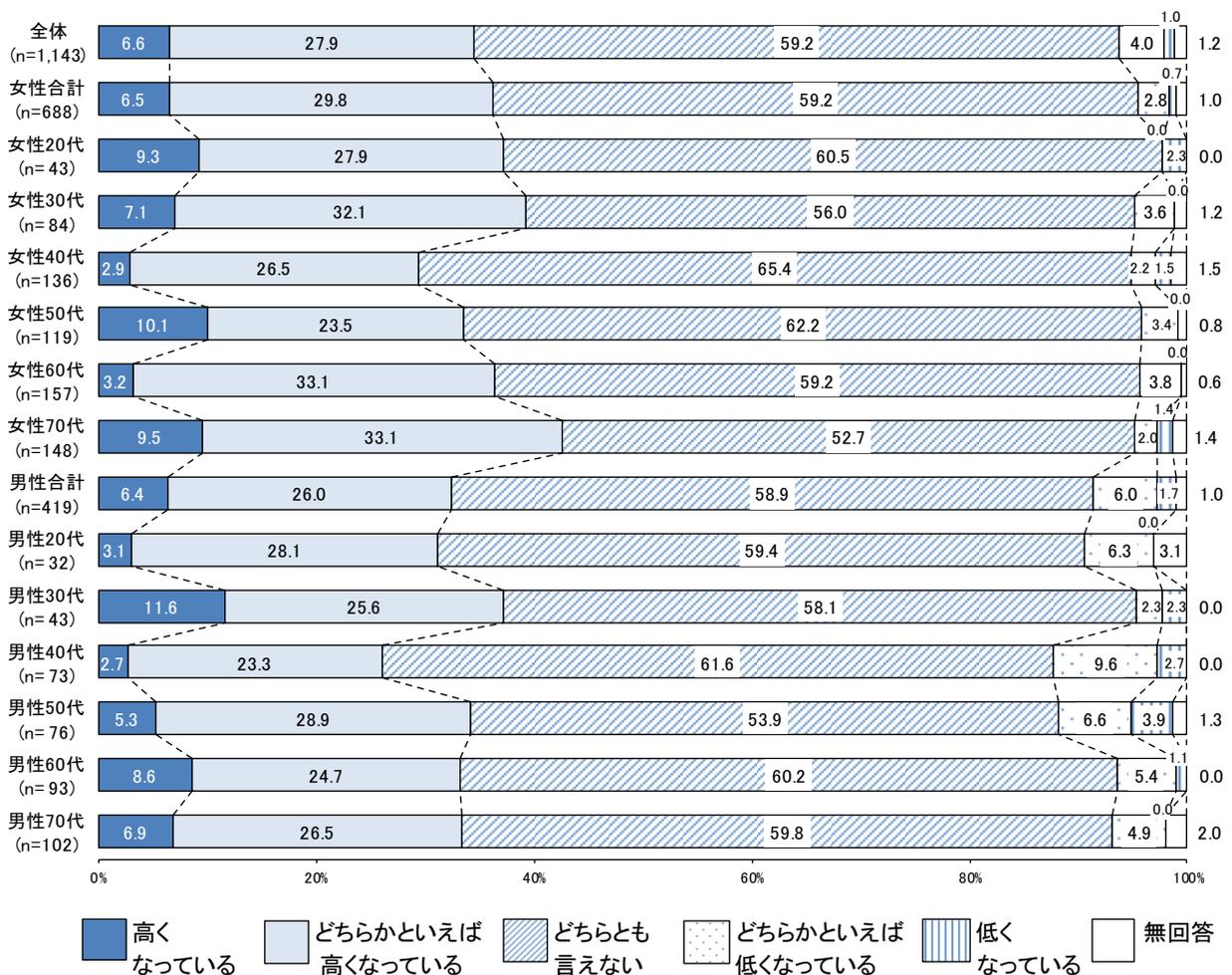
「そう思う」の割合は、男性では年代が高い程高く、「どちらとも言えない」の割合は、年代が低い女性が高くなっている。「どちらかといえばそう思う」の割合は、40代男性で50.7%と最も高く、唯一5割を占めている。

(2) 問2 人権意識の変化

問2 あなたは、「市民一人ひとりの人権意識は、5～6年前に比べて高くなっている」と思いますか。
(○は1つ)



市民一人ひとりの人権意識の高まりについてみると、「どちらとも言えない」の割合が59.2%で最も高く、次いで「どちらかといえば高くなっている」が27.9%、「高くなっている」6.6%となっている。



性別で見ると、「高い（「高くなっている」と「どちらかといえば高くなっている」を合わせた）」の割合は、男性（32.4%）より女性（36.3%）が約4ポイント高く、「低い（「どちらかといえば低くなっている」と「低くなっている」を合わせた）」の割合は、女性（3.5%）より男性（7.7%）が約4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「高い」は50代女性を除く全ての年代で、男性より女性の割合が高く、「低い」は全ての年代で女性より男性の割合が高くなっている。

(数値:%)

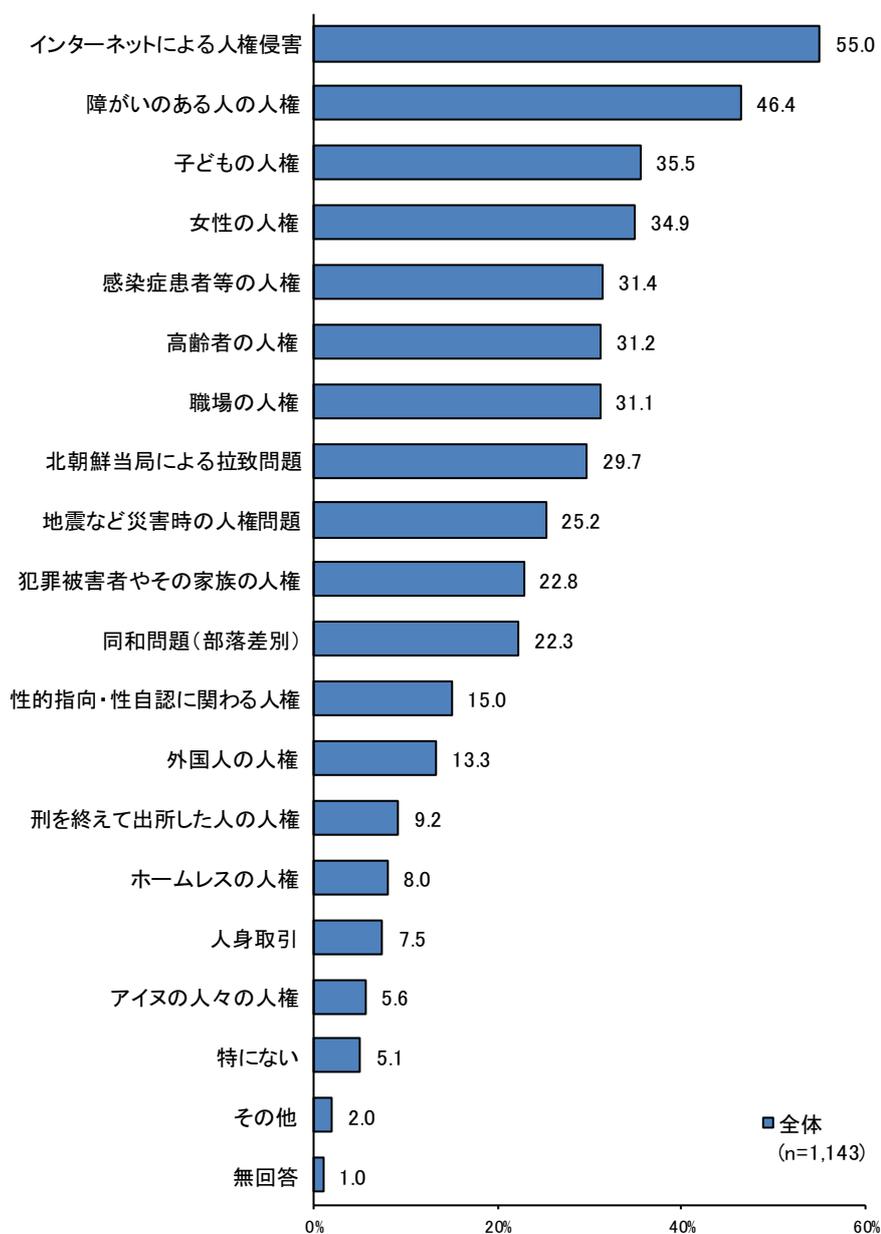
	調査数	高くなっている	どちらかといえば高くなっている	どちらとも言えない	どちらかといえば低くなっている	低くなっている	無回答	
全体	1,143	6.6	27.9	59.2	4.0	1.0	1.2	
性・年代別	女性計	688	6.5	29.8	59.2	2.8	0.7	1.0
	20代	43	9.3	27.9	60.5	0.0	2.3	0.0
	30代	84	7.1	32.1	56.0	3.6	0.0	1.2
	40代	136	2.9	26.5	65.4	2.2	1.5	1.5
	50代	119	10.1	23.5	62.2	3.4	0.0	0.8
	60代	157	3.2	33.1	59.2	3.8	0.0	0.6
	70代	148	9.5	33.1	52.7	2.0	1.4	1.4
	男性計	419	6.4	26.0	58.9	6.0	1.7	1.0
	20代	32	3.1	28.1	59.4	6.3	0.0	3.1
	30代	43	11.6	25.6	58.1	2.3	2.3	0.0
	40代	73	2.7	23.3	61.6	9.6	2.7	0.0
	50代	76	5.3	28.9	53.9	6.6	3.9	1.3
	60代	93	8.6	24.7	60.2	5.4	1.1	0.0
	70代	102	6.9	26.5	59.8	4.9	0.0	2.0

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

全体と比較し、5ポイント以上高くなっている年代をみると、「高くなっている」は30代男性で11.6%、「どちらかといえば高くなっている」は60代女性、70代女性ともに33.1%、「どちらとも言えない」は40代女性で65.4%、「どちらかといえば低くなっている」は40代男性で9.6%となっている。

(3) 問3 関心のある人権問題

問3 あなたが関心のある人権問題は、次のどれですか。(〇はいくつでも)



(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

関心のある人権問題をみると、「インターネットによる人権侵害」の割合が55.0%で最も高く、唯一5割を超えており、次いで「障がいのある人の人権」が46.4%、「子どもの人権」35.5%となっている。

(数値:%)

	調査数	差別・同和問題（部落）	女性の権利	子どもの権利	高齢者の権利	障がいのある人の権利	外国人の権利	感染症患者等の権利	インターネットによる人権侵害	アイヌの人々の権利	ホームレスの権利	地震など災害時の人権問題	北朝鮮当局による拉致問題	
全体	1,143	22.3	34.9	35.5	31.2	46.4	13.3	31.4	55.0	5.6	8.0	25.2	29.7	
性・年代別	女性計	688	21.4	44.6	39.7	34.6	49.0	13.2	33.1	57.4	5.7	8.7	28.2	30.5
	20代	43	30.2	69.8	37.2	18.6	41.9	20.9	23.3	72.1	4.7	16.3	30.2	16.3
	30代	84	17.9	59.5	57.1	21.4	48.8	16.7	36.9	53.6	2.4	2.4	32.1	14.3
	40代	136	25.0	49.3	50.7	22.1	39.7	14.7	39.7	73.5	4.4	5.1	27.9	25.7
	50代	119	14.3	52.1	39.5	36.1	47.1	14.3	31.1	68.9	5.0	6.7	24.4	30.3
	60代	157	21.7	33.8	29.3	33.8	53.5	10.2	35.0	54.1	5.7	11.5	25.5	33.1
	70代	148	23.0	30.4	31.8	58.1	56.8	10.1	27.7	34.5	9.5	11.5	31.1	45.3
	男性計	419	24.8	19.1	29.4	25.8	42.7	13.6	29.6	51.3	5.5	6.9	21.0	29.4
	20代	32	25.0	6.3	25.0	15.6	40.6	9.4	18.8	50.0	0.0	6.3	18.8	12.5
	30代	43	32.6	25.6	37.2	11.6	34.9	20.9	34.9	51.2	4.7	7.0	32.6	14.0
	40代	73	24.7	20.5	35.6	19.2	35.6	17.8	34.2	56.2	2.7	5.5	24.7	19.2
	50代	76	22.4	14.5	23.7	19.7	46.1	3.9	30.3	57.9	5.3	3.9	22.4	19.7
	60代	93	28.0	22.6	30.1	30.1	45.2	18.3	35.5	54.8	8.6	10.8	16.1	38.7
	70代	102	20.6	19.6	26.5	40.2	47.1	11.8	21.6	40.2	6.9	6.9	17.6	47.1

	調査数	認知的関わり・人権自	職場の権利	人身取引	犯罪被害者やその家族の権利	刑を終えて出所した人の権利	その他	特にな	無回答	
全体	1,143	15.0	31.1	7.5	22.8	9.2	2.0	5.1	1.0	
性・年代別	女性計	688	17.7	32.3	9.2	24.9	8.6	1.7	3.3	1.0
	20代	43	30.2	41.9	11.6	25.6	16.3	4.7	2.3	0.0
	30代	84	32.1	34.5	8.3	14.3	3.6	1.2	1.2	1.2
	40代	136	24.3	36.0	8.8	27.2	8.1	1.5	4.4	0.0
	50代	119	16.8	38.7	10.9	36.1	8.4	2.5	0.0	1.0
	60代	157	10.2	29.3	7.0	26.1	9.6	2.5	5.1	1.9
	70代	148	8.8	23.0	9.5	17.6	8.1	0.0	4.7	2.0
	男性計	419	11.2	28.4	5.5	20.0	10.7	2.1	7.2	1.0
	20代	32	12.5	34.4	0.0	9.4	6.3	0.0	6.3	3.1
	30代	43	16.3	27.9	4.7	14.0	7.0	0.0	11.6	0.0
	40代	73	20.5	35.6	5.5	21.9	9.6	1.4	6.8	0.0
	50代	76	7.9	34.2	7.9	17.1	9.2	2.6	6.6	1.3
	60代	93	10.8	24.7	6.5	21.5	15.1	5.4	5.4	0.0
	70代	102	4.9	20.6	4.9	25.5	11.8	1.0	7.8	2.0

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

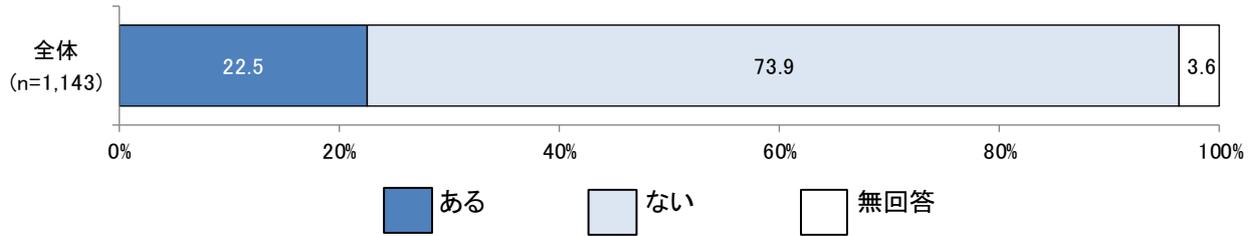
女性・男性ともに「インターネットによる人権侵害」の割合が最も高く、次いで「障がいのある人の権利」の順となっているが、第3位をみると、女性では「女性の権利」、男性では「感染症患者等の権利」の順となっている。

また、「同和問題（部落差別）」「外国人の権利」「刑を終えて出所した人の権利」「その他」「特にな」の割合は、女性より男性が高く、それ以外の項目では男性より女性の割合が高くなっている。

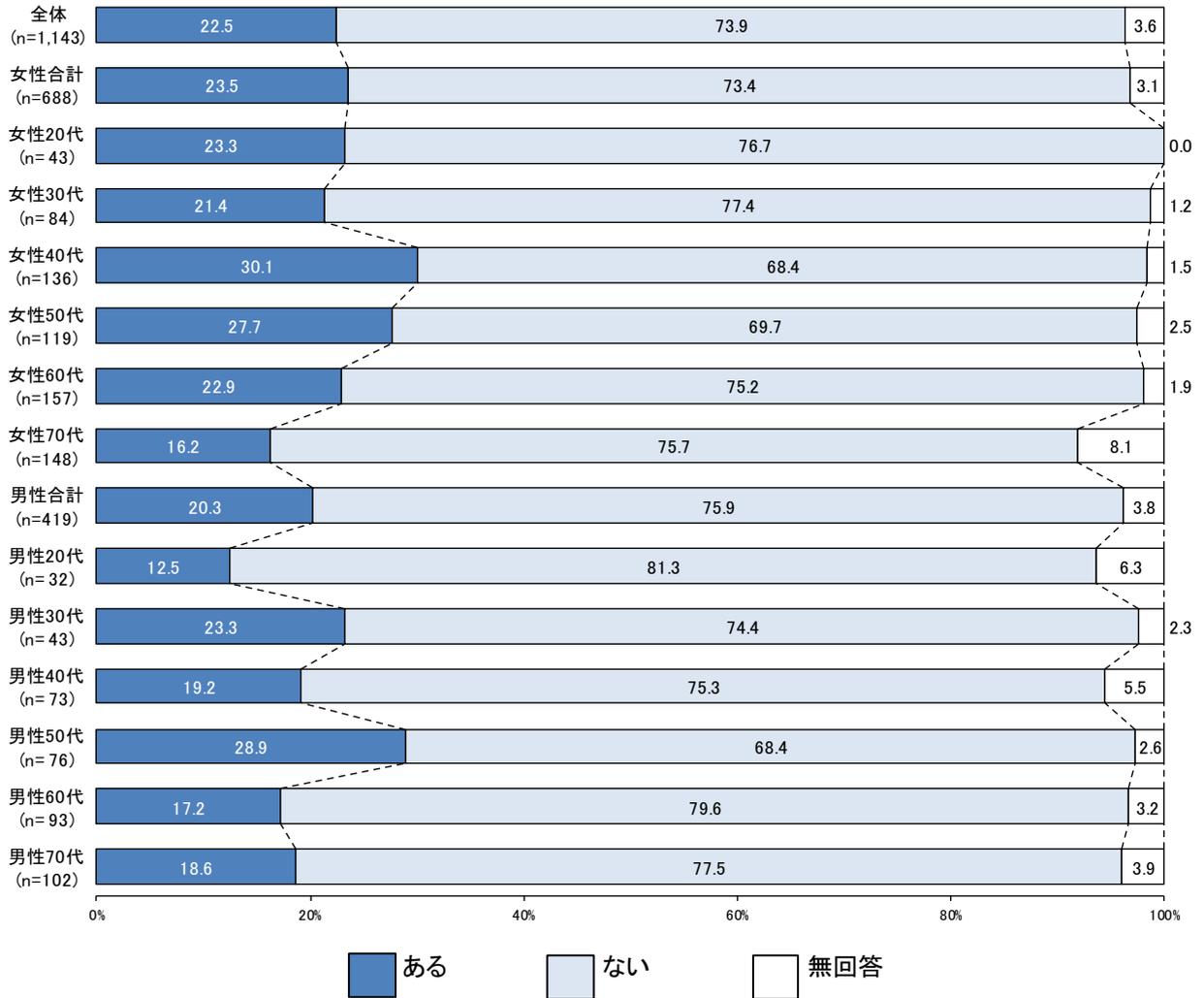
性・年代別でみると、女性では「女性の権利」の割合は年代が低いほど高く、20代女性で69.8%と約7割を占めており、「子どもの権利」や「インターネットによる人権侵害」の割合も、年代が低いほど男性に比べて女性が高くなっている。また、「北朝鮮当局による拉致問題」の割合は、年代が高いほど高く、女性・男性ともに70代で最も高くなっている。

(4) 問4 人権侵害の経験

問4 あなた自身やご家族の人権が侵害された、あるいはそう感じたことがありますか。(○は1つ)



ご自身やご家族の人権が侵害された、あるいはそう感じた事についてみると、「ない」は73.9%、「ある」は22.5%となっている。

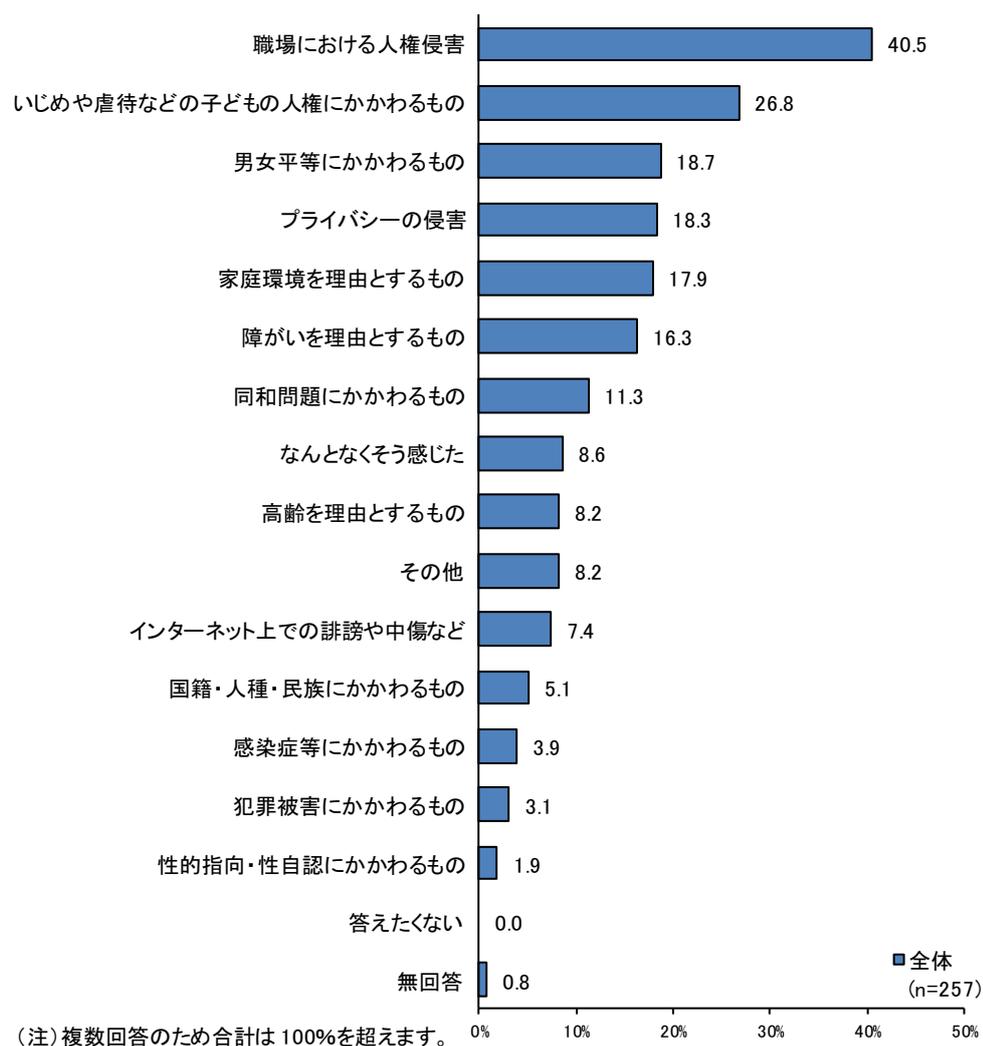


性別でみると、大きな差はみられなかった。

性・年代別でみると、「ある」は40代女性(30.1%)、50代男性(28.9%)で最も高く、「ない」は30代女性(77.4%)、20代男性(81.3%)で最も高くなっている。

(5) 問4-1 人権が侵害されたと思った内容

問4-1 (問4で「ある」とお答えの方に)
それはどのような人権侵害でしたか。(〇はいくつでも)



人権侵害の内容をみると、「職場における人権侵害」の割合が40.5%で最も高く、次いで「いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの」が26.8%、「男女平等にかかわるもの」18.7%の順となっている。

(数値・%)

	調査数	も同の問題にかかわる	も男女平等にかかわる	わら子どもの人権にかかわるもの	いじめや虐待などの	の高齢を理由とするもの	障がいをする理由とするもの	かかわるもの	国籍・人種・民族にかかわるもの	感染症等にかかわるもの	犯罪被害にかかわるもの	性的指向・性自認にかかわるもの	職場における人権侵害	プライバシーの侵害	家庭環境を理由とするもの
全体	257	11.3	18.7	26.8	8.2	16.3	5.1	3.9	3.1	1.9	40.5	18.3	17.9		
性・年代別	女性計	162	11.1	23.5	25.9	5.6	15.4	3.7	4.9	3.7	3.1	43.2	17.3	18.5	
	20代	10	10.0	●40.0	30.0	0.0	20.0	●20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	10.0	
	30代	18	16.7	22.2	27.8	0.0	16.7	0.0	5.6	0.0	0.0	●55.6	0.0	16.7	
	40代	41	4.9	●31.7	31.7	2.4	12.2	2.4	2.4	7.3	7.3	●51.2	12.2	17.1	
	50代	33	9.1	15.2	27.3	6.1	18.2	3.0	3.0	3.0	0.0	48.5	15.2	15.2	
	60代	36	11.1	25.0	25.0	8.3	19.4	2.8	●13.9	5.6	5.6	36.1	25.0	16.7	
	70代	24	20.8	12.5	12.5	12.5	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	25.0	●29.2	●33.3	
	男性計	85	12.9	8.2	29.4	12.9	18.8	8.2	2.4	2.4	0.0	35.3	20.0	14.1	
	20代	4	●25.0	25.0	●75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	●25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	
	30代	10	●30.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	
	40代	14	7.1	21.4	21.4	●21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	35.7	●28.6	14.3	
	50代	22	13.6	0.0	●45.5	9.1	22.7	4.5	4.5	4.5	0.0	36.4	13.6	9.1	
	60代	16	12.5	6.3	31.3	●18.8	●31.3	●18.8	0.0	0.0	0.0	37.5	6.3	18.8	
	70代	19	5.3	0.0	10.5	15.8	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	31.6	●36.8	21.1	

	調査数	のインターネット上で誹謗や中傷など	その他	たんとなくそう感じ	答えたくない	無回答	
全体	257	7.4	8.2	8.6	0.0	0.8	
性・年代別	女性計	162	6.8	6.2	11.1	0.0	0.6
	20代	10	●20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	30代	18	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0
	40代	41	9.8	4.9	9.8	0.0	0.0
	50代	33	6.1	12.1	●24.2	0.0	0.0
	60代	36	8.3	5.6	11.1	0.0	0.0
	70代	24	0.0	0.0	8.3	0.0	4.2
	男性計	85	8.2	11.8	4.7	0.0	1.2
	20代	4	●50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	10	10.0	0.0	●30.0	0.0	10.0
	40代	14	14.3	●35.7	0.0	0.0	0.0
	50代	22	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0
	60代	16	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	70代	19	0.0	15.8	5.3	0.0	0.0

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別で見ると、女性・男性ともに「職場における人権侵害」の割合が最も高く、次いで「いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの」の順となっているが、第3位をみると、女性では「男女平等にかかわるもの」、男性では「プライバシーの侵害」の順となっている。

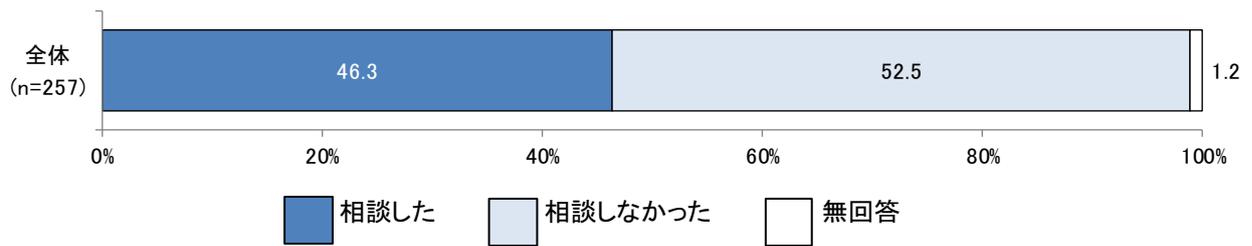
性・年代別で見ると、「職場における人権侵害」では30代・40代女性の割合が他の年代と比べて高く、「いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの」では20代・50代男性の割合が他の年代と比べて高くなっている。

また、「インターネット上で誹謗や中傷など」は女性・男性ともに20代が最も高くなっている。

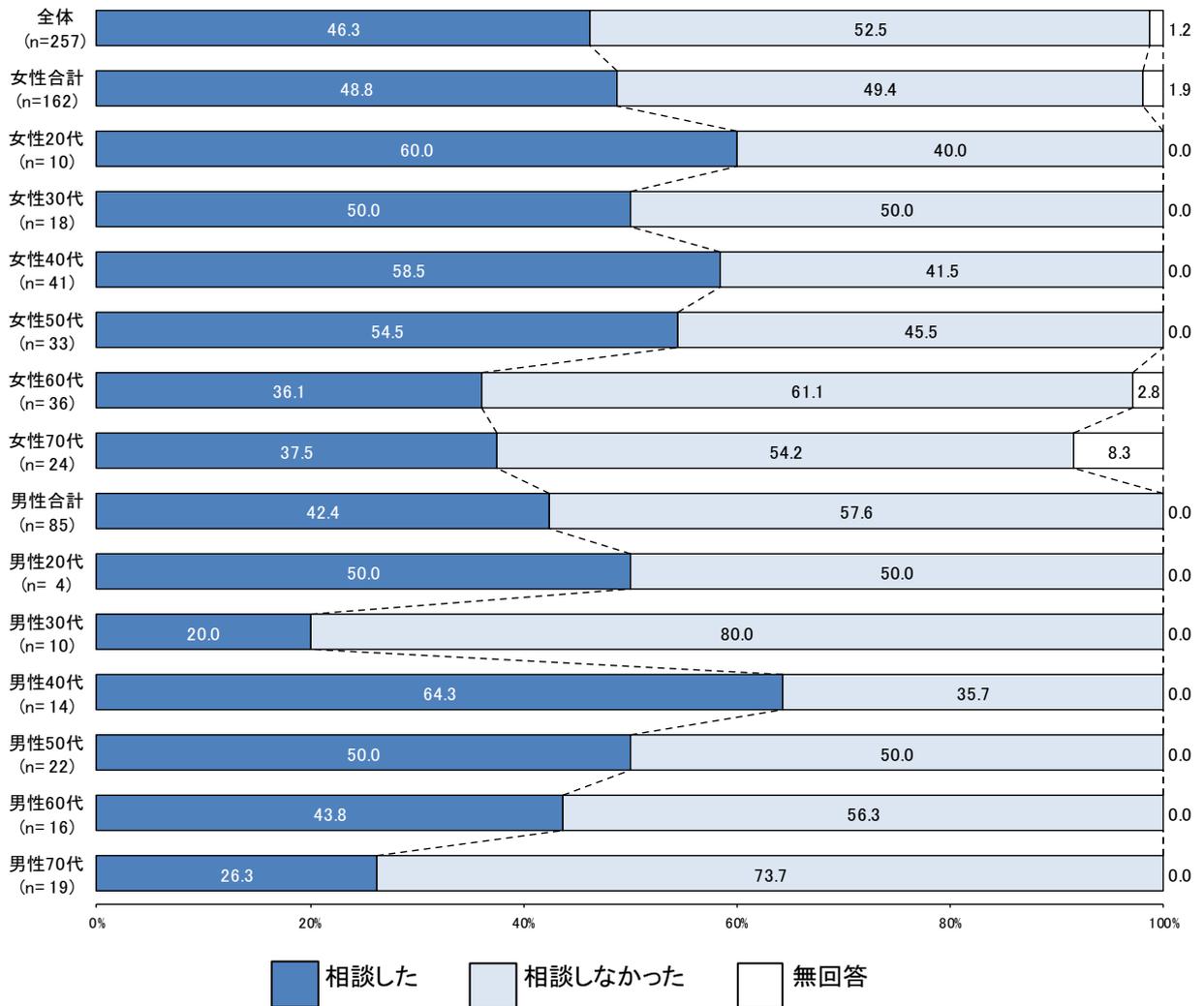
(6) 問4-2 人権侵害を受けた時の対処

問4-2 (問4で「ある」とお答えの方に)

その時、どこ(誰)かに相談されましたか。(〇は1つ)



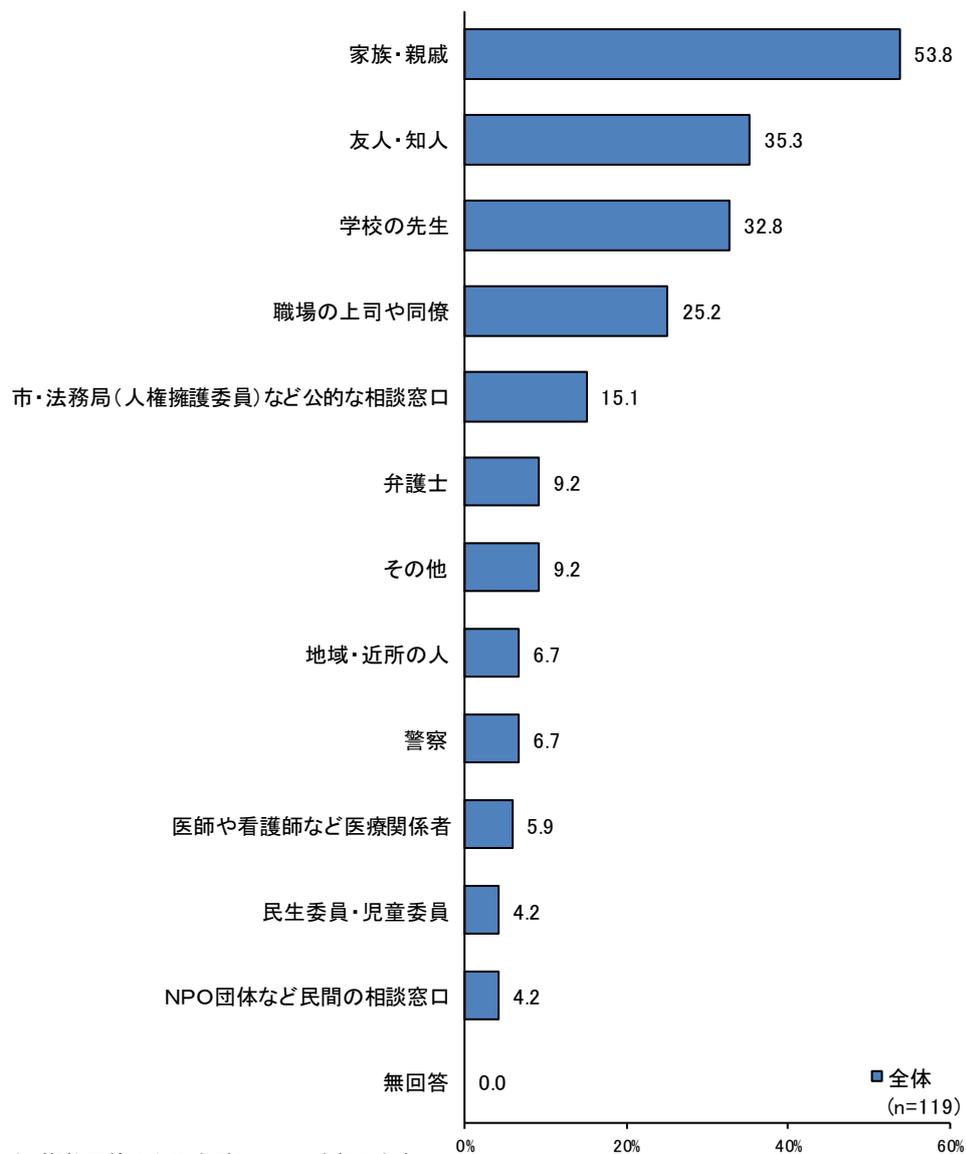
人権侵害を受けた時の相談状況についてみると、「相談しなかった」が52.5%、「相談した」が46.3%となっている。



性別で見ると、「相談した」割合は、男性(42.4%)より女性(48.8%)が6.4ポイント高くなっている。性・年代別で見ると、「相談した」割合は、20代女性で60.0%、40代男性で64.3%と最も高く、「相談しなかった」割合は、60代女性で61.1%、30代男性で80.0%と最も高くなっている。

(7) 問4-3 人権侵害を受けた時の相談先

問4-3 (問4-2で「相談した」とお答えの方に)
どこ(誰)に相談しましたか。(〇はいくつでも)



相談先についてみると、「家族・親戚」の割合が53.8%と最も高く、唯一5割を超えており、次いで「友人・知人」が35.3%、「学校の先生」32.8%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	家族・親戚	友人・知人	地域・近所の人	民生委員・児童委員	学校の先生	職場の上司や同僚	警察	市・法務局(人権擁護委員)などの公的な相談窓口	弁護士	医師や看護師など医療関係者	NPO団体など民間の相談窓口	その他	無回答	
全体	119	53.8	35.3	6.7	4.2	32.8	25.2	6.7	15.1	9.2	5.9	4.2	9.2	0.0	
性・年代別	女性計	79	●64.6	35.4	5.1	5.1	26.6	24.1	6.3	15.2	11.4	8.9	6.3	7.6	0.0
	20代	6	●66.7	●66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	●33.3	0.0	0.0	●16.7	0.0	0.0
	30代	9	●88.9	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	11.1	11.1	0.0	●22.2	11.1	0.0
	40代	24	●66.7	25.0	0.0	0.0	33.3	33.3	4.2	12.5	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0
	50代	18	50.0	38.9	0.0	11.1	22.2	27.8	5.6	22.2	16.7	11.1	5.6	11.1	0.0
	60代	13	61.5	38.5	7.7	7.7	23.1	7.7	7.7	0.0	7.7	●23.1	7.7	7.7	0.0
	70代	9	●66.7	33.3	●33.3	11.1	11.1	0.0	●22.2	22.2	●22.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性計	36	33.3	30.6	11.1	2.8	●50.0	27.8	5.6	16.7	5.6	0.0	0.0	13.9	0.0
	20代	2	50.0	●50.0	●50.0	0.0	●100.0	●50.0	●50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	2	●100.0	●100.0	0.0	0.0	0.0	●50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40代	9	33.3	22.2	11.1	0.0	●55.6	●44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	●33.3	0.0
	50代	11	27.3	18.2	0.0	9.1	●54.5	18.2	0.0	●36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
	60代	7	42.9	28.6	0.0	0.0	●57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70代	5	0.0	40.0	●40.0	0.0	20.0	20.0	●20.0	●40.0	●40.0	0.0	0.0	●20.0	0.0	

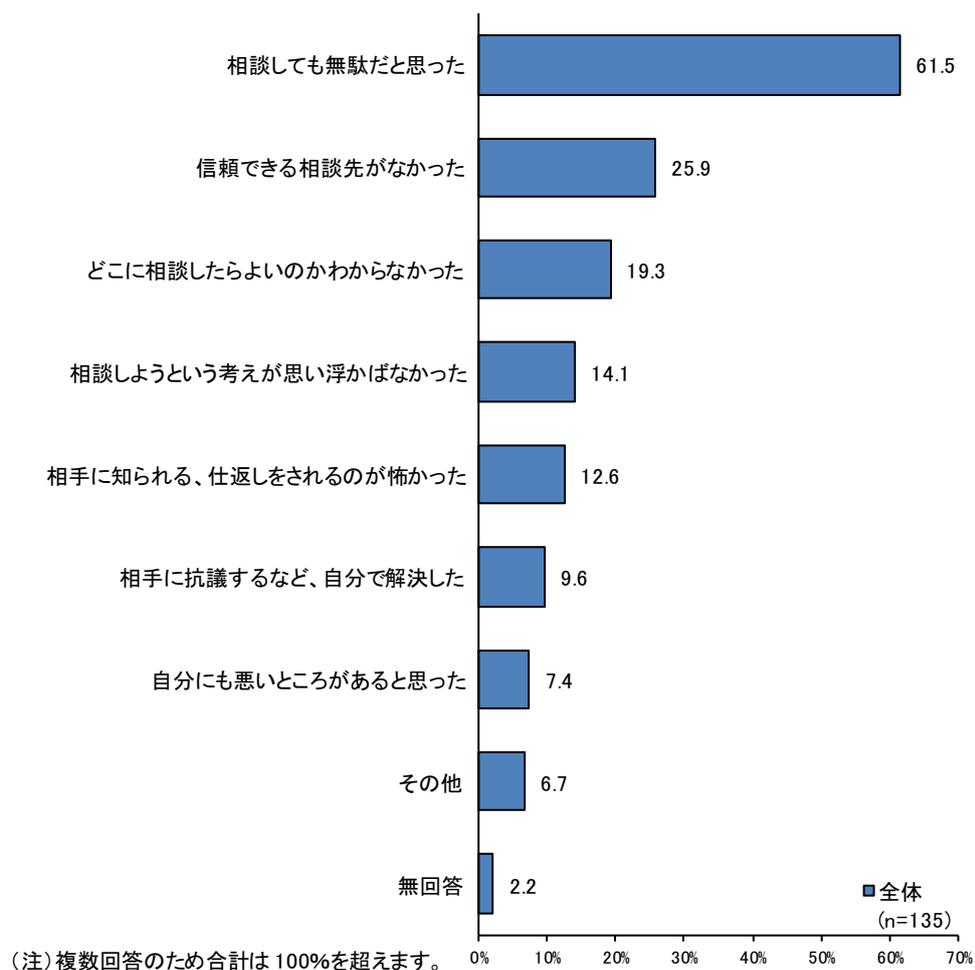
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性では「家族・親戚」の割合が64.6%で最も高く、次いで「友人・知人」が35.4%、「学校の先生」26.6%の順となっており、男性では「学校の先生」が50.0%で最も高く、次いで「家族・親戚」が33.3%、「友人・知人」30.6%の順となっている。

性・年代別でみると、「職場の上司や同僚」の割合は、50代を除き、全ての年代で女性より男性が高くなっている。また、「医師や看護師など医療関係者」「NPO団体など民間の相談窓口」については、男性の回答者はいなかった。

(8) 問4-4 相談しなかった理由

問4-4 (問4-2で「相談しなかった」とお答えの方に)
相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)



相談しなかった理由についてみると、「相談しても無駄だと思った」の割合が61.5%で最も高く、次いで「信頼できる相談先がなかった」が25.9%、「どこに相談したらよいのかわからなかった」19.3%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	どこに相談したかわからなかった	相談しようという考えが思い浮かばなかった	相談しても無駄だと思った	相手を知られるのが怖かった	自分にも悪いところがあると思った	相手に抗議するなど、自分で解決した	信頼できる相談先がなかった	その他	無回答	
全体	135	19.3	14.1	61.5	12.6	7.4	9.6	25.9	6.7	2.2	
性・年代別	女性計	80	16.3	8.8	65.0	15.0	8.8	10.0	28.8	7.5	1.3
	20代	4	0.0	0.0	●75.0	0.0	0.0	0.0	●25.0	0.0	0.0
	30代	9	22.2	11.1	●77.8	22.2	●22.2	11.1	●44.4	0.0	0.0
	40代	17	11.8	11.8	64.7	17.6	5.9	5.9	17.6	11.8	0.0
	50代	15	●33.3	6.7	60.0	6.7	6.7	6.7	33.3	13.3	0.0
	60代	22	9.1	13.6	68.2	●22.7	4.5	9.1	●40.9	4.5	0.0
	70代	13	15.4	0.0	53.8	7.7	15.4	●23.1	15.4	0.0	7.7
	男性計	49	22.4	●24.5	53.1	8.2	4.1	10.2	16.3	4.1	4.1
	20代	2	0.0	●50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	●50.0	0.0	0.0
	30代	8	12.5	●37.5	62.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	40代	5	●40.0	●40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	●20.0	0.0
	50代	11	18.2	18.2	54.5	9.1	0.0	18.2	18.2	9.1	0.0
	60代	9	22.2	11.1	66.7	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0
70代	14	28.6	21.4	42.9	7.1	0.0	7.1	14.3	0.0	14.3	

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別で見ると、女性・男性ともに「相談しても無駄だと思った」の割合が最も高くなっているが、女性では次いで「信頼できる相談先がなかった」(28.8%)、「どこに相談したらよいのかわからなかった」(16.3%)、男性では「相談しようという考えが思い浮かばなかった」(24.5%)、「どこに相談したらよいのかわからなかった」(22.4%)の順となっている。

性・年代別で見ると、20代男性、40代男性を除き、いずれの年代でも「相談しても無駄だと思った」の割合が最も高く、女性では年代が低いほど高くなっている。

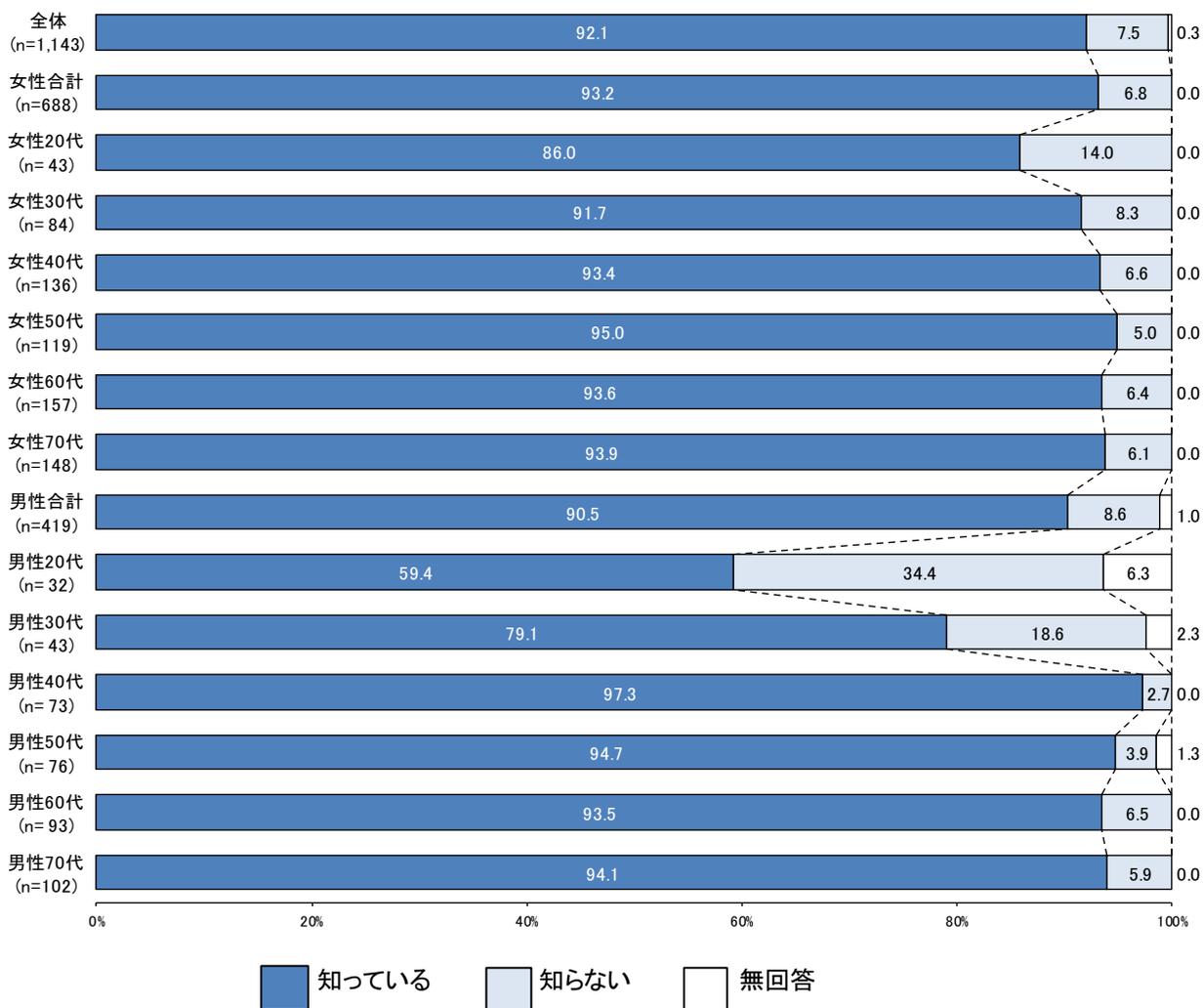
2 同和問題

(1) 問5 同和問題（部落差別）を知っているか

問5 あなたは、同和問題（部落差別）について、知っていますか。（〇は1つ）



同和問題の認知度についてみると、「知っている」の割合が92.1%、「知らない」が7.5%となっている。



性別で見ると、女性・男性ともに「知っている」の割合が9割を超えており、性別による大きな差はみられない。

性・年代別で見ると、女性・男性ともに年代が高いほど「知っている」の割合が高い傾向がみられる。

(数値:%)

	調査数	知っている	知らない	無回答	
全体	1,143	92.1	7.5	0.3	
年代別	20代	81	74.1 ●23.5	2.5	
	30代	128	87.5	11.7	0.8
	40代	215	94.9	5.1	0.0
	50代	202	95.0	4.5	0.5
	60代	255	93.7	6.3	0.0
	70代	254	93.7	6.3	0.0

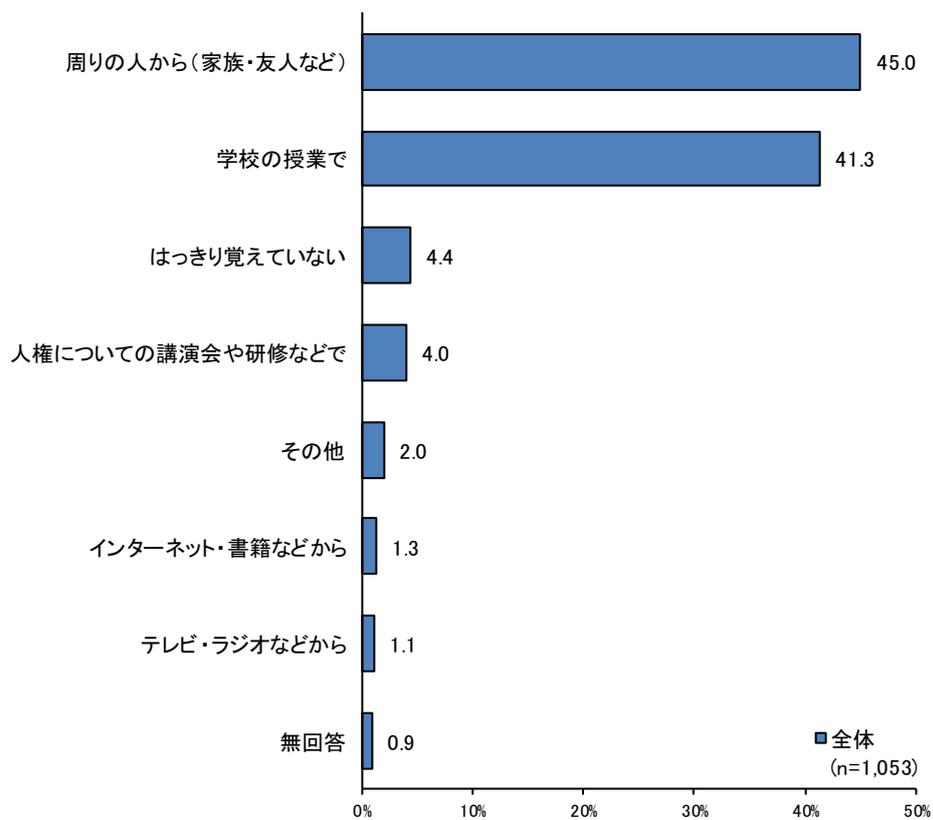
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「知っている」の割合は20代・30代を除く全ての年代で9割を超えているが、「知らない」の割合は、年代が低いほど高い傾向がみられ、20代で23.5%と、他の年代と比べて最も高くなっている。

(2) 問5-1 同和地区(部落差別)を知ったきっかけ

問5-1 (問5で「知っている」とお答えの方に)

あなたが同和問題(部落差別)について知った、主なきっかけは何ですか。(〇は1つ)



同和問題を知った主なきっかけについてみると、「周りの人から(家族・友人など)」の割合が45.0%で最も高く、次いで「学校の授業で」が41.3%、「はっきり覚えていない」4.4%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	族周 りの 人 な ら （家 ）	学 校 の 授 業 で	書 籍 な ど か ら	ど テ レ ビ ・ ラ ジ オ な	演 人 権 に つ い て の 講 演 会 や 研 修 な ど で	な は っ き り 覚 え て い ない	そ の 他	無 回 答	
全 体	1,053	45.0	41.3	1.3	1.1	4.0	4.4	2.0	0.9	
性・年代別	女性計	641	44.8	42.7	1.1	1.2	3.1	4.5	1.4	1.1
	20代	37	27.0	●62.2	5.4	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0
	30代	77	31.2	●64.9	2.6	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
	40代	127	29.9	●66.9	0.0	0.0	2.4	0.8	0.0	0.0
	50代	113	36.3	●57.5	0.0	0.0	0.9	3.5	1.8	0.0
	60代	147	●55.8	25.2	1.4	3.4	6.1	4.1	2.7	1.4
	70代	139	●66.2	9.4	0.7	2.2	4.3	12.2	1.4	3.6
	男性計	379	45.9	38.5	1.8	1.1	5.5	4.2	2.9	0.0
	20代	19	31.6	●57.9	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0
	30代	34	26.5	●61.8	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
	40代	71	22.5	●71.8	2.8	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0
	50代	72	47.2	45.8	0.0	0.0	2.8	1.4	2.8	0.0
	60代	87	●59.8	27.6	0.0	1.1	3.4	8.0	0.0	0.0
70代	96	●59.4	6.3	2.1	3.1	●14.6	7.3	7.3	0.0	

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性・男性ともに「周りの人から（家族・友人など）」が最も高く、次いで「学校の授業で」となっているが、第3位をみると、女性では「はっきり覚えていない」、男性では「人権についての講演会や研修などで」の順となっている。

性・年代別でみると、「周りの人から（家族・友人など）」は70代女性で66.2%と最も高く、「学校の授業で」は40代男性で71.8%と最も高くなっている。

	調査数	族周 りの 人 な ら （家 ）	学 校 の 授 業 で	書 籍 な ど か ら	ど テ レ ビ ・ ラ ジ オ な	演 人 権 に つ い て の 講 演 会 や 研 修 な ど で	な は っ き り 覚 え て い ない	そ の 他	無 回 答	
全 体	1,053	45.0	41.3	1.3	1.1	4.0	4.4	2.0	0.9	
年 代 別	20代	60	26.7	●63.3	5.0	0.0	3.3	0.0	1.7	0.0
	30代	112	29.5	●64.3	3.6	0.0	0.0	0.9	1.8	0.0
	40代	204	26.5	●69.1	1.0	0.0	2.0	1.5	0.0	0.0
	50代	192	41.1	●52.6	0.0	0.0	1.6	2.6	2.1	0.0
	60代	239	●56.9	25.5	0.8	2.5	5.0	5.4	2.1	1.7
	70代	238	●63.4	8.4	1.3	2.5	8.4	10.1	3.8	2.1

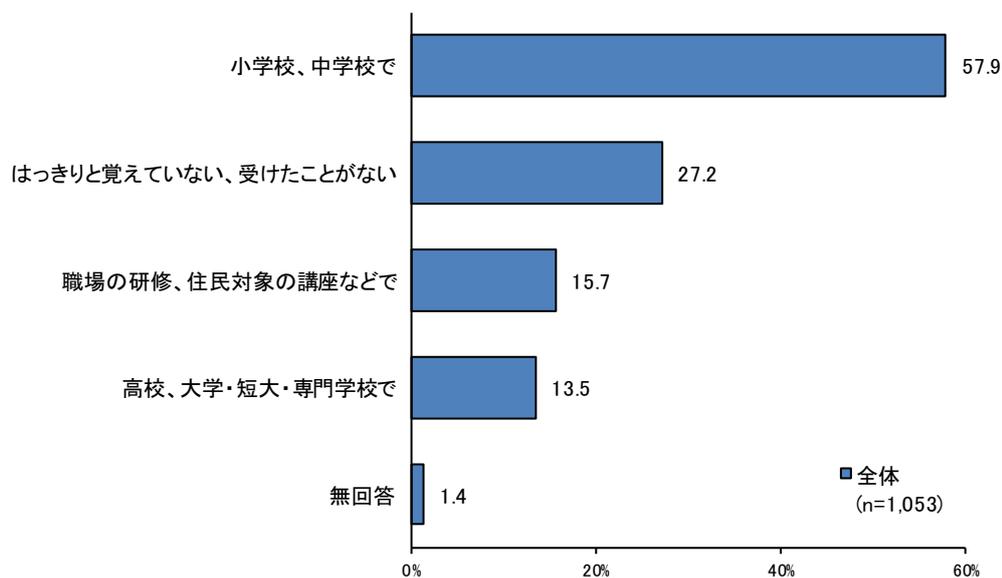
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「周りの人から（家族・友人など）」は年代が高い程高い傾向がみられ、「学校の授業で」は年代が低い程高い傾向がみられる。

(3) 問5-2 同和地区(部落差別)についての学習経験

問5-2 (問5で「知っている」とお答えの方に)

あなたは、同和問題(部落差別)について学校や職場、地域等で、学習したことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)



(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

同和問題の学習についてみると、「小学校、中学校で」の割合が57.9%で最も高く、次いで「はっきりと覚えていない、受けたことがない」が27.2%、「職場の研修、住民対象の講座などで」15.7%となっている。

(数値:%)

	調査数	小学校、中学校で	門 高 校、 学 校、 大 学・ 短 大・ 専	の 職 場 の 研 修 な ど で	い は、 っ きり と 覚 え て い な い	無 回 答	
全 体	1053	57.9	13.5	15.7	27.2	1.4	
性・ 年 代 別	女性 計	641	61.2	13.3	13.3	25.4	1.6
	20代	37	56.8	21.6	10.8	24.3	0.0
	30代	77	●80.5	6.5	7.8	18.2	0.0
	40代	127	●85.8	11.0	10.2	7.9	0.0
	50代	113	●79.6	15.0	9.7	15.0	0.0
	60代	147	46.9	19.7	19.7	30.6	2.7
	70代	139	28.8	8.6	15.8	●48.9	4.3
	男性 計	379	52.2	14.0	19.8	30.9	0.5
	20代	19	●78.9	●26.3	5.3	15.8	0.0
	30代	34	●76.5	●23.5	2.9	20.6	0.0
	40代	71	●84.5	11.3	18.3	9.9	0.0
	50代	72	●75.0	16.7	16.7	16.7	0.0
	60代	87	40.2	12.6	19.5	●43.7	0.0
	70代	96	8.3	9.4	●32.3	●52.1	2.1

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性・男性ともに「小学校、中学校で」の割合が最も高いが、男性（52.2%）より女性（61.2%）が9ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「小学校、中学校で」の割合は、女性・男性ともに40代で最も高く、8割を超えており、「はっきりと覚えていない、受けたことがない」は年代が高いほど高くなる傾向がみられ、女性・男性ともに70代で約5割を占めている。

(数値:%)

	調査数	小学校、中学校で	門 高 校、 学 校、 大 学・ 短 大・ 専	の 職 場 の 研 修 な ど で	い は、 っ きり と 覚 え て い な い	無 回 答	
全 体	1,053	57.9	13.5	15.7	27.2	1.4	
年 代 別	20代	60	66.7	21.7	8.3	20.0	0.0
	30代	112	●79.5	11.6	6.3	18.8	0.0
	40代	204	●85.3	11.3	13.2	8.8	0.0
	50代	192	●77.6	16.1	12.5	15.6	0.0
	60代	239	43.9	16.7	19.7	35.6	2.1
	70代	238	21.0	9.2	22.7	●49.6	3.4

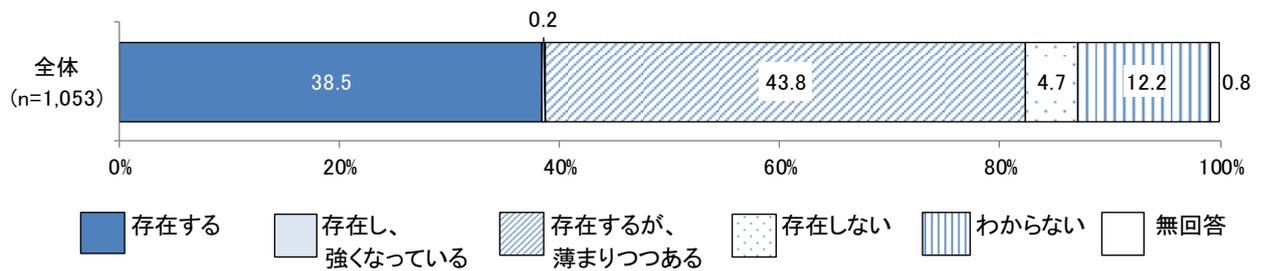
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「職場の研修、住民対象の講座などで」の割合は70代で22.7%と、他の年代と比べて最も高くなっている。

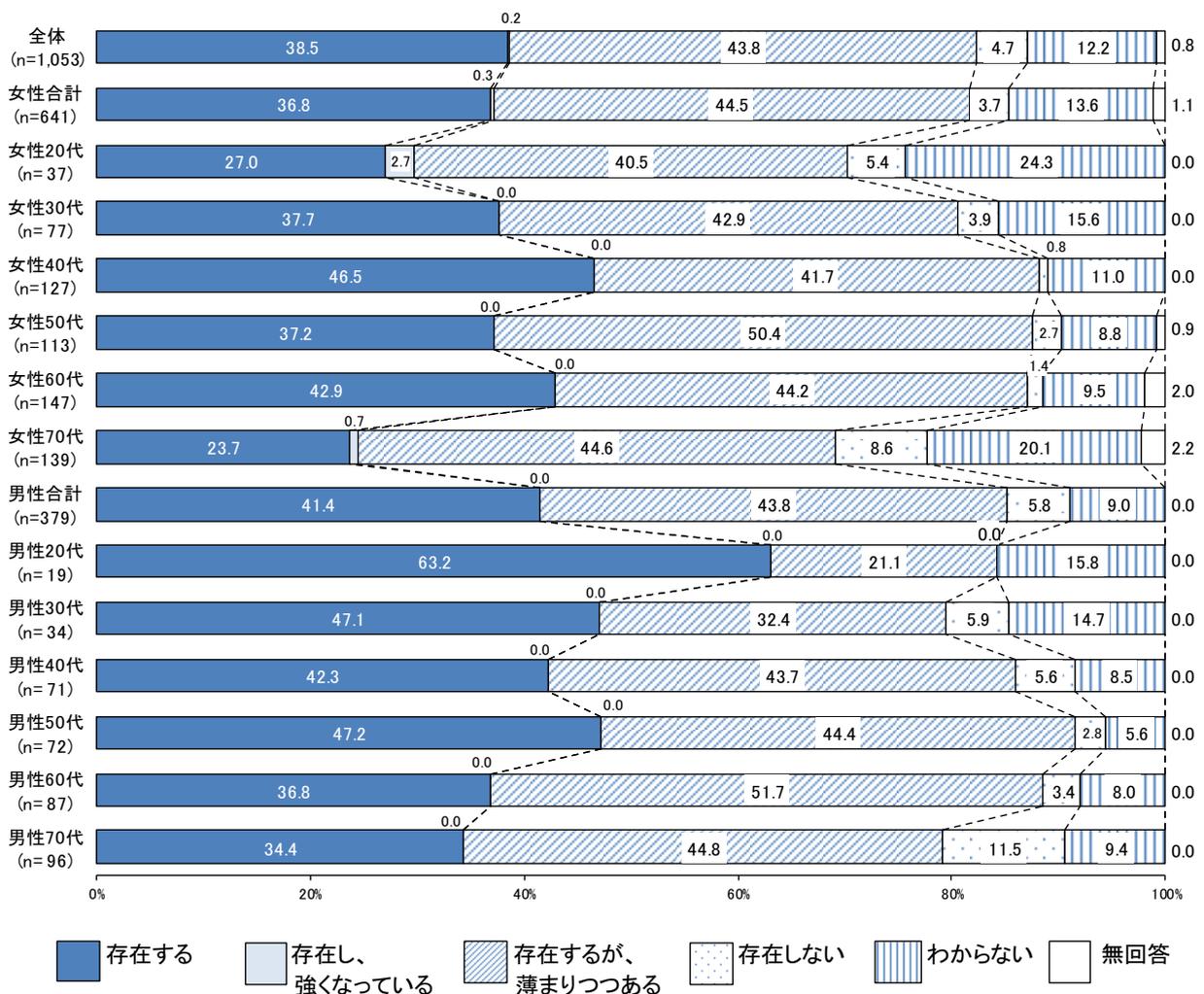
(4) 問5-3 同和地区や同和地区出身者に対する偏見や差別が存在すると思うか

問5-3 (問5で「知っている」とお答えの方に)

あなたは、社会の中に同和地区や同和地区出身者に対する偏見や差別が存在すると思いますか。(〇は1つ)



同和地区や同和地区出身者に対する偏見や差別の有無についてみると、「存在するが、薄まりつつある」の割合が43.8%で最も高く、次いで「存在する」が38.5%、「わからない」12.2%となっている。



性別で見ると、女性・男性ともに上位3項目は同じだが、「存在する」の割合は、女性(36.8%)より男性(41.4%)が約5ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「わからない」の割合は、いずれの年代も男性より女性が高く、20代女性で24.3%と最も高くなっている。

(数値:%)

	調査数	存在する	存在し、強くなっている	存在するが、薄まりつつある	存在しない	わからない	無回答	
全体	1,053	38.5	0.2	43.8	4.7	12.2	0.8	
年代別	20代	60	41.7	1.7	31.7	3.3	21.7	0.0
	30代	112	41.1	0.0	39.3	4.5	15.2	0.0
	40代	204	44.6	0.0	42.6	2.5	10.3	0.0
	50代	192	41.1	0.0	46.9	3.1	8.3	0.5
	60代	239	39.7	0.0	46.9	2.1	9.6	1.7
	70代	238	28.2	0.4	44.5	9.7	16.0	1.3

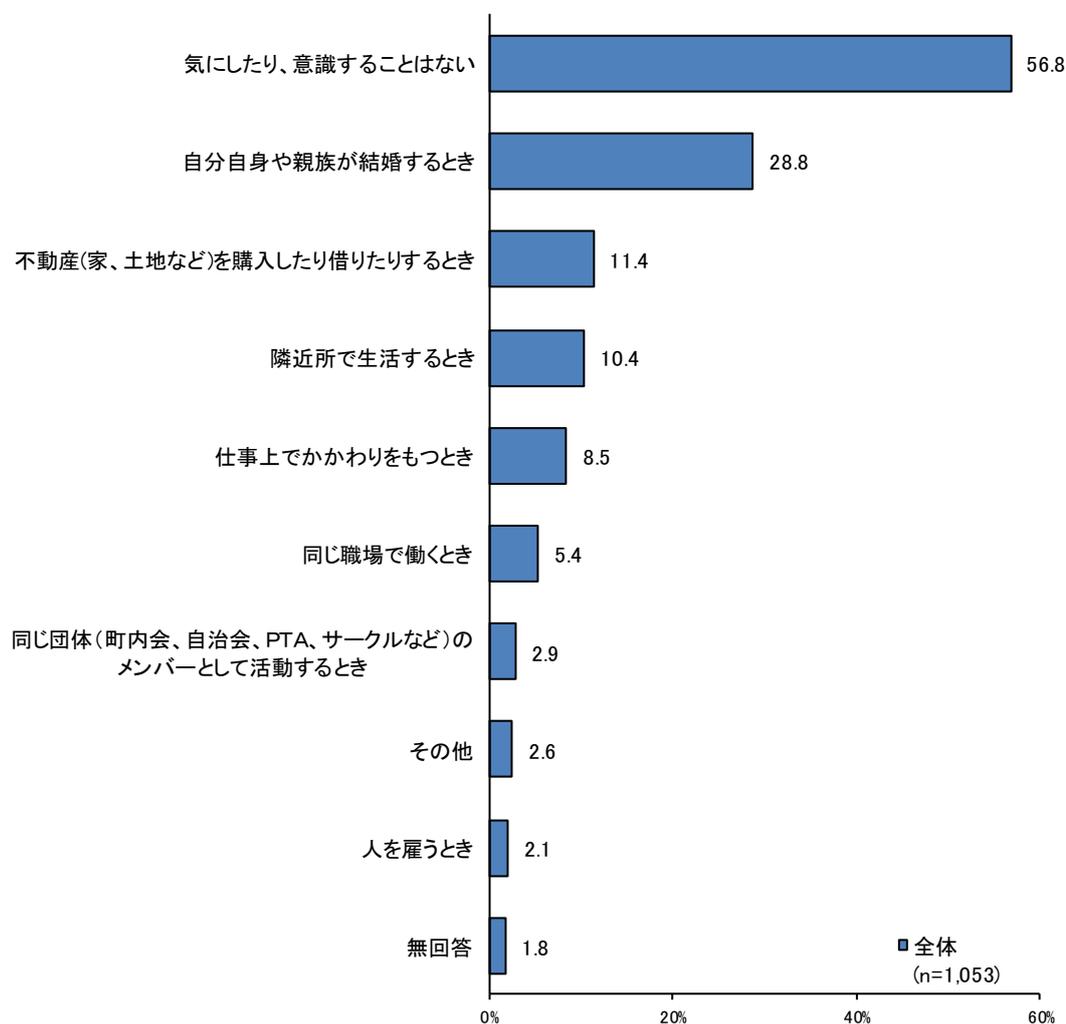
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「存在する」の割合は、70代を除きいずれの年代でも約4割を占めており、40代で44.6%と最も高くなっている。また、「わからない」の割合は、20代で21.7%と、他の年代と比べて最も高くなっている。

(5) 問5-4 同和地区や同和地区出身者ということを気にしたり、意識する場合

問5-4 (問5で「知っている」とお答えの方に)

あなたは、同和地区や同和地区出身者ということを気にしたり、意識したりすることがありますか。(〇はいくつでも)



(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

同和地区や同和地区出身者ということを気にしたり、意識したりすることについてみると、「気にしたり、意識することはない」の割合が56.8%で最も高く、次いで「自分自身や親族が結婚するとき」が28.8%、「不動産(家、土地など)を購入したり借りたりするとき」11.4%となっている。

(数値:%)

	調査数	気にしたり、意識することは	自分自身や親族が結婚するとき	人を雇うとき	同じ職場で働くとき	隣近所で生活するとき	PTA、サークルなど（のメ ンバーとして活動するとき	同じ団体（町内会、自治会、 NPAとして活動するとき	不動産（家、土地など）を購 入したり借りたりするとき	仕事上でかわりをもつとき	その他	無回答
全体	1,053	56.8	28.8	2.1	5.4	10.4	2.9	11.4	8.5	2.6	1.8	
性・年代別	女性計	641	55.7	31.0	1.4	5.1	9.5	2.3	13.4	6.7	2.5	1.9
	20代	37	●86.5	8.1	0.0	0.0	2.7	0.0	8.1	0.0	2.7	0.0
	30代	77	■63.6	19.5	2.6	9.1	11.7	0.0	18.2	2.6	3.9	1.3
	40代	127	■50.4	37.8	0.8	6.3	12.6	4.7	15.7	7.9	0.8	0.0
	50代	113	■52.2	35.4	0.9	4.4	12.4	3.5	12.4	10.6	3.5	0.0
	60代	147	■47.6	●40.8	1.4	4.8	8.2	2.0	14.3	8.2	1.4	0.7
	70代	139	■59.0	23.7	2.2	4.3	6.5	1.4	10.1	5.0	3.6	7.2
	男性計	379	58.0	25.9	3.4	6.1	12.7	4.2	8.7	11.9	2.1	1.3
	20代	19	●68.4	15.8	0.0	5.3	●21.1	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0
	30代	34	●76.5	14.7	2.9	2.9	11.8	2.9	11.8	5.9	2.9	0.0
	40代	71	■60.6	22.5	2.8	2.8	8.5	4.2	8.5	12.7	1.4	0.0
	50代	72	■51.4	36.1	8.3	11.1	18.1	8.3	9.7	18.1	1.4	1.4
	60代	87	■56.3	25.3	0.0	9.2	10.3	1.1	8.0	13.8	1.1	3.4
	70代	96	■54.2	27.1	4.2	3.1	12.5	5.2	7.3	8.3	4.2	1.0

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性・男性とも「気にしたり、意識することはない」の割合が最も高く、次いで「自分自身や親族が結婚するとき」の順となっているが、第3位をみると、女性では「不動産（家、土地など）を購入したり借りたりするとき」、男性では「隣近所で生活するとき」の順となっている。

性・年代別でみると、「気にしたり、意識することはない」の割合は、女性・男性ともに年代が低いほど高い傾向がみられ、20代女性で86.5%と最も高くなっている。また、「自分自身や親族が結婚するとき」の割合は、60代女性が最も高く、40.8%を占めている。

(数値:%)

	調査数	気にしたり、意識することは	自分自身や親族が結婚するとき	人を雇うとき	同じ職場で働くとき	隣近所で生活するとき	PTA、サークルなど（のメ ンバーとして活動するとき	同じ団体（町内会、自治会、 NPAとして活動するとき	不動産（家、土地など）を購 入したり借りたりするとき	仕事上でかわりをもつとき	その他	無回答
全体	1,053	56.8	28.8	2.1	5.4	10.4	2.9	11.4	8.5	2.6	1.8	
年代別	20代	60	●78.3	11.7	0.0	1.7	8.3	0.0	8.3	1.7	3.3	0.0
	30代	112	●67.0	18.8	2.7	7.1	11.6	0.9	16.1	3.6	3.6	0.9
	40代	204	■54.9	31.4	1.5	4.9	10.8	4.4	13.2	9.3	1.0	0.0
	50代	192	■51.6	35.9	3.6	7.3	14.6	5.2	10.9	13.5	3.1	0.5
	60代	239	■51.9	34.3	0.8	6.3	8.8	1.7	11.7	10.0	1.3	1.7
	70代	238	■57.1	24.8	2.9	3.8	8.8	2.9	8.8	6.3	3.8	5.0

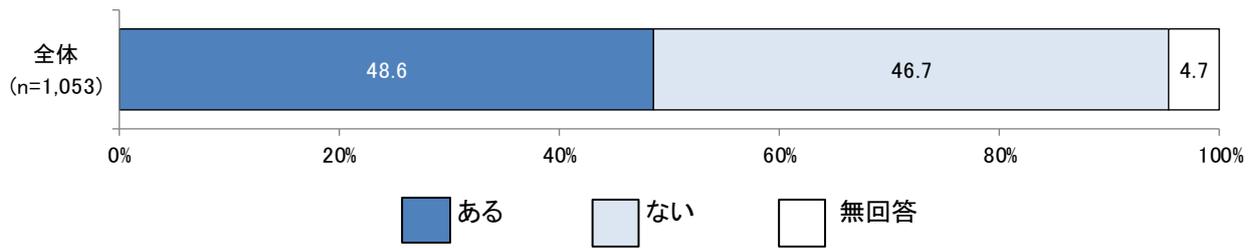
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、年代が低い程「気にしたり、意識することはない」の割合が高く、「自分自身や親族が結婚するとき」の割合は、70代を除き、年代が高い程高くなっている。

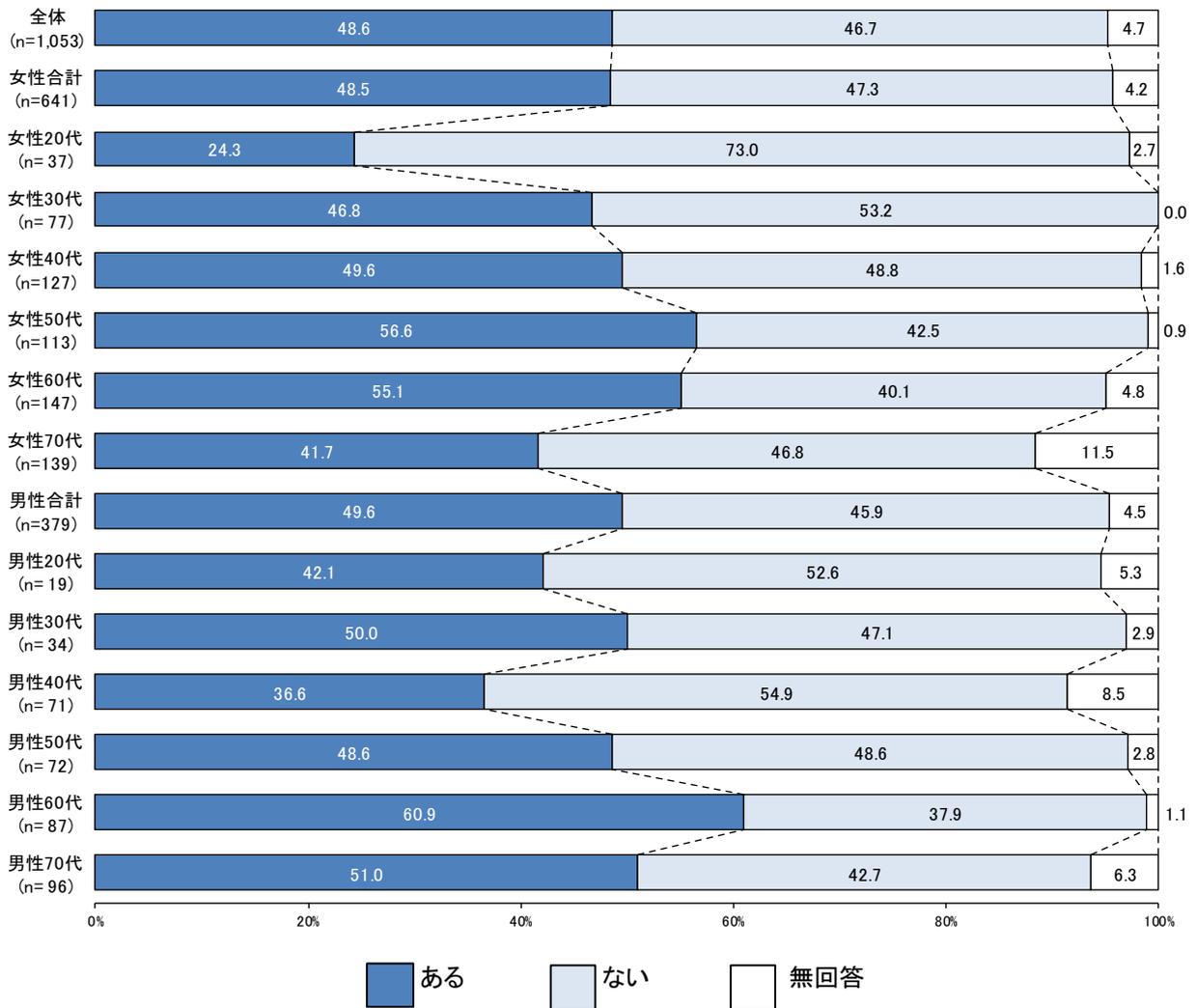
(6) 問5-5 実際に部落差別について見聞きしたことがあるか

問5-5 (問5で「知っている」とお答えの方に)

あなたは実際に部落差別について見聞きしたことがありますか。(〇は1つ)



部落差別について見聞きしたことがあるかについてみると、「ある」の割合が48.6%、「ない」が46.7%となっている。



性別でみると、性別による大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「ある」の割合は60代男性で60.9%と最も高く、「ない」の割合は20代女性で73.0%と最も高くなっている。

(数値:%)

	調査数	ある	ない	無回答	
全体	1,053	48.6	46.7	4.7	
年代別	20代	60	31.7	●65.0	3.3
	30代	112	47.3	■51.8	0.9
	40代	204	45.1	51.0	3.9
	50代	192	53.6	44.8	1.6
	60代	239	56.1	39.7	4.2
	70代	238	45.4	45.4	9.2

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「ある」の割合は50代・60代で5割を超えており、「ない」の割合は20代から40代で約5～6割を占めており、20代で65.0%と最も高くなっている。

(7) 問5-6 実際に部落差別について見聞きした内容

問5-6 (問5-5で「ある」とお答えの方に)

それはどのような内容でしたか。お構いなし範囲でご記入ください。

部落差別を見聞きした内容に関しては382件あり、その内容を分類した結果は以下のとおりである。

【結婚について 126件】(一部抜粋)

- ・親友の結婚の時、相手の出生地を調べた
- ・友達の結婚相手が親に反対された
- ・親族の結婚の時、相手の出身地を気にする身内がいた
- ・自分の母が独身時代に交際していた相手が同和地区出身者とわかり、別れさせられた
- ・自身が結婚する時、親族より確認を求められた
- ・子供が結婚する時に、相手が部落出身でないか調べたという人がいた
- ・最近あまり無いが、2~30年位以前には結婚などについて耳にした
- ・両親が昔、結婚の時にお互い裏で調べられたなどと言っていた
- ・知人の子供が結婚する事になった時に相手が同和地区出身者である事がわかり、悩んでいた
- ・娘が結婚するときに部落出身でないか聞かれた
- ・同和教育を受けていない高齢者の中には、今だに気にする人がいる

【就職について 5件】(一部抜粋)

- ・就職の自由が制約されている
- ・企業が部落のある場所を書いた書籍を買い、採用の時活用している話を聞いた

【差別的言動 14件】(一部抜粋)

- ・以前住んでいた家が同和地区にあった為いじめられた
- ・差別的用語の落書き
- ・10才~15才までの間差別された
- ・おじがすごく部落差別していた
- ・差別発言を聞いた

【地区や地区出身者に関する偏見 128件】(一部抜粋)

- ・同和地区近辺では住まない方が良いと言われた事がある
- ・ある地域に住む人は、部落の人だと教えられた
- ・あの地区に入ったらいけないと言われた
- ・トラブルになった時に、高圧的に接してくる。暴力的な言動になる時、人が多い
- ・知人が同和地区出身者で、両親から知人の出身地へ出かけることを注意された
- ・同和地区出身の友人との付き合いを、あれは地区出身だから付き合い合わない方がよいと言われた

【同和対策事業に対すること 24件】(一部抜粋)

- ・同和地区出身者は、市役所などに就職しやすいと聞いた。実際に多いと思う
- ・部落の人はいろんな面で特に経済的にもものすごく優遇されていると思う

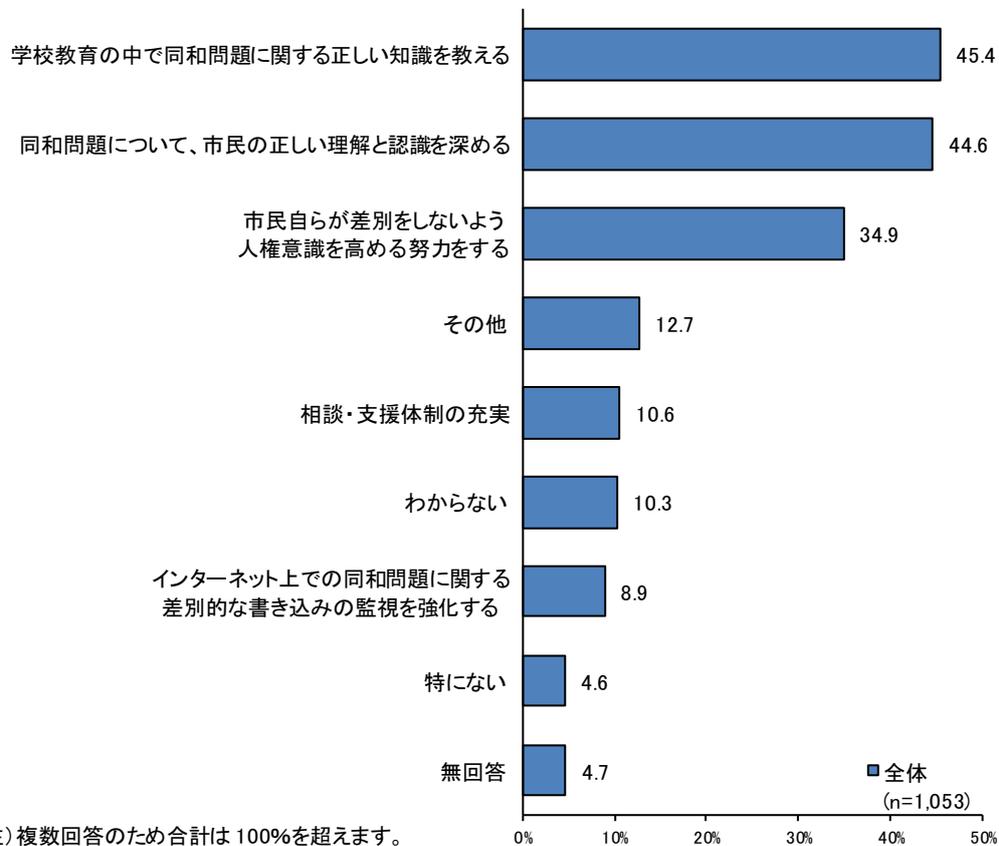
【その他 85 件】（一部抜粋）

- ・職場で学習する人権研修に参加したことで結婚の時、地域、識学学級でのことなどを聞いた
- ・子どもの頃に周りの人たちより耳にした。今は気にしたことはない。
- ・あまり言いたくない

(8) 問5-7 同和問題の解決のために必要だと思うこと

問5-7 (問5で「知っている」とお答えの方に)

あなたは、同和問題(部落差別)を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



同和問題(部落差別)の解決に必要なことについてみると、「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」の割合が45.4%で最も高く、次いで「同和問題について、市民の正しい理解と認識を深める」が44.6%、「市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする」34.9%の順となっている。

なお、「その他」の具体的な内容は、「そっとしておけば自然になくなる」「学校教育で取り上げない」「解決は根本的に困難」などである。

(数値:%)

	調査数	正しい問題について、市民の正しい理解と認識を深める	学校教育の中で正しい知識を教える	市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする	相談・支援体制の充実	インターネット上の書き込みの監視を強化する	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	1,053	44.6	45.4	34.9	10.6	8.9	12.7	4.6	10.3	4.7	
性・年代別	女性計	641	45.6	47.7	36.2	10.8	9.5	10.9	3.4	10.5	4.7
	20代	37	45.9	●56.8	21.6	16.2	●18.9	8.1	0.0	13.5	2.7
	30代	77	50.6	53.2	31.2	18.2	9.1	15.6	1.3	10.4	2.6
	40代	127	47.2	●58.3	35.4	13.4	5.5	9.4	1.6	16.5	0.8
	50代	113	38.1	39.8	30.1	12.4	16.8	13.3	2.7	13.3	3.5
	60代	147	49.7	47.6	40.1	8.2	7.5	12.2	2.0	4.8	6.8
	70代	139	42.4	38.8	43.9	4.3	7.2	7.2	9.4	7.9	8.6
	男性計	379	44.9	44.1	34.0	11.1	8.7	15.0	6.1	9.0	4.2
	20代	19	36.8	47.4	31.6	10.5	15.8	10.5	0.0	15.8	5.3
	30代	34	●61.8	50.0	29.4	14.7	5.9	14.7	2.9	11.8	5.9
	40代	71	49.3	45.1	26.8	9.9	9.9	18.3	2.8	12.7	4.2
	50代	72	40.3	41.7	34.7	11.1	13.9	15.3	9.7	6.9	5.6
	60代	87	44.8	40.2	37.9	10.3	8.0	18.4	6.9	6.9	2.3
	70代	96	40.6	45.8	37.5	11.5	4.2	10.4	7.3	7.3	4.2

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性は「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」の割合が47.7%で最も高く、次いで「同和問題について、市民の正しい理解と認識を深める」が45.6%、「市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする」36.2%の順となっており、男性は「同和問題について、市民の正しい理解と認識を深める」の割合が44.9%で最も高く、次いで「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」が44.1%、「市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする」34.0%の順となっている。

性・年代別でみると、「同和問題について、市民の正しい理解と認識を深める」は30代男性で61.8%と最も高く、「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」は、40代女性で58.3%と最も高くなっている。

(数値:%)

	調査数	正しい問題について、市民の正しい理解と認識を深める	学校教育の中で正しい知識を教える	市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする	相談・支援体制の充実	インターネット上の書き込みの監視を強化する	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	1,053	44.6	45.4	34.9	10.6	8.9	12.7	4.6	10.3	4.7	
年代別	20代	60	41.7	51.7	23.3	13.3	16.7	10.0	1.7	13.3	3.3
	30代	112	53.6	51.8	30.4	17.0	8.0	16.1	1.8	10.7	3.6
	40代	204	47.5	52.9	32.8	11.8	6.9	13.2	2.0	15.7	2.0
	50代	192	38.5	39.1	31.8	11.5	15.1	14.6	5.7	11.5	4.2
	60代	239	46.9	43.9	38.9	8.8	7.5	14.6	3.8	6.3	5.4
	70代	238	41.2	41.6	40.8	7.1	5.9	8.4	8.8	8.0	6.7

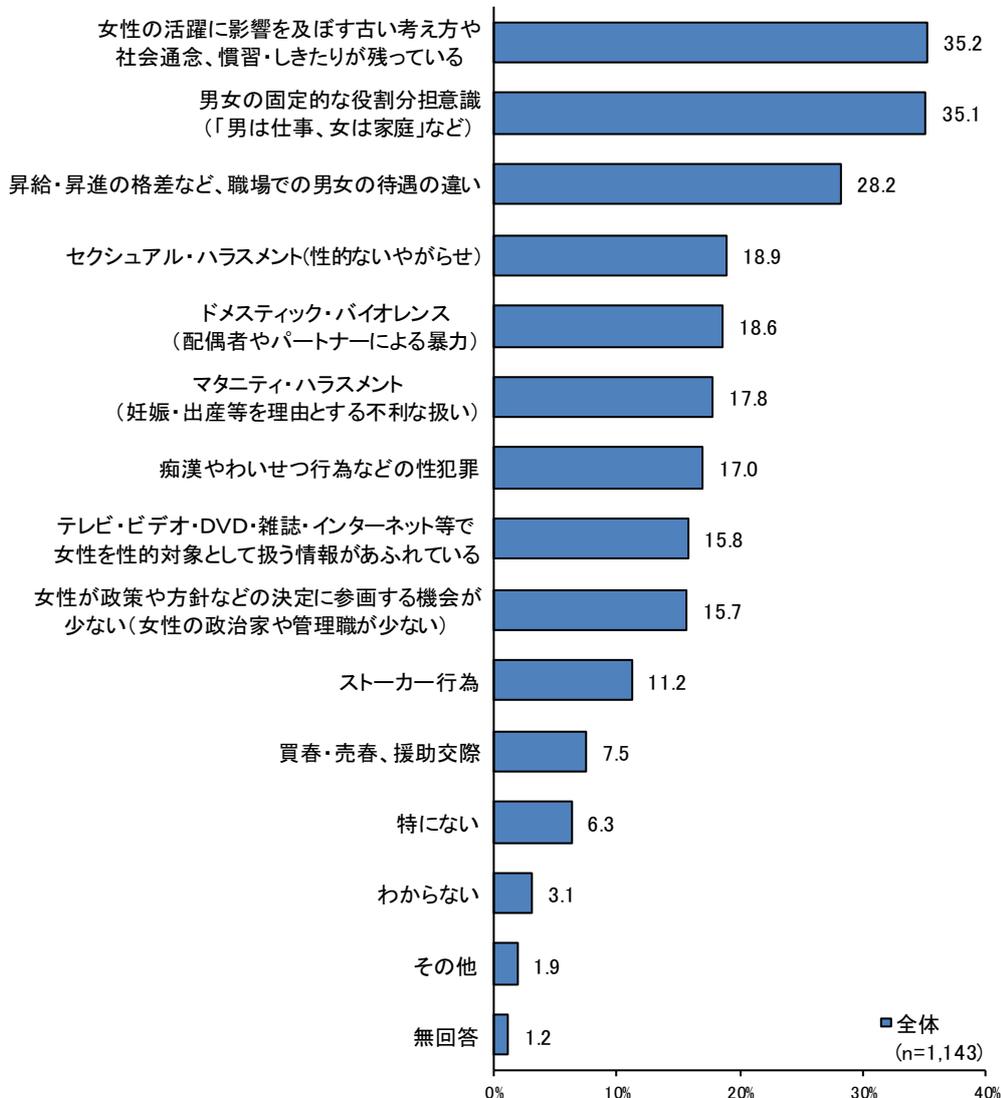
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「同和問題について、市民の正しい理解と認識を深める」は、30代で53.6%と最も高く、「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」は40代で52.9%と最も高く、「市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする」は70代で40.8%と最も高くなっている。

3 女性

(1) 問6 女性に関する事柄で、人権上問題があると思われること

問6 女性の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



(注) 複数回答のため合計は100%を超えます。

女性の人権に関することで特に問題があると思うことについてみると、「女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、慣習・しきたりが残っている」の割合が35.2%と最も高く、次いで「男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)」が35.1%、「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」28.2%の順となっている。

	調査数	家庭意識 （男女の固定的な役割分担意識など）	昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い	少ない（女性の政治家や管理職がいない）	女性が政策や方針などの決定に参画する機会が少ない	古い考え方や社会通念、慣習・しきたりが残っている	女性の活躍に影響を及ぼす	（マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産等を理由とする不利な扱い））	セクシュアル・ハラスメント（性的ないやがらせ）	ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーによる暴力）	ストーカー行為	買春・売春、援助交際	痴漢やわいせつ行為などの性犯罪
全体	1,143	35.1	28.2	15.7	35.2	17.8	18.9	18.6	11.2	7.5	17.0		
性・年代別	女性計	688	39.0	27.2	15.1	36.8	18.5	17.0	20.6	10.2	5.8	18.5	
	20代	43	30.2	32.6	20.9	39.5	48.8	32.6	25.6	14.0	4.7	16.3	
	30代	84	45.2	27.4	7.1	45.2	35.7	15.5	23.8	7.1	3.6	15.5	
	40代	136	47.1	27.9	11.8	32.4	23.5	20.6	24.3	9.6	5.9	25.0	
	50代	119	37.8	23.5	10.9	37.8	13.4	27.7	26.9	14.3	5.9	21.0	
	60代	157	38.9	31.8	17.2	39.5	13.4	14.0	17.8	11.5	5.7	15.3	
	70代	148	31.8	23.0	21.6	31.8	4.7	4.7	12.2	6.8	6.8	16.2	
	男性計	419	29.6	30.5	17.2	33.9	16.2	22.7	15.8	12.9	10.5	13.8	
	20代	32	31.3	21.9	6.3	18.8	25.0	40.6	15.6	18.8	3.1	18.8	
	30代	43	30.2	25.6	4.7	44.2	37.2	30.2	11.6	7.0	4.7	14.0	
	40代	73	30.1	26.0	11.0	24.7	23.3	32.9	20.5	17.8	6.8	17.8	
	50代	76	26.3	25.0	17.1	38.2	13.2	22.4	19.7	22.4	11.8	11.8	
	60代	93	32.3	34.4	16.1	31.2	11.8	15.1	11.8	6.5	14.0	14.0	
70代	102	28.4	39.2	31.4	40.2	5.9	13.7	14.7	8.8	13.7	10.8		

	調査数	情報誌・テレビ・ビデオ・インターネット・DV等で・	その他	特にな	わからない	無回答	
全体	1143	15.8	1.9	6.3	3.1	1.2	
性・年代別	女性計	688	18.6	1.6	4.8	2.6	1.5
	20代	43	4.7	2.3	0.0	0.0	0.0
	30代	84	9.5	1.2	1.2	2.4	1.2
	40代	136	13.2	1.5	4.4	0.7	0.7
	50代	119	22.7	2.5	3.4	0.8	0.8
	60代	157	19.7	1.9	5.1	3.2	1.9
	70代	148	27.7	0.7	9.5	6.1	2.7
	男性計	419	11.9	2.4	7.9	3.6	0.7
	20代	32	0.0	3.1	6.3	6.3	3.1
	30代	43	9.3	2.3	7.0	7.0	0.0
	40代	73	5.5	4.1	8.2	2.7	0.0
	50代	76	10.5	0.0	6.6	2.6	0.0
	60代	93	18.3	4.3	9.7	3.2	1.1
70代	102	16.7	1.0	7.8	2.9	1.0	

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性は「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）」の割合が39.0%で最も高く、次いで「女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、慣習・しきたりが残っている」が36.8%の順となっており、男性は「女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、慣習・しきたりが残っている」の割合が33.9%で最も高く、次いで「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」が30.5%の順となっている。

性・年代別でみると、20代女性では「マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産等を理由とする不利な扱い）」の割合が48.8%と約5割を占めており、20代男性（25.0%）より、約24ポイント高くなっており、「昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」の割合は70代男性で39.2%と、70代女性（23.0%）より約16ポイント高くなっている。

「ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーによる暴力）」は70代を除き、すべての年代で男性より女性が高く、「セクシュアル・ハラスメント（性的ないやがらせ）」はすべての年代において、女性より男性が高くなっている。

(数値:%)

	調査数	「男女の固定的な役割分担意識」など(「男は仕事、女は家庭」)	昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い	少ない(女性の政治家や管理職が少ない)	女性が参画する機会が少ない(女性の政策や方針などの決定に参画する機会が少ない)	古い考え方や社会通念、慣習・しきたりが残っている	女性の活躍に影響を及ぼす	マタニティ・ハラズメント(妊娠・出産等を理由とする不利な扱い)	セクシュアル・ハラズメント(性的ないやがらせ)	ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーによる暴力)	ストーカー行為	買春・売春、援助交際	痴漢やわいせつ行為などの性犯罪
全体	1,143	35.1	28.2	15.7	35.2	17.8	18.9	18.6	11.2	7.5	17.0		
年代別	20代	81	32.1	28.4	14.8	28.4	●39.5	●34.6	19.8	14.8	3.7	18.5	
	30代	128	39.8	26.6	6.3	44.5	●35.9	20.3	19.5	7.0	3.9	14.8	
	40代	215	40.5	27.9	11.2	29.8	23.7	24.7	23.7	13.0	6.5	22.3	
	50代	202	33.2	23.3	13.9	37.6	13.4	25.2	23.3	17.3	7.9	19.3	
	60代	255	36.1	32.2	16.9	36.1	12.9	14.5	15.7	9.4	8.6	14.5	
	70代	254	30.3	29.5	25.2	34.6	5.5	8.3	13.4	7.9	9.8	13.8	

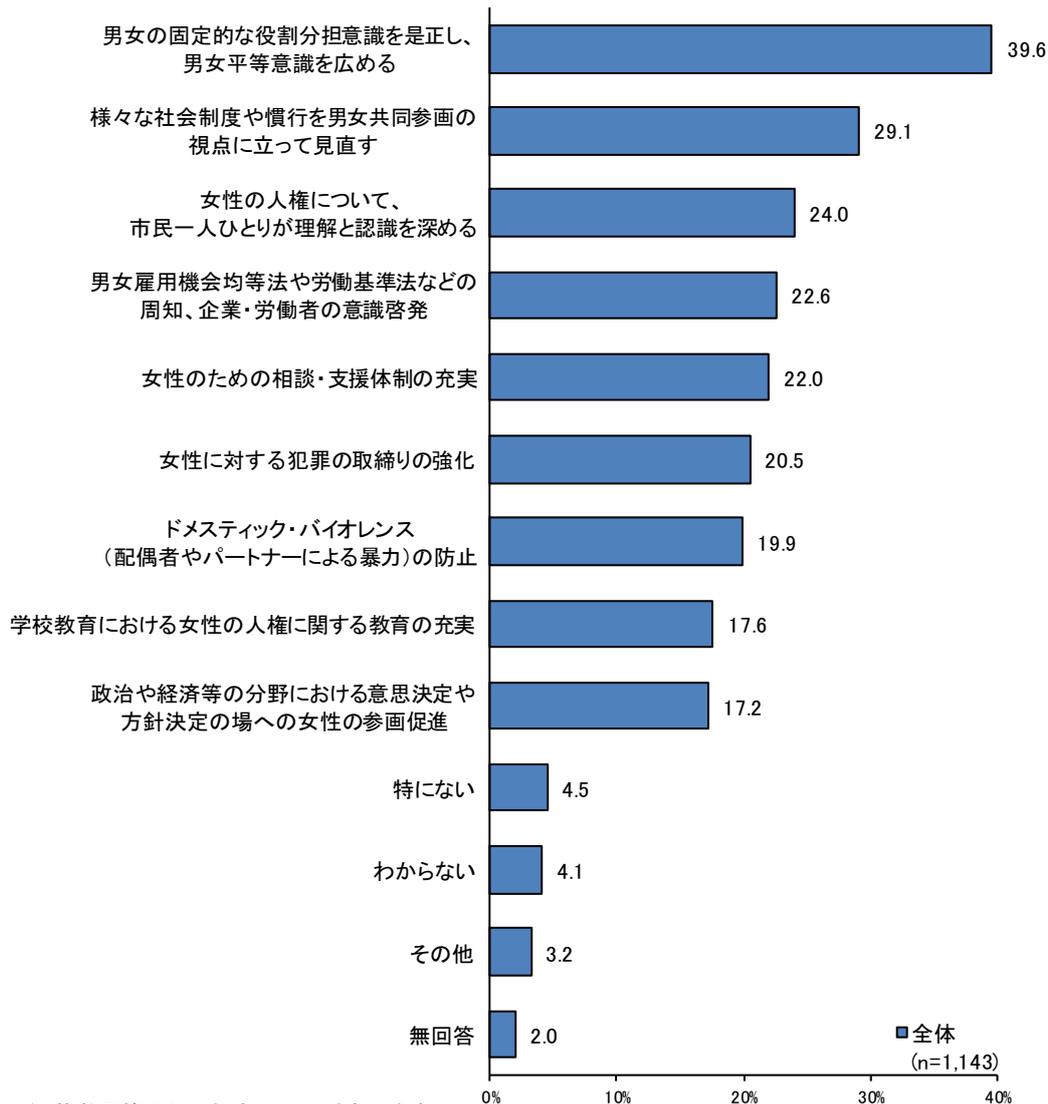
	調査数	情報誌・テレビ・インターネット等で、性的対象として扱われる	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1,143	15.8	1.9	6.3	3.1	1.2
年代別	20代	81	2.5	3.7	2.5	1.2
	30代	128	9.4	1.6	3.1	0.8
	40代	215	10.7	2.3	5.6	0.5
	50代	202	18.3	1.5	5.0	0.5
	60代	255	18.8	2.7	7.5	2.0
	70代	254	22.8	0.8	8.7	2.0

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「マタニティ・ハラズメント(妊娠・出産等を理由とする不利な扱い)」や「セクシュアル・ハラズメント(性的ないやがらせ)」の割合は、年代が低い程高くなる傾向がみられる。また、「女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、慣習・しきたりが残っている」は30代で44.5%と最も高く、最も低い20代(28.4%)より約16ポイント高くなっている。

(2) 問7 女性の人権を守るために必要だと思われること

問7 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

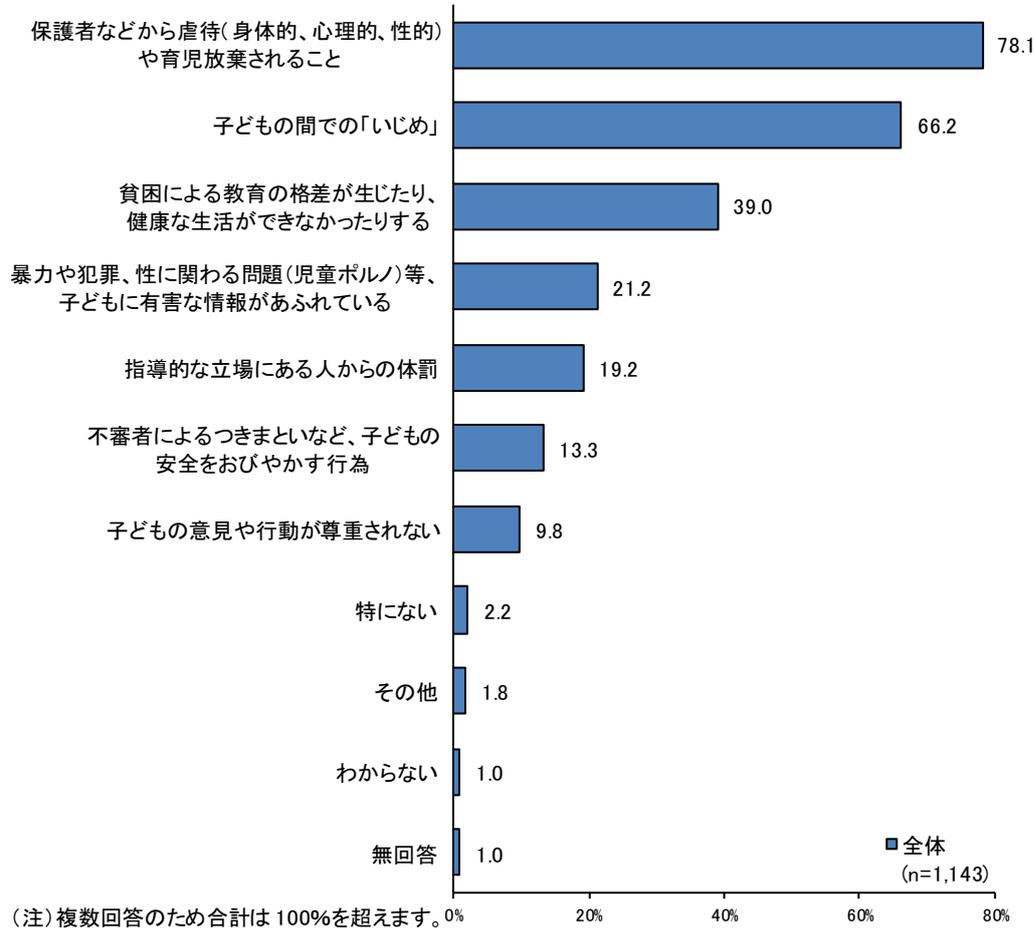


女性の人権を守るために必要なことについてみると、「男女の固定的な役割分担意識を是正し、男女平等意識を広める」の割合が39.6%と最も高く、次いで「様々な社会制度や慣行を男女共同参画の視点に立って見直す」が29.1%、「女性の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」24.0%の順となっている。

4 子ども

(1) 問8 子どもに関する事柄で、人権上問題があると思われること

問8 子どもの人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)



子どもの人権に関することで特に問題があると思う項目についてみると、「保護者などから虐待(身体的、心理的、性的)や育児放棄されること」の割合が78.1%と最も高く、約8割を占めており、次いで「子ども間での「いじめ」」が66.2%、「貧困による教育の格差が生じたり、健康な生活ができなかったりする」39.0%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	保護者などから虐待(身体的、心理的、性的)や育児放棄されること	子どもの間での「いじめ」	指導的な立場にある人からの体罰	子どもの意見や行動が尊重されない	有害な情報(児童ポルノ等)があふれている	暴力や犯罪、性に関わる問題(児童ポルノ)	不審者による安全をおびやかす	かたり、健康な生活ができな	貧困による格差が生じ	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1,143	78.1	66.2	19.2	9.8	21.2	13.3	39.0	1.8	2.2	1.0	1.0	1.0	
性・年代別	女性計	688	79.8	65.3	16.3	9.6	23.8	14.7	39.5	1.3	1.6	1.0	1.5	
	20代	43	76.7	67.4	18.6	16.3	25.6	20.9	39.5	0.0	2.3	0.0	0.0	
	30代	84	81.0	69.0	15.5	9.5	23.8	25.0	35.7	3.6	0.0	1.2	1.2	
	40代	136	78.7	64.0	15.4	8.8	22.1	18.4	50.0	1.5	0.0	0.7	0.7	
	50代	119	86.6	70.6	19.3	6.7	26.9	10.1	40.3	0.8	0.0	0.0	1.7	
	60代	157	82.8	64.3	14.0	8.3	24.8	14.0	39.5	1.3	1.3	0.6	1.3	
	70代	148	72.3	60.1	16.9	12.2	21.6	8.1	31.1	0.7	5.4	2.7	2.7	
	男性計	419	76.4	66.6	24.1	10.3	16.9	10.7	39.9	1.9	2.6	1.0	0.2	
	20代	32	71.9	84.4	28.1	12.5	12.5	12.5	21.9	3.1	0.0	0.0	3.1	
	30代	43	69.8	72.1	16.3	11.6	9.3	14.0	32.6	0.0	9.3	4.7	0.0	
	40代	73	76.7	74.0	23.3	11.0	19.2	15.1	37.0	2.7	0.0	0.0	0.0	
50代	76	76.3	69.7	21.1	9.2	13.2	10.5	43.4	2.6	2.6	0.0	0.0		
60代	93	80.6	57.0	19.4	8.6	18.3	9.7	46.2	2.2	3.2	1.1	0.0		
70代	102	76.5	59.8	33.3	10.8	21.6	6.9	42.2	1.0	2.0	1.0	0.0		

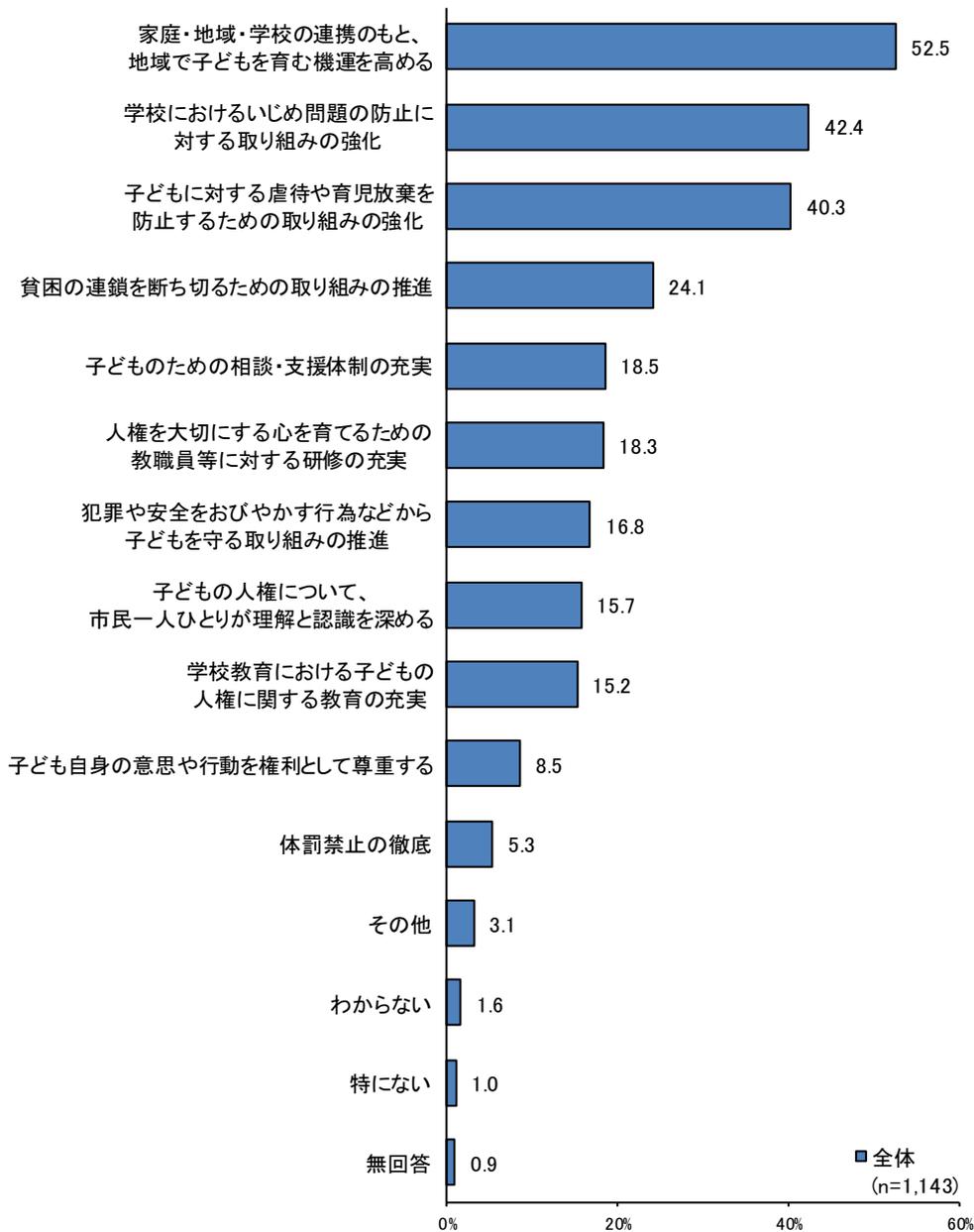
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、上位3項目ともに全体と同様の順位となっているが、「暴力や犯罪、性に関わる問題(児童ポルノ)等、子どもに有害な情報があふれている」の割合は、男性(16.9%)より女性(23.8%)が約7ポイント高く、「指導的な立場にある人からの体罰」の割合は、女性(16.3%)より男性(24.1%)が約8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、女性では「暴力や犯罪、性に関わる問題(児童ポルノ)等、子どもに有害な情報があふれている」の割合が、70代を除きいずれの年代でも男性より高く、男性では「指導的な立場にある人からの体罰」の割合が、いずれの年代でも女性より高くなっている。

(2) 問9 子どもの人権を守るために必要だと思われること

問9 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



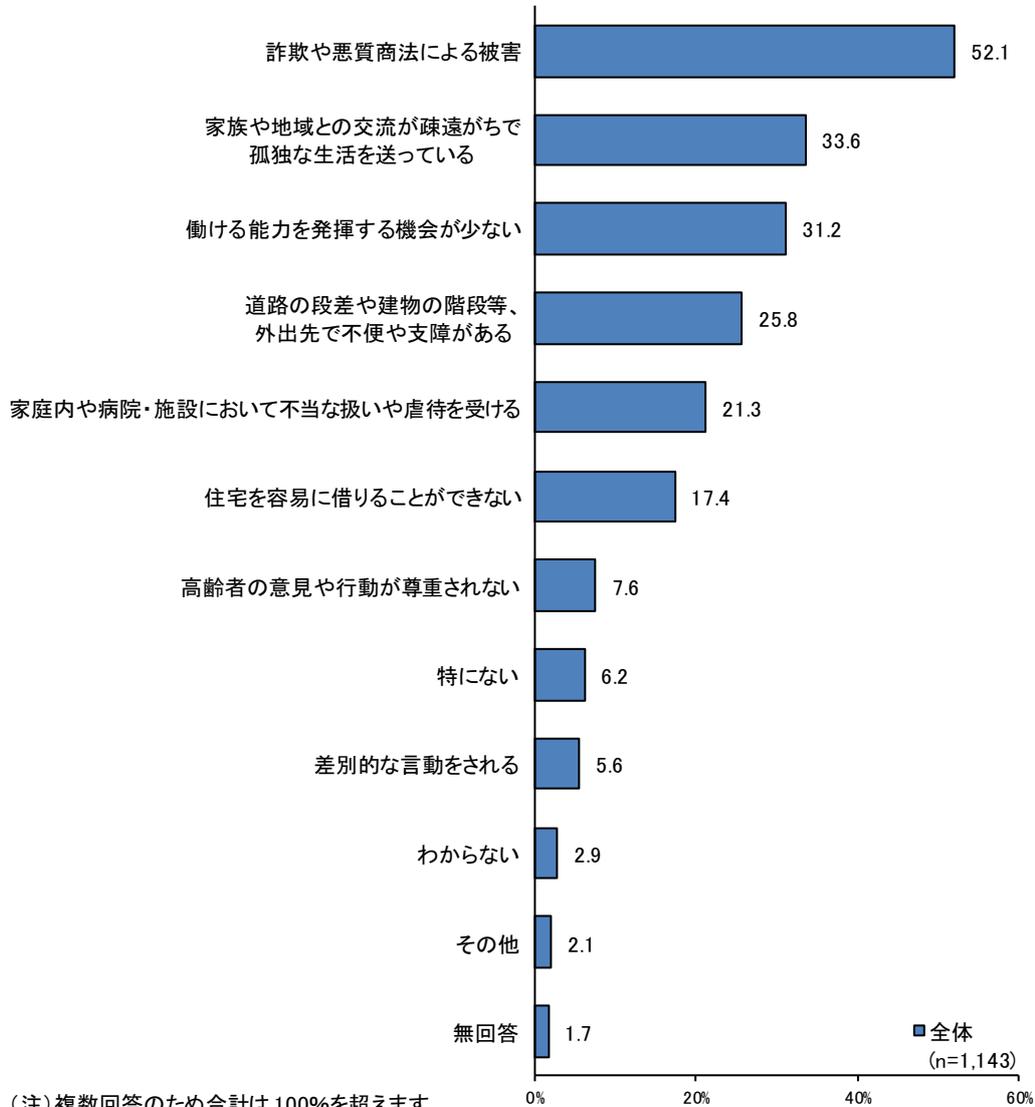
(注) 複数回答のため合計は100%を超えます。

子どもの人権を守るために必要なことについてみると、「家庭・地域・学校の連携のもと、地域で子どもを育む機運を高める」の割合が52.5%と最も高く、次いで「学校におけるいじめ問題の防止に対する取り組みの強化」が42.4%、「子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化」40.3%の順となっている。

5 高齢者

(1) 問 10 高齢者に関する事柄で、人権上問題があると思われること

問 10 高齢者の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)



高齢者の人権に関することで特に問題があると思う項目についてみると、「詐欺や悪質商法による被害」の割合が52.1%と最も高く、次いで「家族や地域との交流が疎遠がちで孤独な生活を送っている」が33.6%、「働ける能力を発揮する機会が少ない」31.2%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	働ける能力を發揮する機会が少ない	差別的な言動をされる	詐欺や悪質商法による被害	住宅を容易に借りることができない	家庭内や病院・施設において不当な扱いや虐待を受ける	家族や地域との交流が疎遠で孤独な生活を送っている	高齢者の意見や行動が尊重されない	道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	1,143	31.2	5.6	52.1	17.4	21.3	33.6	7.6	25.8	2.1	6.2	2.9	1.7	
性・年代別	女性計	688	31.1	4.5	52.3	19.8	25.4	32.8	7.4	27.9	1.7	4.8	2.9	1.9
	20代	43	27.9	4.7	60.5	11.6	18.6	●48.8	9.3	32.6	0.0	4.7	4.7	0.0
	30代	84	34.5	3.6	58.3	14.3	26.2	34.5	3.6	28.6	2.4	3.6	3.6	0.0
	40代	136	33.8	5.1	50.7	20.6	●31.6	35.3	2.9	32.4	2.2	3.7	0.7	1.5
	50代	119	33.6	3.4	●62.2	22.7	●34.5	33.6	7.6	26.9	1.7	1.7	2.5	0.8
	60代	157	28.0	5.1	49.0	23.6	21.0	33.1	7.6	22.9	1.9	5.1	4.5	2.5
	70代	148	29.1	4.7	43.2	17.6	18.2	24.3	12.8	28.4	1.4	8.8	2.7	4.1
	男性計	419	32.2	6.9	53.2	14.1	14.6	35.8	8.1	21.5	2.6	7.2	2.9	1.4
	20代	32	15.6	●15.6	●68.8	0.0	25.0	31.3	6.3	18.8	0.0	6.3	6.3	3.1
	30代	43	25.6	2.3	46.5	14.0	16.3	●51.2	4.7	27.9	2.3	7.0	4.7	0.0
	40代	73	28.8	5.5	●65.8	11.0	20.5	32.9	9.6	12.3	4.1	4.1	2.7	0.0
	50代	76	36.8	6.6	52.6	18.4	15.8	39.5	6.6	23.7	3.9	2.6	2.6	2.6
	60代	93	●44.1	5.4	49.5	17.2	14.0	35.5	6.5	20.4	4.3	6.5	2.2	1.1
	70代	102	28.4	8.8	46.1	14.7	5.9	30.4	11.8	25.5	0.0	13.7	2.0	2.0

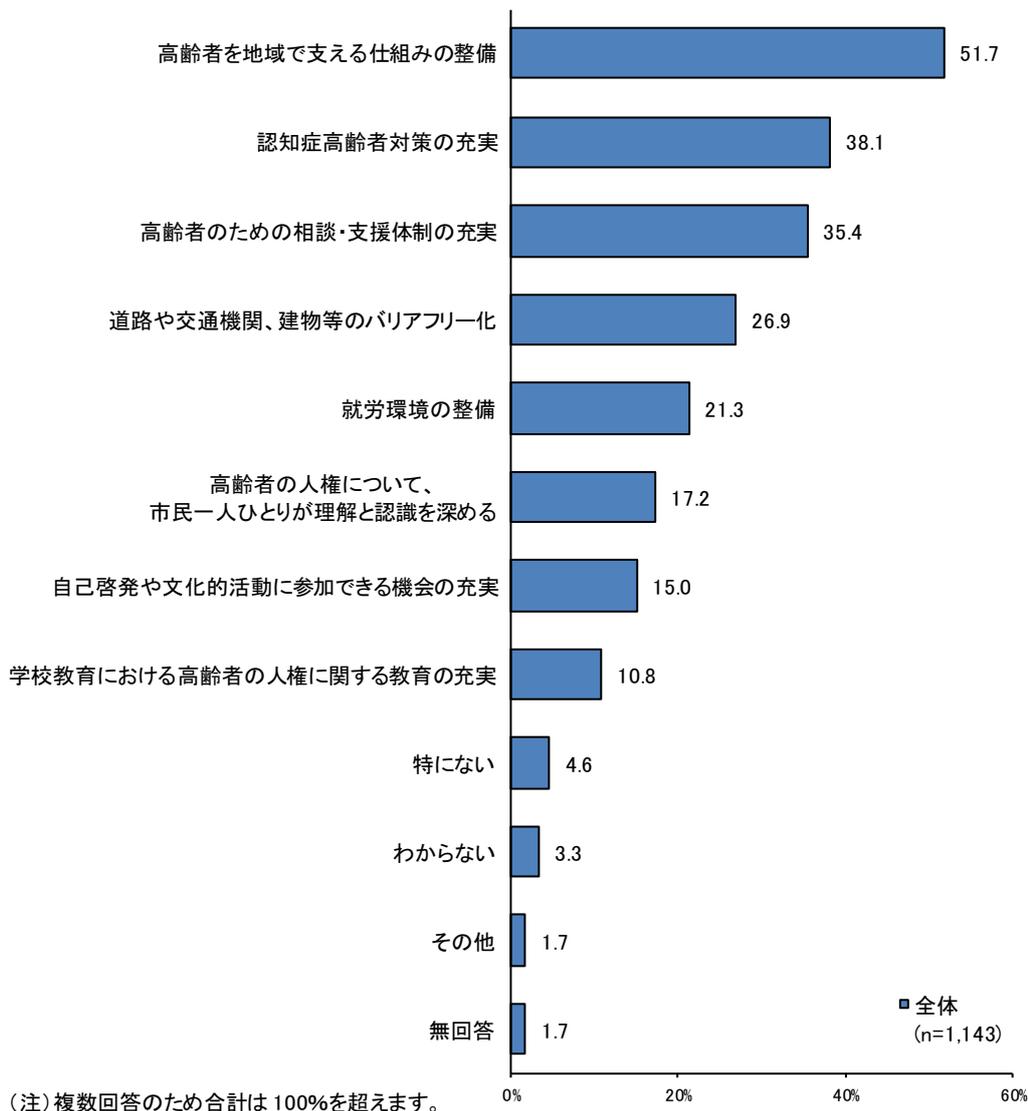
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、上位3項目ともに全体と同様の順位となっているが、「家庭内や病院・施設において不当な扱いや虐待を受ける」の割合は、男性（14.6%）より女性（25.4%）が約10ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある」の割合は、全ての年代で男性より女性が高く、40代では男性（12.3%）より女性（32.4%）が約20ポイント高くなっている。

(2) 問 11 高齢者の人権を守るために必要だと思われること

問 11 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



高齢者の人権を守るために必要なことについてみると、「高齢者を地域で支える仕組みの整備」の割合が51.7%で最も高く、次いで「認知症高齢者対策の充実」が38.1%、「高齢者のための相談・支援体制の充実」35.4%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	高齢者を地域で支える 仕組みの整備	認知症高齢者対策の充 実	就労環境の整備	道路や交通機関、建物 のバリアフリー化	自己啓発や文化的活動 に参加できる機会の充 実	理解と認識を深める 高齢者の人権について 、市民一人ひとりが	学校の教育における高 齢者の人権に関する教 育の充実	高齢者のための相談・ 支援体制の充実	その他	特にな い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	1,143	51.7	38.1	21.3	26.9	15.0	17.2	10.8	35.4	1.7	4.6	3.3	1.7	
性・年代別	女性計	688	54.2	38.8	20.2	26.7	15.8	18.0	11.0	36.2	1.2	3.5	3.3	2.2
	20代	43	58.1	32.6	23.3	32.6	●30.2	20.9	9.3	14.0	0.0	2.3	4.7	2.3
	30代	84	46.4	46.4	22.6	33.3	13.1	8.3	10.7	31.0	3.6	3.6	2.4	0.0
	40代	136	54.4	36.0	26.5	27.9	16.2	18.4	11.0	32.4	1.5	2.2	5.1	1.5
	50代	119	●63.0	42.9	25.2	21.0	11.8	16.0	11.8	●45.4	1.7	1.7	2.5	1.7
	60代	157	51.6	39.5	21.0	26.8	17.2	16.6	8.3	39.5	0.6	3.8	3.2	3.2
	70代	148	52.7	35.1	7.4	25.0	14.9	25.7	13.5	37.8	0.0	6.1	2.7	3.4
	男性計	419	49.9	37.9	23.9	26.7	13.8	16.7	10.7	34.8	2.1	5.3	3.1	1.0
	20代	32	46.9	37.5	21.9	28.1	3.1	18.8	15.6	43.8	0.0	3.1	3.1	3.1
	30代	43	60.5	32.6	27.9	25.6	14.0	14.0	14.0	16.3	4.7	7.0	4.7	0.0
	40代	73	47.9	47.9	19.2	27.4	11.0	17.8	8.2	35.6	5.5	2.7	1.4	0.0
	50代	76	60.5	38.2	27.6	28.9	11.8	10.5	9.2	39.5	1.3	2.6	2.6	2.6
	60代	93	48.4	31.2	●34.4	25.8	19.4	12.9	8.6	32.3	2.2	5.4	3.2	1.1
70代	102	41.2	39.2	13.7	25.5	15.7	24.5	12.7	38.2	0.0	8.8	3.9	0.0	

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、上位3項目ともに全体と同様の順位となっており、性別による大きな差はみられない。

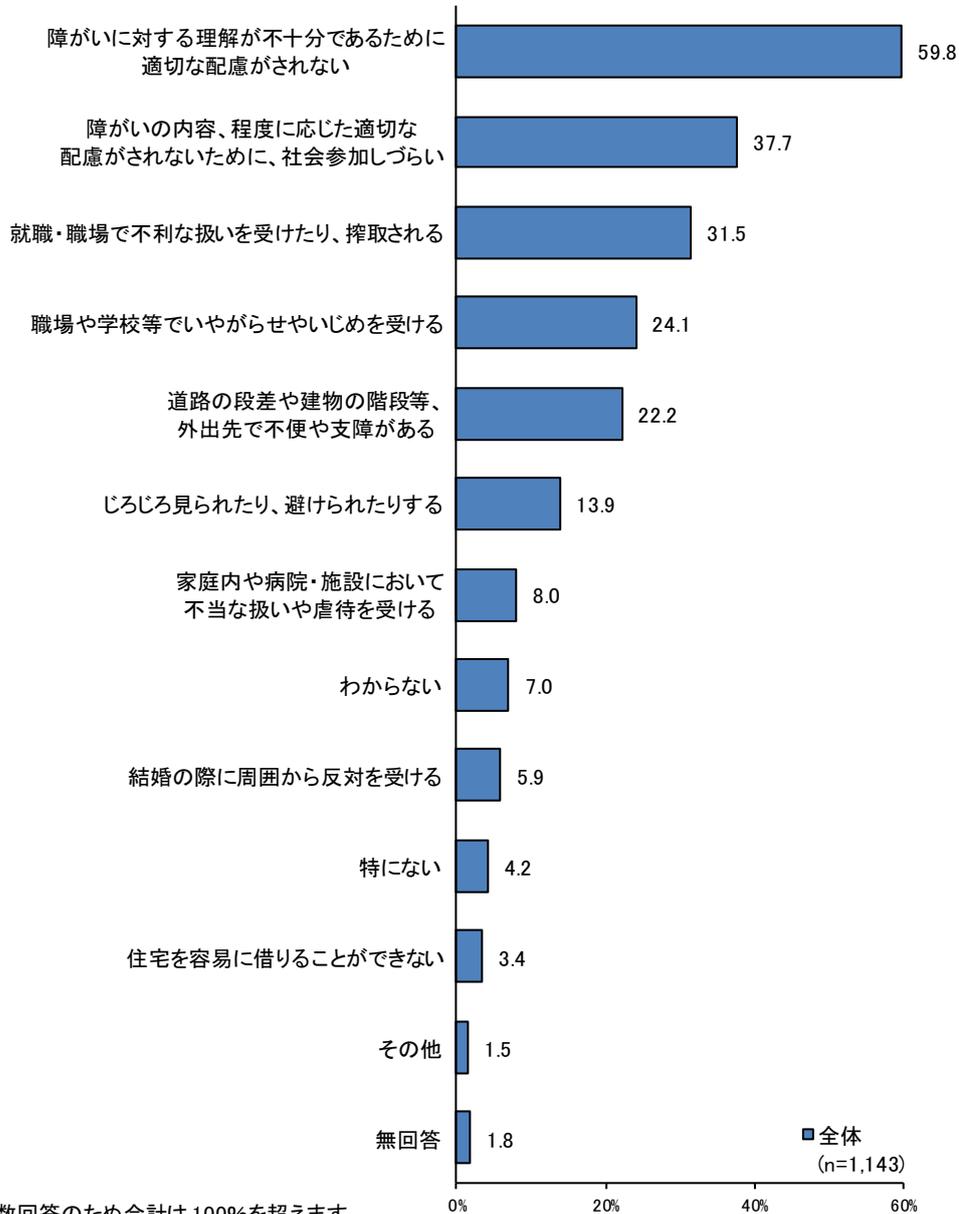
性・年代別でみると、「高齢者を地域で支える仕組みの整備」と「高齢者のための相談・支援体制の充実」の割合は50代女性で最も高くなっている。

また、「自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実」の割合は20代女性で30.2%と、他の年代と比べて高くなっている。

6 障がいのある人

(1) 問 12 障がいのある人に関する事柄で、人権上問題があると思われること

問 12 障がいのある人の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

障がいのある人の人権に関することで特に問題があると思う項目についてみると、「障がいに対する理解が不十分であるために適切な配慮がされない」の割合が59.8%で最も高く、次いで「障がいの内容、程度に応じた適切な配慮がされないために、社会参加しづらい」が37.7%、「就職・職場で不利な扱いを受けたり、搾取される」31.5%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	就職・職場で不利な扱いを受けたり、搾取される	職場や学校等でのいじめを受けやすい	障がいに対する理解が不十分であるため適切な配慮がされない													
全体	1,143	31.5	24.1	59.8	13.9	5.9	3.4	8.0	37.7	22.2	1.5	4.2	7.0	1.8			
性・年代別	女性計	688	30.2	24.1	60.8	13.7	5.2	3.3	9.2	38.2	23.1	1.2	3.6	6.1	2.0		
	20代	43	●48.8	●37.2	62.8	23.3	11.6	0.0	4.7	46.5	9.3	0.0	2.3	4.7	0.0		
	30代	84	38.1	●35.7	64.3	22.6	8.3	1.2	13.1	33.3	21.4	2.4	1.2	4.8	0.0		
	40代	136	31.6	31.6	64.0	11.8	5.1	2.9	11.8	36.8	26.5	1.5	1.5	2.9	1.5		
	50代	119	30.3	21.8	63.0	13.4	4.2	5.9	10.1	41.2	28.6	1.7	2.5	4.2	0.8		
	60代	157	26.1	21.0	58.6	13.4	5.7	3.2	8.9	46.5	24.2	1.3	4.5	5.1	1.9		
	70代	148	23.6	12.2	56.1	8.1	2.0	4.1	4.7	29.1	19.6	0.0	7.4	12.8	5.4		
	男性計	419	34.8	24.1	59.2	13.8	6.7	3.3	6.4	37.0	21.5	1.9	4.1	8.1	1.7		
	20代	32	28.1	●43.8	56.3	●31.3	3.1	3.1	9.4	21.9	15.6	9.4	0.0	6.3	3.1		
	30代	43	●41.9	27.9	53.5	20.9	7.0	2.3	4.7	34.9	16.3	0.0	9.3	4.7	2.3		
	40代	73	39.7	30.1	63.0	16.4	8.2	2.7	6.8	39.7	19.2	0.0	1.4	11.0	0.0		
	50代	76	31.6	22.4	65.8	15.8	6.6	5.3	9.2	32.9	23.7	1.3	3.9	6.6	2.6		
	60代	93	31.2	14.0	60.2	8.6	6.5	2.2	4.3	44.1	26.9	3.2	4.3	7.5	2.2		
70代	102	36.3	22.5	53.9	6.9	6.9	3.9	5.9	37.3	20.6	1.0	4.9	9.8	1.0			

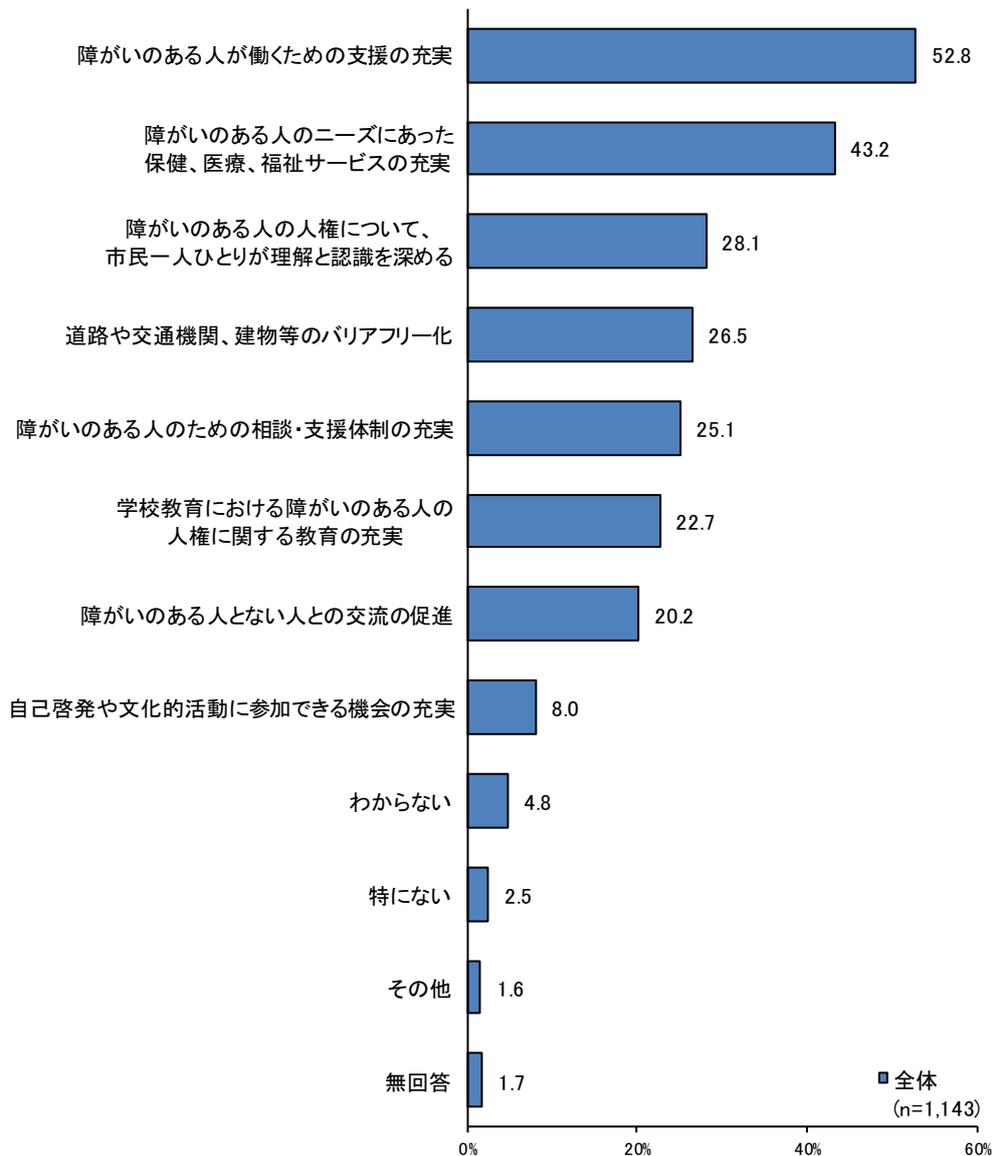
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、上位3項目ともに全体と同様の順位となっており、大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「障がいに対する理解が不十分であるために適切な配慮がされない」の割合は、女性・男性ともにいずれの年代でも約6割を占めている。また、「就職・職場で不利な扱いを受けたり、搾取される」の割合は、20代男性(28.1%)より20代女性(48.8%)が約21ポイント高くなっている。

(2) 問 13 障がいのある人の人権を守るために必要だと思われること

問 13 障がいのある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



(注) 複数回答のため合計は100%を超えます。

障がいのある人の人権を守るために必要なことについてみると、「障がいのある人が働くための支援の充実」の割合が52.8%で最も高く、次いで「障がいのある人のニーズにあった保健、医療、福祉サービスの充実」が43.2%、「障がいのある人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」28.1%の順となっている。

	調査数	障がいのある人が働くための支援の充実	障がいのある人のニーズにあった保健、医療、福祉サービスの充実	道路や交通機関、建物等のバリアフリー化	障がいのある人となし人と交流の促進	自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実	理解と認識を深める	障がいのある人への権利について、市民一人ひとりが理解	学校教育における障がいのある人の権利に関する教育の充実	障がいのある人のための相談・支援体制の充実	その他	特になし	わからない	無回答
全体	1,143	52.8	43.2	26.5	20.2	8.0	28.1	22.7	25.1	1.6	2.5	4.8	1.7	
性・年代別	女性計	688	51.2	45.5	27.2	20.8	7.1	27.0	24.1	25.9	1.2	1.6	5.4	1.7
	20代	43	55.8	48.8	14.0	41.9	2.3	32.6	39.5	16.3	0.0	0.0	9.3	0.0
	30代	84	47.6	35.7	31.0	27.4	10.7	20.2	34.5	20.2	3.6	1.2	2.4	0.0
	40代	136	55.9	47.1	27.9	24.3	5.1	25.7	26.5	21.3	2.2	0.7	4.4	1.5
	50代	119	50.4	43.7	31.9	16.8	7.6	26.1	25.2	33.6	0.0	1.7	4.2	1.7
	60代	157	51.6	48.4	26.1	19.1	8.9	24.8	19.1	29.3	0.6	1.9	5.1	1.9
	70代	148	48.0	46.6	25.0	12.8	6.1	33.8	16.2	25.7	0.7	2.7	8.1	3.4
	男性計	419	56.1	40.3	25.5	19.8	10.0	30.1	21.2	23.9	2.1	3.1	3.8	1.4
	20代	32	75.0	40.6	18.8	28.1	9.4	28.1	15.6	18.8	0.0	0.0	3.1	3.1
	30代	43	53.5	27.9	20.9	34.9	9.3	25.6	37.2	9.3	0.0	11.6	2.3	0.0
	40代	73	56.2	38.4	27.4	20.5	8.2	35.6	15.1	27.4	5.5	1.4	4.1	0.0
	50代	76	56.6	36.8	28.9	18.4	7.9	31.6	26.3	30.3	2.6	1.3	2.6	2.6
	60代	93	59.1	39.8	30.1	16.1	9.7	30.1	19.4	19.4	2.2	4.3	3.2	1.1
	70代	102	48.0	50.0	21.6	14.7	13.7	27.5	18.6	28.4	1.0	2.0	5.9	2.0

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

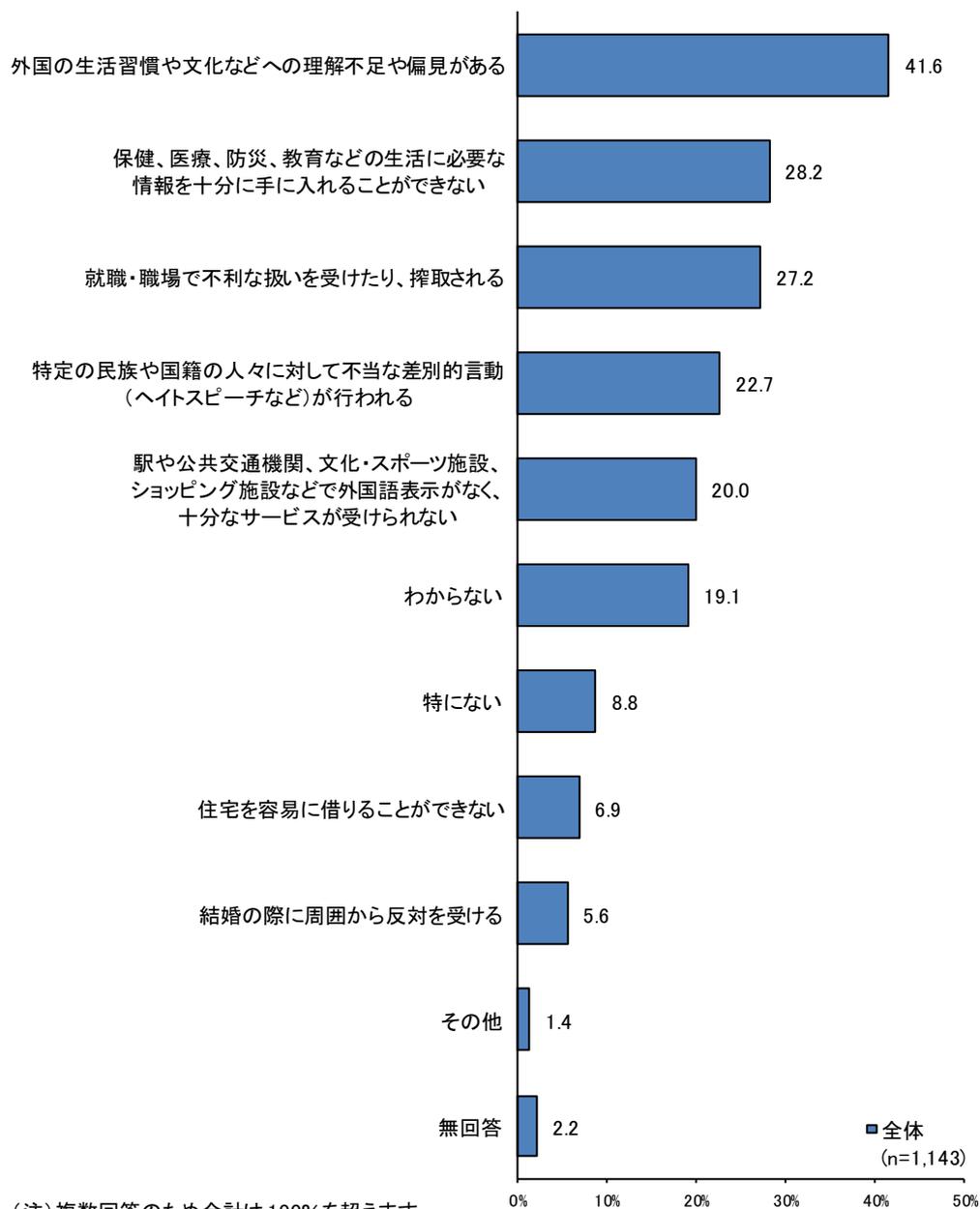
性別で見ると、女性・男性ともに「障がいのある人が働くための支援の充実」の割合が最も高く、次いで「障がいのある人のニーズにあった保健、医療、福祉サービスの充実」となっているが、第3位をみると、女性では「道路や交通機関、建物等のバリアフリー化」(27.2%)、男性では「障がいのある人の権利について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」(30.1%)の順となっている。

性・年代別で見ると、「障がいのある人が働くための支援の充実」の割合は20代男性で75.0%と最も高く、70代を除き、全ての年代で女性より男性が高くなっている。また、「学校教育における障がいのある人の権利に関する教育の充実」は、女性では年代が低くなるにつれ高くなる傾向にあり、20代女性で39.5%と、約4割を占めている。

7 外国人

(1) 問 14 外国人に関する事柄で、人権上問題があると思われること

問 14 外国人の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



外国人の人権に関することで特に問題があると思うことについてみると、「外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある」の割合が41.6%と最も高く、次いで「保健、医療、防災、教育などの生活に必要な情報を十分に手に入れることができない」が28.2%、「就職・職場で不利な扱いを受けたり、搾取される」27.2%となっている。

(数値:%)

	調査数	就職・職場で不利な扱いを受けた り、搾取される	結婚の際に周囲から反対を受ける	外国の生活習慣や文化などへの理 解不足や偏見がある	住宅を容易に借りることができな い	外国語表示がなく、十分なサービ スが受けられない	駅や公共交通機関、文化・スポ ーツ施設、ショッピング施設など で	活に必要ない情報を十分に手に入れ ることができない	保健、医療、防災、教育などの生 活に必要ない	特定の民族や国籍の人々に対して 不当な差別的言動(ヘイトスピー チなど)が行われる	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
全体	1,143	27.2	5.6	41.6	6.9	20.0	28.2	22.7	1.4	8.8	19.1	2.2		
性・年代別	女性計	688	27.3	4.8	41.4	6.5	20.3	29.5	22.8	0.7	7.8	19.6	2.5	
	20代	43	25.6	9.3	●58.1	14.0	25.6	30.2	25.6	0.0	0.0	14.0	4.7	
	30代	84	33.3	9.5	40.5	8.3	●31.0	36.9	21.4	0.0	7.1	11.9	0.0	
	40代	136	29.4	5.1	45.6	5.1	16.2	27.2	27.2	0.7	5.9	20.6	0.7	
	50代	119	37.0	3.4	34.5	11.8	23.5	30.3	31.9	1.7	5.9	14.3	0.8	
	60代	157	24.8	2.5	40.1	4.5	19.7	36.3	20.4	0.6	9.6	21.0	3.2	
	70代	148	17.6	4.1	40.5	2.7	14.9	19.6	14.2	0.7	12.2	27.0	5.4	
	男性計	419	27.7	7.4	43.7	7.9	19.6	26.3	22.4	2.6	10.5	17.2	1.7	
	20代	32	25.0	12.5	43.8	0.0	18.8	21.9	25.0	0.0	15.6	18.8	3.1	
	30代	43	32.6	7.0	41.9	11.6	27.9	25.6	18.6	2.3	18.6	9.3	0.0	
	40代	73	35.6	8.2	43.8	9.6	12.3	27.4	21.9	2.7	11.0	17.8	0.0	
	50代	76	27.6	3.9	50.0	11.8	13.2	19.7	19.7	5.3	10.5	19.7	0.0	
	60代	93	23.7	11.8	37.6	5.4	23.7	31.2	23.7	4.3	7.5	15.1	2.2	
70代	102	24.5	3.9	45.1	6.9	22.5	27.5	24.5	0.0	7.8	19.6	3.9		

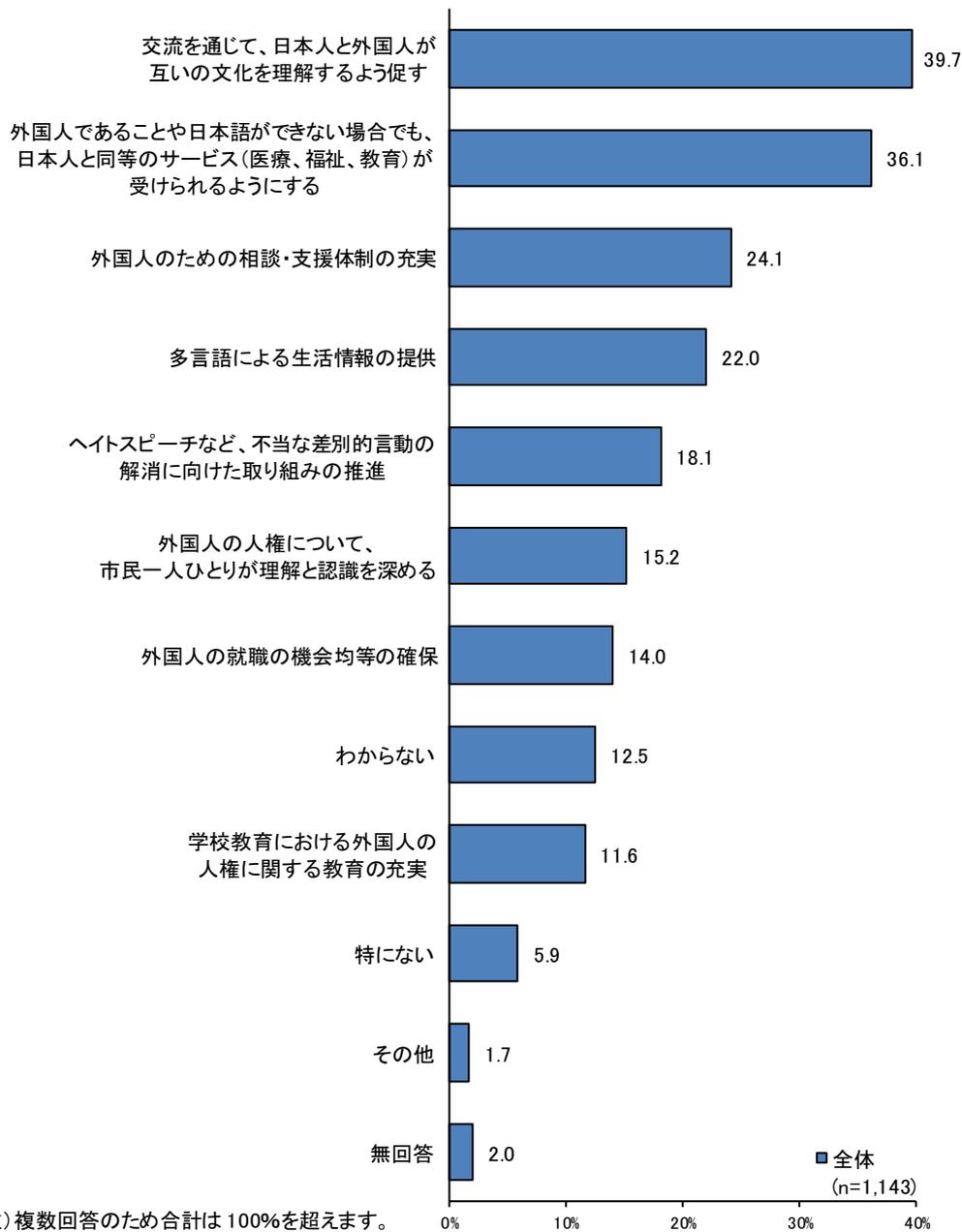
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別で見ると、女性では「外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある」の割合が41.4%で最も高く、次いで「保健、医療、防災、教育などの生活に必要な情報を十分に手に入れることができない」が29.5%の順となっており、男性では「外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある」の割合が43.7%で最も高く、次いで「就職・職場で不利な扱いを受けたり、搾取される」が27.7%の順となっている。

性・年代別で見ると、「外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある」は20代女性で58.1%と最も高く、約6割を占めている。また50代女性(34.5%)より50代男性(50.0%)が15.5ポイント高くなっている。

(2) 問 15 外国人の人権を守るために必要だと思われること

問 15 外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



外国人の人権を守るために必要なことについてみると、「交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す」の割合が39.7%で最も高く、次いで「外国人であることや日本語ができない場合でも、日本人と同等のサービス（医療、福祉、教育）が受けられるようにする」が36.1%、「外国人のための相談・支援体制の充実」24.1%の順となっている。

	調査数	交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す	多言語による生活情報の提供	外国人であることや日本語ができない場合でも、日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育)が受けられるようにする	外国人の就職の機会均等の確保	ヘイトスピーチなど、不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進	外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	学校教育における外国人の人権に関する教育の充実	外国人のための相談・支援体制の充実	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	1,143	39.7	22.0	36.1	14.0	18.1	15.2	11.6	24.1	1.7	5.9	12.5	2.0	
性・年代別	女性計	688	38.2	22.7	38.1	14.4	17.3	15.6	11.5	27.0	0.9	4.5	12.5	2.2
	20代	43	37.2	●37.2	44.2	●30.2	18.6	20.9	16.3	14.0	0.0	0.0	9.3	0.0
	30代	84	40.5	●32.1	39.3	21.4	16.7	14.3	14.3	21.4	0.0	6.0	9.5	1.2
	40代	136	40.4	16.9	32.4	14.7	23.5	18.4	9.6	28.7	1.5	4.4	13.2	0.7
	50代	119	34.5	26.9	31.9	13.4	24.4	9.2	13.4	●34.5	1.7	2.5	12.6	0.8
	60代	157	42.0	24.2	43.3	12.1	11.5	13.4	12.7	26.1	1.3	7.0	9.6	3.2
	70代	148	34.5	13.5	40.5	8.8	11.5	19.6	7.4	27.0	0.0	4.1	17.6	4.7
	男性計	419	43.0	21.0	34.1	14.1	20.0	15.5	12.2	19.6	2.9	7.9	11.9	1.7
	20代	32	●50.0	21.9	31.3	6.3	9.4	18.8	6.3	18.8	0.0	15.6	9.4	3.1
	30代	43	46.5	30.2	25.6	20.9	11.6	11.6	16.3	16.3	4.7	11.6	7.0	2.3
	40代	73	42.5	24.7	37.0	20.5	20.5	16.4	9.6	17.8	5.5	6.8	11.0	0.0
	50代	76	●51.3	18.4	31.6	10.5	18.4	15.8	13.2	13.2	1.3	9.2	14.5	0.0
	60代	93	36.6	22.6	34.4	15.1	20.4	12.9	9.7	25.8	5.4	6.5	9.7	3.2
	70代	102	39.2	14.7	38.2	10.8	27.5	17.6	15.7	21.6	0.0	4.9	15.7	2.0

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

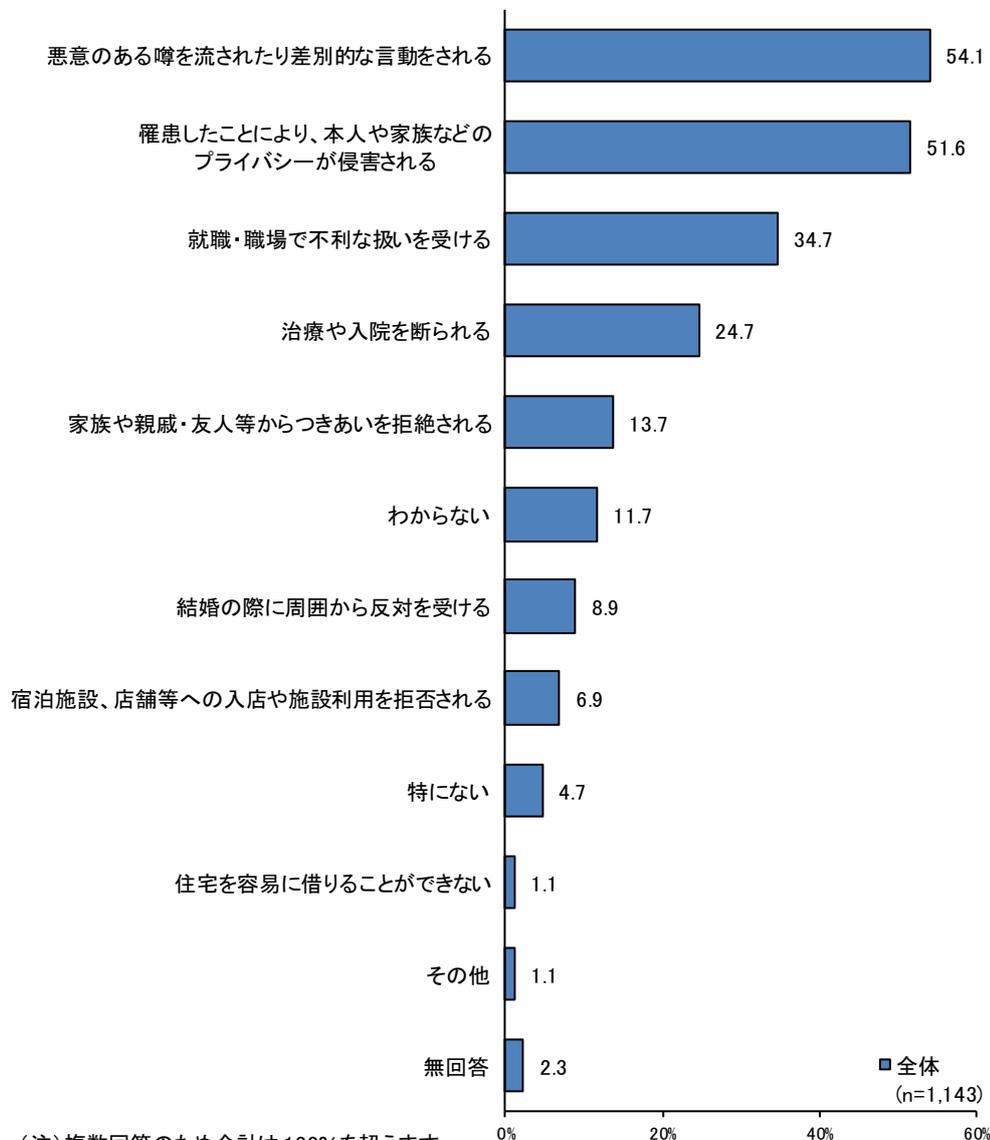
性別でみると、女性・男性ともに「交流を通じて、日本人と外国人が互いの文化を理解するよう促す」の割合が最も高く、次いで「外国人であることや日本語ができない場合でも、日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育)が受けられるようにする」の順となっているが、第3位をみると、女性では「外国人のための相談・支援体制の充実」(27.0%)、男性では「多言語による生活情報の提供」(21.0%)の順となっている。

性・年代別でみると、「外国人の就職の機会均等の確保」の割合は20代女性で30.2%と最も高く、20代男性(6.3%)より約24ポイント高く、「外国人のための相談・支援体制の充実」の割合は、50代女性で34.5%と最も高く、50代男性(13.2%)より約21ポイント高くなっている。

8 感染症患者等

(1) 問 16 感染症患者等に関する事柄で、人権上問題があると思われること

問 16 感染症患者等の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)



感染症患者等の人権に関することで特に問題があると思うことについてみると、「悪意のある噂を流されたり差別的な言動をされる」の割合が54.1%で最も高く、次いで「罹患したことにより、本人や家族などのプライバシーが侵害される」が51.6%、「就職・職場で不利な扱いを受ける」34.7%の順となっている。

(数値・%)

	調査数	就職・職場で不利な扱いを受ける	結婚の際に周囲から反対を受ける	家族や親戚・友人等からつきあいを拒絶される	治療や入院を断られる	やがて家族などのプライバシーが侵害される	雇われたことにより、本人や家族などのプライバシーが侵害される	差別的な言動をされる	悪意のある噂を流されたり差別的な言動をされる	住宅を容易に借りることができない	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否される	その他	特になし	わからない	無回答
全体	1,143	34.7	8.9	13.7	24.7	51.6	54.1	1.1	6.9	1.1	4.7	11.7	2.3		
性・年代別	女性計	688	35.0	8.1	14.2	25.4	55.7	55.5	1.2	6.7	0.6	4.1	11.5	2.2	
	20代	43	34.9	16.3	●25.6	30.2	60.5	51.2	0.0	9.3	0.0	4.7	7.0	0.0	
	30代	84	35.7	11.9	14.3	22.6	●69.0	●66.7	2.4	6.0	2.4	1.2	6.0	0.0	
	40代	136	●47.1	9.6	13.2	31.6	57.4	61.0	0.0	4.4	0.0	0.7	10.3	0.7	
	50代	119	37.0	3.4	13.4	30.3	●63.9	●66.4	0.8	5.0	0.8	2.5	6.7	1.7	
	60代	157	31.8	8.3	14.6	26.1	52.9	52.2	1.3	10.2	0.0	3.8	12.7	2.5	
	70代	148	25.7	6.1	12.2	15.5	41.9	40.5	2.0	6.1	0.7	10.1	18.9	5.4	
	男性計	419	35.1	11.0	13.4	22.9	45.1	51.1	1.0	7.6	2.1	5.3	12.2	2.4	
	20代	32	31.3	12.5	21.9	18.8	25.0	50.0	0.0	3.1	0.0	3.1	15.6	3.1	
	30代	43	41.9	9.3	23.3	23.3	55.8	44.2	2.3	0.0	2.3	7.0	14.0	0.0	
	40代	73	●52.1	9.6	16.4	28.8	49.3	61.6	1.4	11.0	2.7	2.7	4.1	0.0	
	50代	76	34.2	18.4	9.2	26.3	55.3	51.3	1.3	6.6	3.9	3.9	9.2	0.0	
	60代	93	30.1	10.8	10.8	15.1	40.9	48.4	1.1	7.5	2.2	6.5	15.1	5.4	
	70代	102	26.5	6.9	9.8	24.5	40.2	49.0	0.0	10.8	1.0	6.9	15.7	3.9	

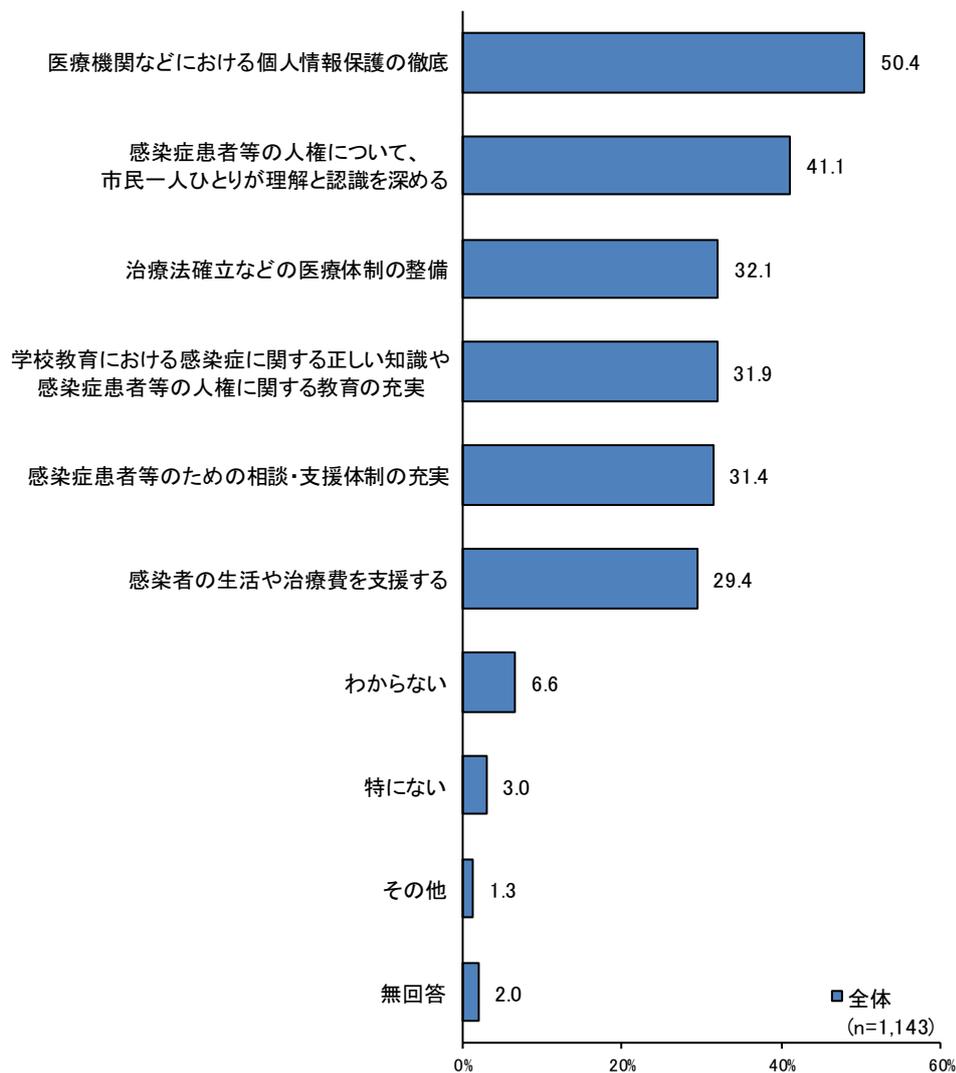
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性では「罹患したことにより、本人や家族などのプライバシーが侵害される」の割合が55.7%で最も高く、次いで「悪意のある噂を流されたり差別的な言動をされる」が55.5%、「就職・職場で不利な扱いを受ける」35.0%の順となっており、男性では「悪意のある噂を流されたり差別的な言動をされる」の割合が51.1%で最も高く、次いで「罹患したことにより、本人や家族などのプライバシーが侵害される」が45.1%、「就職・職場で不利な扱いを受ける」35.1%の順となっている。

性・年代別でみると、「罹患したことにより、本人や家族などのプライバシーが侵害される」の割合は、全ての年代で男性より女性が高く、30代女性では69.0%と最も高く、約7割を占めている。

(2) 問 17 感染症患者等の人権を守るために必要だと思われること

問 17 感染症患者等の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



感染症患者等の人権を守るために必要なことについてみると、「医療機関などにおける個人情報保護の徹底」の割合が50.4%で最も高く、次いで「感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」が41.1%、「治療法確立などの医療体制の整備」32.1%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	医療機関などにおける個人情報保護の徹底	感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める	学校教育における感染症患者等の人権に関する正しい知識や教育の充実	治療法確立などの医療体制の整備	感染者の生活や治療費を支援する	感染症患者等のための相談・支援体制の充実	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	1,143	50.4	41.1	31.9	32.1	29.4	31.4	1.3	3.0	6.6	2.0	
性・年代別	女性計	688	53.5	41.1	31.5	32.3	31.0	32.4	1.0	2.5	5.5	1.9
	20代	43	●67.4	30.2	39.5	23.3	27.9	20.9	0.0	0.0	11.6	0.0
	30代	84	●61.9	33.3	39.3	35.7	32.1	27.4	4.8	1.2	4.8	1.2
	40代	136	55.1	45.6	30.1	38.2	35.3	24.3	1.5	0.7	5.9	0.7
	50代	119	58.8	37.8	29.4	34.5	31.1	38.7	0.8	3.4	3.4	1.7
	60代	157	47.1	43.9	31.2	30.6	34.4	36.9	0.0	3.2	5.7	1.9
	70代	148	45.9	44.6	28.4	27.0	23.0	35.8	0.0	4.1	5.4	4.1
	男性計	419	46.1	42.0	34.4	30.8	27.4	30.3	1.4	3.1	7.9	2.4
	20代	32	50.0	34.4	31.3	25.0	34.4	25.0	0.0	0.0	9.4	3.1
	30代	43	44.2	●53.5	●44.2	25.6	30.2	20.9	0.0	9.3	9.3	0.0
	40代	73	45.2	43.8	38.4	41.1	38.4	31.5	1.4	0.0	1.4	1.4
	50代	76	51.3	●53.9	25.0	27.6	26.3	27.6	3.9	3.9	9.2	0.0
	60代	93	43.0	36.6	37.6	26.9	25.8	32.3	2.2	3.2	5.4	3.2
	70代	102	45.1	34.3	32.4	33.3	18.6	35.3	0.0	2.9	12.7	4.9

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

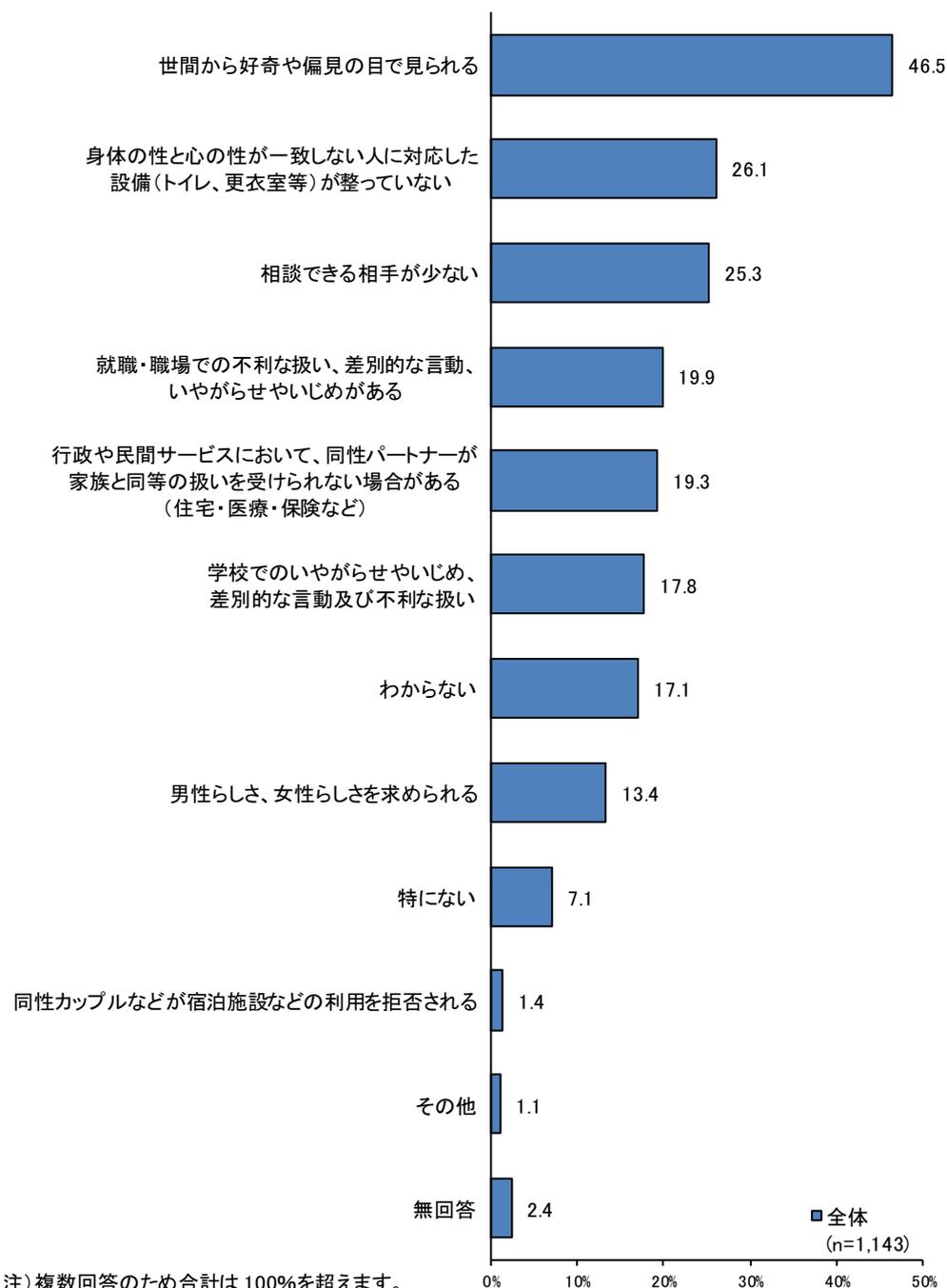
性別でみると、女性・男性ともに「医療機関などにおける個人情報保護の徹底」の割合が最も高く、次いで「感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」の順となっているが、第3位をみると、女性では「感染症患者等のための相談・支援体制の充実」、男性では「学校教育における感染症に関する正しい知識や感染症患者等の人権に関する教育の充実」の順となっている。

性・年代別でみると、「医療機関などにおける個人情報保護の徹底」の割合は、女性では年代が低いほど高い傾向にあり、20代女性で67.4%と最も高くなっており、全ての年代で男性より女性の割合が高くなっている。

9 性的指向・性自認

(1) 問 18 LGBT等の性的少数者に関する事柄で、人権上問題があると思われること

問 18 LGBT等の性的少数者の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



LGBT等の性的少数者の人権に関することで、特に問題があると思うことについてみると、「世間から好奇や偏見の目で見られる」の割合が46.5%で最も高く、次いで「身体性の性と心の性が一致しない人に対応した設備(トイレ、更衣室等)が整っていない」が26.1%、「相談できる相手が少ない」25.3%の順となっている。

	調査数	男性らしさ、女性らしさを求められる	世間から好奇や偏見の目で見られる	相談できる相手が少ない	就職・職場での不利な扱い、差別的な言動、いやがらせやいじめがある	学校でのいやがらせやいじめ、差別的な言動及び不利な扱い	身体設備（トイレ、更衣室等）が整っていない	行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けられない	同性カッブルなどが宿泊施設などの利用を拒否される	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	1,143	13.4	46.5	25.3	19.9	17.8	26.1	19.3	1.4	1.1	7.1	17.1	2.4	
性・年代別	女性計	688	13.1	47.8	22.5	19.0	17.0	30.4	22.7	1.6	0.6	5.4	17.6	2.3
	20代	43	●27.9	●72.1	27.9	25.6	23.3	●37.2	25.6	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	84	●26.2	51.2	25.0	17.9	27.4	●45.2	●29.8	2.4	2.4	2.4	9.5	1.2
	40代	136	11.0	54.4	27.9	25.0	23.5	●38.2	27.2	0.7	0.0	2.9	7.4	0.7
	50代	119	12.6	46.2	31.9	21.8	17.6	31.1	27.7	2.5	0.0	2.5	15.1	0.8
	60代	157	10.2	49.0	17.8	17.2	9.6	24.8	22.3	0.0	1.3	6.4	21.7	3.2
	70代	148	6.8	33.1	12.2	12.2	10.8	18.2	10.1	1.4	0.0	12.2	●33.8	5.4
	男性計	419	13.1	45.1	29.8	22.0	20.0	18.6	15.0	1.2	1.2	9.8	16.2	2.9
	20代	32	●28.1	46.9	●40.6	18.8	●28.1	15.6	9.4	3.1	0.0	6.3	12.5	3.1
	30代	43	16.3	55.8	27.9	25.6	23.3	18.6	23.3	2.3	0.0	16.3	4.7	0.0
	40代	73	17.8	41.1	●41.1	24.7	26.0	23.3	20.5	1.4	1.4	6.8	13.7	0.0
	50代	76	9.2	47.4	25.0	22.4	18.4	18.4	15.8	1.3	1.3	9.2	18.4	0.0
60代	93	8.6	45.2	29.0	25.8	19.4	19.4	12.9	1.1	3.2	10.8	16.1	3.2	
70代	102	10.8	41.2	23.5	15.7	13.7	15.7	10.8	0.0	0.0	9.8	22.5	7.8	

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性・男性ともに「世間から好奇や偏見の目で見られる」の割合が最も高くなっているが、女性では次いで「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室等）が整っていない」（30.4%）の順となっており、男性では「相談できる相手が少ない」（29.8%）の順となっている。

性・年代別でみると、「男性らしさ、女性らしさを求められる」の割合は、女性・男性ともに年代が若いほど高く、20代でともに約3割を占めており、「相談できる相手が少ない」の割合は、50代を除く全ての年代で、女性より男性が高くなっており、「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室等）が整っていない」の割合は、全ての年代で男性より女性が高く、30代男性（18.6%）より30代女性（45.2%）が約27ポイント高くなっている。

(数値:%)

	調査数	男性らしさ、女性らしさを求められる	世間から好奇や偏見の目で見られる	相談できる相手が少ない	就職・職場での不利な扱い、差別的な言動、いやがらせやいじめがある	学校でのいやがらせやいじめ、差別的な言動及び不利な扱い	身体性の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室等）が整っていない	行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けられない場合がある（住宅・医療・保険など）	同性カップルなどが宿泊施設などの利用を拒否される	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	1,143	13.4	46.5	25.3	19.9	17.8	26.1	19.3	1.4	1.1	7.1	17.1	2.4	
年代別	20代	81	●30.9	●59.3	33.3	22.2	25.9	32.1	17.3	4.9	0.0	2.5	4.9	1.2
	30代	128	22.7	53.1	25.8	20.3	25.8	35.9	27.3	2.3	1.6	7.0	7.8	0.8
	40代	215	14.0	49.8	33.0	24.7	23.7	32.6	24.2	0.9	0.5	4.2	10.2	0.5
	50代	202	11.4	46.5	28.7	21.8	17.8	26.7	22.8	2.0	1.5	5.0	15.8	0.5
	60代	255	9.8	47.1	21.6	20.4	12.9	22.4	18.4	0.4	2.0	8.6	20.0	3.1
70代	254	8.3	36.2	17.3	13.4	11.8	17.3	10.6	0.8	0.4	11.0	●28.7	6.3	

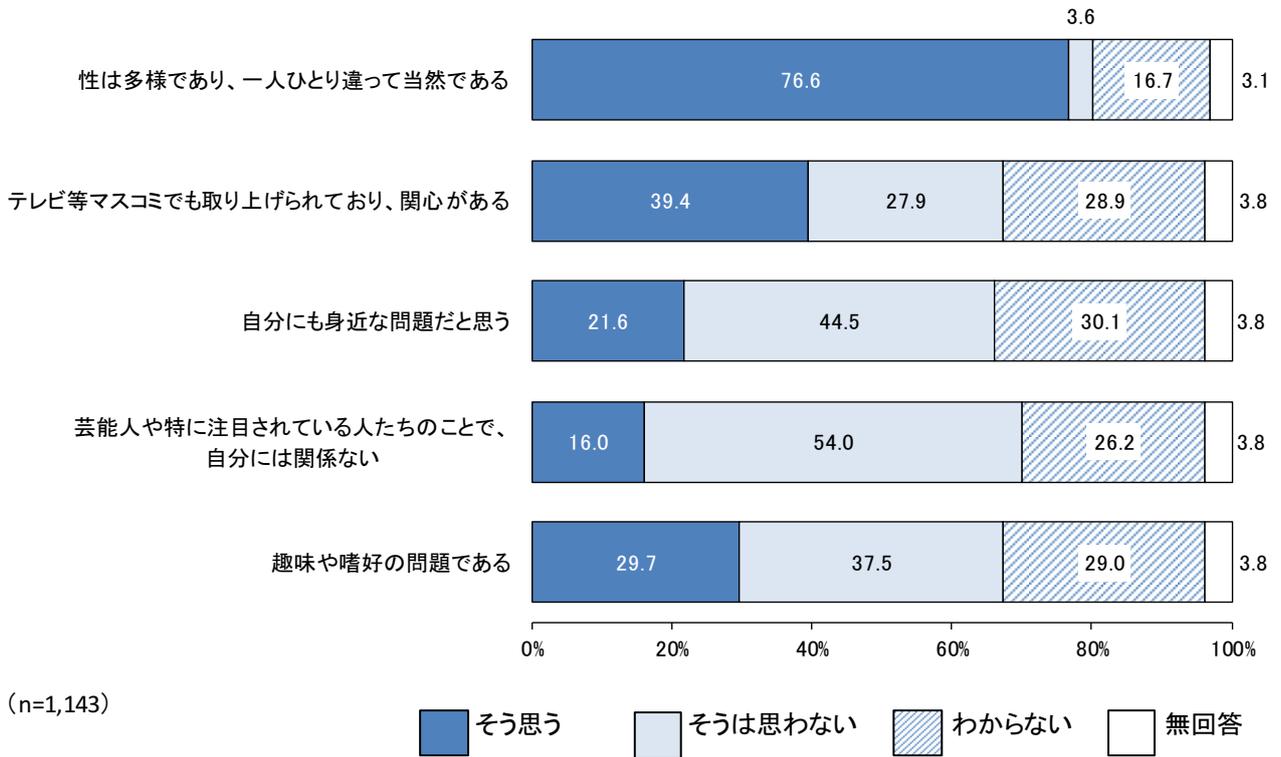
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「男性らしさ、女性らしさを求められる」、「世間から好奇や偏見の目で見られる」、「学校でのいやがらせやいじめ、差別的な言動及び不利な扱い」、「身体性の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室等）が整っていない」の割合は、年代が低い程高い傾向がみられる。

また、年代が高いほど「わからない」の割合が高くなっている。

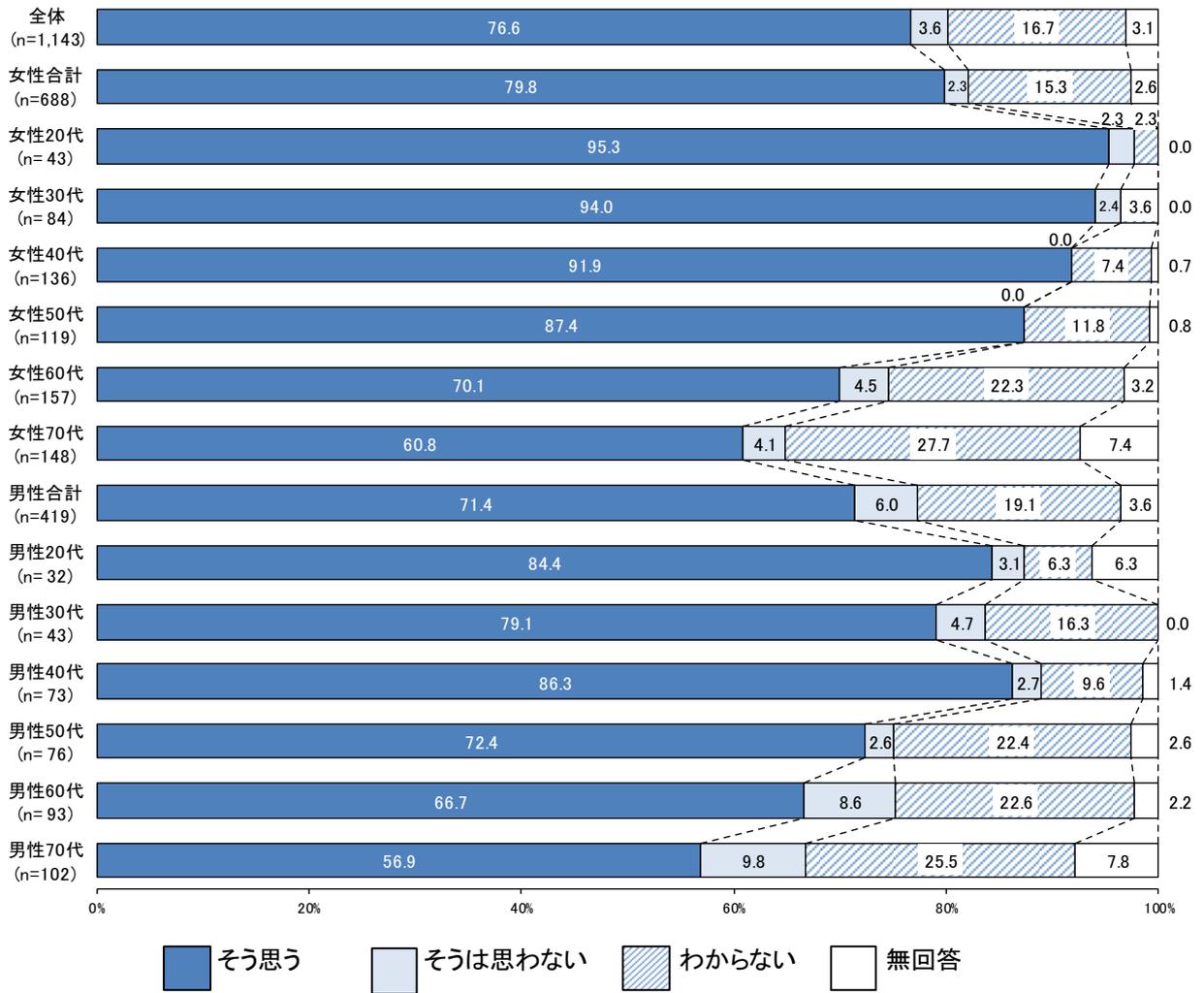
(2) 問 19 LGBT等の性的少数者について、どのような考えを持っているか

問 19 あなたは、LGBT等の性的少数者について、どのような考えをお持ちですか。(それぞれに○を1つ)



LGBT等の性的少数者についての考えについてみると、そう思うの割合は、「性は多様であり、一人ひとり違って当然である」が76.6%で最も高く、そうは思わないの割合は、「芸能人や特に注目されている人たちのことで、自分には関係ない」が54.0%で、最も高くなっている。

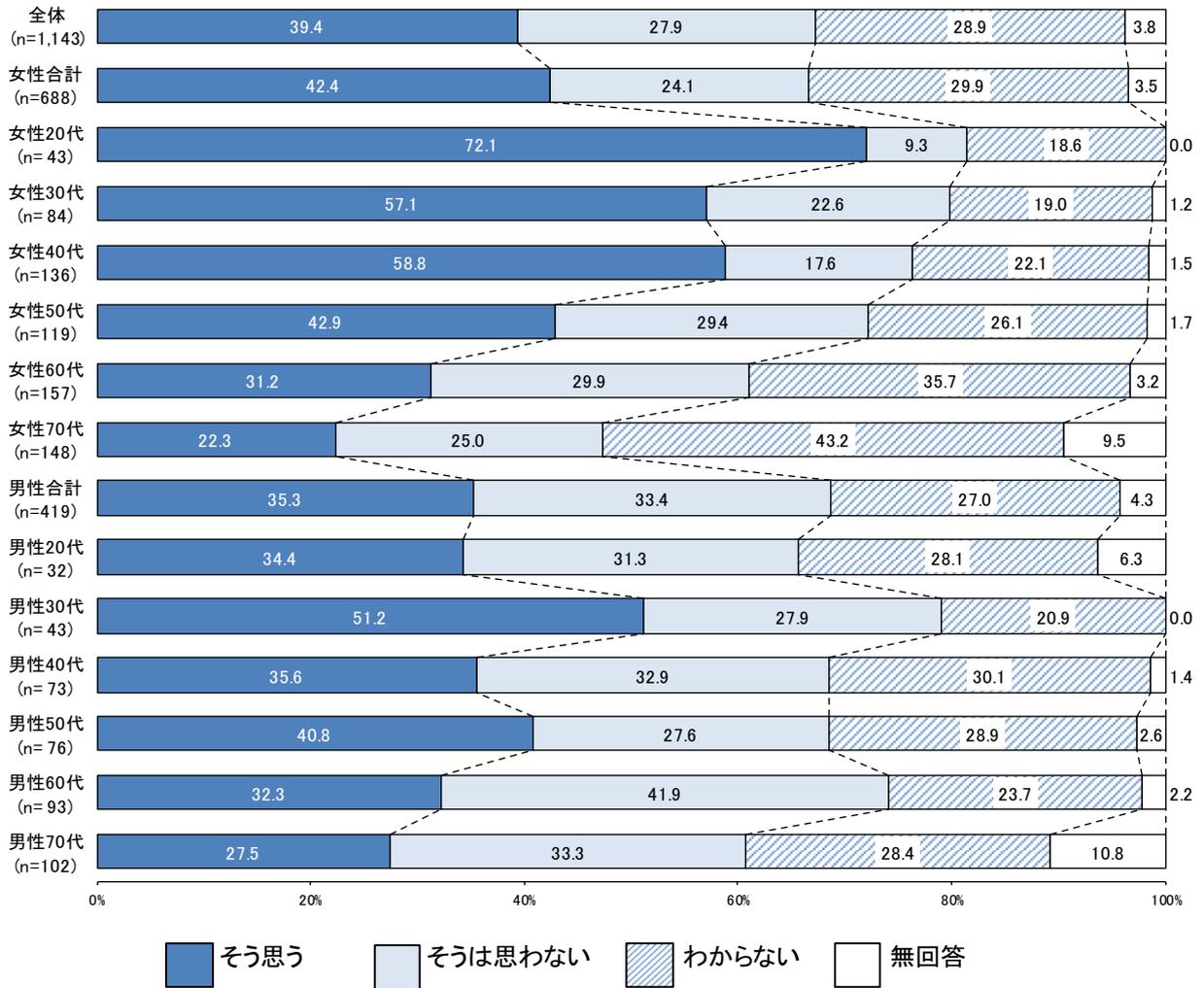
(a) 性は多様であり、一人ひとり違って当然である



性別で見ると、「そう思う」の割合は、男性（71.4%）より女性（79.8%）が8.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は女性・男性ともに年代が低い程高くなる傾向がみられ、20代女性で95.3%と最も高くなっている。

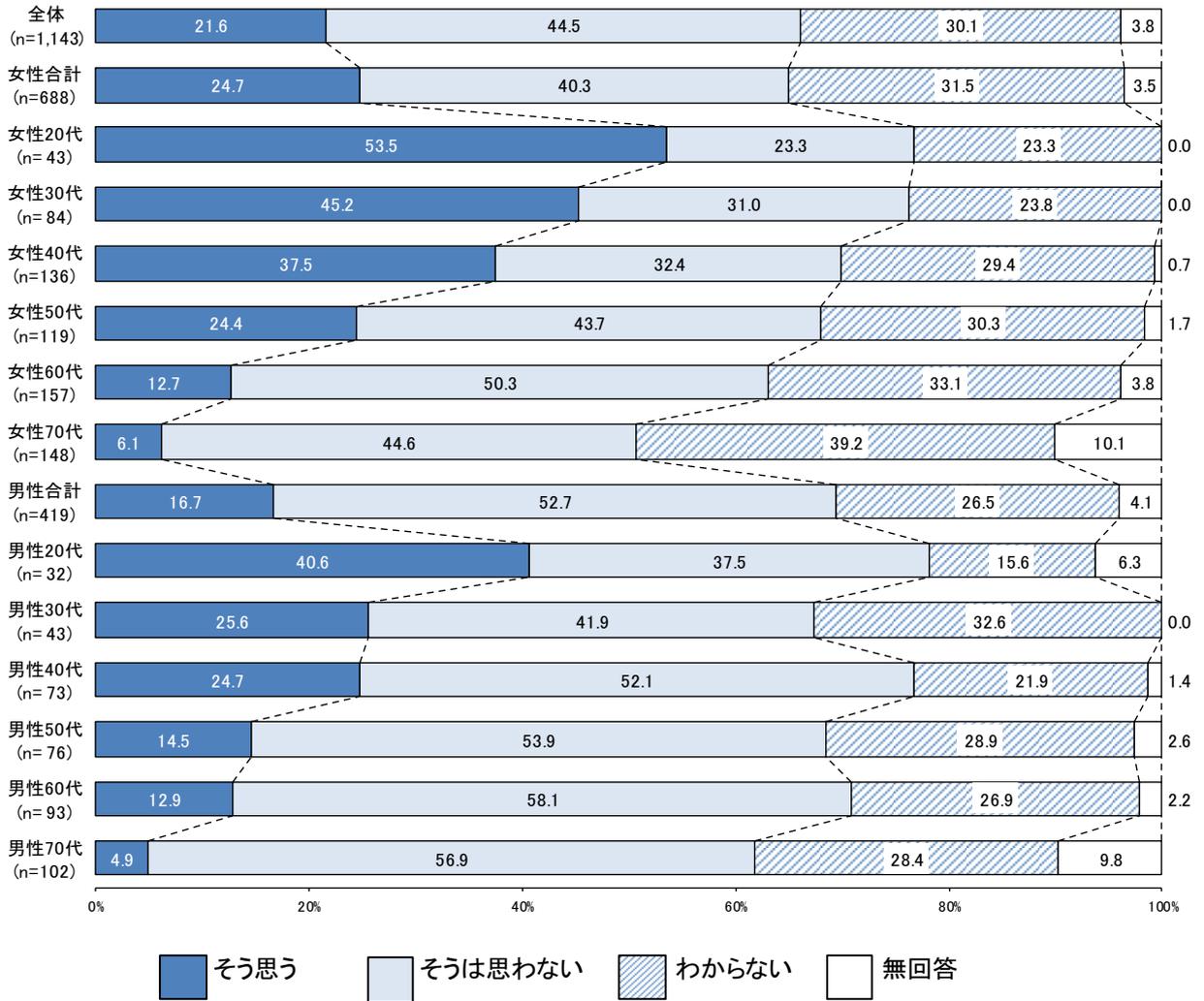
(b) テレビ等マスコミでも取り上げられており、関心がある



性別で見ると、「そう思う」の割合は、男性（35.3%）より女性（42.4%）が約7ポイント高く、「そうは思わない」の割合は、女性（24.1%）より男性（33.4%）が約10ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、女性では年代が低くなるにつれ高くなっており、20代女性で72.1%と最も高くなっている。また、「そうは思わない」の割合は60代男性で41.9%と最も高くなっている。

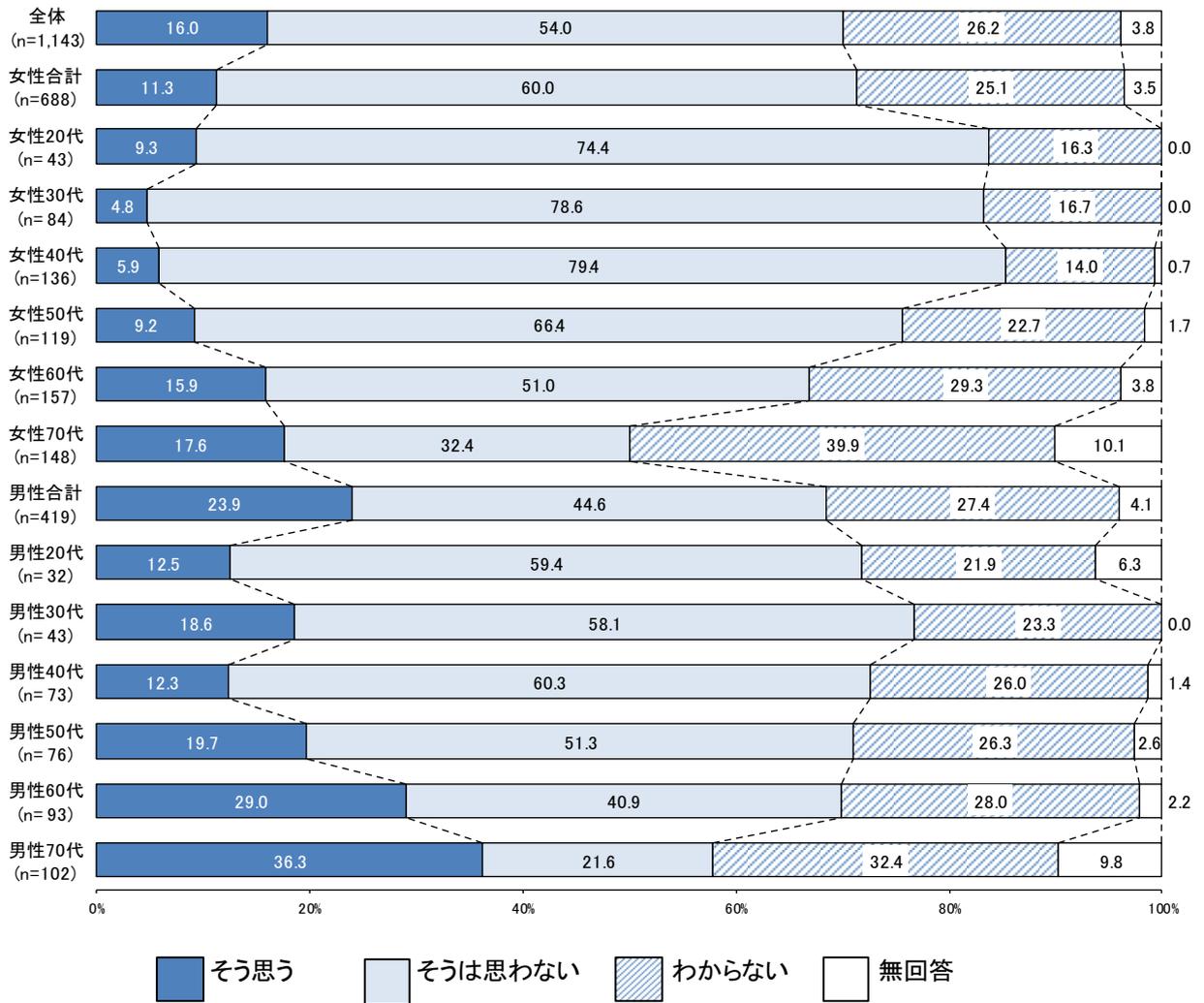
(c) 自分にも身近な問題だと思う



性別で見ると、「そう思う」の割合は、男性（16.7%）より女性（24.7%）が8ポイント高く、「そうは思わない」の割合は、女性（40.3%）より男性（52.7%）が12.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、女性・男性ともに年代が低くなるにつれて高くなっており、20代女性で53.5%と最も高く、「そうは思わない」の割合は60代男性で58.1%と最も高くなっている。

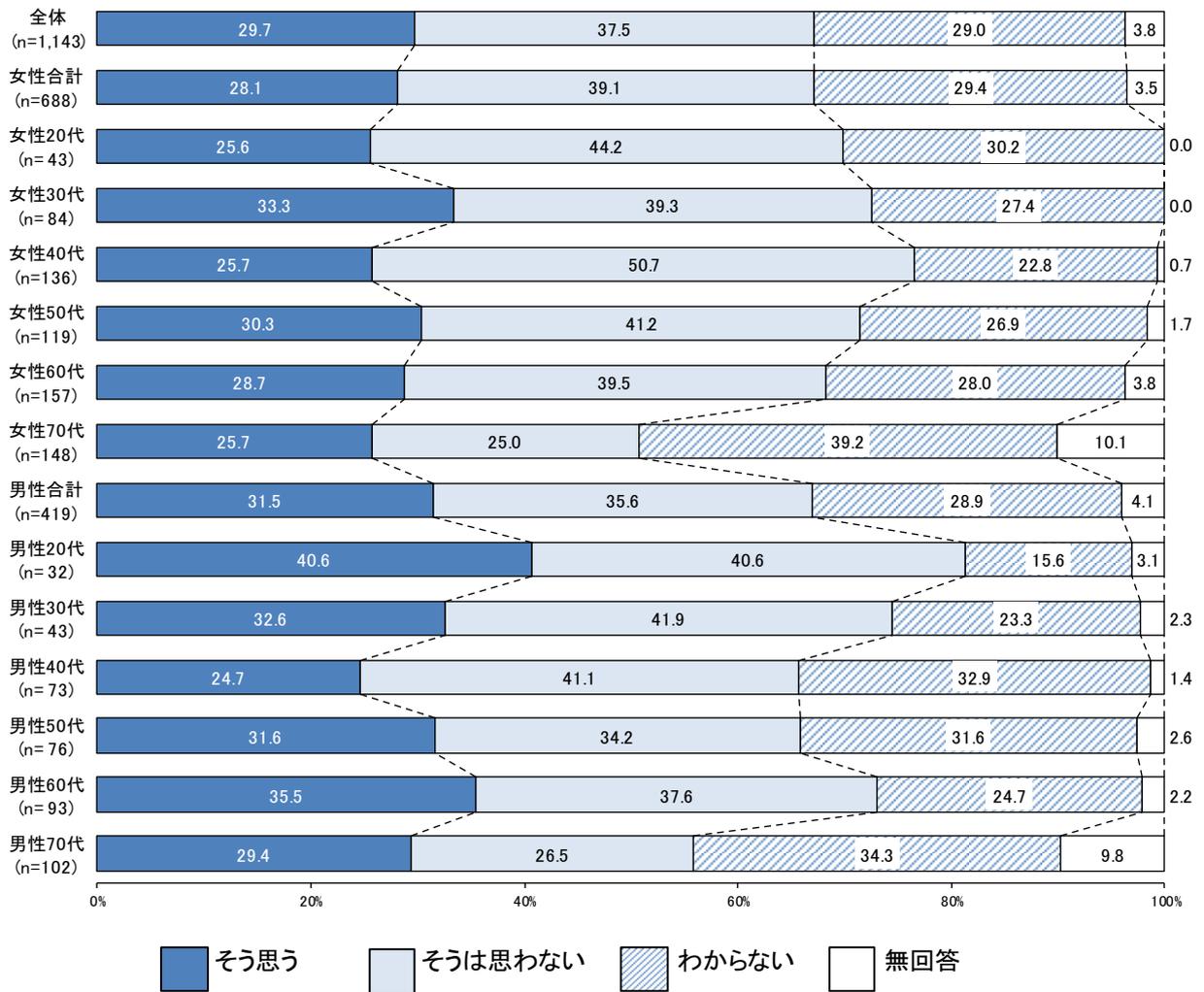
(d) 芸能人や特に注目されている人たちのことで、自分には関係ない



性別で見ると、「そう思う」の割合は、女性（11.3%）より男性（23.9%）が12.6ポイント高く、「そうは思わない」の割合は、男性（44.6%）より女性（60.0%）が15.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、年代が高くなるにつれ高くなる傾向がみられ、70代男性で36.3%と最も高く、「そうは思わない」の割合は40代女性で79.4%と最も高くなっている。

(e) 趣味や嗜好の問題である

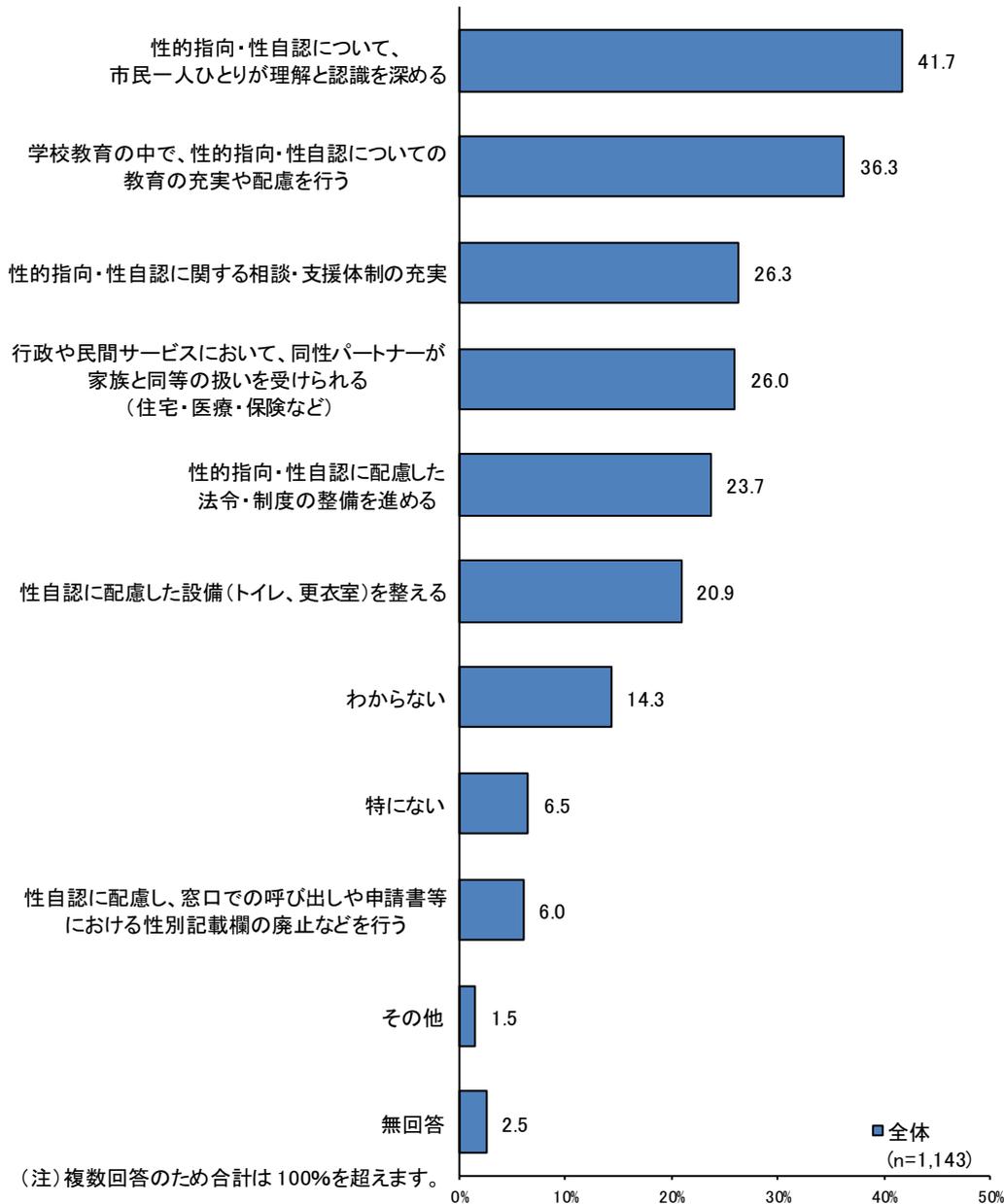


性別で見ると、「そう思う」の割合は、女性（28.1%）より男性（31.5%）が3.4ポイント高く、「そうは思わない」の割合は、男性（35.6%）より女性（39.1%）が3.5ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、20代男性で40.6%と最も高く、「そうは思わない」の割合は40代女性で50.7%と最も高くなっている。

(3) 問 20 LGBT等の性的少数者の人権を守るために必要だと思われること

問 20 LGBT等の性的少数者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



LGBT等の性的少数者の人権を守るために必要なことについてみると、「性的指向・性自認について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」の割合が41.7%と最も高く、次いで「学校教育の中で、性的指向・性自認についての教育の充実や配慮を行う」が36.3%、「性的指向・性自認に関する相談・支援体制の充実」26.3%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	解と認識を深める	性的指向・市民一人ひとりが理解している	育向・学校の教育の充実や配慮を行う	学校・教育の中で、性的指向・性自認に関する相談・支援体制の充実	性的指向・性自認に関する相談・支援体制の充実	え(トイレ、更衣室)を整える	性自認に配慮した設備を整える	進められた法令・制度の整備	性的指向・性自認の整備	陰な(住宅・医療・保険など)の受け	家族と同等の扱いを受ける	行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受ける	おける性別記載欄の廃止	の呼び出しや申請書の廃止	性自認に配慮し、窓口で	その他	特にな	わからない	無回答						
全体	1,143	41.7	36.3	26.3	20.9	23.7	26.0	6.0	1.5	6.5	14.3	2.5	688	40.1	38.2	24.0	23.7	24.3	30.7	6.8	1.0	5.4	13.7	2.3		
性・年代別	女性計	688	40.1	38.2	24.0	23.7	24.3	30.7	6.8	1.0	5.4	13.7	2.3	20代	43	27.9	●62.8	18.6	●44.2	●37.2	●44.2	7.0	0.0	2.3	4.7	0.0
		84	47.6	42.9	23.8	●34.5	27.4	●39.3	10.7	2.4	3.6	9.5	0.0	30代	136	43.4	●52.2	27.9	●36.8	32.4	33.8	6.6	0.0	0.7	5.9	0.7
		119	47.1	36.1	31.1	20.2	25.2	32.8	9.2	0.8	3.4	7.6	0.8	40代	157	43.3	33.1	22.3	15.3	21.7	31.2	6.4	1.3	3.8	19.1	3.2
		148	27.7	23.0	18.2	11.5	12.8	16.9	3.4	1.4	14.9	●25.0	6.1	50代	419	44.4	33.9	31.0	16.2	23.4	19.3	4.1	1.9	7.6	15.5	2.9
	男性計	419	44.4	33.9	31.0	16.2	23.4	19.3	4.1	1.9	7.6	15.5	2.9	20代	32	46.9	37.5	●37.5	15.6	25.0	18.8	3.1	0.0	6.3	9.4	3.1
		43	51.2	39.5	20.9	16.3	32.6	23.3	9.3	0.0	11.6	9.3	0.0	30代	73	47.9	39.7	●37.0	21.9	28.8	27.4	5.5	2.7	1.4	12.3	1.4
		76	●53.9	31.6	31.6	15.8	22.4	19.7	3.9	1.3	7.9	14.5	1.3	40代	93	41.9	35.5	30.1	19.4	22.6	19.4	1.1	5.4	9.7	10.8	2.2
		102	33.3	26.5	29.4	9.8	16.7	11.8	3.9	0.0	8.8	●27.5	6.9	50代	202	50.0	34.7	30.7	18.3	23.8	27.2	7.9	1.5	5.0	9.9	1.0
		255	42.0	33.3	24.7	16.5	22.0	26.7	4.7	2.7	7.1	15.7	3.1	60代	254	30.3	24.0	22.8	10.6	14.2	15.0	3.5	0.8	12.6	●26.0	6.3
		70代	254	30.3	24.0	22.8	10.6	14.2	15.0	3.5	0.8	12.6	●26.0	6.3												

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性・男性ともに「性的指向・性自認について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」の割合が最も高く、次いで「学校教育の中で、性的指向・性自認についての教育の充実や配慮を行う」の順となっているが、第3位をみると、女性では「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けられる(住宅・医療・保険など)」(30.7%)、男性では「性的指向・性自認に関する相談・支援体制の充実」(31.0%)の順となっている。

性・年代別でみると、「行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受けられる(住宅・医療・保険など)」の割合は、全ての年代で男性より女性が高くなっている。

(数値:%)

	調査数	解と認識を深める	性的指向・市民一人ひとりが理解している	育向・学校の教育の充実や配慮を行う	学校・教育の中で、性的指向・性自認に関する相談・支援体制の充実	性的指向・性自認に関する相談・支援体制の充実	え(トイレ、更衣室)を整える	性自認に配慮した設備を整える	進められた法令・制度の整備	性的指向・性自認の整備	陰な(住宅・医療・保険など)の受け	家族と同等の扱いを受ける	行政や民間サービスにおいて、同性パートナーが家族と同等の扱いを受ける	おける性別記載欄の廃止	の呼び出しや申請書の廃止	性自認に配慮し、窓口で	その他	特にな	わからない	無回答						
全体	1,143	41.7	36.3	26.3	20.9	23.7	26.0	6.0	1.5	6.5	14.3	2.5	81	34.6	●53.1	25.9	●37.0	30.9	32.1	7.4	0.0	3.7	6.2	1.2		
年代別	20代	128	48.4	41.4	22.7	28.1	28.9	33.6	10.2	1.6	6.3	10.2	0.0	30代	215	45.6	●47.9	31.2	●31.2	31.2	6.0	1.4	0.9	8.4	0.9	
	40代	202	50.0	34.7	30.7	18.3	23.8	27.2	7.9	1.5	5.0	9.9	1.0	50代	255	42.0	33.3	24.7	16.5	22.0	26.7	4.7	2.7	7.1	15.7	3.1
	60代	254	30.3	24.0	22.8	10.6	14.2	15.0	3.5	0.8	12.6	●26.0	6.3													

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

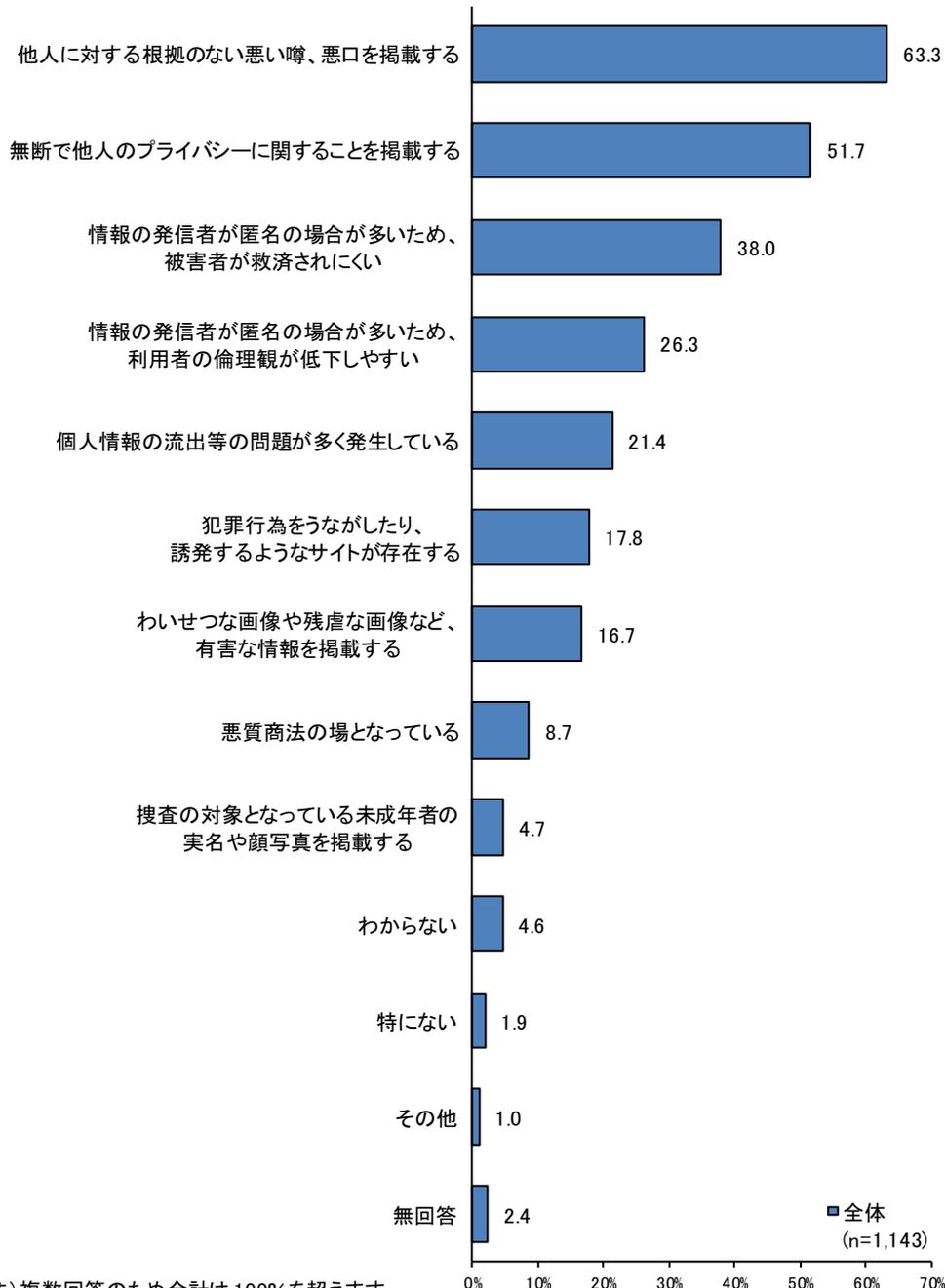
年代別でみると、「学校教育の中で、性的指向・性自認についての教育の充実や配慮を行う」の割合は、年代が低い程高くなっており、20代で53.1%と最も高くなっている。

また、「学校教育の中で、性的指向・性自認についての教育の充実や配慮を行う」や「性自認に配慮した設備(トイレ、更衣室)を整える」の割合は、20代・40代で全体と比較して10ポイント以上高くなっている。

10 インターネットにおける人権侵害

(1) 問 21 インターネットにおける人権侵害に関する事柄で、問題があると思われること

問 21 インターネットによる人権侵害に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



インターネットによる人権侵害に関することで、特に問題があると思うことについてみると、「他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する」の割合が63.3%で最も高く、次いで「無断で他人のプライバシーに関することを掲載する」が51.7%、「情報の発信者が匿名の場合が多いため、被害者が救済されにくい」38.0%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	無断で他人のプライバシーに	他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する	わいせつな画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載する	犯罪行為をうながしたり、誘発するようなサイトが存在する	捜査の対象となっており、未成	多くの発信者が匿名の場合	情報の発信者が匿名の場合	低くしや、利用者の倫理観が	悪質商法の場となっている	個人情報流出等の問題が多	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1,143	51.7	63.3	16.7	17.8	4.7	38.0	26.3	8.7	21.4	1.0	1.9	4.6	2.4	
性・年代別	女性計	688	50.6	63.2	18.2	18.8	5.1	35.5	26.5	6.8	23.8	0.4	1.6	5.2	2.6
	20代	43	●65.1	60.5	14.0	18.6	4.7	34.9	●37.2	4.7	25.6	0.0	2.3	0.0	0.0
	30代	84	53.6	67.9	21.4	11.9	9.5	35.7	25.0	7.1	19.0	1.2	1.2	4.8	1.2
	40代	136	51.5	71.3	23.5	16.2	4.4	42.6	32.4	8.1	25.0	0.0	0.7	0.7	0.0
	50代	119	43.7	70.6	18.5	25.2	6.7	40.3	●37.8	5.9	24.4	0.0	0.0	2.5	2.5
	60代	157	48.4	61.8	17.2	22.9	3.2	40.1	24.2	5.1	28.7	1.3	0.6	3.8	3.8
	70代	148	52.0	49.3	13.5	15.5	4.1	20.3	12.2	8.1	18.9	0.0	4.7	●14.9	5.4
	男性計	419	55.6	64.4	14.8	16.7	3.8	42.2	26.0	11.5	17.7	1.4	2.1	3.3	1.7
	20代	32	●62.5	65.6	15.6	18.8	12.5	34.4	15.6	0.0	21.9	0.0	0.0	0.0	6.3
	30代	43	48.8	60.5	14.0	●27.9	0.0	34.9	●37.2	18.6	18.6	0.0	7.0	0.0	2.3
	40代	73	58.9	●78.1	12.3	12.3	2.7	42.5	28.8	12.3	19.2	4.1	1.4	0.0	0.0
	50代	76	59.2	68.4	7.9	14.5	3.9	46.1	27.6	6.6	23.7	1.3	0.0	3.9	1.3
	60代	93	57.0	65.6	14.0	16.1	3.2	40.9	29.0	14.0	15.1	1.1	3.2	3.2	0.0
	70代	102	50.0	52.0	22.5	16.7	3.9	46.1	18.6	12.7	12.7	1.0	2.0	7.8	2.9

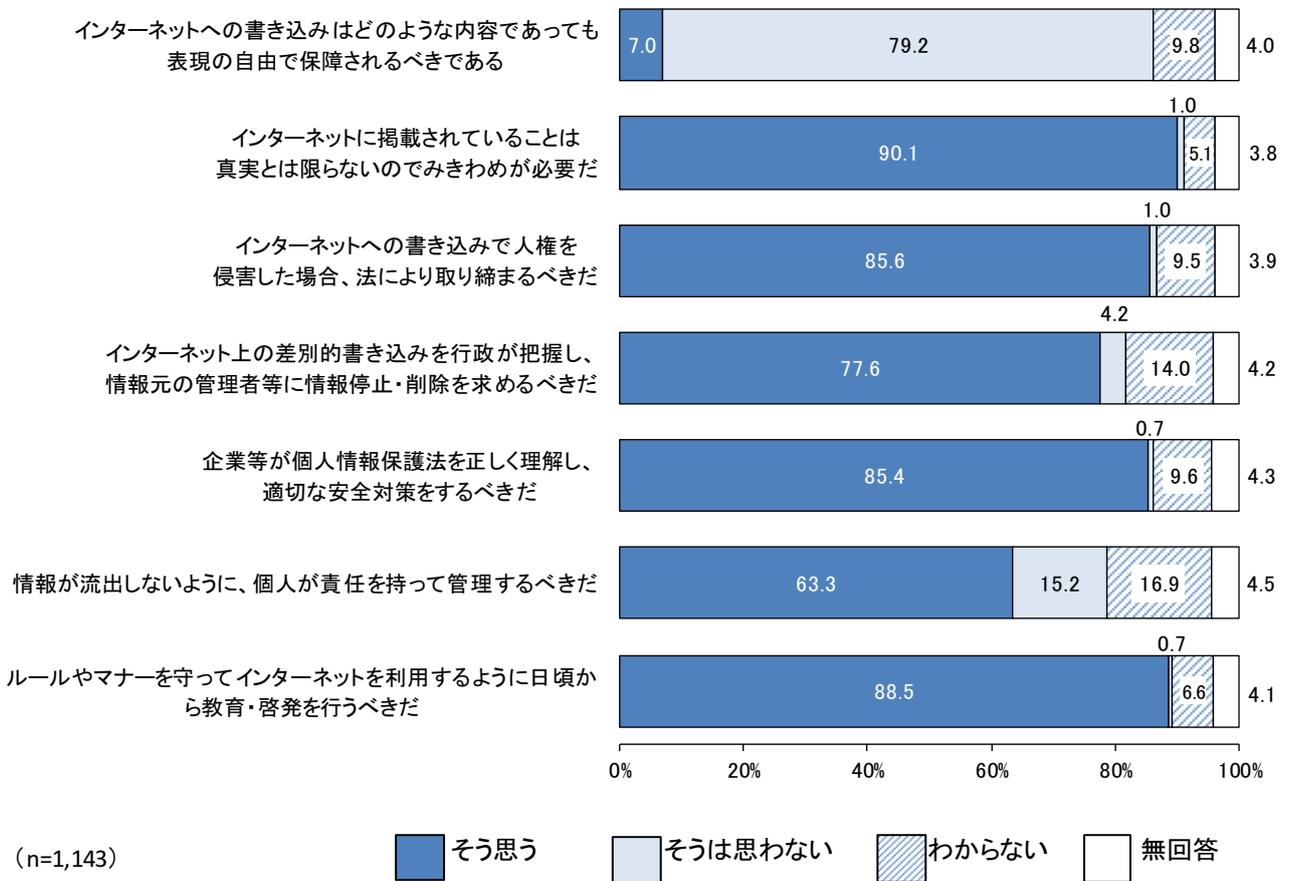
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性・男性ともに上位3項目ともに全体と同様の順位となっているが、「個人情報の流出等の問題が多く発生している」の割合は、男性（17.7%）より女性（23.8%）が約6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する」の割合が、女性・男性ともに70代を除くいずれの年代でも高く、約6～8割を占めている。

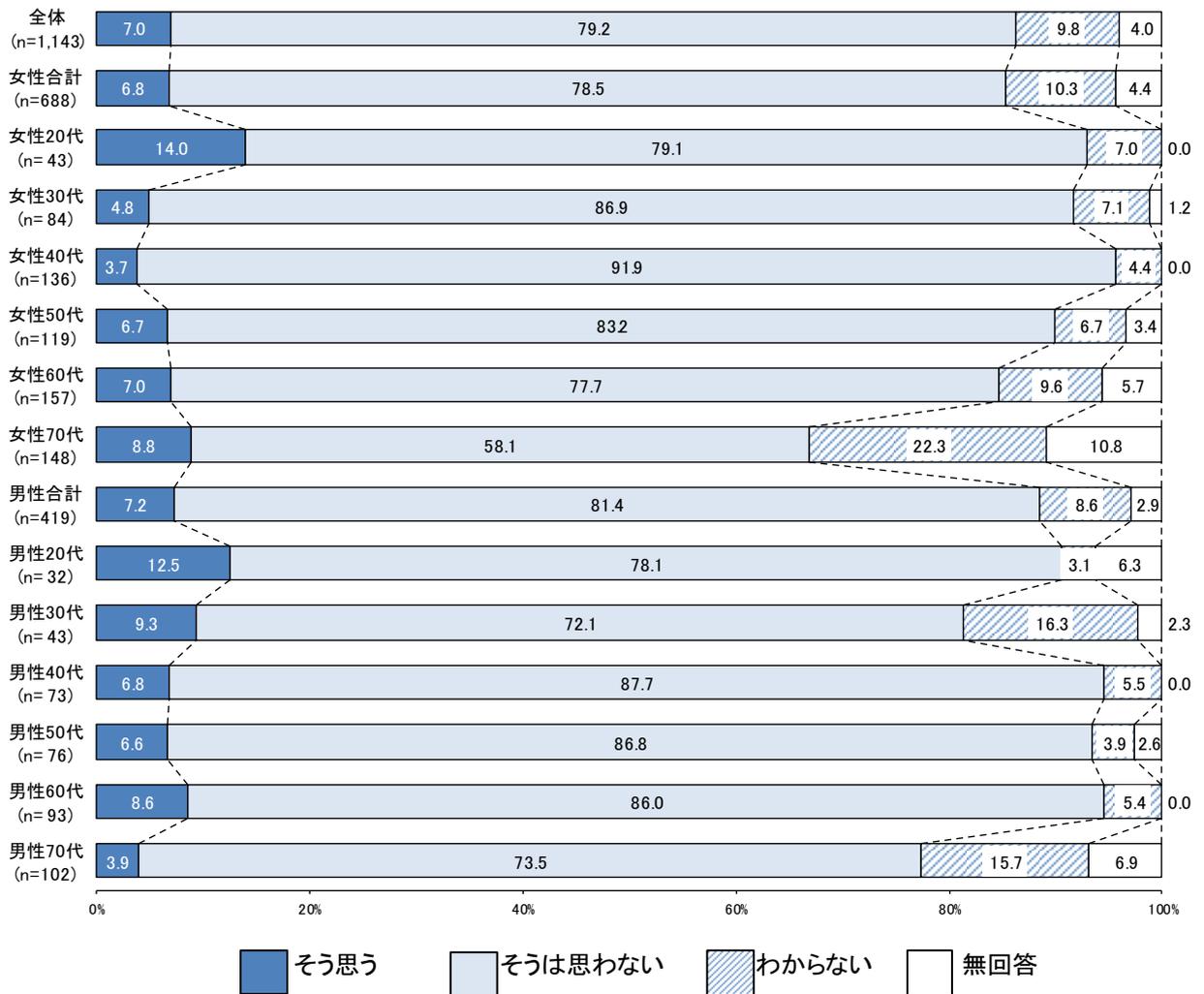
(2) 問 22 インターネットにおける人権侵害について、どのような考えを持っているか

問 22 あなたは、インターネットによる人権侵害について、どのような考えをお持ちですか。(それぞれに○を1つ)



インターネットによる人権侵害についての考えについてみると、そう思うの割合は、「インターネットに掲載されていることは真実とは限らないのでみきわめが必要だ」が90.1%で最も高く、そうは思わないの割合は、「インターネットへの書き込みはどのような内容であっても表現の自由で保障されるべきである」が79.2%で、最も高くなっている。また、わからないの割合は「情報が流出しないように、個人が責任を持って管理するべきだ」の割合が16.9%と最も高くなっている。

(a) インターネットへの書き込みはどのような内容であっても表現の自由で保障されるべきである

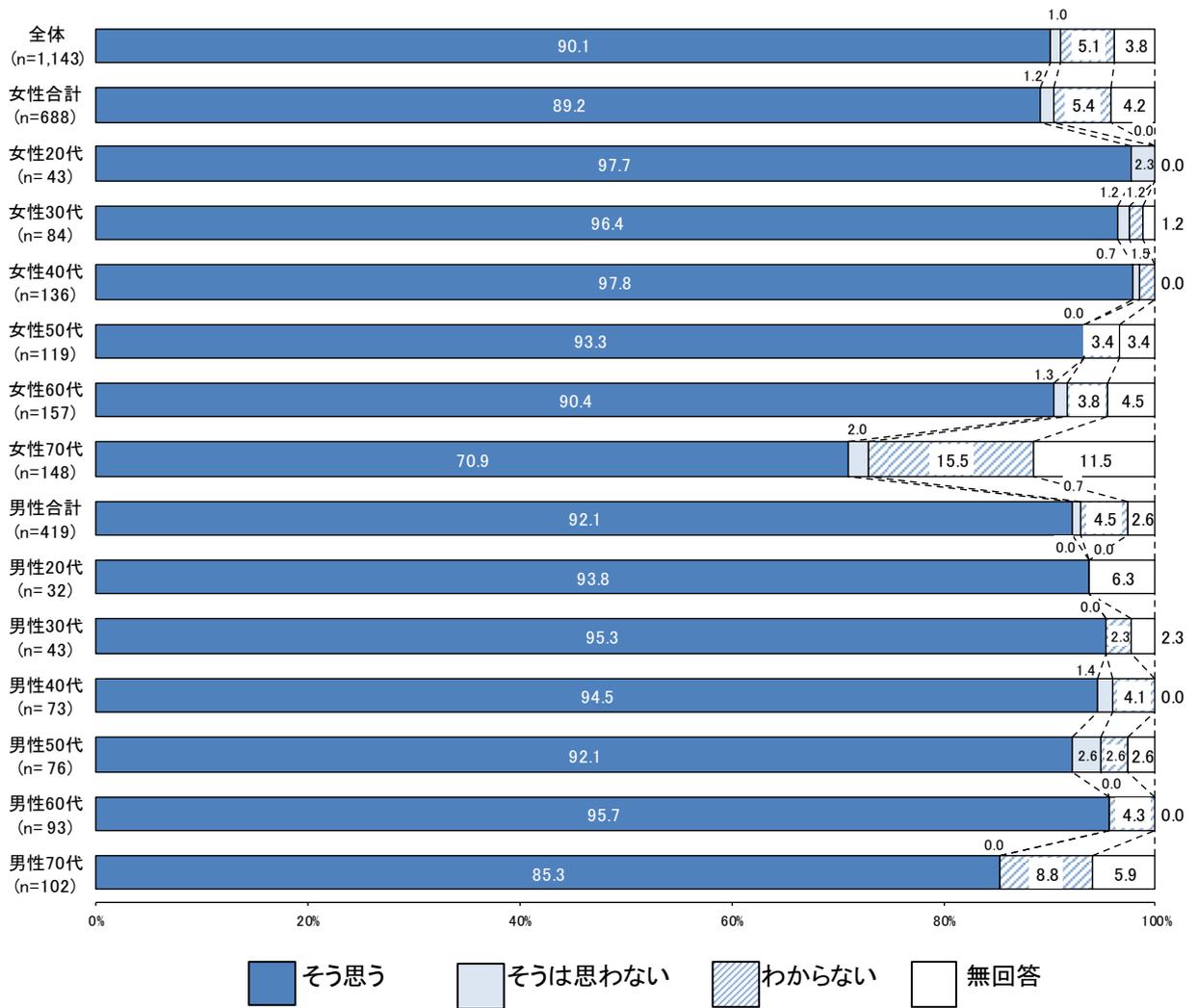


性別で見ると、大きな差はみられない。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、女性・男性ともに20代で最も高く、「そうは思わない」の割合は女性・男性ともに40代で最も高くなっている。

また、「わからない」の割合は70代女性で22.3%と2割を占めており、他の年代と比べて最も高くなっている。

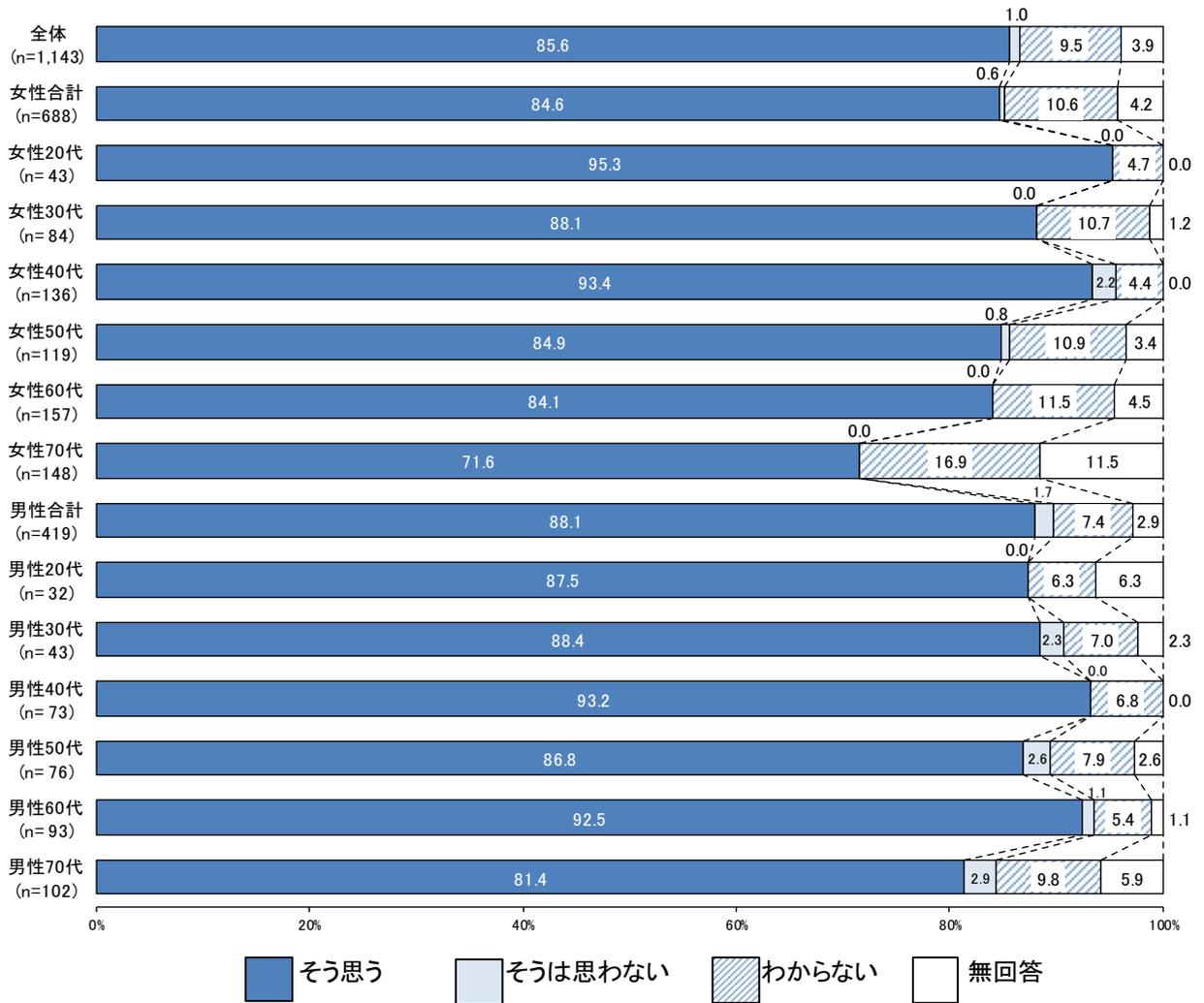
(b) インターネットに掲載されていることは真実とは限らないのでみきわめが必要だ



性別で見ると、大きな差はみられない。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、40代女性で97.8%、60代男性で95.7%と最も高くなっている。また、「わからない」の割合は70代女性で15.5%を占めており、他の年代と比べて最も高くなっている。

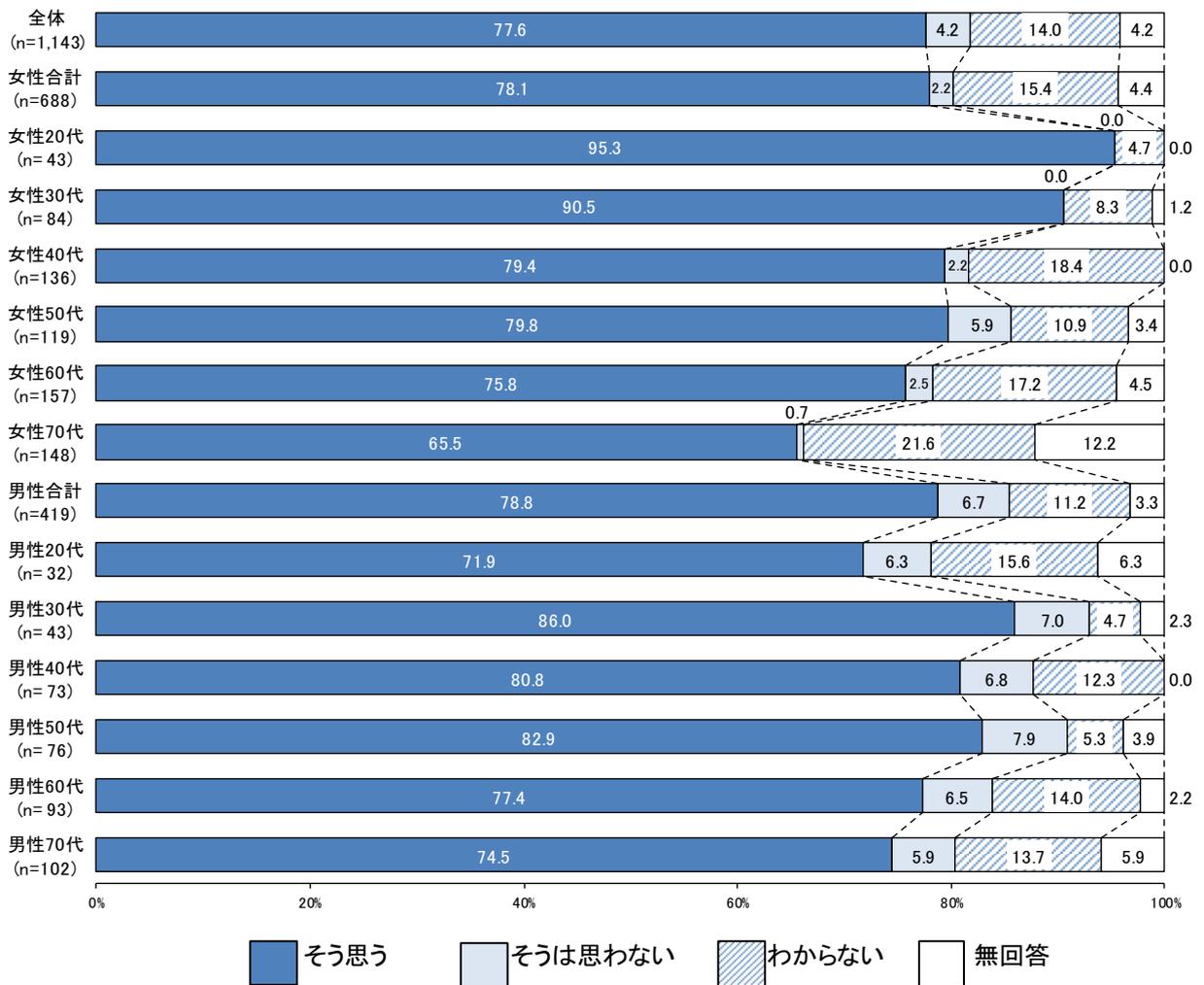
(c) インターネットへの書き込みで人権を侵害した場合、法により取り締まるべきだ



性別で見ると、大きな差はみられない。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、20代女性で95.3%、40代男性で93.2%と最も高くなっている。また、「わからない」の割合は70代女性で16.9%を占めており、他の年代と比べて最も高くなっている。

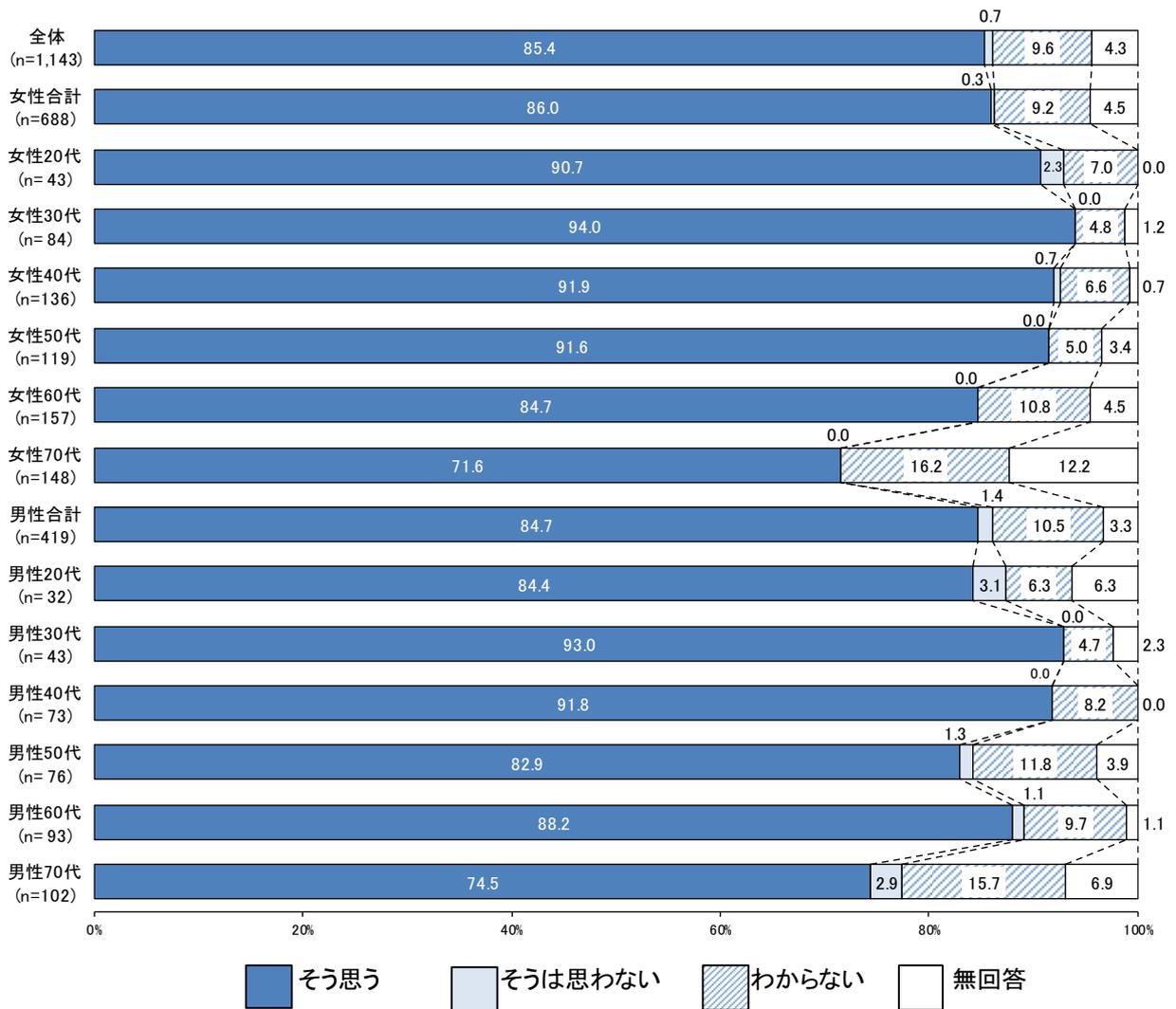
(d) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、情報元の管理者等に情報停止・削除を求めるべきだ



性別で見ると、大きな差はみられない。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、女性・男性ともに年代が低くなるにつれて高くなっており、20代女性で95.3%、30代男性で86.0%と最も高くなっている。また、「わからない」の割合は70代女性で21.6%を占めており他の年代と比べて最も高く、2割を占めている。

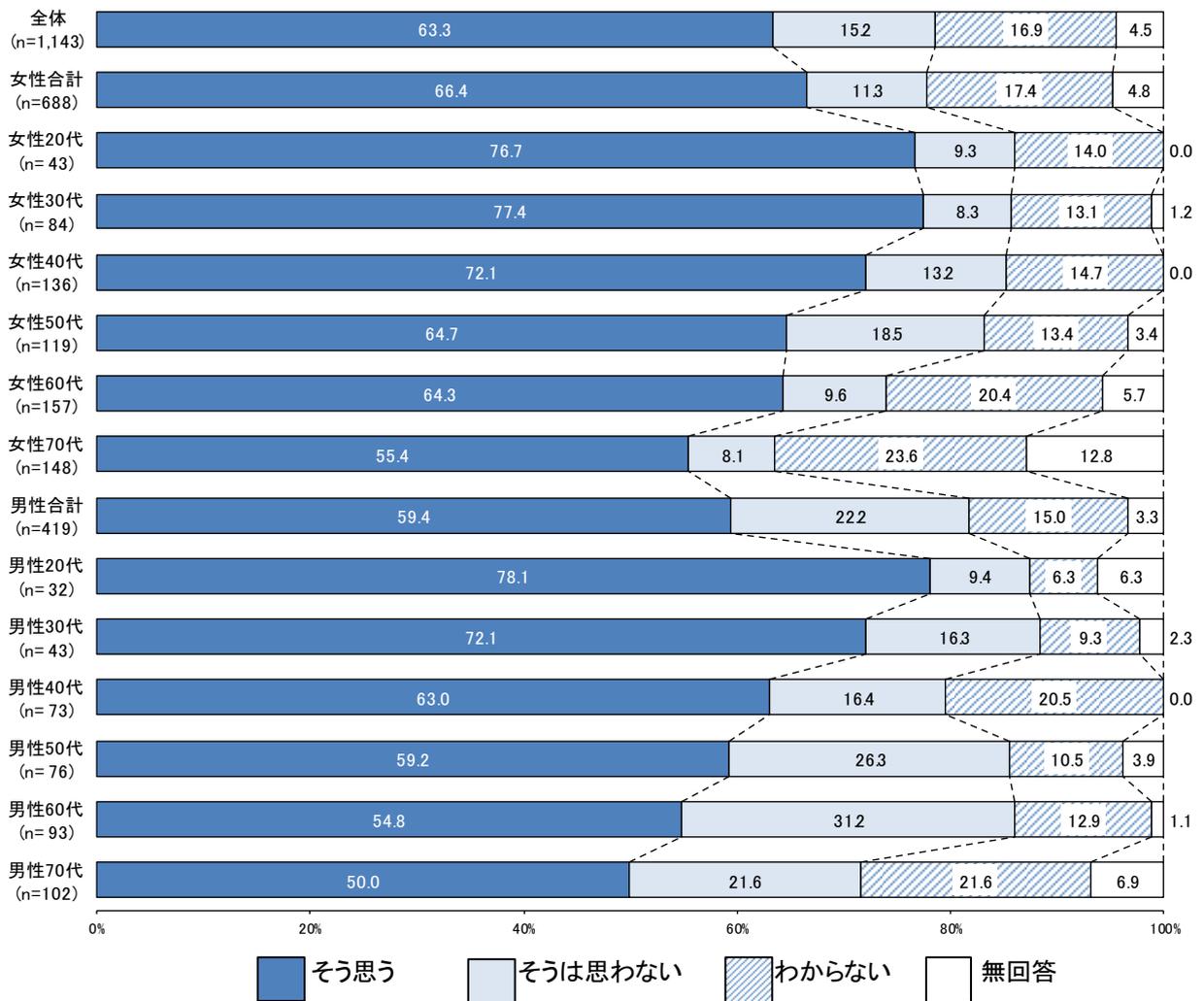
(e) 企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策をするべきだ



性別で見ると、大きな差はみられない。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、女性・男性ともに30代で最も高く、女性94.0%、男性93.0%と最も高くなっている。また、「わからない」の割合は女性・男性ともに70代で最も高く、女性16.2%、男性15.7%を占めている。

(f) 情報が流出しないように、個人が責任を持って管理するべきだ

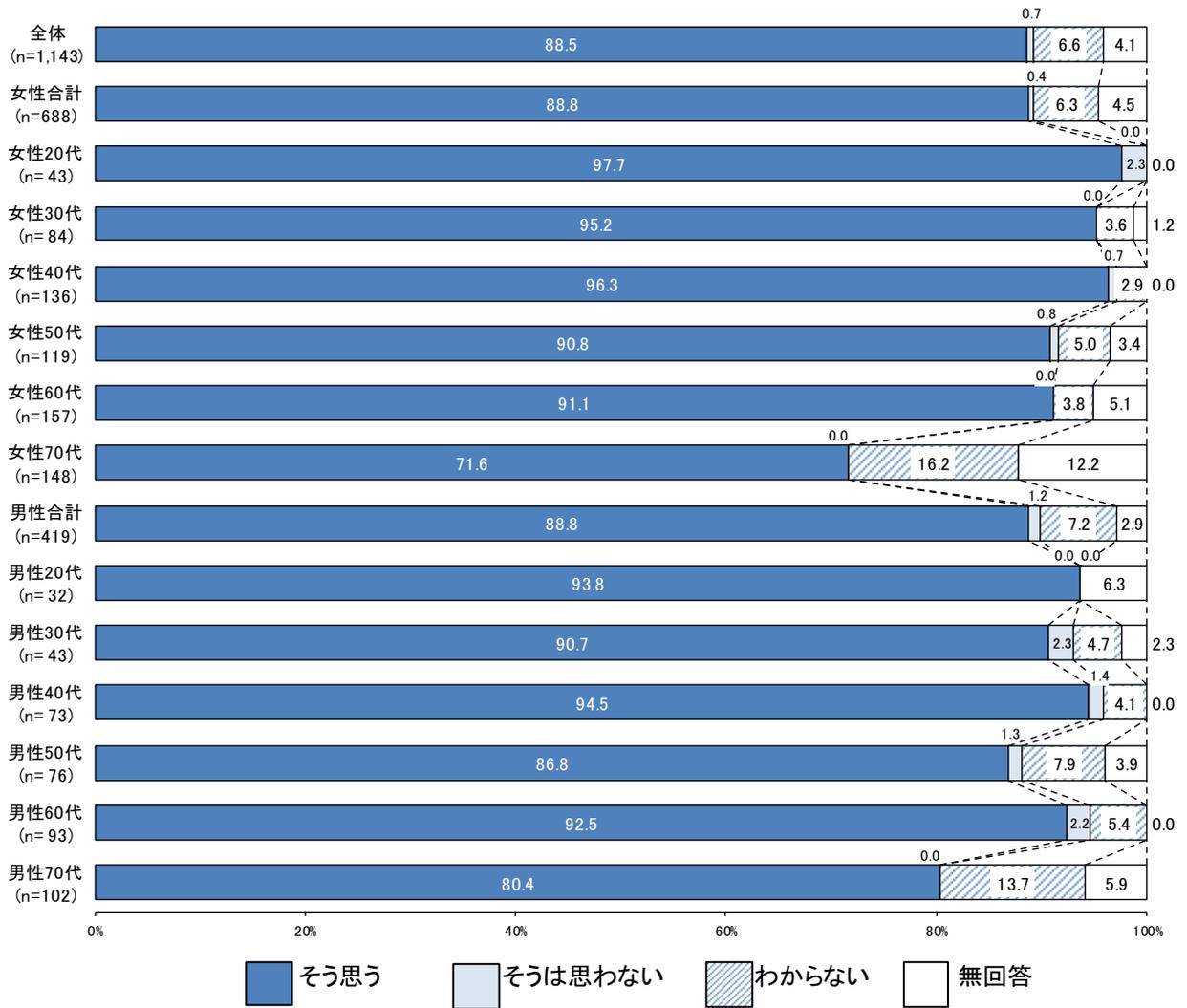


性別で見ると、「そう思う」の割合は男性（59.4%）より女性（66.4%）が7ポイント高く、「そうは思わない」の割合は、女性（11.3%）より男性（22.2%）が10.9ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、女性・男性ともに年代が低い程高い傾向がみられ、30代女性で77.4%、20代男性で78.1%と最も高くなっている。

また、「そうは思わない」の割合は、60代男性で31.2%と最も高く、60代女性（9.6%）より約22ポイント高くなっており、「わからない」の割合は女性では60代（20.4%）、70代（23.6%）で2割を占めており、男性では40代（20.5%）、70代（21.6%）で2割を占めており他の年代と比べて最も高くなっている。

(g) ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃から教育・啓発を行うべきだ



性別で見ると、大きな差はみられない。

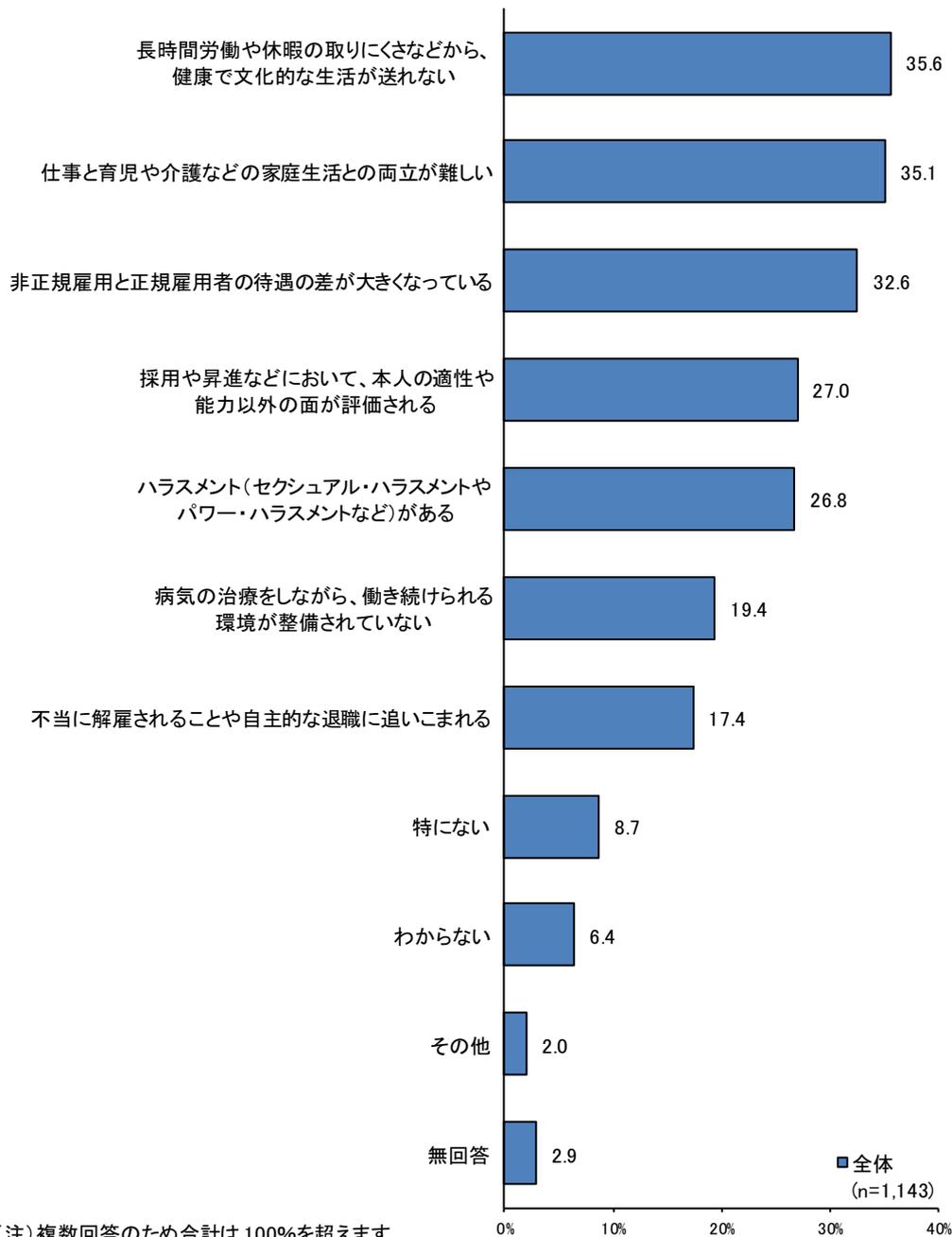
性・年代別で見ると、「そう思う」の割合は、女性では年代が低くなるにつれて高くなっており、20代で97.7%と最も高くなっており、男性ではいずれの年代でも8割を超えている。

また、「わからない」の割合は女性・男性ともに70代で最も高く、女性16.2%、男性13.7%を占めている。

11 職場の人権

(1) 問 23 職場の人権に関する事柄で、人権上問題があると思われること

問 23 職場に関することで、人権上、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



職場に関することで、人権上特に問題があると思うことについてみると、「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活が送れない」の割合が35.6%で最も高く、次いで「仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい」が35.1%、「非正規雇用と正規雇用の待遇の差が大きくなっている」32.6%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	以外の本面が評価されやすい	採用や昇進などに力	健康で文化的な生活を送れない	長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活を送れない	非正規雇用と正規雇用の差が大きい	非正規雇用と正規雇用の差が大きい	パート・アルバイト・ハラスメント	ハラスメント	ハラスメント	こまめに解雇されること	不当な解雇されること	難しい生活との両立が	仕事と育児や介護など	境が整えられていない	病、働きの治療をしながら	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1,143	27.0	35.6	32.6	26.8	17.4	35.1	19.4	2.0	8.7	6.4	2.9								
性・年代別	女性計	688	24.7	37.5	31.1	26.0	17.3	37.9	20.6	1.9	7.7	6.5	3.3							
	20代	43	25.6	62.8	30.2	32.6	18.6	55.8	9.3	0.0	2.3	4.7	0.0							
	30代	84	21.4	54.8	22.6	39.3	19.0	56.0	19.0	6.0	2.4	3.6	1.2							
	40代	136	27.9	46.3	29.4	30.9	14.0	39.7	22.1	1.5	5.9	4.4	0.0							
	50代	119	24.4	37.8	28.6	37.8	21.8	38.7	24.4	3.4	3.4	2.5	3.4							
	60代	157	28.0	28.0	38.2	19.1	16.6	33.1	20.4	1.3	8.9	5.7	4.5							
	70代	148	20.3	21.6	31.8	10.1	15.5	25.7	20.9	0.0	16.2	14.9	7.4							
	男性計	419	31.3	33.2	36.0	27.4	17.2	30.5	18.1	2.1	10.0	6.2	1.7							
	20代	32	25.0	40.6	15.6	28.1	9.4	34.4	12.5	0.0	9.4	6.3	6.3							
	30代	43	39.5	34.9	27.9	41.9	11.6	34.9	14.0	0.0	7.0	2.3	2.3							
	40代	73	30.1	39.7	24.7	37.0	20.5	34.2	13.7	1.4	11.0	5.5	1.4							
	50代	76	32.9	32.9	28.9	26.3	14.5	27.6	22.4	6.6	10.5	7.9	1.3							
	60代	93	33.3	25.8	47.3	26.9	19.4	25.8	21.5	3.2	9.7	5.4	0.0							
	70代	102	27.5	32.4	49.0	15.7	19.6	31.4	18.6	0.0	10.8	7.8	2.0							

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性では「仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい」の割合が37.9%で最も高く、次いで「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活を送れない」が37.5%の順となっており、男性では「非正規雇用と正規雇用の待遇の差が大きくなっている」の割合が36.0%で最も高く、次いで「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活を送れない」が33.2%の順となっている。

性・年代別でみると、「仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい」の割合は、女性・男性ともに年代が低い程高くなる傾向がみられ、30代で最も高くなっている。また、「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活を送れない」の割合は、女性では年代が低い程高くなる傾向がみられ、20代女性で62.8%と、20代男性(40.6%)より約22ポイント高くなっている。

(数値:%)

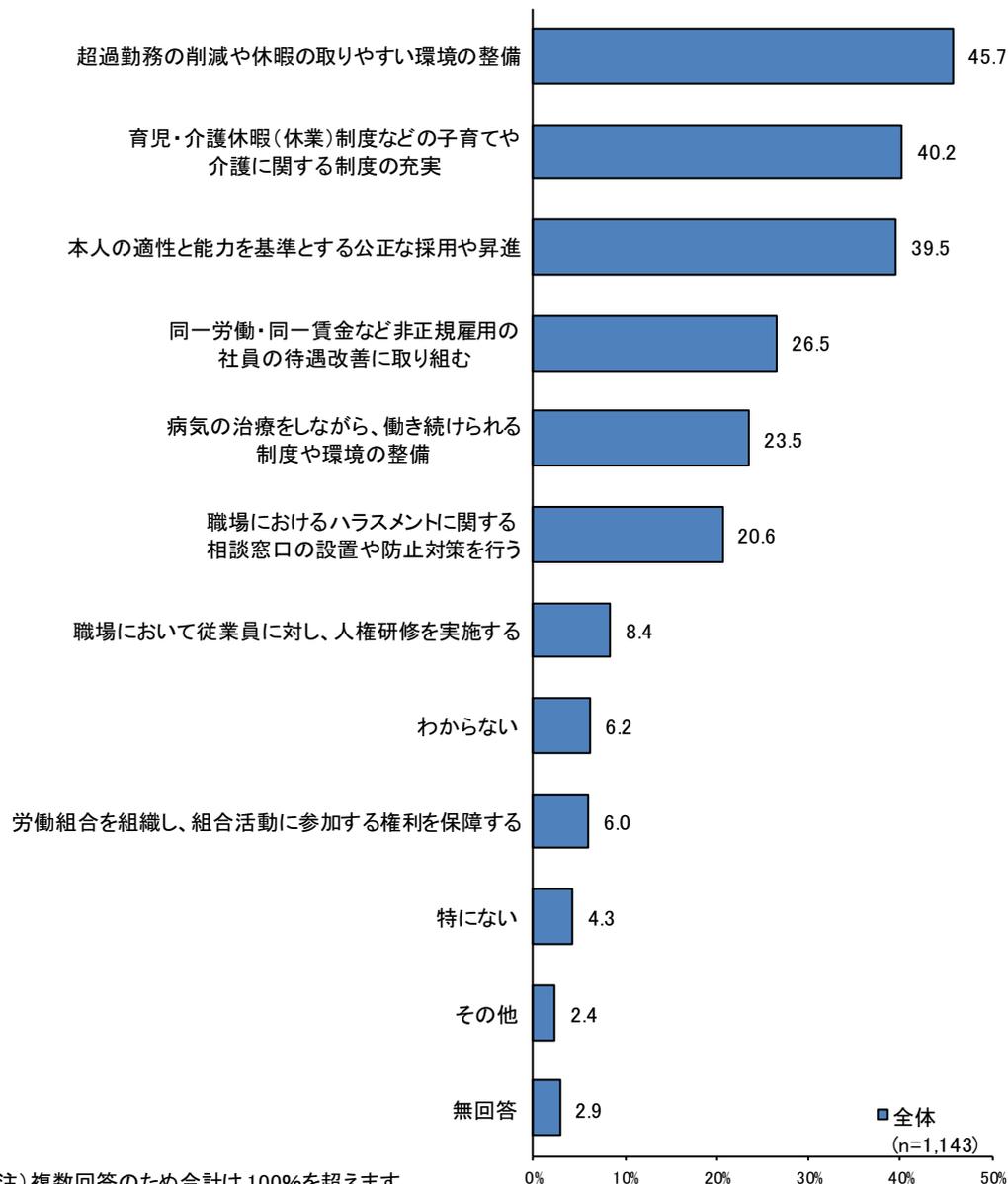
	調査数	以外の本面が評価されやすい	採用や昇進などに力	健康で文化的な生活を送れない	長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活を送れない	非正規雇用と正規雇用の差が大きい	非正規雇用と正規雇用の差が大きい	パート・アルバイト・ハラスメント	ハラスメント	ハラスメント	こまめに解雇されること	不当な解雇されること	難しい生活との両立が	仕事と育児や介護など	境が整えられていない	病、働きの治療をしながら	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1,143	27.0	35.6	32.6	26.8	17.4	35.1	19.4	2.0	8.7	6.4	2.9								
年代別	20代	81	25.9	50.6	22.2	29.6	16.0	48.1	11.1	0.0	6.2	4.9	2.5							
	30代	128	27.3	47.7	24.2	39.8	16.4	48.4	17.2	3.9	3.9	3.9	1.6							
	40代	215	29.3	44.2	27.4	34.4	15.8	37.7	18.6	1.4	7.4	4.7	0.5							
	50代	202	27.2	35.6	28.7	33.7	19.8	34.7	23.3	5.0	5.9	4.5	2.5							
	60代	255	29.8	27.5	40.8	22.0	17.3	30.2	20.4	2.0	9.4	5.5	3.5							
	70代	254	22.8	25.6	39.4	12.2	18.1	28.0	20.1	0.0	14.2	11.8	5.1							

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「長時間労働や休暇の取りにくさなどから、健康で文化的な生活を送れない」の割合は、年代が低くなるにつれ高くなっており、20代で50.6%と半数を占めており、「非正規雇用と正規雇用の待遇の差が大きくなっている」では、年代が高くなるにつれ高くなる傾向がみられ、60代で40.8%と最も高くなっている。また、「仕事と育児や介護などの家庭生活との両立が難しい」の割合は、20代・30代で高くなっており、約5割を占めている。

(2) 問 24 職場の人権を守るために必要だと思われること

問 24 職場での人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

職場での人権を守るために必要なことについてみると、「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」の割合が45.7%で最も高く、次いで「育児・介護休暇(休業)制度などの子育てや介護に関する制度の充実」が40.2%、「本人の適性と能力を基準とする公正な採用や昇進」39.5%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	と本人の公正な採用や昇進	超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備	育児・介護休暇（休業）制度などの子育てや介護に関する制度の充実	置や防対策を行う	職場に相対するハラスメントの防止	改善に取る組む	同一労働・同一賃金などの非正規雇用の社員の待遇	働きの整え	病気の治療をしながら、障り続けるのを防ぐ	活動に参加する権利を保障	労働組合を組織し、組合	職場、人権研修を従業員に対する	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1,143	39.5	45.7	40.2	20.6	26.5	23.5	6.0	8.4	2.4	4.3	6.2	2.9				
性・年代別	女性計	688	37.2	49.3	45.6	18.8	25.1	24.1	5.8	8.0	2.0	3.5	6.1	3.2			
	20代	43	41.9	74.4	53.5	27.9	25.6	11.6	2.3	7.0	0.0	0.0	2.3	0.0			
	30代	84	34.5	65.5	63.1	22.6	26.2	16.7	3.6	7.1	7.1	0.0	1.2	1.2			
	40代	136	36.0	57.4	42.6	20.6	19.9	27.2	9.6	10.3	1.5	2.2	5.1	0.0			
	50代	119	35.3	49.6	41.2	28.6	23.5	32.8	4.2	9.2	1.7	2.5	2.5	2.5			
	60代	157	42.7	39.5	43.3	16.6	28.7	21.7	4.5	7.6	2.5	3.8	7.6	4.5			
	70代	148	34.5	35.1	42.6	6.8	26.4	24.3	7.4	6.1	0.0	8.1	12.2	7.4			
	男性計	419	41.8	40.8	31.7	23.4	29.8	23.2	6.4	9.5	2.9	5.5	6.4	1.9			
	20代	32	40.6	46.9	31.3	18.8	21.9	28.1	3.1	9.4	0.0	6.3	6.3	6.3			
	30代	43	48.8	41.9	34.9	27.9	23.3	14.0	4.7	11.6	4.7	7.0	4.7	2.3			
	40代	73	32.9	41.1	24.7	32.9	26.0	19.2	5.5	11.0	6.8	4.1	4.1	0.0			
	50代	76	42.1	39.5	25.0	25.0	27.6	23.7	3.9	9.2	5.3	7.9	7.9	1.3			
	60代	93	48.4	41.9	28.0	22.6	32.3	30.1	9.7	6.5	1.1	3.2	5.4	1.1			
	70代	102	39.2	38.2	44.1	15.7	37.3	21.6	7.8	10.8	0.0	5.9	8.8	2.9			

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性では「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」の割合が49.3%で最も高く、次いで「育児・介護休暇（休業）制度などの子育てや介護に関する制度の充実」が45.6%の順となっており、男性では「本人の適性と能力を基準とする公正な採用や昇進」の割合が41.8%で最も高く、次いで「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」が40.8%の順となっている。

性・年代別でみると、「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」の割合は、年代が低くなるにつれて高くなる傾向がみられ、20代女性で74.4%と最も高くなっており、20代男性（46.9%）より約28ポイント高くなっている。また、「同一労働・同一賃金など非正規雇用の社員の待遇改善に取り組む」割合は、男性では年代が高くなるにつれて高い傾向がみられ、70代男性で37.3%と最も高くなっている。

(数値:%)

	調査数	と本人の公正な採用や昇進	超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備	育児・介護休暇（休業）制度などの子育てや介護に関する制度の充実	置や防対策を行う	職場に相対するハラスメントの防止	改善に取る組む	同一労働・同一賃金などの非正規雇用の社員の待遇	働きの整え	病気の治療をしながら、障り続けるのを防ぐ	活動に参加する権利を保障	労働組合を組織し、組合	職場、人権研修を従業員に対する	その他	特にな	わからない	無回答
全体	1,143	39.5	45.7	40.2	20.6	26.5	23.5	6.0	8.4	2.4	4.3	6.2	2.9				
年代別	20代	81	43.2	60.5	45.7	23.5	22.2	19.8	2.5	7.4	0.0	2.5	3.7	2.5			
	30代	128	39.1	57.0	53.1	24.2	25.0	15.6	3.9	8.6	6.3	2.3	3.1	1.6			
	40代	215	35.8	51.6	36.3	25.6	21.4	23.7	8.4	10.7	3.7	2.8	4.7	0.0			
	50代	202	39.1	45.0	34.7	27.7	24.8	29.2	4.5	8.9	3.5	4.5	4.5	2.0			
	60代	255	45.1	40.4	37.6	18.4	29.8	24.3	6.3	7.1	2.0	3.5	6.7	3.9			
	70代	254	36.6	36.2	43.7	10.6	30.7	23.2	7.5	7.9	0.0	7.5	10.6	5.5			

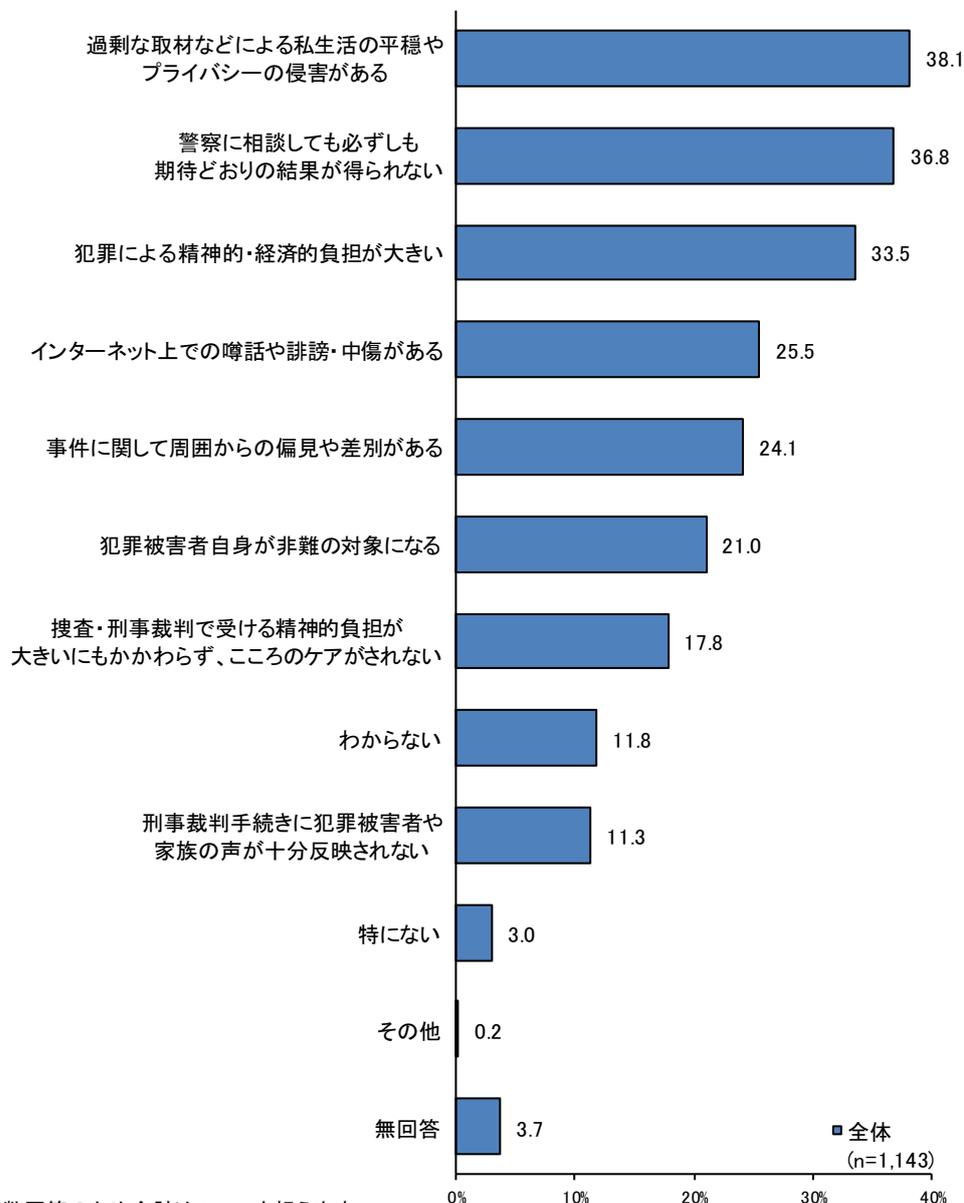
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「超過勤務の削減や休暇の取りやすい環境の整備」の割合は、年代が低い程高くなっており、20代で60.5%と最も高くなっている。

12 犯罪被害者等

(1) 問 25 犯罪被害者等の人権に関する事柄で、人権上問題があると思われること

問 25 犯罪被害者等の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。
(○は3つまで)



(注) 複数回答のため合計は100%を超えます。

犯罪被害者等の人権に関することで、特に問題があると思うことについてみると、「過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある」の割合が38.1%で最も高く、次いで「警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない」が36.8%、「犯罪による精神的・経済的負担が大きい」33.5%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	犯罪による精神的・経済的負担が大きい	警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない	が平穏な取材などによる私生活の侵害がある	や事件に関して周囲からの偏見や差別がある	ず的捜査・負担・この大きなケアがさかれない	いや刑罰の執行が十分に反映されない	に犯罪被害者自身が非難の対象になる	誹謗・中傷がある	その他	特にな	わからない	無回答	
全体	1,143	33.5	36.8	38.1	24.1	17.8	11.3	21.0	25.5	0.2	3.0	11.8	3.7	
性・年代別	女性計	688	30.5	38.1	38.1	26.3	19.2	8.7	22.7	25.7	0.0	2.5	11.8	3.5
	20代	43	27.9	46.5	●62.8	32.6	25.6	2.3	16.3	16.3	0.0	0.0	7.0	0.0
	30代	84	40.5	41.7	●50.0	28.6	22.6	8.3	22.6	●38.1	0.0	1.2	3.6	1.2
	40代	136	43.4	36.8	40.4	26.5	20.6	12.5	24.3	●36.0	0.0	1.5	5.1	0.7
	50代	119	28.6	45.4	39.5	30.3	21.0	13.4	29.4	28.6	0.0	0.0	7.6	2.5
	60代	157	24.2	36.9	31.8	27.4	17.8	6.4	24.8	21.7	0.0	2.5	17.2	5.1
	70代	148	21.6	29.7	27.7	18.9	14.2	6.1	15.5	14.2	0.0	6.8	21.6	7.4
	男性計	419	39.4	33.4	38.9	21.7	16.5	15.8	18.4	25.1	0.5	3.1	11.2	4.1
	20代	32	37.5	40.6	43.8	18.8	15.6	15.6	12.5	●43.8	0.0	0.0	6.3	3.1
	30代	43	●46.5	30.2	32.6	23.3	18.6	16.3	14.0	27.9	2.3	2.3	14.0	2.3
	40代	73	●46.6	43.8	41.1	24.7	19.2	11.0	21.9	●38.4	0.0	0.0	8.2	2.7
	50代	76	42.1	34.2	36.8	19.7	14.5	15.8	14.5	31.6	0.0	5.3	10.5	3.9
	60代	93	40.9	30.1	39.8	25.8	20.4	19.4	19.4	15.1	1.1	3.2	11.8	2.2
70代	102	28.4	27.5	39.2	17.6	11.8	15.7	21.6	12.7	0.0	4.9	13.7	7.8	

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性では「警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない」と「過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある」の割合がともに38.1%で最も高く、男性では「犯罪による精神的・経済的負担が大きい」の割合が39.4%で最も高く、次いで「過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある」が38.9%の順となっている。

性・年代別でみると、「事件に関して周囲からの偏見や差別がある」の割合は、いずれの年代でも男性より女性が高く、「犯罪による精神的・経済的負担が大きい」の割合は、いずれの年代でも女性より男性が高くなっている。

(数値:%)

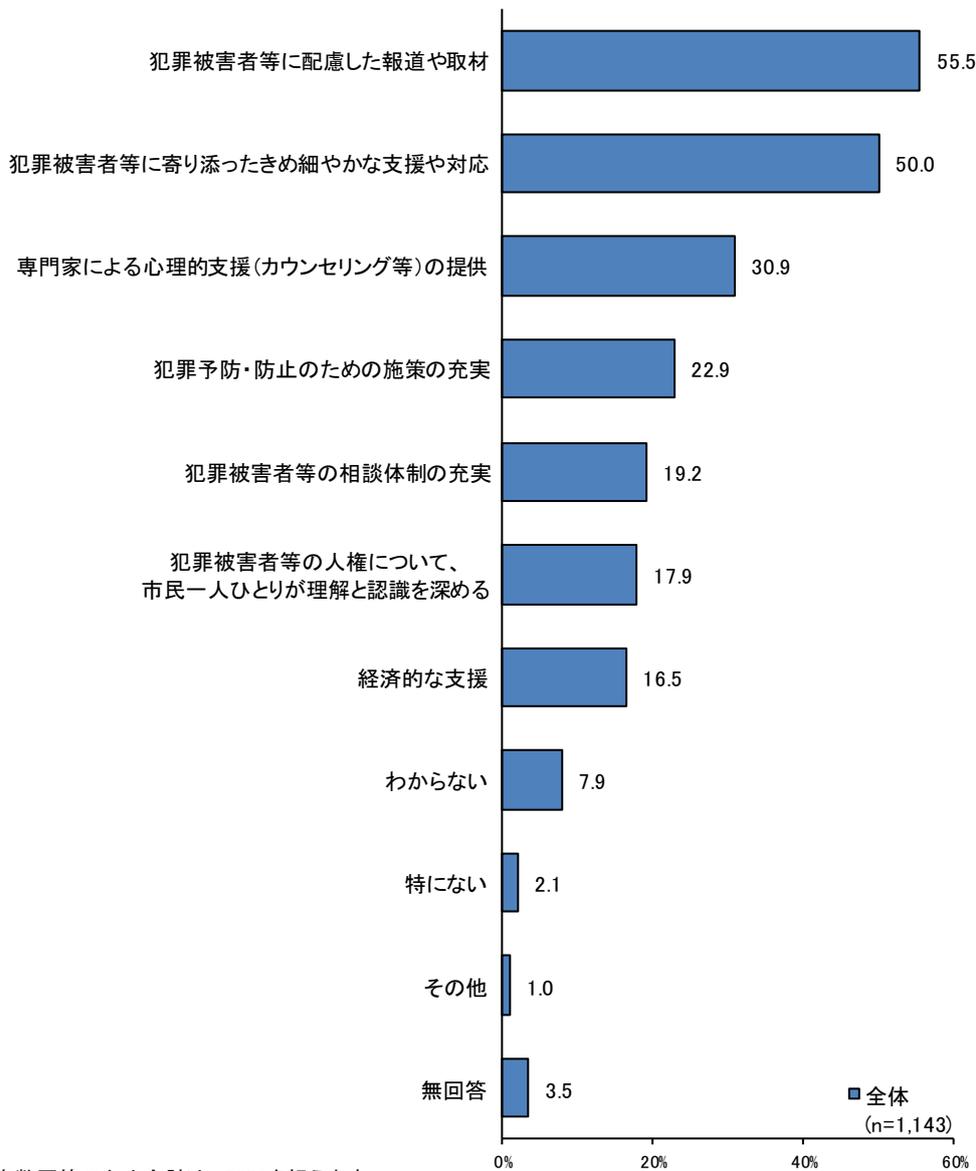
	調査数	犯罪による精神的・経済的負担が大きい	警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない	が平穏な取材などによる私生活の侵害がある	や事件に関して周囲からの偏見や差別がある	ず的捜査・負担・この大きなケアがさかれない	いや刑罰の執行が十分に反映されない	に犯罪被害者自身が非難の対象になる	誹謗・中傷がある	その他	特にな	わからない	無回答	
全体	1,143	33.5	36.8	38.1	24.1	17.8	11.3	21.0	25.5	0.2	3.0	11.8	3.7	
年代別	20代	81	30.9	●46.9	●55.6	25.9	21.0	7.4	16.0	27.2	0.0	0.0	7.4	1.2
	30代	128	43.0	38.3	43.8	27.3	21.1	10.9	19.5	34.4	0.8	1.6	7.0	1.6
	40代	215	●44.7	40.0	40.0	25.1	19.5	12.1	23.3	●36.7	0.0	0.9	6.5	1.4
	50代	202	33.7	41.1	37.6	26.2	17.8	13.9	23.3	30.2	0.0	2.5	9.4	3.0
	60代	255	29.8	34.1	34.9	26.3	18.8	11.4	22.7	18.8	0.4	3.1	14.9	4.3
	70代	254	24.0	29.1	32.3	18.1	13.0	10.2	18.1	13.8	0.0	6.3	18.5	7.5

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある」の割合は、年代が低い程高くなる傾向にあり、20代で55.6%と最も高くなっている。

(2) 問 26 犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思われること

問 26 犯罪被害者等の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

犯罪被害者等の人権を守るために必要なことについてみると、「犯罪被害者等に配慮した報道や取材」の割合が55.5%で最も高く、次いで「犯罪被害者等に寄り添ったきめ細やかな支援や対応」が50.0%、「専門家による心理的支援（カウンセリング等）の提供」30.9%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	応た 犯罪被害者等 に寄り添った きめ細やかな 支援や対応	報道や取材 犯罪被害者等 に配慮した	提供 （専門家による カウンセリング等） の支援	理解と認識を深める 専門家による 心理的支援	い犯罪被害者等 の一人ひとりに 対して	経済的な支援	施策の充実 犯罪予防・防止 のための	犯罪被害者等の 相談体制 の充実	その他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答
全体	1,143	50.0	55.5	30.9	17.9	16.5	22.9	19.2	1.0	2.1	7.9	3.5	
性・年代別	女性計	688	50.0	57.6	34.9	17.6	14.5	23.0	18.6	0.6	1.2	6.7	3.6
	20代	43	58.1	58.1	27.9	16.3	16.3	●34.9	7.0	0.0	0.0	7.0	0.0
	30代	84	50.0	64.3	●42.9	13.1	21.4	25.0	16.7	2.4	0.0	2.4	2.4
	40代	136	55.9	64.7	39.7	14.0	23.5	26.5	16.2	0.0	1.5	3.7	0.7
	50代	119	●60.5	61.3	36.1	17.6	16.0	19.3	23.5	0.8	0.0	5.0	2.5
	60代	157	45.2	49.7	36.3	19.7	9.6	25.5	16.6	0.6	0.6	7.0	6.4
	70代	148	38.5	52.7	25.7	21.6	6.1	14.9	23.0	0.0	3.4	12.8	6.1
	男性計	419	51.3	53.9	25.1	18.9	20.5	22.9	19.8	1.4	2.9	9.1	3.3
	20代	32	53.1	56.3	31.3	15.6	21.9	31.3	18.8	0.0	0.0	3.1	3.1
	30代	43	46.5	53.5	34.9	18.6	20.9	32.6	14.0	0.0	2.3	9.3	2.3
	40代	73	58.9	54.8	17.8	20.5	●27.4	31.5	19.2	4.1	0.0	6.8	2.7
	50代	76	47.4	51.3	23.7	19.7	23.7	19.7	10.5	2.6	5.3	11.8	2.6
	60代	93	54.8	58.1	26.9	16.1	20.4	18.3	21.5	1.1	4.3	8.6	1.1
	70代	102	47.1	51.0	23.5	20.6	12.7	16.7	28.4	0.0	2.9	10.8	6.9

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、上位3項目ともに全体と同様の順位となっているが、「専門家による心理的支援（カウンセリング等）の提供」の割合をみると、男性（25.1%）より女性（34.9%）が約10ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「犯罪被害者等に寄り添ったきめ細やかな支援や対応」の割合は、50代女性で60.5%と最も高く、6割を占めており、「専門家による心理的支援（カウンセリング等）の提供」の割合は、30代女性で42.9%と最も高く、約4割を占めている。また、「経済的な支援」は30代女性を除き全ての年代で女性より男性が高くなっている。

(数値:%)

	調査数	応た 犯罪被害者等 に寄り添った きめ細やかな 支援や対応	報道や取材 犯罪被害者等 に配慮した	提供 （専門家による カウンセリング等） の支援	理解と認識を深める 専門家による 心理的支援	い犯罪被害者等 の一人ひとりに 対して	経済的な支援	施策の充実 犯罪予防・防止 のための	犯罪被害者等の 相談体制 の充実	その他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答
全体	1,143	50.0	55.5	30.9	17.9	16.5	22.9	19.2	1.0	2.1	7.9	3.5	
年代別	20代	81	53.1	56.8	29.6	14.8	17.3	●33.3	13.6	1.2	0.0	6.2	1.2
	30代	128	48.4	60.9	39.8	14.8	21.1	28.1	16.4	1.6	0.8	4.7	2.3
	40代	215	56.7	60.9	32.1	16.3	25.1	28.4	18.1	1.4	0.9	4.7	1.4
	50代	202	55.0	56.4	30.2	18.8	18.3	19.8	17.8	1.5	2.5	8.9	2.5
	60代	255	48.6	52.2	32.5	18.0	13.3	22.4	18.4	0.8	2.4	7.5	4.7
	70代	254	41.7	51.2	24.8	21.3	8.7	15.4	25.2	0.0	3.5	12.2	6.3

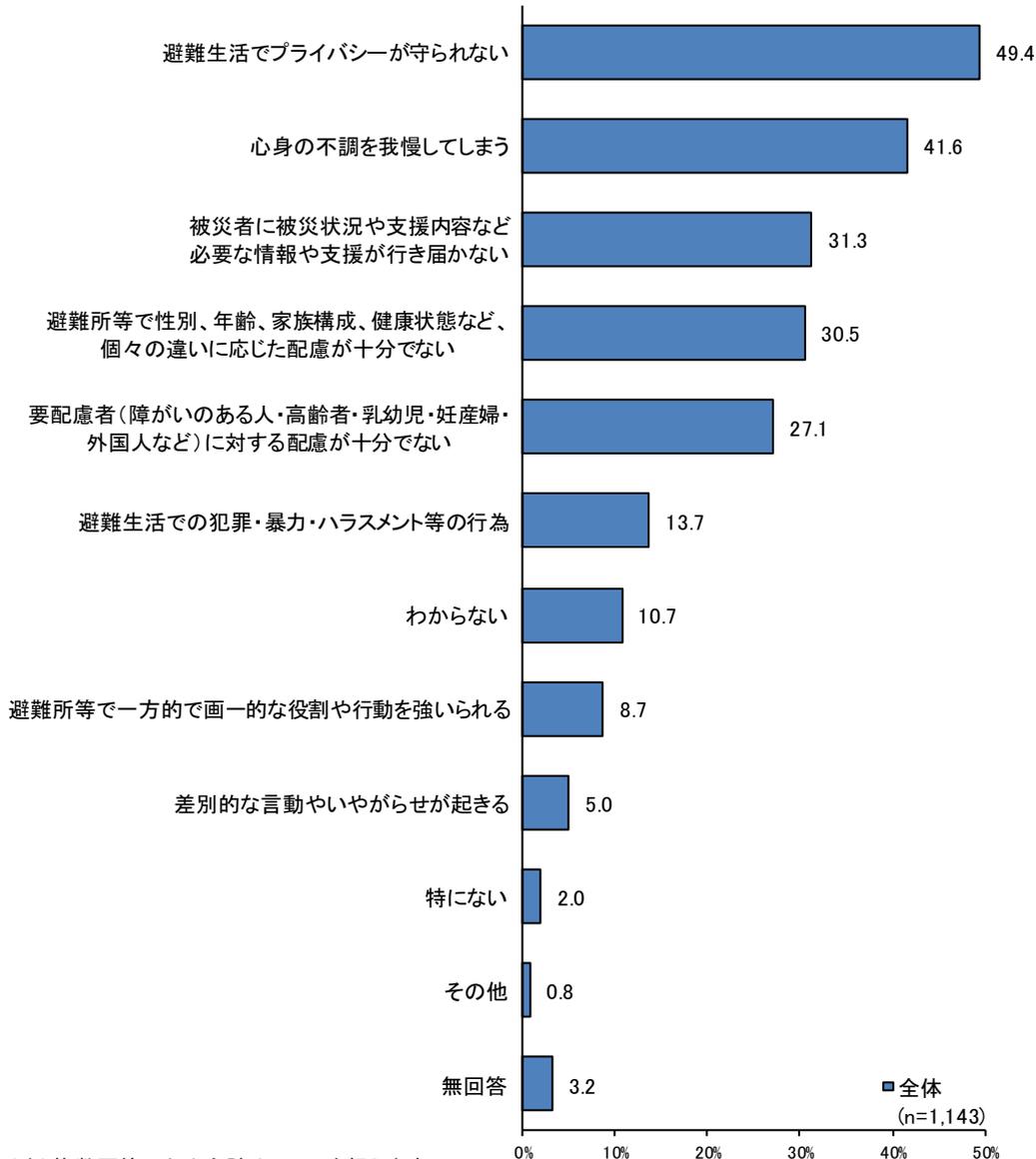
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

年代別でみると、「犯罪被害者等に配慮した報道や取材」の割合はいずれの年代でも5割を超えており、30代・40代とともに60.9%と最も高くなっている。また、「犯罪予防・防止のための施策の充実」の割合は、年代が低いほど高くなる傾向がみられ、「犯罪被害者等の一人ひとりに対して理解と認識を深める」、「犯罪被害者の相談体制の充実」は年代が高いほど高くなる傾向がみられる。

13 災害と人権

(1) 問 27 災害に関する事柄で、人権上問題があると思われること

問 27 災害時に生じることで、人権上、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

災害時に生じることで、人権上特に問題があると思うことについてみると、「避難生活でプライバシーが守られない」の割合が49.4%で最も高く、次いで「心身の不調を我慢してしまう」が41.6%、「被災者に被災状況や支援内容など必要な情報や支援が行き届かない」31.3%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	避難生活でプライバシーが守られない	避難所等で一方的な役割や行動を強いられる	避難生活での犯罪・暴力・ハラスメント等の行為	心身の不調を我慢してしまう	避難所等で性別、年齢、家族構成に 応じた配慮が十分でない	要配慮者（障がいのある人・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人など）に対する配慮が十分でない	差別的な言動やいやがらせが起きる	被災者に被災状況や支援内容など必要な情報や支援が届かない	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	1,143	49.4	8.7	13.7	41.6	30.5	27.1	5.0	31.3	0.8	2.0	10.7	3.2	
性・年代別	女性計	688	52.8	7.8	14.1	44.9	28.6	28.5	3.3	32.6	0.7	1.2	9.3	3.6
	20代	43	●60.5	11.6	14.0	46.5	39.5	27.9	2.3	27.9	4.7	0.0	4.7	0.0
	30代	84	52.4	3.6	●27.4	44.0	38.1	●40.5	6.0	27.4	0.0	1.2	6.0	1.2
	40代	136	56.6	6.6	19.9	43.4	34.6	31.6	5.1	34.6	0.0	0.7	7.4	0.7
	50代	119	●63.0	9.2	13.4	51.3	26.9	21.8	3.4	●42.0	0.0	0.0	6.7	3.4
	60代	157	47.8	10.8	10.2	43.9	25.5	25.5	1.3	37.6	0.6	1.3	8.9	6.4
	70代	148	44.6	6.1	6.1	42.6	19.6	27.7	2.7	22.3	1.4	2.7	16.2	6.1
	男性計	419	45.1	9.5	13.4	37.5	34.1	24.8	7.4	29.1	0.7	2.6	12.6	2.6
	20代	32	34.4	15.6	18.8	43.8	31.3	25.0	12.5	37.5	0.0	0.0	12.5	3.1
	30代	43	44.2	11.6	18.6	37.2	34.9	27.9	9.3	27.9	0.0	7.0	2.3	2.3
	40代	73	50.7	12.3	23.3	39.7	31.5	24.7	8.2	31.5	0.0	1.4	12.3	1.4
50代	76	50.0	2.6	6.6	36.8	36.8	25.0	5.3	30.3	1.3	2.6	11.8	1.3	
60代	93	41.9	9.7	14.0	39.8	●40.9	21.5	5.4	25.8	2.2	2.2	16.1	1.1	
70代	102	44.1	9.8	6.9	32.4	28.4	26.5	7.8	27.5	0.0	2.9	14.7	5.9	

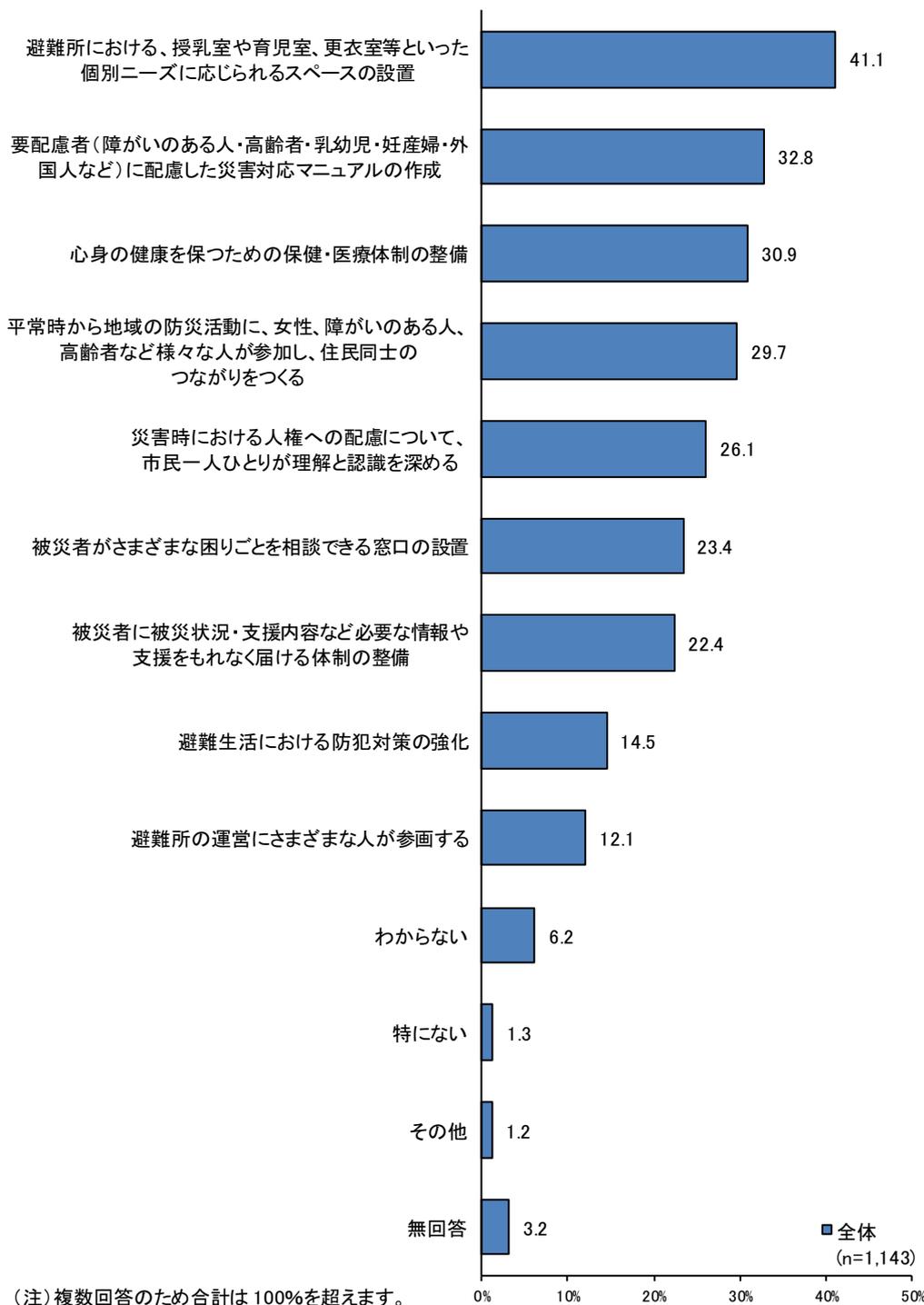
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性では上位3項目は全体と同様の順位となっているが、男性では上位2項目までは全体と同様の順位だが、第3位をみると「避難所等で性別、年齢、家族構成、健康状態など、個々の違いに応じた配慮が十分でない」の順となっている。

性・年代別でみると、「避難生活でプライバシーが守られない」、「心身の不調を我慢してしまう」の割合は、いずれの年代でも男性より女性が高く、「差別的な言動やいやがらせが起きる」の割合は、いずれの年代でも女性より男性が高くなっている。

(2) 問 28 災害時に人権を守るために必要だと思われること

問 28 災害時に人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



災害時に人権を守るために必要だと思うことについてみると、「避難所における、授乳室や育児室、更衣室等といった個別ニーズに応じられるスペースの設置」の割合が41.1%で最も高く、次いで「要配慮者(障がいのある人・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人など)に配慮した災害対応マニュアルの作成」が32.8%、「心身の健康を保つための保健・医療体制の整備」30.9%の順となっている。

	調査数	市民一人ひとりが理解と認識を深めている	災害時に避難所から地域の防災活動に、女性、障がいのある人、高齢者など様々な人が参加し、住民同士のつながりをつくる	平常時から地域の防災活動に、女性、障がいのある人、高齢者など様々な人が参加し、住民同士のつながりをつくる	要配慮者（障がいのある人・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人など）に配慮した災害対応マニュアルの作成	避難所における、授乳室や育児室、更衣室等の設置	避難所における、授乳室や育児室、更衣室等の設置	避難生活における防犯対策の強化	心身の健康を保つための保健・医療体制の整備	被災者がさまざまな困りごとを相談できる窓口の設置	被災者に被災状況・支援内容など必要な情報や支援をもれなく届ける体制の整備	その他	特になし	わからない	無回答
全体	1,143	26.1	29.7	32.8	41.1	12.1	14.5	30.9	23.4	22.4	1.2	1.3	6.2	3.2	
性・年代別	女性計	688	23.4	28.9	34.0	41.9	11.8	15.3	33.4	23.8	24.4	0.7	0.4	4.9	3.6
	20代	43	25.6	18.6	41.9	51.2	9.3	20.9	44.2	2.3	23.3	2.3	0.0	4.7	0.0
	30代	84	22.6	22.6	46.4	63.1	11.9	22.6	33.3	15.5	22.6	0.0	0.0	2.4	2.4
	40代	136	16.2	27.2	36.8	50.7	14.7	22.8	33.8	19.9	23.5	1.5	0.0	4.4	0.7
	50代	119	17.6	18.5	30.3	42.0	16.0	16.0	35.3	33.6	31.9	0.0	0.0	6.7	3.4
	60代	157	23.6	33.1	29.3	35.0	7.6	11.5	37.6	28.0	27.4	0.6	0.6	2.5	6.4
	70代	148	33.8	41.2	30.4	26.4	10.8	6.1	23.6	25.7	17.6	0.7	1.4	8.1	5.4
	男性計	419	31.5	32.0	31.0	40.1	12.9	13.4	26.5	23.9	18.9	1.4	1.9	7.9	2.6
	20代	32	25.0	43.8	31.3	46.9	15.6	15.6	25.0	18.8	18.8	0.0	0.0	9.4	3.1
	30代	43	37.2	20.9	32.6	51.2	14.0	27.9	25.6	11.6	18.6	2.3	2.3	2.3	2.3
	40代	73	28.8	26.0	23.3	52.1	19.2	13.7	30.1	31.5	27.4	2.7	0.0	5.5	1.4
	50代	76	35.5	28.9	30.3	36.8	13.2	6.6	27.6	22.4	17.1	1.3	1.3	10.5	1.3
	60代	93	29.0	35.5	35.5	43.0	12.9	16.1	23.7	23.7	14.0	2.2	4.3	6.5	1.1
	70代	102	32.4	36.3	32.4	24.5	6.9	8.8	26.5	26.5	18.6	0.0	2.0	10.8	5.9

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

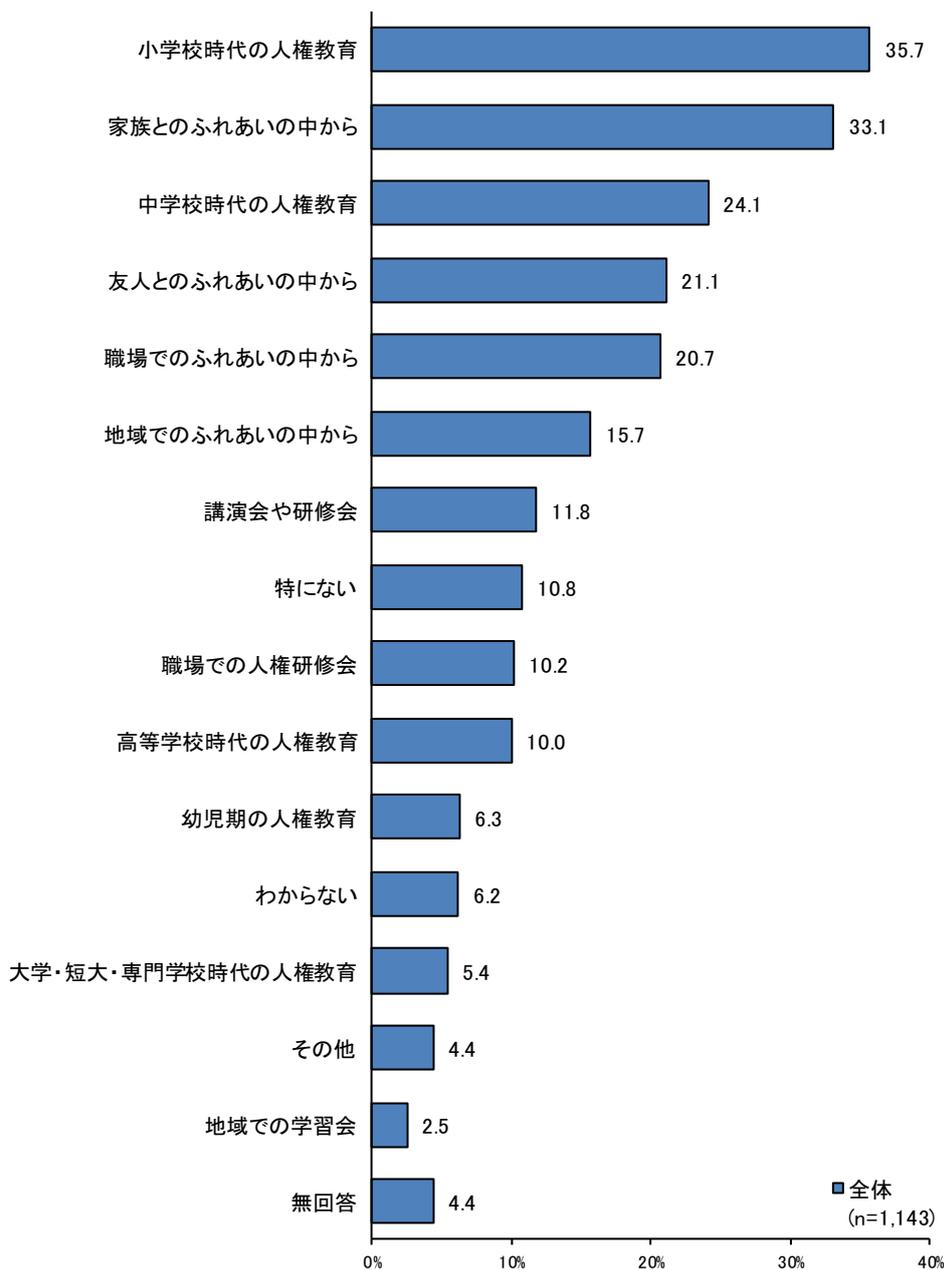
性別で見ると、女性では「避難所における、授乳室や育児室、更衣室等といった個別ニーズに応じられるスペースの設置」の割合が41.9%で最も高く、次いで「要配慮者（障がいのある人・高齢者・乳幼児・妊産婦・外国人など）に配慮した災害対応マニュアルの作成」が34.0%の順となっており、男性では「避難所における、授乳室や育児室、更衣室等といった個別ニーズに応じられるスペースの設置」の割合が40.1%で最も高く、次いで「平常時から地域の防災活動に、女性、障がいのある人、高齢者など様々な人が参加し、住民同士のつながりをつくる」が32.0%の順となっている。

性・年代別で見ると、「避難所における、授乳室や育児室、更衣室等といった個別ニーズに応じられるスペースの設置」の割合は、女性では30代で63.1%、男性では40代で52.1%と最も高くなっている。

14 今後の人権教育・啓発のあり方に関する意識等

(1) 問 29 人権尊重の考え方に強い影響を受けたもの

問 29 あなたが、人権尊重の考えについて強く影響を受けたと思うものは次のうちどれですか。(〇は
いくつでも)



(注) 複数回答のため合計は 100%を超えます。

人権尊重の考えについて強く影響を受けたと思うものについてみると、「小学校時代の人権教育」の割合が 35.7%で最も高く、次いで「家族とのふれあいの中から」が 33.1%、「中学校時代の人権教育」24.1%の順となっている。

(数値:%)

	調査数	幼児期の人権教育	小学校時代の人権教育	中学校時代の人権教育	高等学校時代の人権教育	大学・短大・専門学校時代の人権教育	講演会や研修会	地域での学習会	職場での人権研修会	家族とのふれあいの場	地域でのふれあいの場	職場でのふれあいの場	友人とのふれあいの場	
全体	1,143	6.3	35.7	24.1	10.0	5.4	11.8	2.5	10.2	33.1	15.7	20.7	21.1	
性・年代別	女性計	688	6.1	36.6	23.4	8.9	5.2	13.2	2.0	9.6	34.7	15.3	21.5	21.4
	20代	43	7.0	●55.8	25.6	9.3	●23.3	7.0	2.3	4.7	30.2	16.3	18.6	16.3
	30代	84	4.8	●54.8	25.0	4.8	7.1	9.5	0.0	4.8	39.3	11.9	29.8	25.0
	40代	136	4.4	●61.8	33.1	10.3	3.7	11.8	0.7	6.6	41.2	14.7	28.7	21.3
	50代	119	3.4	44.5	25.2	7.6	3.4	10.9	1.7	10.1	37.0	9.2	19.3	23.5
	60代	157	10.8	17.8	16.6	12.1	4.5	18.5	1.3	14.6	29.3	14.6	17.2	15.3
	70代	148	5.4	10.8	18.9	7.4	2.7	14.9	5.4	10.8	31.1	22.3	16.9	25.0
	男性計	419	7.2	35.3	25.8	12.2	5.5	10.3	3.6	11.5	31.3	17.2	19.1	21.2
	20代	32	3.1	43.8	31.3	9.4	●15.6	6.3	0.0	3.1	28.1	15.6	21.9	18.8
	30代	43	11.6	●58.1	30.2	18.6	14.0	4.7	2.3	4.7	25.6	9.3	16.3	18.6
	40代	73	9.6	●52.1	●38.4	9.6	2.7	11.0	1.4	12.3	31.5	17.8	19.2	19.2
	50代	76	3.9	38.2	23.7	10.5	2.6	7.9	2.6	7.9	40.8	11.8	19.7	23.7
	60代	93	8.6	26.9	24.7	15.1	6.5	11.8	6.5	14.0	32.3	17.2	20.4	22.6
70代	102	5.9	16.7	15.7	10.8	2.0	13.7	4.9	16.7	26.5	24.5	17.6	21.6	

	調査数	その他	特にない	わからない	無回答	
全体	1,143	4.4	10.8	6.2	4.4	
性・年代別	女性計	688	4.4	9.2	6.3	4.5
	20代	43	2.3	7.0	4.7	0.0
	30代	84	4.8	3.6	6.0	1.2
	40代	136	5.1	5.9	5.9	0.0
	50代	119	6.7	5.0	5.9	5.0
	60代	157	4.5	15.3	6.4	5.1
	70代	148	2.0	12.8	7.4	10.8
	男性計	419	3.8	13.4	5.5	4.3
	20代	32	0.0	9.4	6.3	6.3
	30代	43	7.0	9.3	7.0	0.0
	40代	73	5.5	11.0	2.7	2.7
	50代	76	5.3	10.5	5.3	3.9
	60代	93	4.3	18.3	4.3	4.3
70代	102	1.0	15.7	7.8	6.9	

※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、上位3項目ともに全体と同様の順位となっており、大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「小学校時代の人権教育」の割合は、女性・男性ともに年代が低いほど高くなる傾向がみられ、女性では40代で61.8%、男性では30代で58.1%と最も高くなっている。

また、「大学・短大・専門学校時代の人権教育」の割合は、20代女性で23.3%と、他の年代と比べて最も高くなっている。

(2) 問 29-1 人権尊重の考え方に強い影響を受けたものの内容

問 29-1 (問 29 で「1」～「13」に○をされた方に)

それはどのような内容でしたか。お構いなし範囲でご記入ください。

人権尊重の考え方に強い影響を受けたものの内容については 369 件あり、その内容を要約し分類した結果は以下のとおりである。

【学校での人権教育など 123 件】(一部抜粋)

- ・授業で同和問題学習
 - ・学校の授業の中で人権(いじめや差別)について勉強した
 - ・道徳の授業など
 - ・小学校の頃、学校で同和教育を受け、自分もその出身者なのか気になった

【家族や友人から 67 件】(一部抜粋)

- ・母親が人間的にとっても良く出来た人だったと思う
- ・部落に住んでいる友人との関わりなどから、友人は友人、どこにしようと関係ないと思った。また、親世代の方が理解していないと思った。
- ・父親から人間は生まれながらにして平等だという事を、幼少期より折にふれて聞かされて育ったので
- ・幼児期、母親からやってはいけないことを教わった
- ・親からの“しつけ”が大きいと思う。“人に迷惑を掛けない”“自分が相手の身になったらどう思うか”などと考えることが必要だと思う
- ・外国人の友人ができると、問題が身近になる
- ・LGBTの友人の話などを聞いたりした
- ・人権侵害を受けている方からの話

【職場関係 22 件】(一部抜粋)

- ・実際に職場で特別な支援のいる人に接している
- ・職場にゲイの方がいて、周りがそれを尊重していた
- ・職場の同僚に同和地区の方が多くいた
- ・電動車椅子の職員と一緒に仕事をしたこと、職場で人権業務を担当したこと
- ・職場でグループに分かれて人権について勉強した
- ・職場内での正社員とパート・アルバイトの立場の違い

【講演会・研修会など 30 件】(一部抜粋)

- ・防災の講演会
- ・高知市の講演会で部落差別について聞いたこと
- ・同和研修会などで学んだこと
- ・道徳、講演会
- ・障害者にとってよりよい制度などの学習会
- ・体験学習発表会
- ・沖縄での人権集会
- ・地域の人権に関する研修会、学習会(講演の後、意見交換の実施)

【地域でのふれあいから 5件】(一部抜粋)

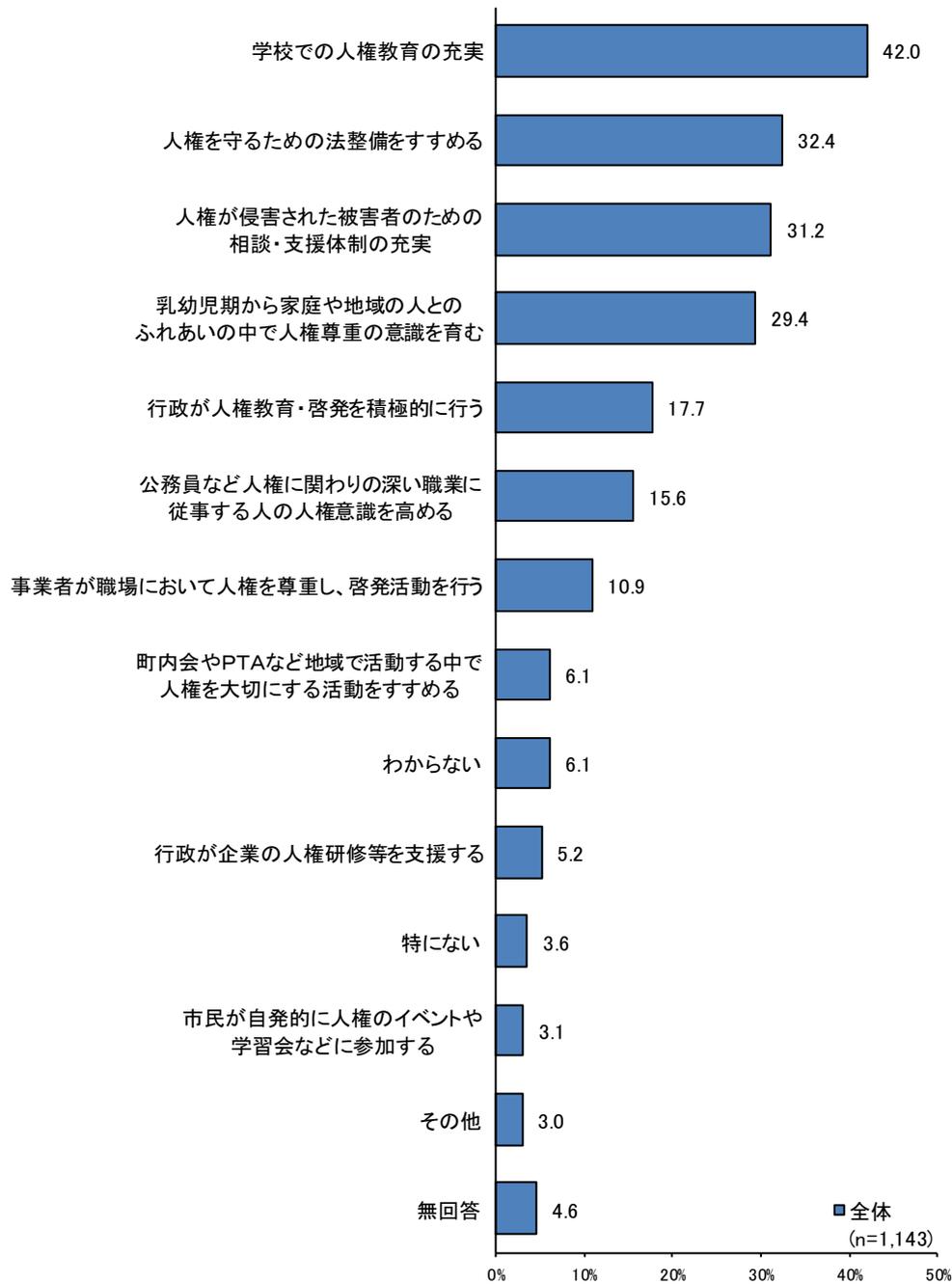
- ・日常生活の中で、高齢者、子ども、障がい者等の方々に対して、自分にできることは何かと考えたこと
- ・障がいをもつ子どもたちの保育園でのボランティア
- ・障がい者と接する中で

【その他 122件】(一部抜粋)

- ・LGBTやインターネットでの人権侵害など
- ・最近ではBlack lives Matterの運動をSNSで目にし、映画13thを見た
- ・ナチスによるアウシュビッツ収容所でのユダヤ人虐殺、神風特攻隊といわれた若者たちの尊い犠牲、日々目にする幼児虐待や性犯罪など凶悪卑劣な事件、ハンセン病患者の隔離、差別の歴史など、理不尽な扱いを受けた方々の苦しみや悲しみ悲惨さを知った時に人権とは何なのか強く考えさせられた。
- ・部落差別について、精神障害者の就労について、核戦争について、視聴覚障害者の支援について
- ・部落差別やLGBTについて、差別される人の気持ちを考えるきっかけとなる内容
- ・ハンセン病関係
- ・いろいろな世界の本を読むことで人種、階級、経済格差、性別などの問題を知ることができた
- ・普段の生活の中で、テレビや新聞などのさまざまな情報から問題点を学習できる

(3) 問 30 人権尊重の社会実現のために必要なこと

問 30 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、今後特に必要だと思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

人権が尊重される社会を実現するために、今後特に必要だと思うことについてみると、「学校での人権教育の充実」の割合が42.0%で最も高く、次いで「人権を守るための法整備をすすめる」が32.4%、「人権が侵害された被害者のための相談・支援体制の充実」31.2%の順となっている。

	調査数	人権を守るための法整備をすすめる	行政が人権教育・啓発を積極的に行う	人権が侵害された被害者のための相談・支援体制の充実	従事する人の人権に関わりの深い職業に	公務員など人権に尊重の意識を育む	乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む	学校での人権教育の充実	事業者が職場において人権を尊重し、啓発活動を行う	行政が企業の人権研修等を支援する	市民が自発的に人権のイベントや学習会などに参加する	町内会やPTAなどで地域で活動する中で人権を大切にする活動をすすめる	その他	特にない	わからない	無回答
全体	1,143	32.4	17.7	31.2	15.6	29.4	42.0	10.9	5.2	3.1	6.1	3.0	3.6	6.1	4.6	
性・年代別	女性計	688	32.4	15.6	30.2	13.8	34.2	42.0	9.9	4.9	3.5	6.4	1.7	3.6	6.8	5.1
	20代	43	●53.5	18.6	30.2	11.6	32.6	●55.8	11.6	7.0	4.7	4.7	0.0	2.3	7.0	0.0
	30代	84	39.3	13.1	32.1	9.5	36.9	●56.0	8.3	8.3	1.2	6.0	0.0	3.6	6.0	1.2
	40代	136	39.7	15.4	24.3	12.5	●39.7	●52.9	14.0	2.9	2.9	8.1	2.9	0.7	8.8	0.0
	50代	119	37.8	11.8	34.5	16.0	28.6	42.9	13.4	5.0	3.4	3.4	2.5	3.4	2.5	5.0
	60代	157	21.0	14.0	33.8	14.0	38.9	35.0	7.0	5.7	3.2	5.7	2.5	5.7	6.4	5.7
	70代	148	23.6	20.9	27.7	15.5	27.0	26.4	6.8	3.4	5.4	8.8	0.7	4.7	9.5	12.8
	男性計	419	33.9	22.2	32.0	18.4	21.2	43.2	12.9	5.7	2.6	6.0	4.8	2.6	4.8	4.1
	20代	32	40.6	25.0	37.5	12.5	25.0	40.6	15.6	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	9.4	6.3
	30代	43	●44.2	16.3	27.9	18.6	27.9	●55.8	14.0	7.0	0.0	0.0	11.6	4.7	2.3	0.0
	40代	73	37.0	19.2	31.5	12.3	19.2	49.3	12.3	4.1	1.4	2.7	8.2	0.0	6.8	4.1
	50代	76	39.5	26.3	27.6	11.8	14.5	44.7	11.8	9.2	1.3	6.6	3.9	3.9	3.9	3.9
	60代	93	29.0	19.4	33.3	22.6	18.3	37.6	16.1	6.5	3.2	9.7	6.5	3.2	3.2	2.2
70代	102	25.5	25.5	34.3	25.5	26.5	38.2	9.8	4.9	5.9	4.9	0.0	2.9	4.9	6.9	

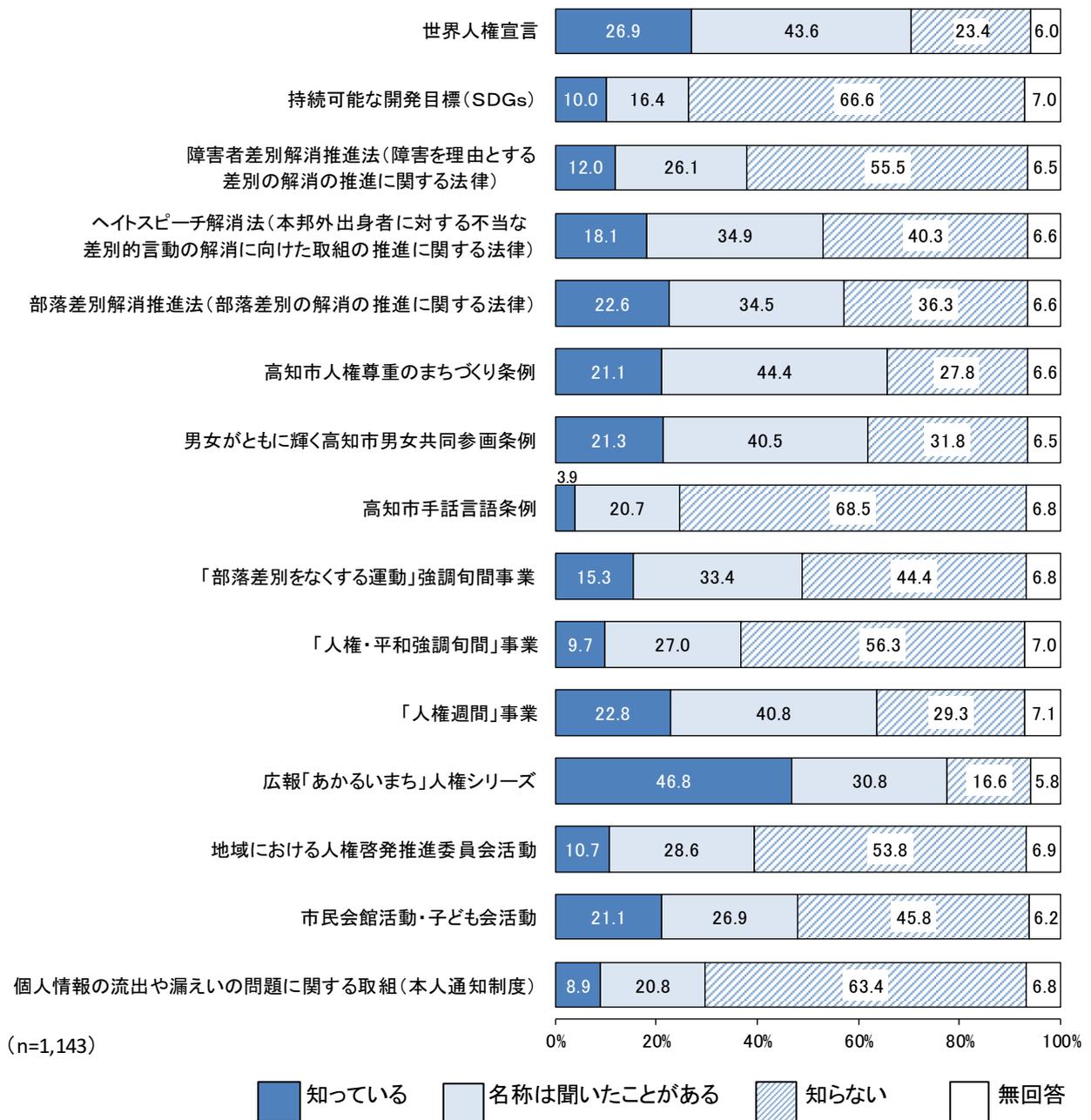
※全体の数値より+5ポイント=■、全体の数値より+10ポイント=●

性別でみると、女性では「学校での人権教育の充実」の割合が42.0%で最も高く、次いで「乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む」が34.2%、「人権を守るための法整備をすすめる」32.4%の順となっており、男性では上位3項目ともに全体と同様の順位となっている。

性・年代別でみると、「学校での人権教育の充実」の割合は、年代が低いほど高い傾向になり、女性・男性ともに30代で最も高くなっている。また、「乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む」の割合はいずれの年代でも男性より女性が高く、「行政が人権教育・啓発を積極的に行う」の割合は、いずれの年代でも女性より男性が高くなっている。

(4) 問 31 人権に関する宣言等や取組について知っているか

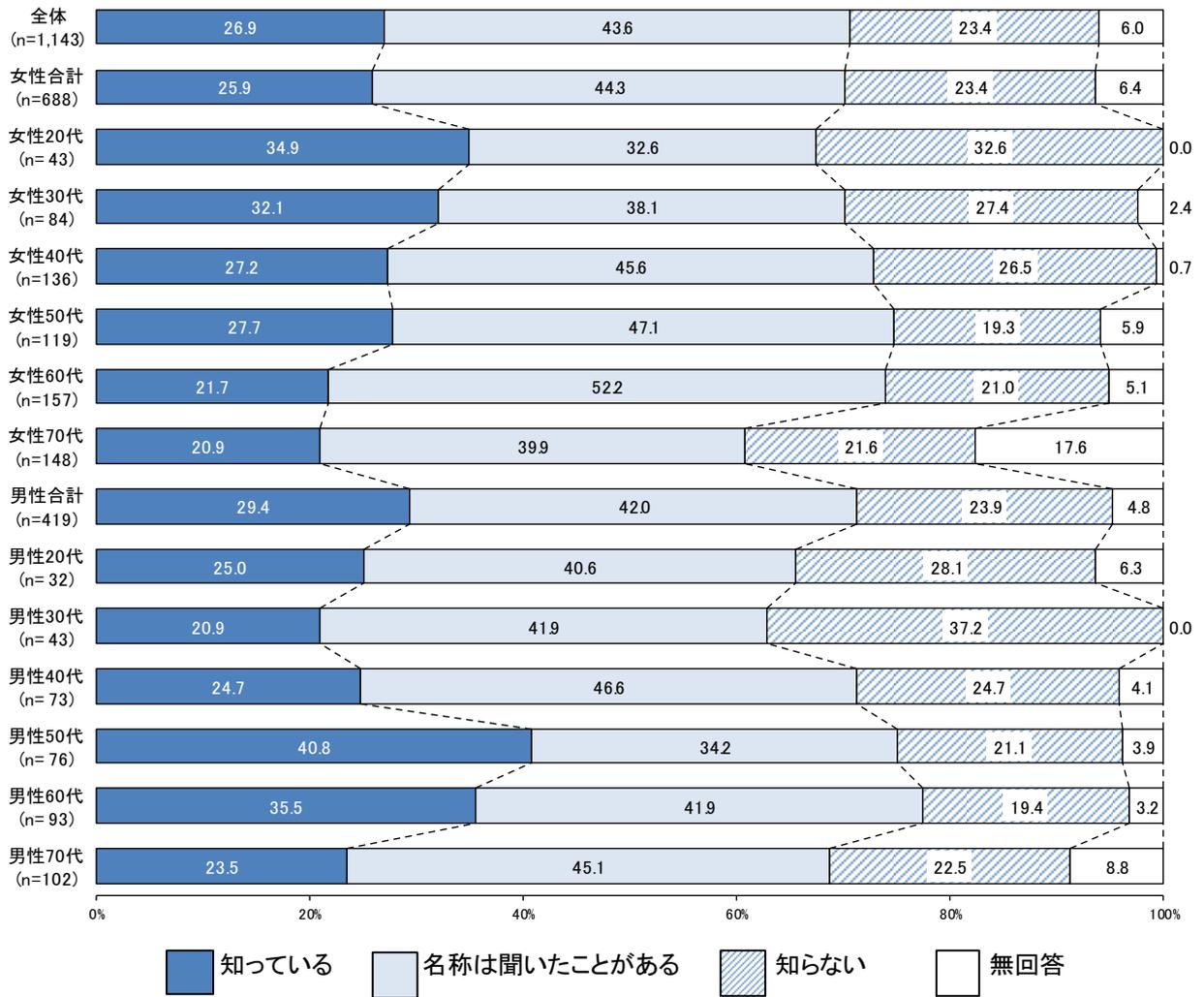
問 31 あなたは、次の(a)から(o)の人権に関する宣言や条例、市の取り組みについてどの程度ご存知ですか。(それぞれに○を1つ)



人権に関する宣言や条例、市の取り組みについての認知度をみると、「知っている」の割合は、15項目中「広報「あかるいまち」人権シリーズ」が46.8%で最も高く、他の項目と比べて特に認知度が高くなっている一方で、「持続可能な開発目標(SDGs)」、「高知市手話言語条例」、「個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組(本人通知制度)」は、知らないの割合が6割を超えており、他の項目と比べて特に認知度が低くなっている。

また、「世界人権宣言」、「高知市人権尊重のまちづくり条例」、「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」、「人権週間」事業は、名称は聞いたことがあるの割合が4割を超えており、他の項目と比べて高くなっている。

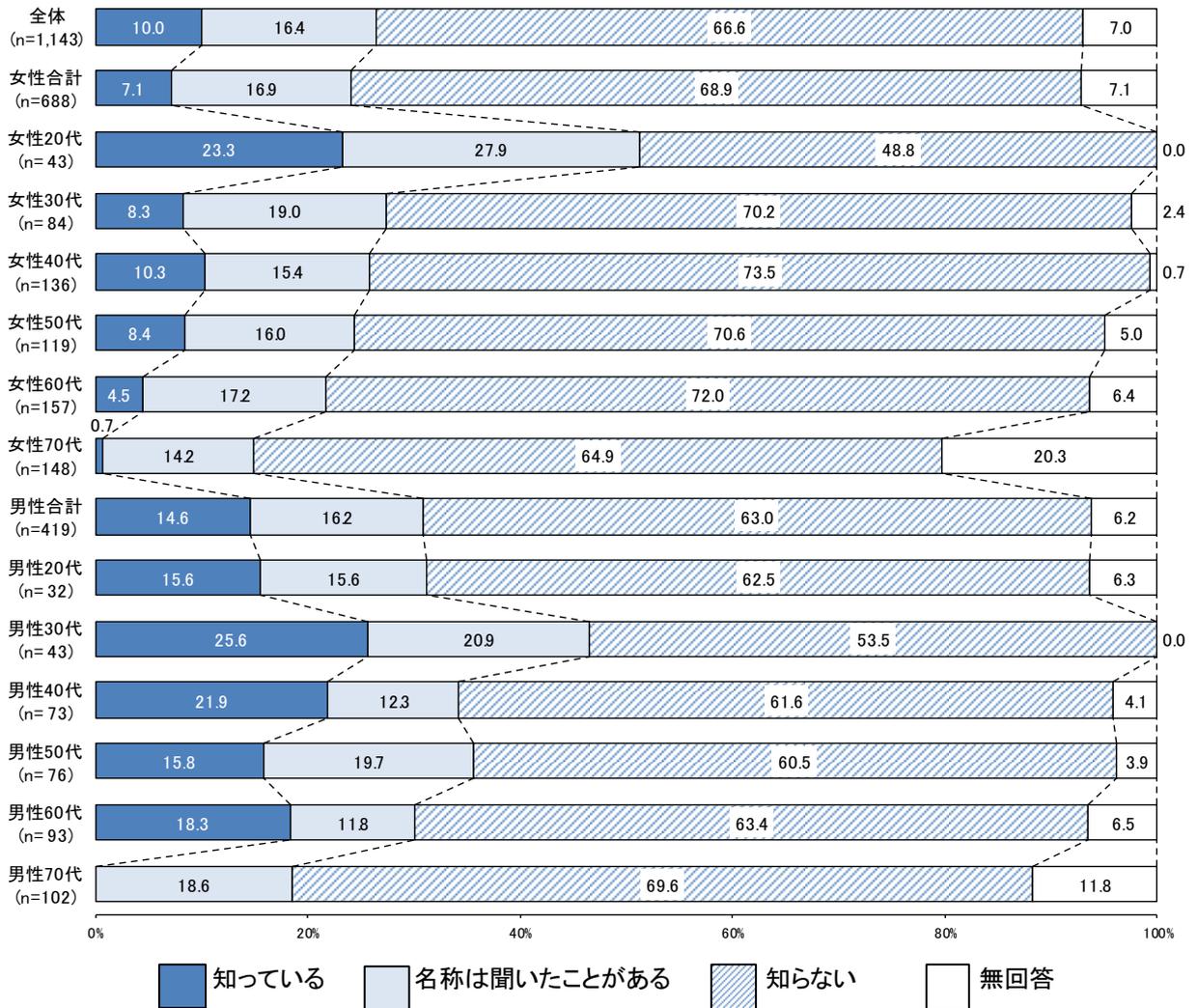
(a) 世界人権宣言



性別で見ると、大きな差はみられない。

性・年代別で見ると、「知っている」の割合は50代男性で40.8%と最も高く、50代女性(27.7%)より約13ポイント高くなっている。「名称は聞いたことがある」の割合は60代女性で52.2%と、唯一5割を超えており、「知らない」の割合は、30代男性で37.2%と最も高く、30代女性(27.4%)より約10ポイント高くなっている。

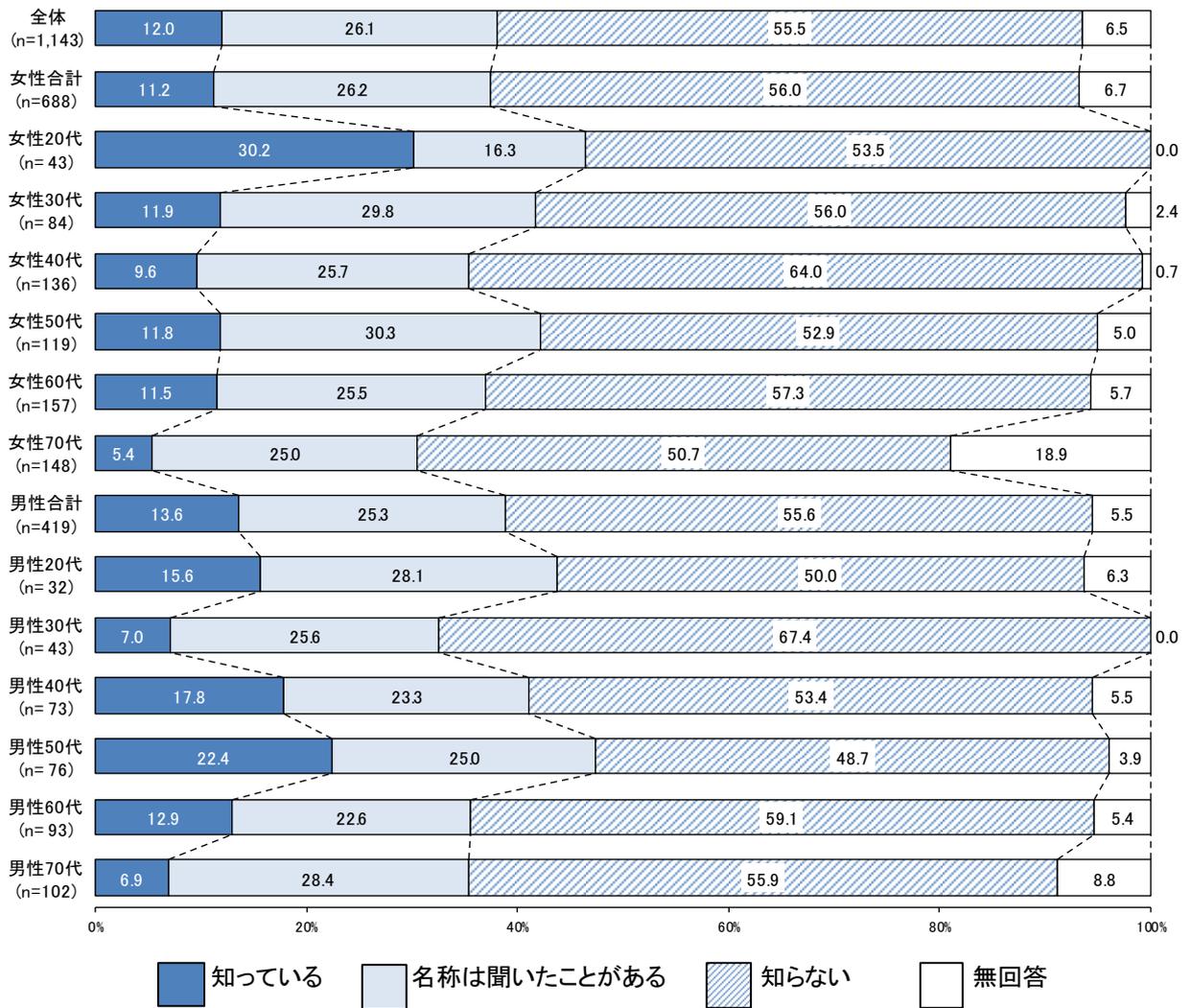
(b) 持続可能な開発目標 (SDGs)



性別で見ると、「知っている」の割合は、女性（7.1%）より男性（14.6%）が7.5ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「知っている」の割合は30代男性で25.6%と最も高く、30代女性（8.3%）より約17ポイント高くなっている。「名称は聞いたことがある」の割合は20代女性で27.9%と約3割を占めており、「知らない」の割合は、20代女性を除き、全ての性別・年代でも5割を超えており、30～60代女性でいずれも7割を超えている。

(c) 障害者差別解消推進法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）

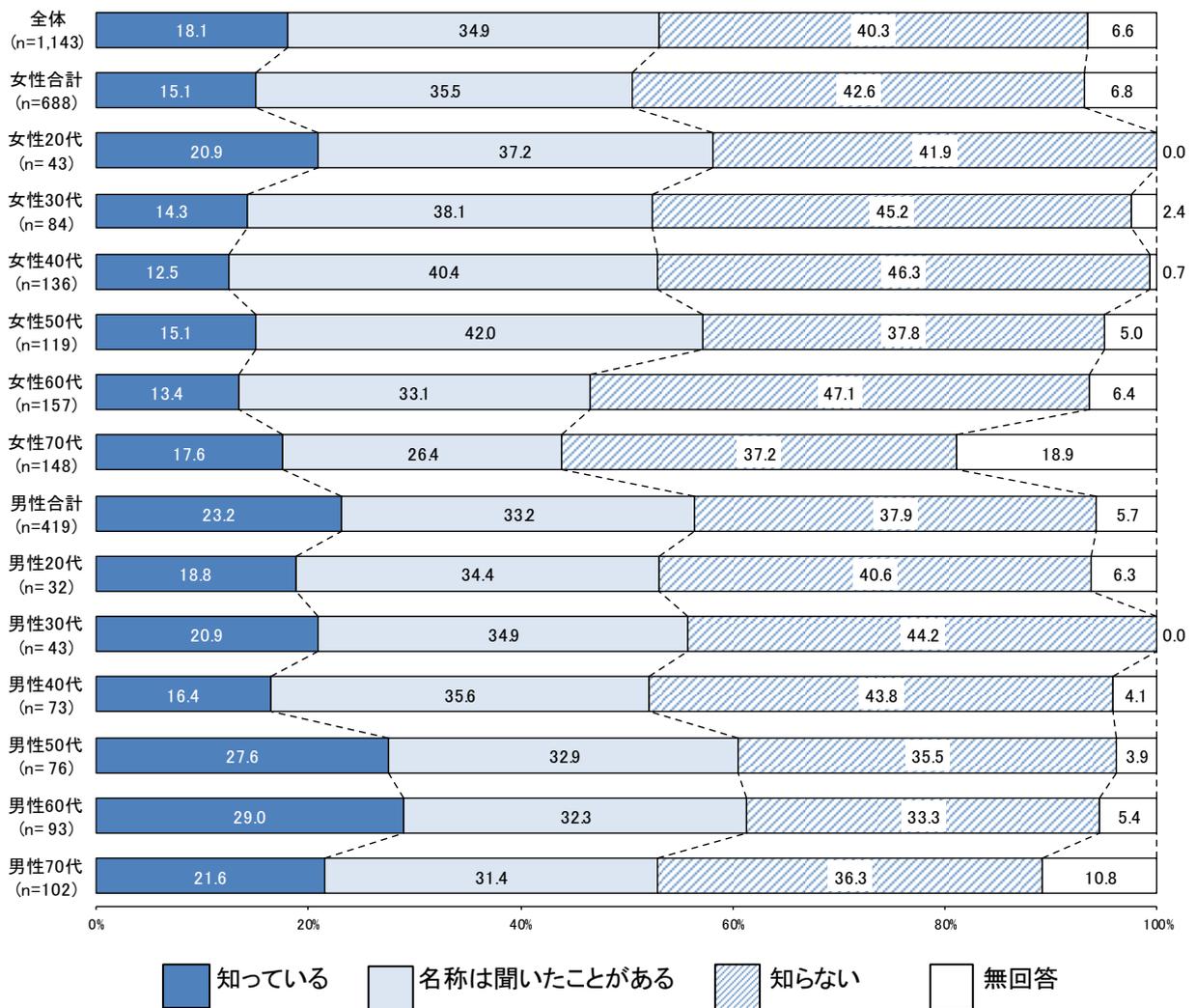


性別で見ると、大きな差はみられない。

性・年代別で見ると、「知っている」の割合は20代女性で30.2%と最も高く、唯一3割を超えている。

「名称は聞いたことがある」の割合は50代女性で30.3%を占めており、「知らない」の割合は、50代男性を除き、いずれの性別・年代でも5割を超えており、40代女性で64.0%と最も高くなっている。

(d) ヘイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）

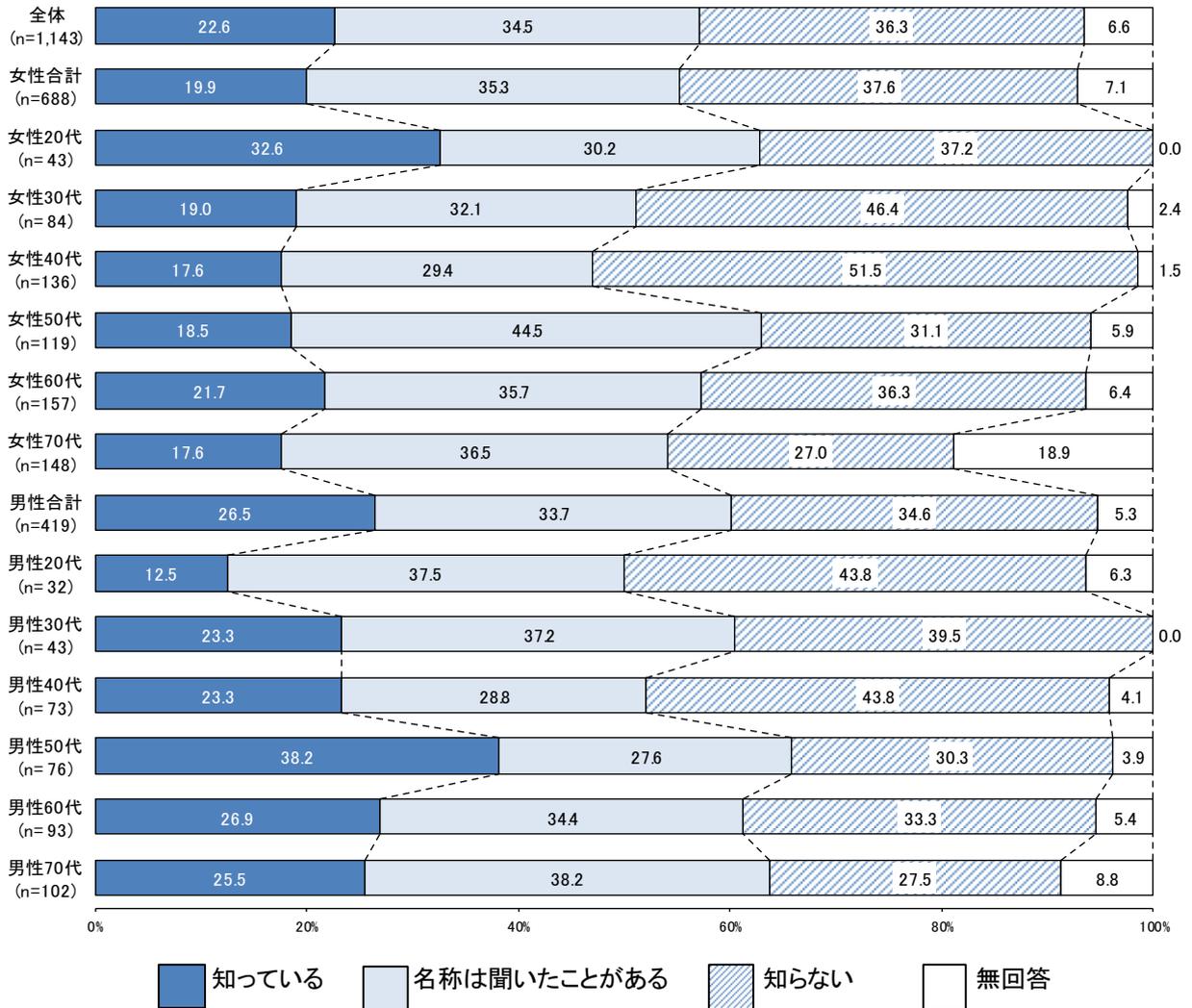


性別で見ると、「知っている」の割合は、女性（15.1%）より男性（23.2%）が約8ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「知っている」の割合は、20代を除き、いずれの年代でも女性より男性が高く、60代男性で29.0%と最も高く、約3割を占めている。

「名称は聞いたことがある」の割合は40代・50代女性で4割を超えて高くなっており、「知らない」の割合は、いずれの年代でも男性より女性が高くなっている。

(e) 部落差別解消推進法（部落差別の解消の推進に関する法律）

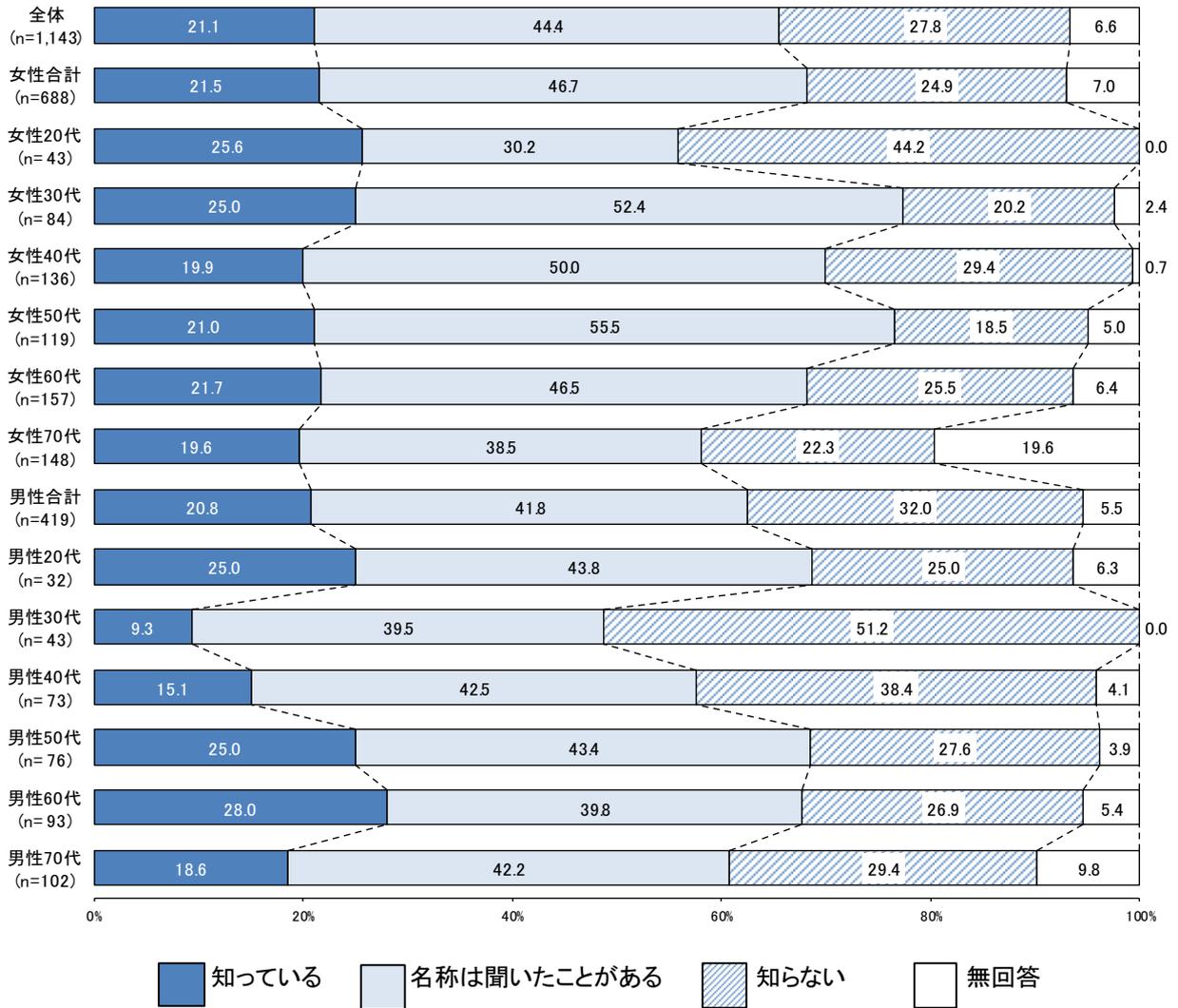


性別で見ると、「知っている」の割合は、女性（19.9%）より男性（26.5%）が6.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「知っている」の割合は、20代を除き、いずれの年代でも女性より男性が高く、50代男性で38.2%と最も高く、約4割を占めている。

「名称は聞いたことがある」の割合は50代女性で44.5%と最も高くなっており、「知らない」の割合は、40代女性で唯一5割を超えているが、70代では女性27.0%、男性27.5%と、他の年代と比べて低くなっている。

(f) 高知市人権尊重のまちづくり条例

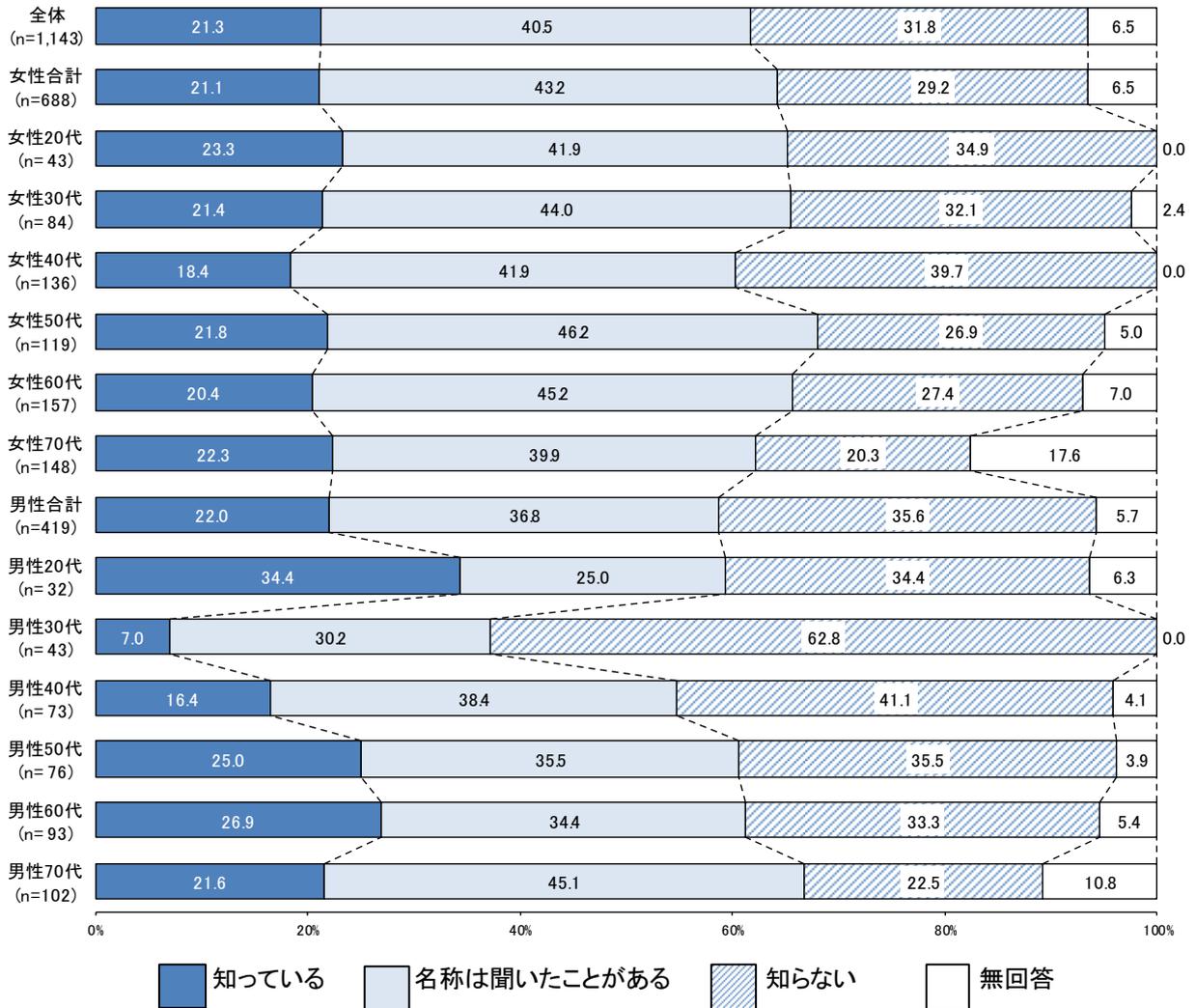


性別でみると、「知っている」の割合は、女性 21.5%、男性 20.8%と、大きな差はみられないが、「知らない」の割合は、女性 (24.9%) より男性 (32.0%) が約 7 ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「知っている」の割合は、30 代男性で 9.3%と最も低く、30 代女性 (25.0%) より約 16 ポイント低く、「知らない」の割合は 30 代男性 51.2%で最も高く、唯一 5 割を超えている。

「名称は聞いたことがある」の割合は、女性は 50 代で 55.5%、男性は 20 代で 43.8%と最も高くなっている。

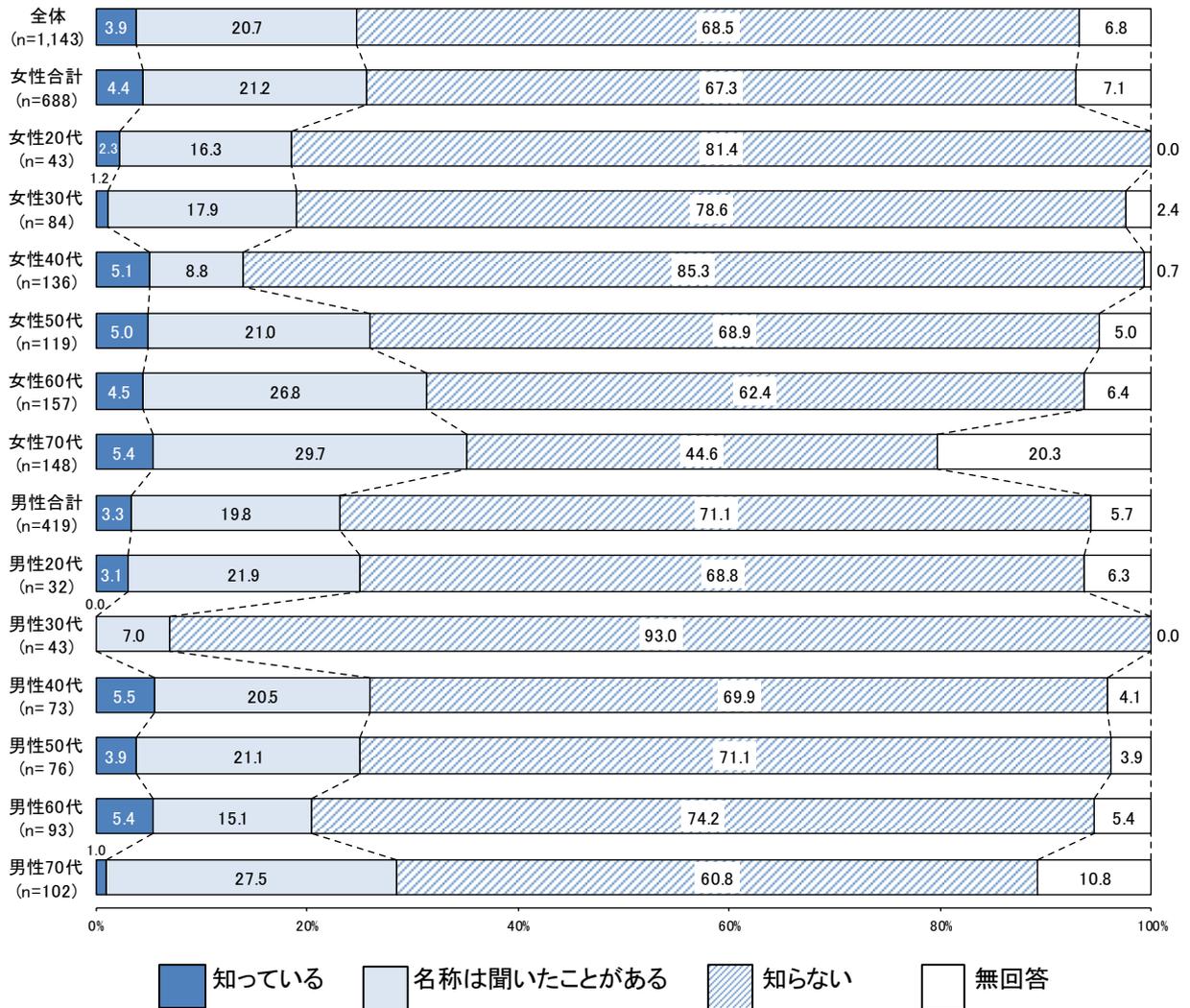
(g) 男女がともに輝く高知市男女共同参画条例



性別で見ると、「知らない」の割合は、女性（29.2%）より男性（35.6%）が6.4ポイント高く、「名称は聞いたことがある」の割合は、男性（36.8%）より女性（43.2%）が6.4ポイント高く、男性より女性が認知度が高くなっている。

性・年代別で見ると、「知らない」の割合は、女性・男性ともに70代で約2割と、他の年代と比べて低くなっており、30代男性では62.8%と最も高く、30代女性（32.1%）より約30ポイント高くなっている。

(h) 高知市手話言語条例

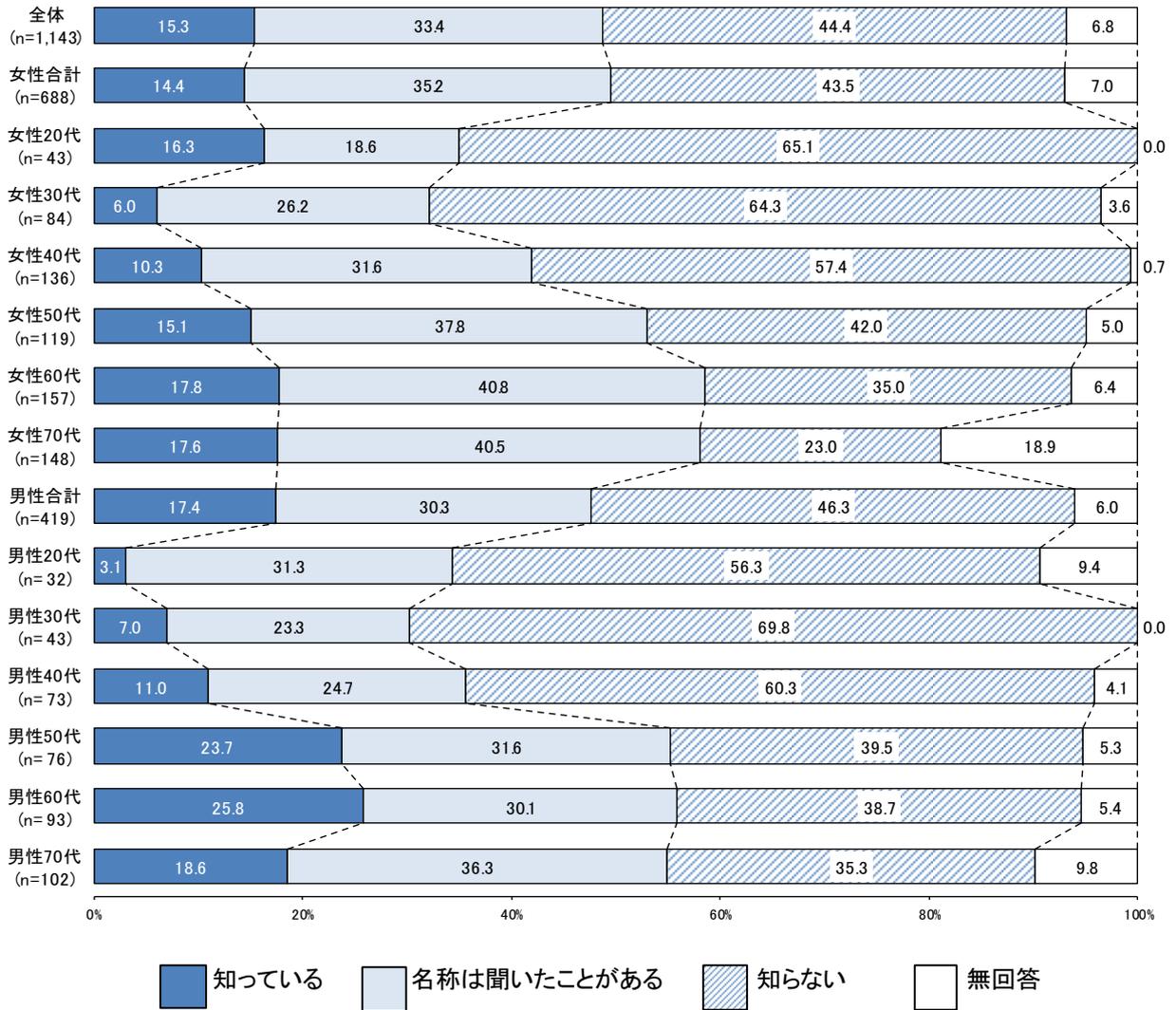


性別で見ると、「知っている」の割合は女性 4.4%、男性 3.3%で性別による大きな違いは見られないが、「知らない」の割合は、女性 67.3%、男性 71.1%と、ともに約7割を占めており認知度が低くなっている。

性・年代別で見ると、「知らない」の割合は70代女性で44.6%と唯一5割を下回っているが、30代男性で93.0%と、最も高くなっている。

また、「名称は聞いたことがある」の割合は、女性・男性ともに70代で約3割と、他の年代と比べて最も高くなっている。

(i) 「部落差別をなくする運動」強調旬間事業

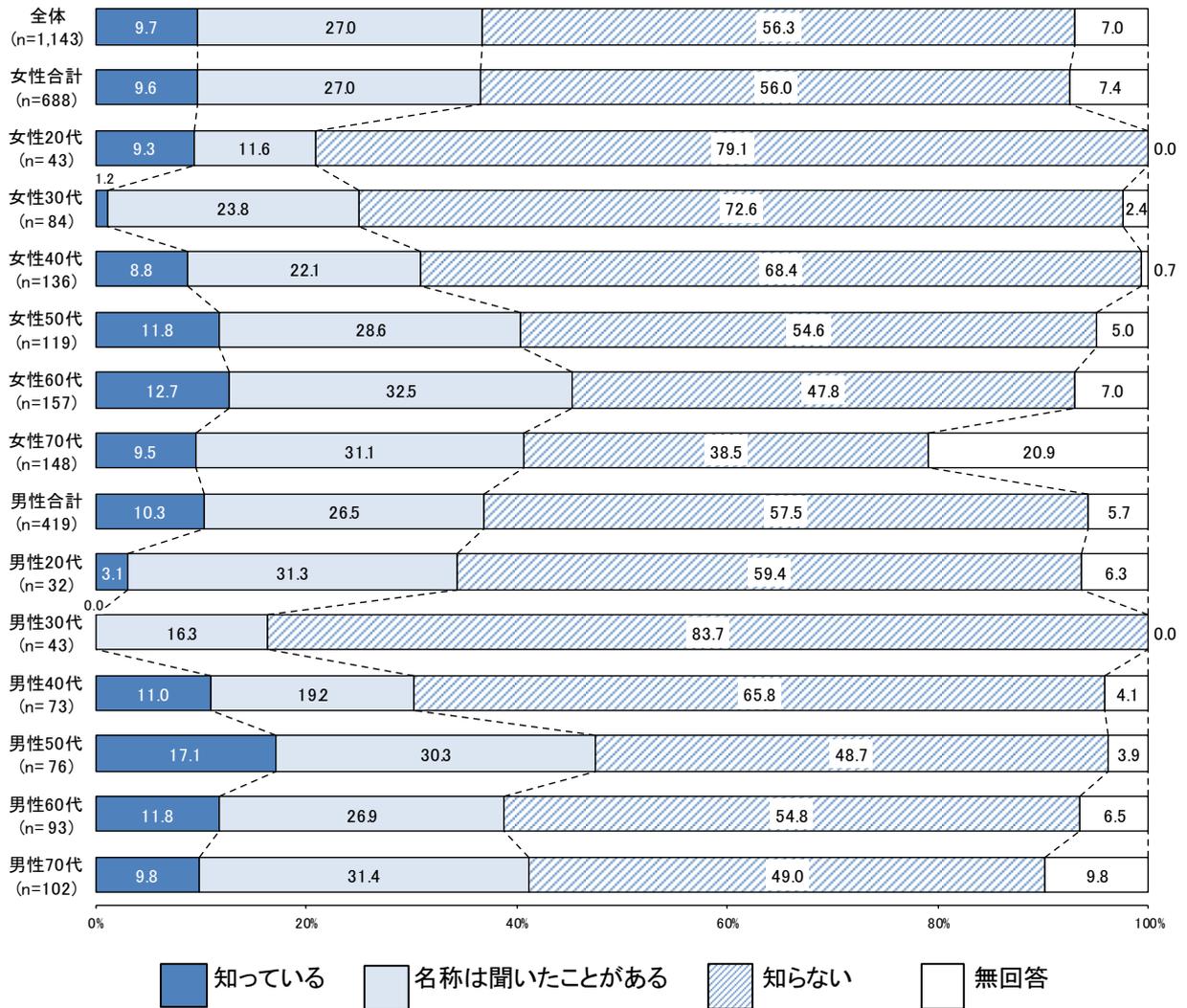


性別でみると、「知らない」の割合は、女性・男性ともに4割を超えている。

性・年代別でみると、「知らない」の割合は、70代女性で23.0%で最も低く、30代男性で69.8%と、最も高くなっている。

また、「名称は聞いたことがある」の割合は、年代が高くなるにつれ高く、「知らない」の割合は年代が高くなるにつれ低くなっている。

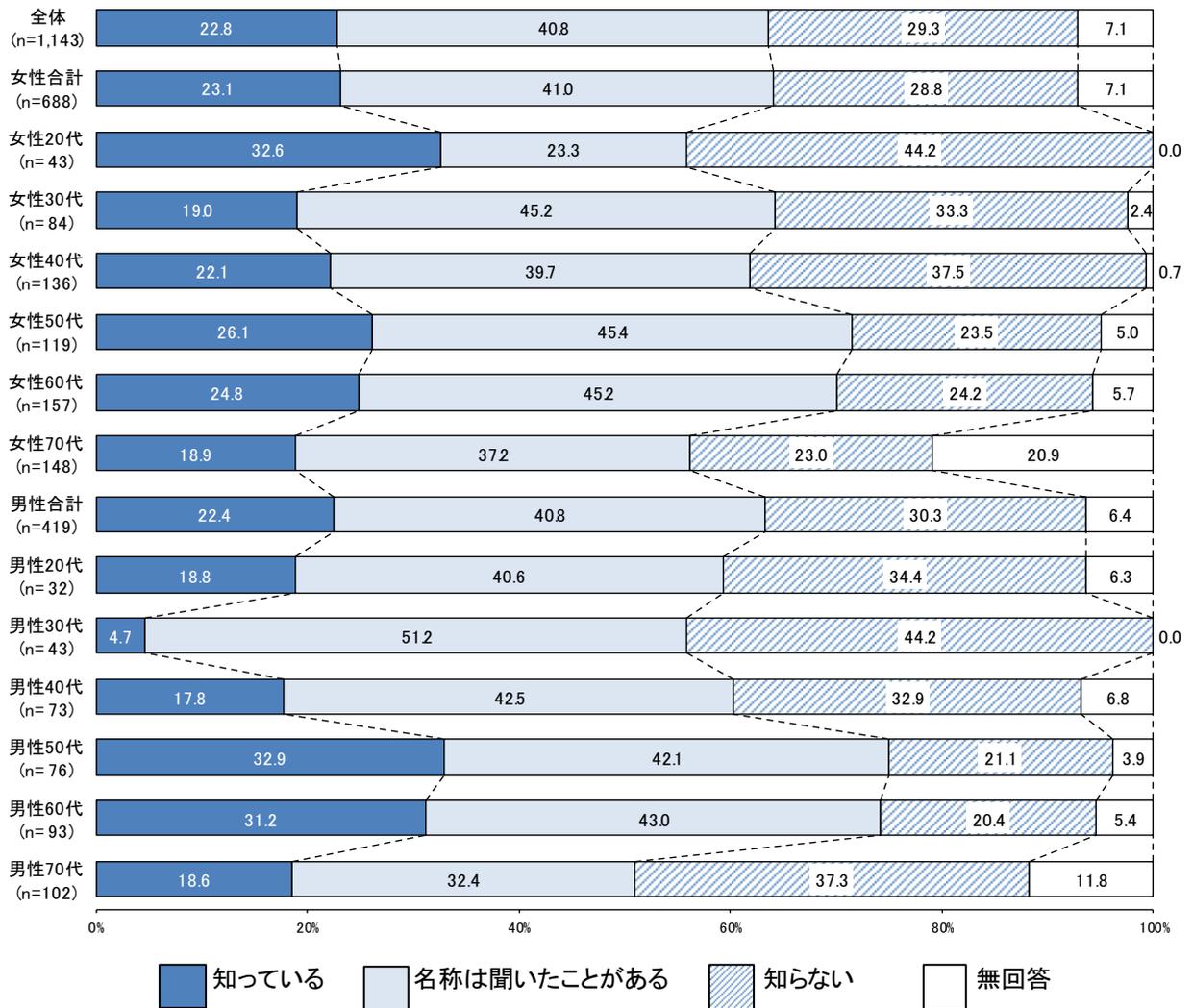
(j) 「人権・平和強調旬間」事業



性別で見ると、「知っている」の割合は女性9.6%、男性10.3%で約1割と低く、「知らない」の割合は、女性・男性ともに5割を超えている。

性・年代別で見ると、「知らない」の割合は女性では年代が低くなるにつれ高くなる傾向がみられ、20代女性で79.1%と約8割を占めている。また、「名称は聞いたことがある」の割合は、女性では60代・70代で3割を超えており、男性では20代・50代・70代で3割を超えている。

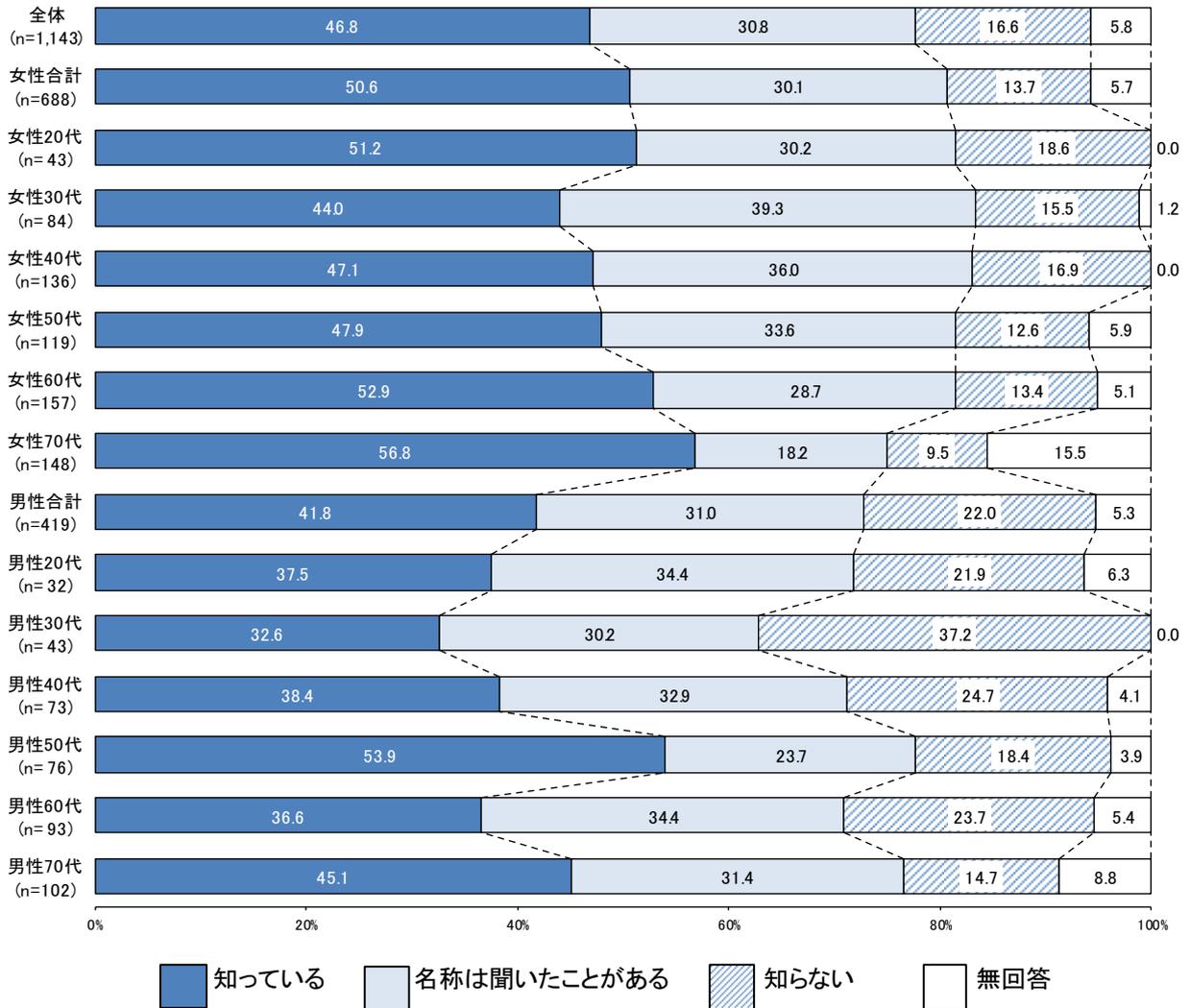
(k) 「人権週間」 事業



性別で見ると、「知っている」の割合は女性・男性ともに2割を超えており、「名称は聞いたことがある」の割合は、女性・男性ともに4割を超えている。

性・年代別で見ると、「名称は聞いたことがある」の割合は、30代男性で51.2%と、唯一5割を超えている。

(1) 広報「あかるいまち」人権シリーズ

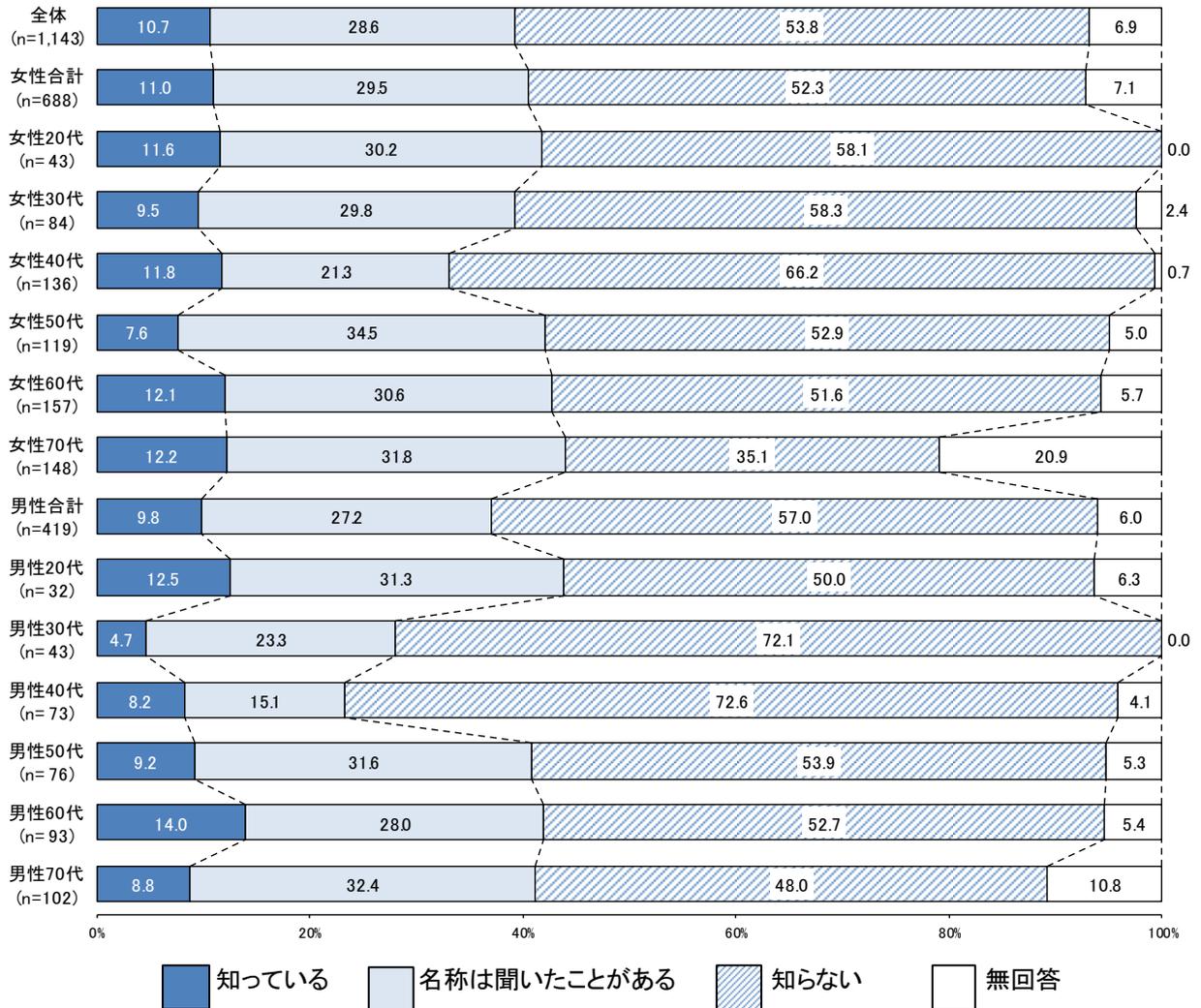


性別で見ると、「知っている」の割合は男性（41.8%）より女性（50.6%）が約9ポイント高く、女性では「名称は聞いたことがある」（30.1%）を合わせると8割を超えており、男性より女性が認知度が高くなっている。

また、男性では「知らない」の割合が2割を超えている。

性・年代別で見ると、「知っている」の割合は、50代女性をのぞき、全ての年代で男性より女性が高く、「知らない」の割合は、全ての年代で女性より男性が高くなっている。

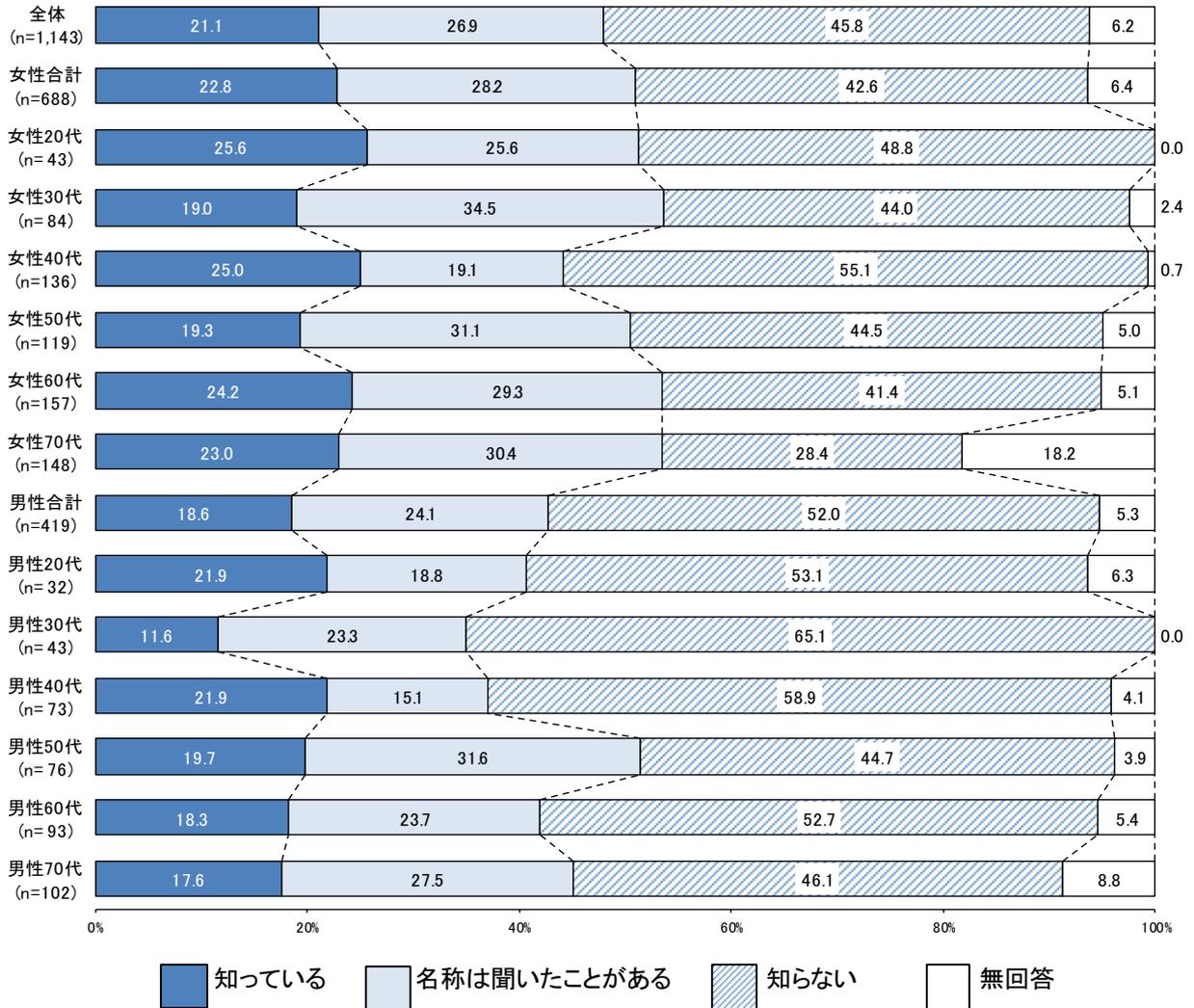
(m) 地域における人権啓発推進委員会活動



性別で見ると「知っている」の割合は、女性・男性ともに約1割と低く、「知らない」の割合は女性・男性ともに5割を超えており、男性では57.0%と約6割を占めている。

性・年代別で見ると「知らない」の割合は、女性・男性ともに70代を除き、全ての年代で5割を超えており、女性・男性ともに40代で最も高くなっている。

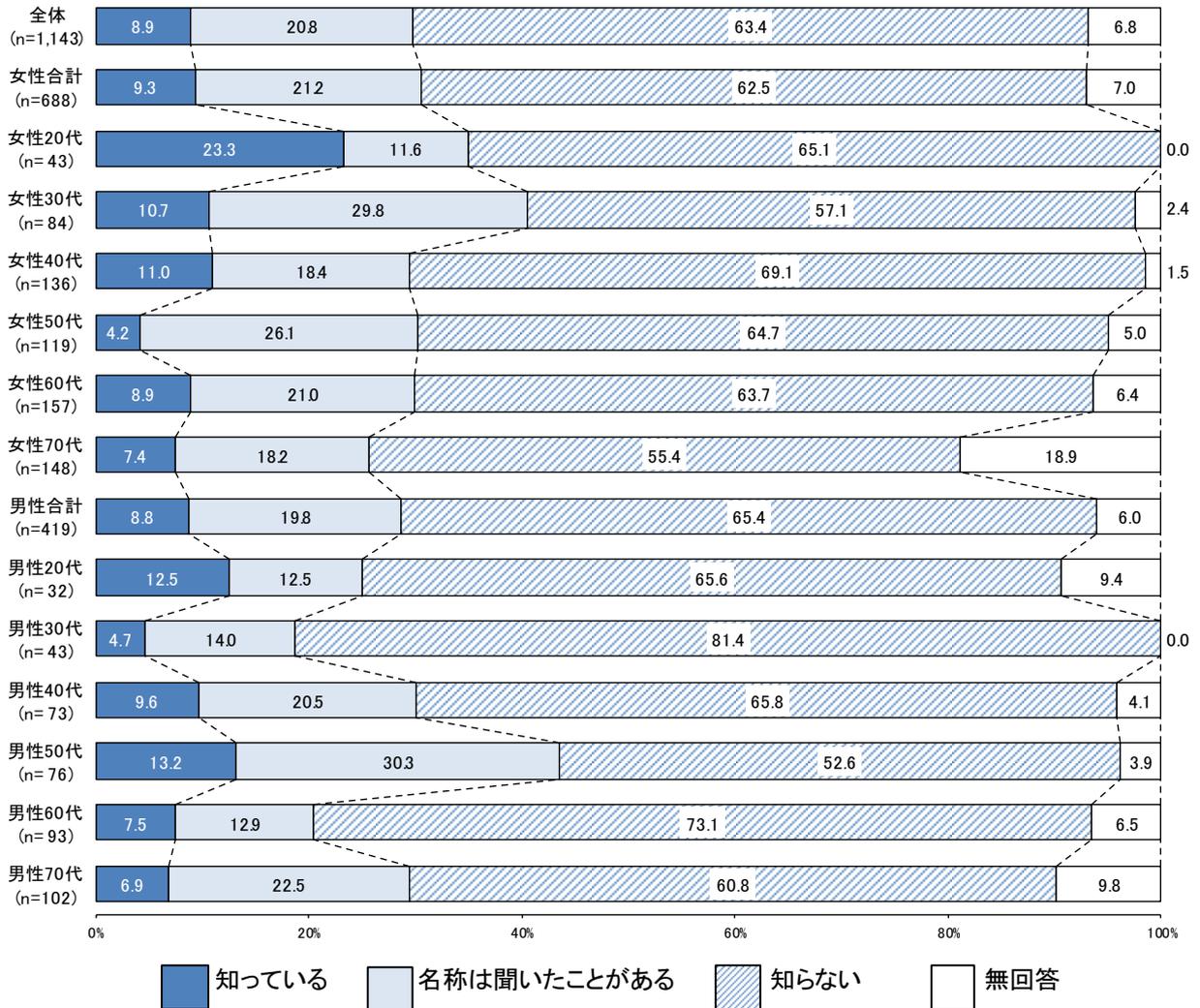
(n) 市民会館活動・子ども会活動



性別で見ると、「知っている」の割合は男性（18.6%）より女性（22.8%）が約4ポイント高く、「知らない」の割合は、女性（42.6%）より男性（52.0%）が約10ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「知らない」の割合は、いずれの年代でも女性より男性が高く、30代男性で65.1%と最も高くなっている。

(o) 個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組（本人通知制度）



性別で見ると、「知っている」の割合は、女性・男性ともに約1割と低く、「知らない」の割合は女性・男性ともに6割を超えている。

性・年代別で見ると、「知っている」の割合は、20代女性で23.3%と最も高く、「名称は聞いたことがある」の割合は、50代男性で30.3%と最も高く、「知らない」の割合は30代男性で81.4%と最も高くなっている。

15 人権に関する意見・感想

問 32 人権に関するご意見、ご感想がございましたら、自由にご記入ください。

今回の調査を通じて寄せられた、人権問題やこの調査に関しての意見・要望は 241 件あり、その内容を要約し分類した結果は下表のとおりである。

◆人権全般	互いに相手を尊重して思いやって生きていくことが大切 など	13
	一人ひとりが自身や家庭で何ができるか考え、行動することが大切 など	11
	人権は当たり前すべての人にあるもの など	9
	相談しやすい環境を作っていくべき など	6
	主張しすぎない など	6
	人権問題は難しい など	6
	差別をなくすことは難しいと思うが、努力が必要 など	5
	住民が安心して暮らせる高知市であることを願う など	5
	人権を正しく理解し、正しく学ぶことが大切 など	4
	人として正しく生きる など	3
	人権はある程度守られている など	3
	自身のつらい経験について	2
	親等から強い偏見を受け継ぐ人もいる など	2
	本当に支援が必要な方への支援を など	2
	人権と権利と義務のバランスが大切	1
	互いを尊重する習慣づくりで、自分たちが参画している経験を積む活動が必要	1
	偏見を持つてはいけない	1
	暴力はいけない	1
	モラルを向上させてほしい	1
	弱い立場の人が人間らしく生きられるよう行政がリーダーシップを発揮してほしい	1
	一方的な話を鵜呑みにしない。両方から話は聞くとか、法律でどうこういう問題よりも対話が重要	1
	行政・企業・地域が力を入れて取り組むことを望む	1
	行政がこれ以上人権に関わるべきではないと思う	1
	人権を意識しすぎるとかえって差別を助長してしまうこともあるため、対策などがあまり表向きに出てこないけれども、必要な時にはしっかりとしたバックアップ体制があるというのが理想	1
人権を正しく考えるには、心が育まれていないといけないと思う	1	
日本はかなり人権が尊重されている	1	
幼少の頃から親や周囲の心づかいをもっと深めてもらいたい	1	
何も学ばなくても事前に人権を尊重できる世の中を願う	1	
小計	91	

◆同和問題 (部落差別)	同和対策のあり方について（特別な対策をしない方がよい） など	5
	同和地区や地区出身者に対する偏見 など	3
	簡単に解決できる問題ではない など	2
	県外から引っ越してきて同和問題を知った	1
	同和問題は薄まりつつある	1
	部落差別がなくなってほしい	1
	生まれた所をだれも変える事は出来ないが、考え方を考える事はだれでも出来ると思う	1
小計		14

◆女性	子育てするにも、働くにも大変で、女性の権利は守られていないと感じるなど	3
	共働きでないと難しいのに、家庭と子育ての両立は難しい	1
	産休・育休で職場から迷惑がられたり、産後は子育てと両立するための転職を望んでも小さい子がいると休まれるからなどの理由で採用が難しかったりする	1
	男女での社会における差を激しく感じる	1
	特に男は仕事、女は家事、育児という意識を変革していくような取り組みが必要	1
	男女の違いがあった上で生活しやすい環境があればよいと思う	1
	女性が差別されない社会を作るべき	1
	妊娠や育児に関する配慮の大切さについて幼いころから教育していけば、理解が少しずつ進む。”結果の平等”ではなく”機会の平等”が大切。	1
	幼少の頃より両親から男だから女だから”こうしなさい”とあまり言われた経験がなく、好きな事をさせてくれ、女性でもちゃんと働いていける様にと教育を受けさせてくれた。とても進歩的な考えの両親だったので、ずっと好きな仕事に携わってこれることができた。	1
小計		11

◆子ども	子どもたちが安心して安全に楽しく暮らしていける社会にしてほしい	3
	一番に考えないといけないのは家庭だと思う	1
	子どものいじめは、まず大人社会から無くす事	1
	子どもの虐待について	1
	義父などから長年、性的虐待を受けていても裁判で無罪が出るような世の中では、希望がない	1
	もっと伸び伸びした教育にしてもらいたい	1
	高齢者に対する対応ばかりでなく、子どもや女性に対する取り組みや制度を増やすべき	1
	子どもから大人への言葉の暴力が横暴している、子どもだから何をしても許されることは間違っている	1
	子どもへの教育レベルを上げて、教員の質も上げて子どもを守ってほしい	1

	離婚後の養育費未払いの問題について対策をすべき	1
小計		12

◆高齢者	認知症の人の人権がないがしろにされている	1
小計		1

◆障がいのある人	配慮や各専門組織が必要	1
	発達障害があり、いまだ就職できていない	1
	いろいろな問題を抱えている方が、安心して生活ができる高知になってほしい	1
	自身に障害があり、他人の言葉に傷ついた	1
	知的、身体障害者共に当事者だけでなく、その周りの人にも配慮が必要	1
	障害をもつ人の声を聴いてほしい	1
	行政は障害者への配慮やその人の障害に応じたまともな対応をしてほしい	1
	障害年金の却下について	1
	障害者を侮辱する言動などを見聞きした	1
小計		9

◆感染症患者等	コロナ被害者の問題はこれから取り組むべき課題	1
	コロナの差別がこれ以上ないように希望する	1
	医学的無知が偏見を生んでいる	1
小計		3

◆性的指向・性自認	同性パートナーシップ制度を実施して欲しい	1
小計		1

◆インターネットにおける人権侵害	インターネット上で起こりえる人権侵害について理解を深め、ルールやモラルを守って利用することが大事	1
	子どもたちをインターネット上での誹謗・中傷から守ってほしい	1
	民主主義、自由主義に於ける「表現の自由、言論の自由」は誰にもおかされない崇高なもので、自由にものを言うことに制限を設けるべきでない	1
	表現の自由の行きすぎに歯止めは必要	1
	犯罪被害者、インターネット上の人権は、法整備が必要	1
	インターネットでは相手が見えないだけに罪悪感が存在するとも限らない	1
小計		6

◆職場の人権	医療従事者は、超過勤務も多く、給与も少なく、人権が守られていないと思う	1
	身内が職場の上司にパワハラを受け自死へといたり、大変な思いをした	1
	職場のパワハラは言い辛い、言えば更に悪化することがある	1
	会社で差別を受けた、会社ではなく外へ相談すべきだと思った	1

	「パワハラ」する人が出世する。「パワハラ」やめようと教育する一方で、要するに「パワハラ」は大きな要素にならないことを示していることを会社は認識していないと思う	1
	仕事を平等にやりくりする	1
	職場でもモラルの低さ、いじめや上司のえこひいきなどはある	1
	自身のハラスメント被害経験について	1
	バカにされたり自分を守るために他人を犠牲にするなど、弱い者はつぶされることもある	1
小計		9

◆ 犯罪被害者等	市民を含めて活動したり、授業で、グループワーク的な感じで、小・中・高で実践して欲しい。災害問題は、特に、南海トラフが起きるかもしれないので、早急に取り組みを推進して欲しい	1
	犯罪被害者、インターネット上の人権は、法整備が必要(再掲)	(1)
小計		1

◆ 災害と人権	市民を含めて活動したり、授業で、グループワーク的な感じで、小・中・高で実践して欲しい。災害問題は、特に、南海トラフが起きるかもしれないので、早急に取り組みを推進して欲しい	1
小計		1

◆ 教育	学校での教育が大切 など	15
	道徳教育が必要 など	3
	幼児期からの教育が大切 など	3
	学校教育が知識や受験に偏重しているので、もっと道徳、倫理など人権に関する教育を充実させるべき	1
	考えが固まる0～12才迄の教育現場での既然とした考えを示すことのできる教育者、理解のある保護者地域社会がなければ根本解決にはならない	1
	心の教育、美しいものに接する教育、自然に接する教育が必要	1
	時代に合った人権教育を行って欲しい。暗い話題だけでなく、ポジティブに教えて欲しい。	1
	人は、考え方が色々あるので、行動を肯定しながら別の受け取り方、考え方もあるという、多様性を教えなくてはならないのでは	1
	教員の人数確保・福利厚生・支援・教育を強める、人権学習がありましたが、それらも専門のカウンセラーや哲学者などの専門ではなかったので見直してみてもは(担任による学習のため、バラツキがある。人手が足りない事情もあると思う)	1
	子供のころからの教育と高齢になってからの教育が大切	1
	今の若い人に、しっかりした親になるための教育をしてもらいたい	1
小計		29

◆啓発	行政を始め、地域、職場、学校等での地道な啓発活動が必要 など	3
	行政自身の人権意識の向上が必要 など	3
	どういことが人権侵害になるのか、具体的事例を目につくところに広報等することで、気づく機会を作る など	3
	大人の意識が低いから、子どもの意識も低くなり、いじめや差別がなくならない。大人への啓発が大事 など	2
	相手のことや他国のことを知ることが人を尊重することにつながる、そういう機会が多くあるとよい	1
	イベントやTV等でもどんどん人権について学べる場が必要	1
	具体的な取組内容を知らない	1
	問 31 の（人権に関する宣言や条例、市の取り組みについて）一覧について、冊子等になっていたら読んでみたい。	1
	もっと万人に対して効果のあるような訴えかけを行なうべき	1
	凝り固まった表現以外の方法で、目に届く表現を試みては	1
	知らない事が多いので、学べる機会を増やすべき	1
	人権啓発活動に参加する方の基礎知識を高めること	1
小計	19	

◆調査	人権について考えるきっかけになった など	13
	税金の無駄使いでないか など	3
	調査の意図がわからない など	3
	集計結果を役立ててほしい など	2
	知らないことが多かった など	2
	もう少し内容を少なくして簡素化した方がよい	1
	アンケートはインターネットを活用してほしい	1
	同和問題に特化しているし、答えを誘導されているように問われている	1
	アンケート内容を根本的に考え直すべき	1
	男女平等であるなら、アンケートに男性の人権も加えるべき	1
	言動（ヘイトスピーチ）、インターネット上の人権に関する問題点をもっと多く取り上げてほしかった	1
	各問に対す項目が多すぎて、順序を決めることが出来ない（どれももっともだと思う）	1
	小計	30

◆その他	自身の学習経験について	1
	差別を受けたことがない	1
	地域での付き合いについて	1
	北朝鮮による拉致の早期解決を望む	1
小計	4	

IV 設問間クロス集計分析

IV 設問間クロス集計分析

1 問1×問29

(数値:%)

		問29 あなたが、人権尊重の考えについて強く影響を受けたと思うものは次のうちどれですか。																
		調査数	幼児期の人権教育	小学校時代の人権教育	中学校時代の人権教育	高等学校時代の人権教育	大学・短大・専門学校時代の人権教育	講演会や研修会	地域での学習会	職場での人権研修会	家族とのふれあいのなかから	地域でのふれあいのなかから	職場でのふれあいのなかから	友人とのふれあいのなかから	その他	特にない	わからない	
問1「今の高知市は、市民一人ひとりの人権が尊重されていますか。」	「そう思う」	全体	110	9.1	34.5	22.7	8.2	4.5	9.1	3.6	9.1	38.2	20.9	16.4	18.2	2.7	15.5	6.4
		女性	51	5.9	41.2	15.7	3.9	2.0	7.8	3.9	7.8	31.4	25.5	15.7	15.7	3.9	11.8	7.8
		男性	54	13.0	31.5	29.6	13.0	7.4	11.1	3.7	9.3	46.3	18.5	18.5	22.2	1.9	16.7	5.6
	「どちらかといえばそう思う」	全体	441	6.8	38.3	26.1	10.7	6.6	13.4	1.8	12.7	35.6	18.1	24.5	22.7	5.0	9.5	3.6
		女性	278	7.6	36.0	26.3	11.2	8.3	15.1	1.8	11.2	39.2	18.0	25.5	23.4	5.8	8.3	3.6
		男性	155	5.8	43.2	25.2	10.3	3.9	10.3	1.9	14.8	29.0	18.7	21.9	21.3	3.2	12.3	3.2
	「どちらとも言えない」	全体	425	6.1	38.6	26.6	11.1	5.9	12.0	2.8	9.4	32.9	13.2	21.2	22.1	4.5	12.2	9.2
		女性	266	6.0	40.6	25.2	8.6	4.5	13.2	2.3	9.8	35.0	13.5	21.4	23.3	2.6	10.5	9.8
		男性	145	6.9	35.9	29.7	15.2	7.6	11.0	4.1	9.7	29.7	13.1	20.0	20.7	6.9	15.2	7.6
	「どちらかといえばそうは思わない」	全体	65	4.6	33.8	23.1	7.7	-	16.9	4.6	9.2	44.6	20.0	18.5	23.1	4.6	4.6	1.5
		女性	39	5.1	35.9	23.1	10.3	-	17.9	2.6	10.3	46.2	10.3	17.9	23.1	7.7	-	2.6
		男性	23	4.3	30.4	26.1	4.3	-	17.4	8.7	8.7	47.8	34.8	17.4	26.1	-	8.7	-
	「そうは思わない」	全体	40	7.5	30.0	20.0	12.5	5.0	7.5	5.0	10.0	17.5	15.0	17.5	22.5	7.5	17.5	12.5
		女性	17	-	41.2	23.5	5.9	-	11.8	-	-	11.8	5.9	23.5	11.8	11.8	23.5	5.9
		男性	21	14.3	19.0	19.0	19.0	9.5	4.8	9.5	19.0	23.8	23.8	14.3	33.3	-	14.3	19.0

※割合が最も高い=

2 問1×問30

(数値:%)

		問30 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、今後特に必要だと思うのは次のうちどれですか。														
		調査数	人権を守るための法整備をすすめ	行政が人権教育・啓発を積極的に	人権が侵害された被害者のための相談・支援体制の充実	業務に従事する人の人権に関わりの深い職業に就く	公務員など人権意識を高める	乳幼児期から家庭や地域の人の育む	学校での人権教育の充実	事業者が職場において人権を尊重し、啓発活動を行う	行政が企業の人権研修等を支援する	市民が自発的に人権のイベントや学習会などに参加する	町内会やPTAなどで地域で活動する中で人権を大切に活動する	その他	特にな	わからない
問1 「今の高知市は、市民一人ひとりの人権が尊重されているか」と思いますが。	「そう思う」	全体	110	35.5	19.1	32.7	10.9	31.8	41.8	10.9	2.7	0.9	10.9	0.9	5.5	4.5
		女性	51	39.2	19.6	27.5	3.9	39.2	33.3	13.7	3.9	-	17.6	-	5.9	3.9
		男性	54	33.3	18.5	35.2	18.5	25.9	51.9	9.3	1.9	1.9	5.6	1.9	3.7	5.6
	「どちらかといえばそう思う」	全体	439	32.8	18.5	34.4	15.5	32.8	46.9	10.9	5.7	4.3	6.6	2.5	2.5	5.7
		女性	276	31.5	16.7	34.4	15.2	37.0	46.7	8.3	3.6	4.7	6.9	2.2	2.9	6.2
		男性	155	36.8	22.6	33.5	16.1	24.5	47.7	15.5	9.0	3.2	6.5	3.2	1.9	4.5
	「どちらとも言えない」	全体	424	34.2	17.5	30.0	17.5	30.9	45.0	13.2	5.7	3.3	4.2	3.3	4.7	7.3
		女性	264	34.8	14.8	29.5	14.8	35.6	46.6	13.3	6.1	3.8	3.4	0.8	4.9	8.3
		男性	146	34.2	24.0	30.1	22.6	20.5	43.2	13.0	4.8	2.7	6.2	6.8	4.1	5.5
	「どちらかといえばそうは思わない」	全体	66	37.9	24.2	36.4	13.6	31.8	37.9	6.1	4.5	3.0	10.6	3.0	3.0	3.0
		女性	39	38.5	25.6	35.9	17.9	38.5	33.3	5.1	5.1	2.6	10.3	2.6	-	5.1
		男性	24	41.7	25.0	37.5	8.3	25.0	45.8	8.3	4.2	4.2	12.5	4.2	-	-
	「そうは思わない」	全体	40	37.5	22.5	42.5	32.5	7.5	25.0	12.5	10.0	-	5.0	12.5	2.5	10.0
		女性	17	47.1	5.9	35.3	23.5	17.6	29.4	5.9	17.6	-	11.8	17.6	5.9	11.8
		男性	21	33.3	33.3	42.9	33.3	-	23.8	19.0	4.8	-	-	9.5	-	9.5

※割合が最も高い＝

3 問2×問29

(数値:%)

		問29 あなたが、人権尊重の考えについて強く影響を受けたと思うものは次のうちどれですか。																
		調査数	幼児期の人権教育	小学校時代の人権教育	中学校時代の人権教育	高等学校時代の人権教育	大学・短大・専門学校時代の人権教育	講演会や研修会	地域での学習会	職場での人権研修会	家族とのふれあいの中から	地域でのふれあいの中から	職場でのふれあいの中から	友人とのふれあいの中から	その他	特にない	わからない	
問2 「市民一人ひとりの人権意識は、5〜6年前に比べて高くなつてきている」と思いますか。	そう思う	全体	66.0	12.1	37.9	21.2	10.6	6.1	7.6	1.5	10.6	33.3	12.1	15.2	21.2	1.5	10.6	6.1
		女性	37.0	10.8	51.4	18.9	8.1	2.7	10.8	-	5.4	45.9	10.8	18.9	21.6	2.7	5.4	8.1
		男性	26.0	15.4	23.1	23.1	15.4	11.5	3.8	3.8	15.4	19.2	15.4	11.5	23.1	-	15.4	3.8
	どちらかといえばそう思う	全体	307	8.5	39.7	27.0	12.1	8.1	15.3	2.9	13.7	33.9	18.6	25.7	21.5	3.3	7.8	5.9
		女性	200	7.0	40.5	27.0	11.0	8.5	17.5	3.5	13.0	33.0	17.5	25.5	21.5	4.0	6.0	6.5
		男性	102	11.8	39.2	26.5	14.7	7.8	11.8	2.0	14.7	36.3	21.6	25.5	21.6	2.0	11.8	4.9
	どちらとも言えない	全体	653	4.7	35.8	24.3	9.3	4.6	11.8	2.5	9.8	34.6	15.8	20.1	21.7	5.5	13.2	6.6
		女性	391	6.1	36.3	24.0	8.7	4.6	12.5	1.8	9.5	36.6	16.4	20.7	22.3	4.9	11.5	6.4
		男性	240	2.9	36.3	25.4	10.4	3.8	11.3	3.8	10.8	32.9	15.4	18.8	21.7	5.8	15.4	6.3
	どちらかといえばそうは思わない	全体	44	13.6	50.0	31.8	15.9	6.8	11.4	6.8	6.8	43.2	20.5	29.5	34.1	6.8	4.5	-
		女性	18	-	44.4	11.1	5.6	-	16.7	-	5.6	61.1	-	38.9	38.9	11.1	5.6	-
		男性	24	25.0	50.0	50.0	25.0	12.5	8.3	12.5	8.3	25.0	33.3	20.8	29.2	-	4.2	-
	そうは思わない	全体	12	8.3	25.0	41.7	16.7	-	8.3	-	8.3	25.0	16.7	16.7	16.7	-	16.7	25.0
		女性	5	-	-	60.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0
		男性	7	14.3	42.9	28.6	14.3	-	14.3	-	14.3	42.9	14.3	14.3	28.6	-	14.3	28.6

※割合が最も高い= 37.9

4 問2×問30

(数値:%)

		問30 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、今後特に必要だと思うのは次のうちどれですか。																							
		調査数	人権を守るための法整備をすすめる	行政が人権教育・啓発を積極的に	行政が人権教育・啓発を積極的に	相談・支援体制の充実	人権が侵害された被害者のための	業務に従事する人の人権意識を高め	公務員など人権に関わりの深い職	育む	乳幼児期から家庭や地域の人の	ふれあいのなかで人権尊重の意識を	学校での人権教育の充実	事業者が職場において人権を尊重	し、啓発活動を行う	行政が企業の人権研修等を支援す	る	市民が自発的に人権のイベントや	学習会などに参加する	市中で人権を大切に活動する	町内会やPTAなど地域で活動す	める	その他	特にな	い
問2 「市民一人ひとりの人権意識は、5〜6年前に比べて高くなつて	「いる」と思	全体	67	38.8	28.4	28.4	17.9	29.9	41.8	13.4	6.0	4.5	3.0	-	3.0	4.5									
		女性	37	37.8	27.0	27.0	16.2	35.1	48.6	18.9	8.1	5.4	2.7	-	2.7	2.7									
		男性	27	44.4	29.6	29.6	22.2	22.2	37.0	7.4	3.7	3.7	3.7	-	-	7.4									
	「思	全体	305	33.1	21.3	32.5	14.4	35.4	49.2	14.4	5.9	5.9	6.9	2.0	2.0	4.3									
		女性	198	30.8	18.7	28.3	14.6	39.9	52.0	14.1	4.0	6.6	7.1	1.0	2.0	4.5									
		男性	102	39.2	27.5	39.2	14.7	26.5	44.1	15.7	8.8	3.9	6.9	3.9	2.0	3.9									
	「い	全体	652	34.0	15.3	33.6	16.0	29.4	43.3	10.1	5.1	2.3	6.6	3.5	4.6	7.4									
		女性	389	36.2	13.6	34.2	13.6	34.4	41.1	8.0	5.1	2.3	6.7	2.1	4.6	8.5									
		男性	241	31.5	19.1	31.1	18.7	21.2	47.3	13.3	5.0	2.5	6.6	5.4	3.7	5.8									
	「ま	全体	44	34.1	27.3	31.8	29.5	31.8	31.8	11.4	9.1	-	6.8	9.1	2.3	2.3									
		女性	18	27.8	27.8	33.3	27.8	44.4	22.2	11.1	16.7	-	11.1	11.1	5.6	-									
		男性	24	41.7	29.2	33.3	33.3	20.8	41.7	12.5	4.2	-	4.2	8.3	-	-									
「す	全体	12	41.7	33.3	41.7	25.0	-	33.3	8.3	8.3	-	8.3	-	8.3	16.7										
	女性	5	20.0	-	40.0	-	-	40.0	-	-	-	20.0	-	20.0	40.0										
	男性	7	57.1	57.1	42.9	42.9	-	28.6	14.3	14.3	-	-	-	-	-										

※割合が最も高い=

5 問4-1×問4-3

(数値:%)

		問4-3 どこ(誰)に相談しましたか。													
		調査数	家族・親戚	友人・知人	地域・近所の人	民生委員・児童委員	学校の先生	職場の上司や同僚	警察	公的機関(人権擁護委員)など	市・法務局(弁護士)	弁護士	医師や看護師など医療関係者	NPO団体など民間の相談窓口	その他
問4-1 それはどのような人権侵害でしたか。	同和問題にかかわるもの	全体	15	66.7	53.3	6.7	-	6.7	20.0	6.7	13.3	13.3	-	6.7	-
		女性	9	77.8	44.4	11.1	-	-	11.1	-	11.1	22.2	-	11.1	-
		男性	6	50.0	66.7	-	-	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-
	男女平等にかかわるもの	全体	24	66.7	37.5	8.3	4.2	20.8	37.5	8.3	8.3	8.3	4.2	4.2	8.3
		女性	18	72.2	33.3	5.6	5.6	11.1	33.3	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1
		男性	5	60.0	60.0	20.0	-	60.0	60.0	-	-	-	-	-	-
	いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの	全体	49	49.0	26.5	4.1	4.1	65.3	24.5	4.1	10.2	6.1	6.1	4.1	4.1
		女性	31	58.1	22.6	-	3.2	54.8	25.8	3.2	9.7	9.7	9.7	6.5	6.5
		男性	18	33.3	33.3	11.1	5.6	83.3	22.2	5.6	11.1	-	-	-	-
	高齢を理由とするもの	全体	9	55.6	55.6	11.1	-	11.1	22.2	22.2	-	11.1	22.2	11.1	22.2
		女性	4	75.0	75.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0	50.0	25.0	50.0
		男性	4	50.0	50.0	25.0	-	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	障がいを理由とするもの	全体	25	60.0	48.0	4.0	4.0	40.0	24.0	8.0	24.0	-	20.0	16.0	12.0
		女性	19	68.4	47.4	-	5.3	36.8	21.1	5.3	21.1	-	26.3	21.1	15.8
		男性	5	40.0	60.0	20.0	-	60.0	40.0	-	40.0	-	-	-	-
	国籍・人種・民族にかかわるもの	全体	4	75.0	75.0	-	-	25.0	75.0	-	25.0	-	-	-	-
		女性	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
		男性	3	66.7	66.7	-	-	33.3	100.0	-	-	-	-	-	-
	感染症等にかかわるもの	全体	5	100.0	60.0	20.0	-	-	40.0	-	-	-	40.0	20.0	40.0
		女性	5	100.0	60.0	20.0	-	-	40.0	-	-	-	40.0	20.0	40.0
		男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	犯罪被害にかかわるもの	全体	5	80.0	60.0	40.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-	20.0
		女性	4	75.0	50.0	25.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	25.0
		男性	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	性的指向・性自認にかかわるもの	全体	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女性	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
職場における人権侵害	全体	44	56.8	43.2	9.1	-	15.9	56.8	2.3	22.7	4.5	6.8	4.5	9.1	
	女性	29	65.5	37.9	3.4	-	13.8	55.2	-	20.7	3.4	10.3	6.9	6.9	
	男性	13	46.2	46.2	23.1	-	23.1	61.5	7.7	30.8	7.7	-	-	15.4	
プライバシーの侵害	全体	21	61.9	52.4	19.0	4.8	14.3	19.0	9.5	23.8	9.5	4.8	9.5	14.3	
	女性	11	72.7	63.6	9.1	-	9.1	-	9.1	27.3	18.2	9.1	18.2	9.1	
	男性	8	50.0	37.5	37.5	12.5	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	
家庭環境を理由とするもの	全体	19	73.7	42.1	31.6	5.3	10.5	21.1	10.5	15.8	10.5	5.3	10.5	15.8	
	女性	12	83.3	41.7	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7	8.3	
	男性	6	66.7	50.0	50.0	-	16.7	50.0	-	16.7	16.7	-	-	33.3	
インターネット上での誹謗や中傷など	全体	13	69.2	53.8	15.4	-	30.8	23.1	15.4	15.4	-	7.7	15.4	15.4	
	女性	9	77.8	55.6	11.1	-	11.1	11.1	11.1	22.2	-	11.1	22.2	22.2	
	男性	4	50.0	50.0	25.0	-	75.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	
その他	全体	7	42.9	42.9	14.3	-	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-	-	71.4	
	女性	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	
	男性	4	25.0	50.0	25.0	-	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	75.0	
なんとなくそう感じた	全体	11	54.5	45.5	9.1	18.2	9.1	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	-	9.1	
	女性	11	54.5	45.5	9.1	18.2	9.1	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	-	9.1	
	男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
答えたくない	全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※割合が最も高い=

6 問4-1×問4-4

(数値:%)

		問4-4 相談しなかったのはなぜですか。									
		調査数	ららど なよこ にに相 つたか わした	かば なえが かっ たとい	相 談し よ うと 浮	だ と 思 つ た も 無 駄	た れ る の が 仕 返 し を さ れ た	相 手 に 知 ら れ な か つ た	思 つ た こ ろ が あ る と 自 分 に も 悪 い と	決 ま り な か ら 、 自 分 で 解 決 す る	先 信 頼 で き る 相 談
問 4 - 1 そ れ は ど の よ う な 人 権 侵 害 で し た か。	同和問題にかかわるもの	全体	13	30.8	30.8	46.2	23.1	7.7	15.4	30.8	-
		女性	8	25.0	12.5	62.5	37.5	12.5	12.5	37.5	-
		男性	5	40.0	60.0	20.0	-	-	20.0	20.0	-
	男女平等にかかわるもの	全体	23	26.1	13.0	73.9	21.7	8.7	8.7	30.4	4.3
		女性	19	26.3	10.5	73.7	21.1	5.3	10.5	31.6	5.3
		男性	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの	全体	18	33.3	16.7	61.1	22.2	22.2	11.1	50.0	11.1
		女性	9	44.4	11.1	55.6	33.3	11.1	11.1	66.7	11.1
		男性	7	28.6	28.6	57.1	-	28.6	14.3	14.3	-
	高齢を理由とするもの	全体	10	50.0	-	70.0	30.0	-	10.0	80.0	10.0
		女性	4	25.0	-	75.0	50.0	-	25.0	75.0	25.0
		男性	6	66.7	-	66.7	16.7	-	-	83.3	-
	障がい理由とするもの	全体	15	33.3	13.3	60.0	13.3	6.7	13.3	33.3	-
		女性	5	60.0	-	80.0	20.0	-	-	60.0	-
		男性	10	20.0	20.0	50.0	10.0	10.0	20.0	20.0	-
	国籍・人種・民族にかかわるもの	全体	9	-	11.1	44.4	-	11.1	33.3	22.2	33.3
		女性	5	-	-	40.0	-	-	40.0	40.0	40.0
		男性	4	-	25.0	50.0	-	25.0	25.0	-	25.0
	感染症等にかかわるもの	全体	5	40.0	20.0	80.0	40.0	-	-	40.0	-
		女性	3	66.7	33.3	66.7	66.7	-	-	66.7	-
男性		2	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
犯罪被害にかかわるもの	全体	3	66.7	-	66.7	33.3	-	-	66.7	-	
	女性	2	50.0	-	100.0	50.0	-	-	50.0	-	
	男性	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	
性的指向・性自認にかかわるもの	全体	3	33.3	-	66.7	66.7	33.3	-	66.7	-	
	女性	3	33.3	-	66.7	66.7	33.3	-	66.7	-	
	男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
職場における人権侵害	全体	59	23.7	8.5	69.5	18.6	10.2	15.3	35.6	5.1	
	女性	41	22.0	7.3	68.3	19.5	9.8	14.6	36.6	7.3	
	男性	16	25.0	12.5	75.0	12.5	6.3	18.8	25.0	-	
プライバシーの侵害	全体	25	24.0	8.0	64.0	4.0	8.0	24.0	32.0	8.0	
	女性	16	18.8	6.3	68.8	6.3	6.3	18.8	37.5	12.5	
	男性	9	33.3	11.1	55.6	-	11.1	33.3	22.2	-	
家庭環境を理由とするもの	全体	27	22.2	7.4	66.7	7.4	-	14.8	37.0	11.1	
	女性	18	11.1	11.1	61.1	11.1	-	22.2	33.3	16.7	
	男性	6	50.0	-	66.7	-	-	-	50.0	-	
インターネット上での誹謗や中傷など	全体	5	60.0	20.0	60.0	20.0	-	-	60.0	-	
	女性	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-	
	男性	3	33.3	33.3	66.7	-	-	-	33.3	-	
その他	全体	13	23.1	7.7	53.8	15.4	-	7.7	38.5	15.4	
	女性	7	14.3	-	57.1	14.3	-	14.3	57.1	14.3	
	男性	5	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	20.0	
なんとなくそう感じた	全体	11	18.2	27.3	63.6	-	9.1	9.1	9.1	-	
	女性	7	28.6	-	85.7	-	14.3	-	14.3	-	
	男性	4	-	75.0	25.0	-	-	25.0	-	-	
答えたくない	全体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※割合が最も高い=

8 問5-1×問5-4

(数値:%)

			問5-4 あなたは、同和地区や同和地区出身者ということを気にしたり、意識したりすることがありますか。									
			調査数	気にしたり、意識することはない	自分自身や親族が結婚するとき	人を雇うとき	同じ職場で働くとき	隣近所で生活するとき	A、サークルなど（のメンバーとして活動するとき）	同じ団体（町内会、自治会、PTA、サークルなど）のメンバーとして活動するとき	不動産（家、土地など）を購入したり借りたりするとき	仕事上でかかわりをもつとき
問5-1 あなたが同和問題（部落差別）について知った、主なきっかけは何ですか。	周りの人から（家族・友人など）	全体	465	50.5	36.1	3.2	8.2	12.5	3.4	11.6	9.7	3.0
		女性	283	49.5	36.7	2.5	7.8	11.0	2.5	14.1	7.1	3.5
		男性	171	52.0	35.1	4.7	8.8	15.2	5.3	8.2	14.0	1.8
	学校の授業で	全体	434	62.7	24.9	0.7	3.0	9.2	2.1	12.7	6.5	2.3
		女性	273	61.2	27.8	0.4	3.3	9.9	1.8	14.7	6.2	1.8
		男性	146	65.1	20.5	1.4	2.7	8.9	2.7	9.6	7.5	2.1
	インターネット・書籍などから	全体	14	78.6	14.3	-	-	7.1	-	14.3	-	-
		女性	7	71.4	28.6	-	-	-	-	14.3	-	-
		男性	7	85.7	-	-	-	14.3	-	14.3	-	-
	テレビ・ラジオなどから	全体	12	50.0	33.3	-	-	-	-	8.3	16.7	-
		女性	8	50.0	50.0	-	-	-	-	12.5	-	-
		男性	4	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	人権についての講演会や研修などで	全体	42	76.2	7.1	-	2.4	9.5	4.8	2.4	11.9	2.4
		女性	20	80.0	5.0	-	-	5.0	5.0	5.0	15.0	5.0
		男性	21	71.4	9.5	-	4.8	14.3	4.8	-	9.5	-
	はっきり覚えていない	全体	43	65.1	25.6	2.3	2.3	4.7	-	4.7	9.3	2.3
		女性	27	70.4	29.6	-	-	-	-	3.7	-	-
		男性	15	53.3	20.0	6.7	6.7	13.3	-	6.7	26.7	6.7
	その他	全体	19	47.4	36.8	15.8	21.1	26.3	21.1	26.3	26.3	5.3
		女性	8	37.5	50.0	12.5	25.0	25.0	25.0	25.0	37.5	-
		男性	10	50.0	30.0	20.0	20.0	30.0	20.0	30.0	20.0	10.0

※割合が最も高い=

9 問5-2×問5-4

(数値:%)

		問5-4 あなたは、同和地区や同和地区出身者ということを気にしたり、意識したりすることがありますか。										
		調査数	気にしたり、意識することはない	自分自身や親族が結婚するとき	人を雇うとき	同じ職場で働くとき	隣近所で生活するとき	して活動するとき	同じ団体(町内会、自治会、PTA、サークルなど)のメンバーとして	不動産(家、土地など)を購入したり借りたりするとき	仕事上でかわりをもつとき	その他
校 や 職 場 2 、 地 域 等 は 、 あ な た は 、 学 習 し た こ と が あ り ま す か 。 学 校 で は 、 同 和 問 題 (部 落 差 別 に つ い て 学 校 や 職 場 に あ り ま す か 。)	小学校、中学校で	全体	604	58.3	29.0	2.0	6.0	11.4	3.1	12.3	9.4	3.0
		女性	388	56.7	31.4	1.5	5.7	11.6	2.6	14.2	7.7	2.8
		男性	197	61.4	24.9	3.0	6.6	11.7	4.6	9.1	13.2	2.0
	高校、大学・短大・専門学校で	全体	141	59.6	30.5	1.4	6.4	9.9	4.3	14.2	10.6	2.8
		女性	85	58.8	29.4	-	7.1	7.1	3.5	14.1	8.2	3.5
		男性	52	61.5	30.8	3.8	3.8	13.5	5.8	15.4	13.5	1.9
	職場の研修、住民対象の講座などで	全体	162	64.2	23.5	2.5	7.4	7.4	4.3	9.9	11.1	2.5
		女性	84	65.5	22.6	1.2	8.3	8.3	3.6	10.7	9.5	3.6
		男性	74	60.8	25.7	4.1	6.8	6.8	5.4	9.5	13.5	1.4
	はっきりと覚えていない、受けたことがない	全体	282	52.8	33.7	2.8	5.7	10.6	1.8	11.3	6.7	2.5
		女性	162	50.0	38.9	1.9	4.9	8.6	1.2	14.2	4.3	1.9
		男性	115	56.5	26.1	4.3	7.0	13.9	2.6	7.8	10.4	3.5

※割合が最も高い= 58.3

10 問5-3×問5-4

(数値:%)

		問5-4 あなたは、同和地区や同和地区出身者ということを気にしたり、意識したりすることがありますか。											
		調査数	気にしたり、意識することはない	自分自身や親族が結婚するとき	人を雇うとき	同じ職場で働くとき	隣近所で生活するとき	同じ団体（町内会、自治会、PTA、サークルなど）のメンバーとして活動するとき	不動産（家、土地など）を購入したり借りたりするとき	仕事上でかかわりをもつとき	その他		
問5-3 偏見や差別が存在する あなたは、社会の中に同和地区や同和地区出身者に対する	存在する	全体	402	44.8	37.3	3.7	9.5	16.7	5.0	12.9	13.2	3.5	
		女性	235	42.1	40.9	2.6	8.9	16.6	3.8	16.6	9.8	4.3	
		男性	155	47.7	32.3	5.8	10.3	17.4	7.1	8.4	18.7	1.9	
	存在し、強くなっている	全体	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女性	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	存在するが、薄まりつつある	全体	452	60.0	29.6	1.5	4.2	8.8	2.0	13.3	6.4	2.0	
		女性	280	57.5	32.5	1.1	4.3	7.1	1.8	15.4	5.7	2.1	
		男性	164	63.4	25.6	2.4	4.3	12.2	2.4	9.8	7.9	1.8	
	存在しない	全体	49	83.7	8.2	-	-	4.1	2.0	6.1	4.1	-	
		女性	24	87.5	8.3	-	-	4.2	4.2	-	4.2	-	
		男性	22	77.3	9.1	-	-	4.5	-	13.6	4.5	-	
	わからない	全体	124	79.8	12.1	-	-	0.8	0.8	4.0	4.0	3.2	
		女性	84	83.3	11.9	-	-	1.2	-	4.8	3.6	-	
		男性	33	75.8	12.1	-	-	-	3.0	3.0	6.1	6.1	

※割合が最も高い＝

11 問5-3×問5-5 (数値:%)

		問5-5 あなたは、実際に部落差別について見聞きしたことがありますか。			
		調査数	ある	ない	
偏見や差別があなたの中に同和地区や同和地区出身者に対する	存在する	全体	395	64.6	35.4
		女性	229	65.1	34.9
		男性	154	64.3	35.7
	存在し、強くなっている	全体	2	100.0	-
		女性	2	100.0	-
		男性	-	-	-
	存在するが、薄まりつつある	全体	438	48.4	51.6
		女性	273	48.0	52.0
		男性	157	49.0	51.0
	存在しない	全体	47	27.7	72.3
		女性	24	25.0	75.0
		男性	22	31.8	68.2
わからない	全体	117	23.9	76.1	
	女性	81	25.9	74.1	
	男性	29	17.2	82.8	

※割合が最も高い=

12 問5-4×問5-5

(数値:%)

		問5-5 あなたは、実際に部落差別について見聞きしたことがありますか。			
		調査数	ある	ない	
問5-4 あなたは、同和地区や同和地区出身者ということを感じたり、意識したりすることがありますか。	気にしたり、意識することはない	全体	567	43.4	56.6
		女性	342	42.7	57.3
		男性	208	44.7	55.3
	自分自身や親族が結婚するとき	全体	296	60.1	39.9
		女性	195	60.0	40.0
		男性	95	61.1	38.9
	人を雇うとき	全体	22	68.2	31.8
		女性	9	77.8	22.2
		男性	13	61.5	38.5
	同じ職場で働くとき	全体	56	67.9	32.1
		女性	32	62.5	37.5
		男性	23	73.9	26.1
	隣近所で生活するとき	全体	109	62.4	37.6
		女性	61	62.3	37.7
		男性	47	61.7	38.3
	同じ団体(町内会、自治会、PTA、サークルなど)のメンバーとして活動するとき	全体	30	56.7	43.3
		女性	14	64.3	35.7
		男性	16	50.0	50.0
	不動産(家、土地など)を購入したり借りたりするとき	全体	117	64.1	35.9
		女性	83	65.1	34.9
		男性	33	63.6	36.4
	仕事上でかかわりをもつとき	全体	89	69.7	30.3
		女性	43	67.4	32.6
		男性	45	71.1	28.9
その他	全体	23	73.9	26.1	
	女性	14	71.4	28.6	
	男性	6	83.3	16.7	

※割合が最も高い=

13 問5-4×問5-2×問5-1

【問5-4で1を選択×問5-2（選択肢1～3で○が2つ以上）】×問5-1

(数値:%)

		問5-1 あなたが同和問題(部落差別)について知った、主なきっかけは何ですか。							
		調査数	周りの人から(家族・友人など)	学校の授業で	インターネット・書籍などから	テレビ・ラジオなどから	で人権についての講演会や研修など	はっきり覚えていない	その他
3択問 で×5 ○問 が54 21で つ2 以上1 を 選	全体	78	24.4	64.1	1.3	-	7.7	1.3	1.3
	女性	31	12.9	74.2	3.2	-	9.7	-	-
	男性	45	33.3	55.6	-	-	6.7	2.2	2.2

※割合が最も高い= 64.1

【問5-4で2を選択×問5-2（選択肢1～3で○が2つ以上）】×問5-1

(数値:%)

		問5-1 あなたが同和問題(部落差別)について知った、主なきっかけは何ですか。							
		調査数	周りの人から(家族・友人など)	学校の授業で	インターネット・書籍などから	テレビ・ラジオなどから	で人権についての講演会や研修など	はっきり覚えていない	その他
で×問 ○問 が51 24 つ2 以上2 を 選 3	全体	43	37.2	55.8	-	-	2.3	2.3	2.3
	女性	14	28.6	64.3	-	-	-	-	7.1
	男性	27	37.0	55.6	-	-	3.7	3.7	-

※割合が最も高い= 64.3

【問5-4で1を選択×問5-2（選択肢1～3で○が1つ）】×問5-1

(数値:%)

		問5-1 あなたが同和問題(部落差別)について知った、主なきっかけは何ですか。								
		調査数	周りの人から(家族・友人など)	学校の授業で	インターネット・書籍などから	テレビ・ラジオなどから	で人権についての講演会や研修など	はつきり覚えていない	その他	
で×問 ○問5 が5 1 4 つ2で 1を 3選択	全体	364	28.0	60.4	0.5	0.5	6.9	2.2	1.4	
	女性	124	28.2	57.3	0.8	-	9.7	2.4	1.6	
	男性	227	28.2	62.1	0.4	0.9	5.3	2.2	0.9	

※割合が最も高い=

【問5-4で2を選択×問5-2（選択肢1～3で○が1つ）】×問5-1

(数値:%)

		問5-1 あなたが同和問題(部落差別)について知った、主なきっかけは何ですか。								
		調査数	周りの人から(家族・友人など)	学校の授業で	インターネット・書籍などから	テレビ・ラジオなどから	で人権についての講演会や研修など	はつきり覚えていない	その他	
で×問 ○問5 が5 1 4 つ2で 2を 3選択	全体	165	44.8	50.9	-	-	1.2	1.2	1.8	
	女性	54	51.9	38.9	-	-	3.7	3.7	1.9	
	男性	109	42.2	56.0	-	-	-	-	1.8	

※割合が最も高い=

【問5-4で1を選択×問5-2（選択肢4に○）】×問5-1

(数値:%)

		問5-1 あなたが同和問題(部落差別)について知った、主なきっかけは何ですか。							
		調査数	周りの人から(家族・友人など)	学校の授業で	インターネット・書籍などから	テレビ・ラジオなどから	で人権についての講演会や研修など	はつきり覚えていない	その他
×問5-4で1を選択○	全体	147	75.5	1.4	5.4	2.7	0.7	12.2	2.0
	女性	65	76.9	1.5	6.2	3.1	-	7.7	4.6
	男性	80	75.0	1.3	5.0	2.5	1.3	15.0	-

※割合が最も高い=

【問5-4で2を選択×問5-2（選択肢4に○）】×問5-1

(数値:%)

		問5-1 あなたが同和問題(部落差別)について知った、主なきっかけは何ですか。							
		調査数	周りの人から(家族・友人など)	学校の授業で	インターネット・書籍などから	テレビ・ラジオなどから	で人権についての講演会や研修など	はつきり覚えていない	その他
×問5-4で2を選択○	全体	95	82.1	-	2.1	4.2	-	8.4	3.2
	女性	30	93.3	-	-	-	-	3.3	3.3
	男性	63	76.2	-	3.2	6.3	-	11.1	3.2

※割合が最も高い=

V 調査票

V 調査票

人権に関する市民の意識調査

アンケートへのご協力をお願い

「人権に関する市民の意識調査」は、市民の皆さまが、人権や私たちのまわりにある様々な人権問題について、どのようなお考えをお持ちになっているかをお聞きし、人権尊重のまちづくりに活かしていくため、高知市が実施する調査です。

本調査では、満 20 歳以上の市民 3,000 人を無作為に抽出し、調査回答用紙をお送りしています。

回答は無記名でお願いいたしますので、個人の回答内容が分かることはありません。また、調査結果は統計的に処理し、調査の目的以外には一切使用しませんので、安心してご回答ください。

ご多用のところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2020(令和2)年6月

高知市

English(英語)

“The resident attitude survey regarding human rights” is a survey conducted by Kochi City to gather insight on how city residents think about human rights and various human rights issues around us, in order to develop a community with respect for human rights.

This research will randomly select 3,000 city residents who are 20 years old and above, and mail them questionnaire sheets.

We will not ask for your name, so your answers will remain anonymous. Please be rest assured that the results will be compiled into statistics, and will not be used for any purpose other than the one intended. We are sorry to trouble you, but we ask for your cooperation after understanding the purpose of this research.

Please mail the filled questionnaire sheets by July 20th. If you wish to have the English version, please contact us.

e-mail : kc-101800@city.kochi.lg.jp

中文(簡体字)

“市民人权意识调查”是由高知市所实施的调查。该调查旨在了解市民对于人权及日常生活中所存在的人权问题所抱持的态度，并以此提高城市建设中的人权尊重意识。

调查问卷将随机发送给 3000 名年满 20 周岁及以上的市民。

该调查问卷采用匿名形式，将不会泄露您的个人信息。调查结果将不会用于数据统计以外的任何目的，请您放心填写。

十分感谢您在百忙当中对于我们工作所给予的支持与理解。

请于 7 月 20 日前将调查问卷通过邮寄方式寄出。如果您需要中文版调查问卷，请与我们联系。

电子邮箱：kc-101800@city.kochi.lg.jp

한국어 (韓国語)

「시민 인권 인식 조사」는 시민 여러분이 인권과 우리 주변의 다양한 인권문제에 대해 어떻게 생각하고 계신지를 묻고, 인권을 존중하는 고치시를 만드는데 활용하고자 고치시에서 실시하는 조사입니다.

이번 조사에서는 만 20 세 이상 시민 3,000 명을 무작위로 선정하여 조사 답변용지를 보내드리고 있습니다.

답변은 무기명으로 부탁드립니다. 개인의 답변내용은 다른 사람이 알 수 없습니다. 아울러 조사결과는 통계적으로 처리하며, 조사 목적 이외에는 사용하지 않습니다. 안심하고 답변해주시기 바랍니다.

바쁘신 와중에 대단히 죄송하지만 이번 조사의 취지를 이해하시어 협력해주시기를 부탁드립니다.

조사표는 작성하신 뒤 2020 년 7 월 20 일까지 보내주시면 감사하겠습니다. 한국어 조사표를 받고자 하시는 분은 연락주시기 바랍니다.

e-mail : kc-101800@city.kochi.lg.jp

あなたは、「人権」ということばにどんな印象をお持ちですか？

「とても大切なもの」という思いを抱く人もいれば、「大事そうだけどなんだかよくわからない」、中には、「堅苦しくて難しいもの」と感じる人もいるかもしれません。

「人権」に対する思いや感じ方は、人それぞれですし、「人権」を一言で言い表すのも難しそうです。

しかし、「人権」がない(守られていない)世界にあなたが望む暮らしがあるでしょうか。

「人権」は、私たち一人ひとりにとってなくてはならないものです。

このアンケートには、あなたご自身や大切な人の「幸せ」について考えながらお答えいただければ幸いです。



※質問によっては、不快に感じられることがあるかもしれませんが、差別や偏見の解消をめざした取り組みに生かしていくためにお聞きするものですので、ご理解くださいますようお願いいたします。

【回答にあたってのお願い】

- 封筒のあて名のご本人がお答えください。

ご本人による記入が難しい場合は、身近な方がご本人のお考えを聞きながらご記入をお願いします。

- 回答は、調査票に直接記入してください。

- 回答は、質問ごとにあてはまる番号を選んで○をつけてください。

「その他」を選んだときは、()の中にその内容を記入してください。

- 調査票内の語句に(注)と記したものは、4ページに説明があります。

- 調査票は、返信用封筒に入れていただき、

7月20日(月)までに郵便ポストへ投函してください。

※氏名の記入と、切手は不要です。

- ◆本調査は、高知市が「ジェイエムシー株式会社」に委託して行っています。
この調査についてのお問い合わせは、次のところまでお願いします。

【お問い合わせ先】 〒781-8121 高知市葛島4丁目3番30号
ジェイエムシー株式会社
電話番号 088-878-0850
(受付時間 祝日を除く月～金曜日 9:00～17:00)

(担当課) 高知市市民協働部 人権同和・男女共同参画課

住 所： 高知市本町5丁目1番45号

電 話：088-823-9449

FAX：088-823-9351

【本調査で使用している用語等について】

（注1） 同和問題（部落差別）

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が長い年月の間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の中で様々な差別を受けている日本固有の人権問題です。

我が国では同和問題の解決に向け、平成14（2002）年3月に「地域改善対策特定事業にかかる国の財政上の特別措置に関する法律」が失効するまでの間、同和地区の環境改善や教育・啓発などの取り組みが進められてきました。その際、取り組みを進める対象地域として、法に基づき、一定の地域が指定されており、この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、この法律によって指定されていた対象地域を示しています。

（注2） 感染症患者等

感染症患者等には、HIV、ハンセン病患者・元患者、結核、B型・C型肝炎ウイルスなどの感染症による患者、感染者等やその家族、医療従事者等が含まれます。

○HIV（エイズウイルス）

エイズ（後天性免疫不全症候群）の原因となるウイルスです。

このウイルスが体の中で増えると、体に備わっている抵抗力（免疫）が徐々になくなり、健康な時にはかからない感染症等が引き起こされることがあります。性的接触に留意すれば、日常生活で感染することはほとんどありません。

○ハンセン病

ハンセン病は「らい菌」に感染することで起こる病気です。感染すると手足などの末梢神経が麻痺したり、皮膚にさまざまな病的な変化が起こったりします。発症した場合でも早期発見・早期治療により、後遺症を残さずに治る病気です。感染力は弱く、感染したとしても発病することは極めてまれです。

（注3） 性的指向・性自認

○性的指向（Sexual Orientation）

どのような性別の人を好きになるか、または好きにならないかという概念です。具体的には、異性愛、同性愛、両性愛、無性愛などがあります。

○性自認（Gender Identity）

「自身の性をどのように認識しているか」という自己意識の概念です。「こころの性」と呼ばれることもあります。

○「性的指向・性自認」は、すべての人が共通して持っている属性を表す言葉であるのに対し、「LGBT」は、Lesbian（レズビアン、同性を好きになる女性）、Gay（ゲイ、同性を好きになる男性）、Bisexual（バイセクシュアル、同性も異性も好きになる人）、Transgender（トランスジェンダー、性同一性障害など心と身体の性が一致しない人等）の頭文字をとった性的マイノリティ（性的少数者）の総称のひとつで、人そのものを表す言葉です。

（注4） 人身取引

人身取引は、売春や強制労働をさせるなどの搾取や、臓器移植などの目的で、暴力、脅迫、誘拐、詐欺などの手段を用いて、人を移動したり、隠したり、受け取ったりする行為のことで、

（注5） 本人通知制度

高知市では、不正な請求を抑止するとともに、個人の権利の侵害の防止を図ることを目的として、平成23年7月より、住民票の写しや戸籍謄本などを、代理人や第三者に交付した場合に、希望する本人（事前に登録が必要）に交付したことをお知らせする本人通知制度を導入しています。

人権に関する意識調査票

問1 あなたは、「今の高知市は、市民一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と思いますか。(○は1つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらとも言えない
- 4 どちらかといえばそうは思わない
- 5 そうは思わない

問2 あなたは、「市民一人ひとりの人権意識は、5～6年前に比べて高くなっている」と思いますか。(○は1つ)

- 1 高くなっている
- 2 どちらかといえば高くなっている
- 3 どちらとも言えない
- 4 どちらかといえば低くなっている
- 5 低くなっている

問3 あなたが関心のある人権問題は、次のどれですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 同和問題(部落差別)(注1) | 11 地震など災害時の人権問題 |
| 2 女性の人権 | 12 北朝鮮当局による拉致問題 |
| 3 子どもの人権 | 13 性的指向・性自認(注3)に関わる人権 |
| 4 高齢者の人権 | 14 職場の人権 |
| 5 障がいのある人の人権 | 15 人身取引(注4) |
| 6 外国人の人権 | 16 犯罪被害者やその家族の人権 |
| 7 感染症患者等(注2)の人権 | 17 刑を終えて出所した人の人権 |
| 8 インターネットによる人権侵害 | 18 その他 |
| 9 アイヌの人々の人権 | (具体的に：) |
| 10 ホームレスの人権 | 19 特にない |

問4 あなた自身やご家族の人権が侵害された、あるいはそう感じたことがありますか。

(○は1つ)

- | | | |
|---|----|---------|
| 1 | ある | → 問4-1へ |
| 2 | ない | → 問5へ |

(問4で「ある」とお答えの方に)

問4-1 それはどのような人権侵害でしたか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----|------------------------|--|
| 1 | 同和問題にかかわるもの | |
| 2 | 男女平等にかかわるもの | |
| 3 | いじめや虐待などの子どもの人権にかかわるもの | |
| 4 | 高齢を理由とするもの | |
| 5 | 障がいを理由とするもの | |
| 6 | 国籍・人種・民族にかかわるもの | |
| 7 | 感染症等にかかわるもの | |
| 8 | 犯罪被害にかかわるもの | |
| 9 | 性的指向・性自認にかかわるもの | |
| 10 | 職場における人権侵害 | |
| 11 | プライバシーの侵害 | |
| 12 | 家庭環境を理由とするもの | |
| 13 | インターネット上での誹謗や中傷など | |
| 14 | その他(具体的に： _____) | |
| 15 | なんとなくそう感じた | |
| 16 | 答えたくない | |

(問4で「ある」とお答えの方に)

問4-2 その時、どこ(誰)かに相談されましたか。(○は1つ)

- | | | |
|---|---------|--------|
| 1 | 相談した | →問4-3へ |
| 2 | 相談しなかった | →問4-4へ |

(問4-2で「相談した」とお答えの方に)

問4-3 どこ(誰)に相談しましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1 家族・親戚 | 8 市・法務局(人権擁護委員)など
公的な相談窓口 |
| 2 友人・知人 | 9 弁護士 |
| 3 地域・近所の人 | 10 医師や看護師など医療関係者 |
| 4 民生委員・児童委員 | 11 NPO団体など民間の相談窓口 |
| 5 学校の先生 | 12 その他
(具体的に：) |
| 6 職場の上司や同僚 | |
| 7 警察 | |

(問4-2で「相談しなかった」とお答えの方に)

問4-4 相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1 どこに相談したらよいのかわからなかった |
| 2 相談しようという考えが思い浮かばなかった |
| 3 相談しても無駄だと思った |
| 4 相手に知られる、仕返しをされるのが怖かった |
| 5 自分にも悪いところがあると思った |
| 6 相手に抗議するなど、自分で解決した |
| 7 信頼できる相談先がなかった |
| 8 その他(具体的に：) |

問5-4 あなたは、同和地区や同和地区出身者ということに気がしたり、意識したりすることがありますか。(○はいくつでも)

- 1 気がしたり、意識することはない(この項目を選ばれた方は、他の項目には○をつけしないでください)
- 2 自分自身や親族が結婚するとき
- 3 人を雇うとき
- 4 同じ職場で働くとき
- 5 隣近所で生活するとき
- 6 同じ団体(町内会、自治会、PTA、サークルなど)のメンバーとして活動するとき
- 7 不動産(家、土地など)を購入したり借りたりするとき
- 8 仕事上でかかわりをもつとき
- 9 その他(具体的に:)

問5-5 あなたは、実際に部落差別について見聞きしたことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある → 問5-6へ
- 2 ない → 問5-7へ

(問5-5で「ある」とお答えの方に)

問5-6 それはどのような内容でしたか。お構わない範囲でご記入ください。

問5-7 あなたは、同和问题(部落差別)を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 同和问题について、市民の正しい理解と認識を深める
- 2 学校教育の中で同和问题に関する正しい知識を教える
- 3 市民自らが差別をしないよう人権意識を高める努力をする
- 4 相談・支援体制の充実
- 5 インターネット上での同和问题に関する差別的な書き込みの監視を強化する
- 6 その他(具体的に:)
- 7 特にない
- 8 わからない

問6 女性の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)
- 2 昇給・昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い
- 3 女性が政策や方針などの決定に参画する機会が少ない(女性の政治家や管理職が少ない)
- 4 女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、慣習・しきたりが残っている
- 5 マタニティ・ハラスメント(妊娠・出産等を理由とする不利な扱い)
- 6 セクシュアル・ハラスメント(性的ないやがらせ)
- 7 ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーによる暴力)
- 8 ストーカー行為
- 9 買春・売春、援助交際
- 10 痴漢やわいせつ行為などの性犯罪
- 11 テレビ・ビデオ・DVD・雑誌・インターネット等で女性を性的対象として扱う情報があふれている
- 12 その他(具体的に：)
- 13 特にない
- 14 わからない

問7 女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 様々な社会制度や慣行を男女共同参画の視点に立って見直す
- 2 男女の固定的な役割分担意識を是正し、男女平等意識を広める
- 3 政治や経済等の分野における意思決定や方針決定の場への女性の参画促進
- 4 女性の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 5 学校教育における女性の人権に関する教育の充実
- 6 男女雇用機会均等法や労働基準法などの周知、企業・労働者の意識啓発
- 7 ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーによる暴力)の防止
- 8 女性に対する犯罪の取締りの強化
- 9 女性のための相談・支援体制の充実
- 10 その他(具体的に：)
- 11 特にない
- 12 わからない

問8 子どもの人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

- 1 保護者などから虐待(身体的、心理的、性的)や育児放棄されること
- 2 子どもの間での「いじめ」
- 3 指導的な立場にある人からの体罰
- 4 子どもの意見や行動が尊重されない
- 5 暴力や犯罪、性に関わる問題(児童ポルノ)等、子どもに有害な情報があふれている
- 6 不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為
- 7 貧困による教育の格差が生じたり、健康な生活ができなかったりする
- 8 その他(具体的に:)
- 9 特にない
- 10 わからない

問9 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 家庭・地域・学校の連携のもと、地域で子どもを育む機運を高める
- 2 人権を大切にできる心を育てるための教職員等に対する研修の充実
- 3 子どもの人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 4 学校教育における子どもの人権に関する教育の充実
- 5 学校におけるいじめ問題の防止に対する取り組みの強化
- 6 子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取り組みの強化
- 7 貧困の連鎖を断ち切るための取り組みの推進
- 8 子ども自身の意思や行動を権利として尊重する
- 9 犯罪や安全をおびやかす行為などから子どもを守る取り組みの推進
- 10 体罰禁止の徹底
- 11 子どものための相談・支援体制の充実
- 12 その他(具体的に:)
- 13 特にない
- 14 わからない

問10 高齢者の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

- 1 働ける能力を発揮する機会が少ない
- 2 差別的な言動をされる
- 3 詐欺や悪質商法による被害
- 4 住宅を容易に借りることができない
- 5 家庭内や病院・施設において不当な扱いや虐待を受ける
- 6 家族や地域との交流が疎遠がちで孤独な生活を送っている
- 7 高齢者の意見や行動が尊重されない
- 8 道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない
- 11 わからない

問11 高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 高齢者を地域で支える仕組みの整備
- 2 認知症高齢者対策の充実
- 3 就労環境の整備
- 4 道路や交通機関、建物等のバリアフリー化
- 5 自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実
- 6 高齢者の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 7 学校教育における高齢者の人権に関する教育の充実
- 8 高齢者のための相談・支援体制の充実
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない
- 11 わからない

問12 障がいのある人の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

- 1 就職・職場で不利な扱いを受けたり、搾取される
- 2 職場や学校等でいやがらせやいじめを受ける
- 3 障がいに対する理解が不十分であるために適切な配慮がされない
- 4 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 5 結婚の際に周囲から反対を受ける
- 6 住宅を容易に借りることができない
- 7 家庭内や病院・施設において不当な扱いや虐待を受ける
- 8 障がいの内容、程度に応じた適切な配慮がされないために、社会参加しづらい
- 9 道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある
- 10 その他(具体的に:)
- 11 特にない
- 12 わからない

問13 障がいのある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 障がいのある人が働くための支援の充実
- 2 障がいのある人のニーズにあった保健、医療、福祉サービスの充実
- 3 道路や交通機関、建物等のバリアフリー化
- 4 障がいのある人とない人との交流の促進
- 5 自己啓発や文化的活動に参加できる機会の充実
- 6 障がいのある人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 7 学校教育における障がいのある人の人権に関する教育の充実
- 8 障がいのある人のための相談・支援体制の充実
- 9 その他(具体的に:)
- 10 特にない
- 11 わからない

問 16 感染症患者等の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

- 1 就職・職場で不利な扱いを受ける
- 2 結婚の際に周囲から反対を受ける
- 3 家族や親戚・友人等からつきあいを拒絶される
- 4 治療や入院を断られる
- 5 罹患したことにより、本人や家族などのプライバシーが侵害される
- 6 悪意のある噂を流されたり差別的な言動をされる
- 7 住宅を容易に借りることができない
- 8 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否される
- 9 その他(具体的に：)
- 10 特にない
- 11 わからない

問 17 感染症患者等の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 医療機関などにおける個人情報保護の徹底
- 2 感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 3 学校教育における感染症に関する正しい知識や感染症患者等の人権に関する教育の充実
- 4 治療法確立などの医療体制の整備
- 5 感染者の生活や治療費を支援する
- 6 感染症患者等のための相談・支援体制の充実
- 7 その他(具体的に：)
- 8 特にない
- 9 わからない



おおむね半分終わりました。このあともよろしくお願いします。

問21 インターネットによる人権侵害に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 無断で他人のプライバシーに関することを掲載する |
| 2 | 他人に対する根拠のない悪い噂、悪口を掲載する |
| 3 | わいせつな画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載する |
| 4 | 犯罪行為をうながしたり、誘発するようなサイトが存在する |
| 5 | 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載する |
| 6 | 情報の発信者が匿名の場合が多いため、被害者が救済されにくい |
| 7 | 情報の発信者が匿名の場合が多いため、利用者の倫理観が低下しやすい |
| 8 | 悪質商法の間となっている |
| 9 | 個人情報の流出等の問題が多く発生している |
| 10 | その他(具体的に: _____) |
| 11 | 特になし |
| 12 | わからない |

問22 あなたは、インターネットによる人権侵害について、どのような考えをお持ちですか。(それぞれに〇を1つ)

	そう思う	そうは思わない	わからない
(a) インターネットへの書き込みはどのような内容であっても表現の自由で保障されるべきである	1	2	3
(b) インターネットに掲載されていることは真実とは限らないのでみきわめが必要だ	1	2	3
(c) インターネットへの書き込みで人権を侵害した場合、法により取り締まるべきだ	1	2	3
(d) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、情報元の管理者等に情報停止・削除を求めるべきだ	1	2	3
(e) 企業等が個人情報保護法を正しく理解し、適切な安全対策をするべきだ	1	2	3
(f) 情報が流出しないように、個人が責任を持って管理するべきだ	1	2	3
(g) ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃から教育・啓発を行うべきだ	1	2	3

問 25 犯罪被害者等の人権に関することで、あなたが特に問題があると思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 犯罪による精神的・経済的負担が大きい
- 2 警察に相談しても必ずしも期待どおりの結果が得られない
- 3 過剰な取材などによる私生活の平穏やプライバシーの侵害がある
- 4 事件に関して周囲からの偏見や差別がある
- 5 捜査・刑事裁判で受ける精神的負担が大きいにもかかわらず、こころのケアがされない
- 6 刑事裁判手続きに犯罪被害者や家族の声が十分反映されない
- 7 犯罪被害者自身が非難の対象になる
- 8 インターネット上での噂話や誹謗・中傷がある
- 9 その他(具体的に：)
- 10 特にない
- 11 わからない

問 26 犯罪被害者等の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 犯罪被害者等に寄り添ったきめ細やかな支援や対応
- 2 犯罪被害者等に配慮した報道や取材
- 3 専門家による心理的支援(カウンセリング等)の提供
- 4 犯罪被害者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める
- 5 経済的な支援
- 6 犯罪予防・防止のための施策の充実
- 7 犯罪被害者等の相談体制の充実
- 8 その他(具体的に：)
- 9 特にない
- 10 わからない

問 29 あなたが、人権尊重の考えについて強く影響を受けたと思うものは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 幼児期の人権教育 | 9 家族とのふれあいの中から |
| 2 小学校時代の人権教育 | 10 地域でのふれあいの中から |
| 3 中学校時代の人権教育 | 11 職場でのふれあいの中から |
| 4 高等学校時代の人権教育 | 12 友人とのふれあいの中から |
| 5 大学・短大・専門学校時代の人権教育 | 13 その他 |
| 6 講演会や研修会 | (具体的に：) |
| 7 地域での学習会 | 14 特にない |
| 8 職場での人権研修会 | 15 わからない |

(問 29 で「1」～「13」に○をされた方に)

問 29-1 それはどのような内容でしたか。お構いない範囲でご記入ください。

--

問 30 あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、今後特に必要だと思うのは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1 人権を守るための法整備をすすめる |
| 2 行政が人権教育・啓発を積極的に行う |
| 3 人権が侵害された被害者のための相談・支援体制の充実 |
| 4 公務員など人権に関わりの深い職業に従事する人の人権意識を高める |
| 5 乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で人権尊重の意識を育む |
| 6 学校での人権教育の充実 |
| 7 事業者が職場において人権を尊重し、啓発活動を行う |
| 8 行政が企業の人権研修等を支援する |
| 9 市民が自発的に人権のイベントや学習会などに参加する |
| 10 町内会やPTAなど地域で活動する中で人権を大切に活動する活動をすすめる |
| 11 その他(具体的に：) |
| 12 特にない |
| 13 わからない |

問 31 あなたは、次の(a)から(o)の人権に関する宣言や条例、市の取り組みについてどの程度ご存知ですか。(それぞれに○を1つ)

	知っている	名称は聞いたことがある	知らない
(a) 世界人権宣言	1	2	3
(b) 持続可能な開発目標 (SDGs)	1	2	3
(c) 障害者差別解消推進法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)	1	2	3
(d) ハイトスピーチ解消法(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)	1	2	3
(e) 部落差別解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)	1	2	3
(f) 高知市人権尊重のまちづくり条例	1	2	3
(g) 男女がともに輝く高知市男女共同参画条例	1	2	3
(h) 高知市手話言語条例	1	2	3
(i) 「部落差別をなくする運動」強調旬間事業	1	2	3
(j) 「人権・平和強調旬間」事業	1	2	3
(k) 「人権週間」事業	1	2	3
(l) 広報「あかるいまち」人権シリーズ	1	2	3
(m) 地域における人権啓発推進委員会活動	1	2	3
(n) 市民会館活動・子ども会活動	1	2	3
(o) 個人情報の流出や漏えいの問題に関する取組(本人通知制度)(注5)	1	2	3

あと1問です。最後までよろしくお願いします。

問 32 人権に関するご意見、ご感想がございましたら、自由にご記入ください。

お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身のことについてお聞かせください。

あなたの年代を教えてください。(あてはまる番号に○を1つ)

1 20代	4 50代
2 30代	5 60代
3 40代	6 70代

あなたの性別を教えてください(必ずしも身体的な性別とは限りません)。

(あてはまる番号に○を1つ)

1 男性
2 女性
3 無回答・その他



最後までご協力いただき、誠にありがとうございました。

お手数をおかけしますが、記入もれがないかももう一度ご確認のうえ、
同封の封筒で7月20日(月)までにポストに投函してご返送ください。
(切手は不要です)

令和2年度 人権に関する市民の意識調査報告書
発行 高知市市民協働部人権同和・男女共同参画課
〒780-8571 高知市本町五丁目1-45
TEL 088-823-9449
FAX 088-823-9351